

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第23集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 22

2019年3月

ふじみ野市教育委員会

市内遺跡群
22

二〇一九

埼玉県ふじみ野市教育委員会

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第23集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 22

2019年3月

ふじみ野市教育委員会

はじめに

ふじみ野市は平成 17 年 10 月に旧上福岡市と旧大井町が合併し、平成 27 年に 10 周年を迎え、今また新しい時代を歩みはじめています。

ふじみ野市は、都心から 30km 圏内という立地条件にあるため、昭和 30 年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。さらに、ふじみ野市となってからは、人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きく変化しています。

新たな歴史を歩みはじめたふじみ野市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、2 万数千年前の旧石器時代から現代までの永い歴史をみることができます。

本報告書は、国・県からの補助金と民間開発に伴い各事業者の皆様からの費用負担を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることが出来ました。その成果は、店舗や住宅建設など、近年の開発ラッシュに伴い発掘されたものです。永い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

こうして発見された新たな歴史の一部を、「夢のある心豊かな学びのまちづくり」のため、貴重な文化財を将来にわたって保存・継承し、地域の皆様や子供たちが、生涯にわたって地域の歴史や文化を学び続けられるよう目指してまいります。貴重な文化財と共に、本書が将来にわたって活用されれば幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担とご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁、埼玉県教育委員会文化資源課、市関係各課、調査関係者、そして各事業者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会
教育長 朝倉 孝

例 言

1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の2015(平成27)年度の試掘調査と発掘調査の報告書である。
2. 2015(平成27)年度に行った試掘調査、発掘調査および整理作業は総経費10,005,757円に対し国庫補助金(5,000,000円)、県費(2,500,000円)の補助金の交付を受け、2015(平成27)年4月9日から2016(平成28)年3月31日まで実施したものである。
3. 調査組織

調査主体者	ふじみ野市教育委員会	文化財保護係調査担当者
担当課	社会教育課文化財保護係	高崎 直成 (2005.4.1～2018.3.31)
教育長	朝倉 孝 (2014.4.1～)	鍋島 直久 (2005.4.1～2017.3.31)
部長	中野 則之 (2015.4.1～2017.3.31)	長谷川 義行 (2017.4.1～)
	土屋 浩 (2017.4.1～)	岡崎 裕子 (2015.4.1～)
課長	小林 清 (2015.4.1～2016.3.31)	庶務担当 橋本 祐可子 (2015.4.1～)
	佐藤 龍司 (2016.4.1～2018.3.31)	発掘調査員補 越村 篤 (2005.4.1～2015.9.30)
	高崎 直成 (2018.4.1～)	鎌田 翔 (2015.11.2～2018.3.31)
副課長	佐藤 龍司 (2015.4.1～2016.3.31)	坪田 幹男 (2018.7.1～)
	社会教育課副課長兼文化財保護係長(2016.4.1から兼務)	臨時的任用職員 高橋 京子 (2005.4.1～)
	高崎 直成 (2013.4.1～2018.3.31)	
	小林 久美 (2018.4.1～)	
4. 本書作成にあたっての作業分担は事実報告及び遺構・遺物の執筆を岡崎・長谷川、遺物の観察表作成を岡崎・鎌田が担当し、整理作業の分担は次のとおりである。遺物接合・復元：中田藤子、川中ひろみ。石器実測：岩城英子、鎌田。
 土器実測・拓本：明石千とせ、岩城英子、坂本民子、佐竹里佳、鈴木千恵子、深谷美奈子、松平静、山内康代。
 遺構・遺物図トレース：小林登喜江。図版作成：青山奈保美、大久保明子、齋藤有紀、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、松平静
 遺構写真：鍋島、越村、岡崎、鎌田。レイアウト・遺物写真：大久保明子。遺構図版作成の一部及び石器実測の一部を株式会社中野技術に委託した。ハケ遺跡第16地点出土人物埴輪に含まれる海綿骨針については、松岡喜久次氏(埼玉県立川越女子高等学校)に調査を依頼した。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)
 天ヶ嶋岳、上田寛、越前谷理、大屋道則、岡田賢治、加藤秀之、神木繁嘉、久津間文隆、國見徹、隈本健介、酒井智晴、笹森健一、佐藤一也、佐藤啓子、塩野敏和、清水理史、鈴木清、高木文夫、田中信、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、平野寛之、藤波啓容、堀善之、松尾鉄城、松岡喜久次、三上栄一、水口由紀子、水村孝行、柳井章宏、和田晋治、埼玉県教育委員会市町村支援部文化資源課、上福岡歴史民俗資料館、大井郷土資料館
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。(敬称略)
 青山奈保美、明石千とせ、新井和枝、飯塚恵津子、飯塚泰子、家泉浩孝、壹岐久子、井上晴江、井上麻美子、岩城英子、臼井孝、大久保明子、岡良子、川中ひろみ、小池恵美子、小林登喜江、齋藤有紀、坂本民子、佐竹里佳、重田恵子、鈴木勝弘、鈴木千恵子、須藤さち子、関田成美、高橋けい子、高貝しづ子、丹治つや子、當山りえ、中川圭子、中田藤子、野岡由紀子、比嘉洋子、深谷美奈子、福田美枝子、藤丸亮介、増澤勝美、松平静、山内康代、矢作梓、米田昇三、若林紀美代

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として、遺構配置図 1:300、遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30、炉などの詳細図 1:30、土器実測図 1:4、土器拓影図 1:4、石器実測図 1:4、2:3、銭 1:1 である。
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - (3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示は、

攪乱		地山(ローム)		焼土		コンクリート	
赤彩		釉		煤			
土器	●	石器	★	黒曜石	▲	チャート	□
						礫	○
						炭	■
 - (4) 土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
 - (5) 遺構・遺物実測図中の▲▼マークは、図の接続、結合を示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会に保管してある。

埼玉県ふじみ野市
市内遺跡群 22 目次

はじめに	i		
例言	ii		
凡例	iii		
目次	iv		
挿図目次	v		
表目次	vi		
写真図版目次	vi		
第1章 遺跡の調査と概要	1	IV 松山遺跡第 84 地点	80
I 調査に至る経過	1	V 松山遺跡第 85 地点	81
II 立地と環境	3	第13章 江川東遺跡の調査	82
III 市内の遺跡	4	I 遺跡の立地と環境	82
第2章 鶴ヶ岡遺跡の調査	8	II 江川東遺跡第 24 地点	83
I 遺跡の立地と環境	8	第14章 東久保遺跡の調査	84
II 鶴ヶ岡遺跡第 6 地点	8	I 遺跡の立地と環境	84
III 鶴ヶ岡遺跡第 7 地点	8	II 東久保遺跡第 72 地点	84
第3章 西遺跡の調査	10	第15章 東中学校西遺跡の調査	86
I 遺跡の立地と環境	10	I 遺跡の立地と環境	86
II 西遺跡第 2 地点	10	II 東中学校西遺跡第 36 地点	86
III 西遺跡第 3 地点	16	第16章 西ノ原遺跡の調査	88
第4章 北野遺跡の調査	26	I 遺跡の立地と環境	88
I 遺跡の立地と環境	26	II 西ノ原遺跡第 164 地点	93
II 北野遺跡第 31 地点	27	III 西ノ原遺跡第 165 地点	97
III 北野遺跡第 32 地点	28	IV 西ノ原遺跡第 166 地点	97
IV 北野遺跡第 33 地点	28	V 西ノ原遺跡第 167 地点	98
V 北野遺跡第 34 地点	29	第17章 神明後遺跡の調査	99
VI 北野遺跡第 35 地点	29	I 遺跡の立地と環境	99
VII 北野遺跡第 36 地点	30	II 神明後遺跡第 54 地点	99
VIII 北野遺跡第 37 地点	30	第18章 淨禪寺跡遺跡の調査	101
第5章 川崎遺跡の調査	31	I 遺跡の立地と環境	101
I 遺跡の立地と環境	31	II 淨禪寺跡遺跡第 40 地点	101
II 川崎遺跡第 42 地点	35	III 淨禪寺跡遺跡第 41 地点	103
III 川崎遺跡第 43 地点	37	第19章 小田久保遺跡の調査	104
IV 川崎遺跡第 44 地点	38	I 遺跡の立地と環境	104
第6章 ハケ遺跡の調査	40	II 小田久保遺跡第 11 地点	105
I 遺跡の立地と環境	40	III 小田久保遺跡第 12 地点	105
II ハケ遺跡第 21 地点	41	第20章 大井氏館跡遺跡の調査	106
第7章 権現山遺跡の調査	42	I 遺跡の立地と環境	106
I 遺跡の立地と環境	42	II 大井氏館跡遺跡第 26 地点	106
II 権現山遺跡第 26 地点	43	第21章 本村遺跡の調査	108
第8章 滝遺跡の調査	44	I 遺跡の立地と環境	108
I 遺跡の立地と環境	44	II 本村遺跡第 129 地点	110
II 滝遺跡第 26 地点	48	III 本村遺跡第 130 地点	112
III 滝遺跡第 27 地点	59	IV 本村遺跡第 131 地点	113
第9章 長宮遺跡の調査	62	第22章 東台遺跡の調査	114
I 遺跡の立地と環境	62	I 遺跡の立地と環境	114
II 長宮遺跡第 52 地点	62	II 東台遺跡第 60 地点	116
第10章 亀居遺跡の調査	69	第23章 まとめ	117
I 遺跡の立地と環境	69	附編	119
II 亀居遺跡第 75 地点	69	写真図版	121
III 亀居遺跡第 76 地点	70	抄録	148
IV 亀居遺跡第 77 地点	70		
第11章 鶴ヶ舞遺跡の調査	72		
I 遺跡の立地と環境	72		
II 鶴ヶ舞遺跡第 23 地点	72		
III 鶴ヶ舞遺跡第 24 地点	73		
第12章 松山遺跡の調査	74		
I 遺跡の立地と環境	74		
II 松山遺跡第 82 地点	78		
III 松山遺跡第 83 地点	79		

挿図目次

第1図	ふじみ野市の位置と周辺の地形	4	第48図	長宮遺跡遺構分布図(1/2,500)	65
第2図	ふじみ野市遺跡分布図(1/30,000)	6	第49図	長宮遺跡第52地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・井戸・ピット・溝(1/60)	66
第3図	鶴ヶ岡遺跡の地形と調査区(1/4,000)	8	第50図	長宮遺跡第52地点出土遺物①(1/4・1/6)、トレンチ・土坑・井戸・ピット・土層説明	67
第4図	鶴ヶ岡遺跡第7地点遺構配置図(1/500)、土層(1/150)、土坑(1/60)、出土遺物(1/4)	9	第51図	長宮遺跡第52地点出土遺物②(1/4・1/1)	68
第5図	西遺跡の地形と調査区(1/4,000)	10	第52図	亀居遺跡の地形と調査区(1/4,000)	69
第6図	西遺跡遺構分布図(1/2,000)	12	第53図	亀居遺跡第75～77地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、第75地点出土遺物(1/4)	71
第7図	西遺跡第2地点遺構配置図(1/500)	13	第54図	鶴ヶ舞遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第23地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	72
第8図	西遺跡第2地点24～26号住居跡・土坑・ピット(1/60)	14	第55図	鶴ヶ舞遺跡第24地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	73
第9図	西遺跡第2地点出土遺物(1/4・2/3)	15	第56図	松山遺跡の地形と調査区(1/4,000)	74
第10図	西遺跡第3地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)	17	第57図	松山遺跡遺構分布図(1/3,000)	76
第11図	西遺跡第3地点27・28号住居跡(1/60)、炉(1/30)	18	第58図	松山遺跡第82地点遺構配置図(1/300)、堀跡(1/60)、出土遺物(1/4)	78
第12図	西遺跡第3地点29号住居跡・土坑(1/60)、集石土坑(1/30)	19	第59図	松山遺跡第83地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)	79
第13図	西遺跡第3地点出土遺物①(1/4・2/3)	20	第60図	松山遺跡第84地点遺構配置図(1/300)	80
第14図	西遺跡第3地点出土遺物②(1/4)	21	第61図	松山遺跡第84地点H35号住居跡・掘方・井戸(1/60)、出土遺物(1/4)	81
第15図	西遺跡第3地点出土遺物③(1/4)	22	第62図	江川東遺跡の地形と調査区(1/4,000)	82
第16図	西遺跡第3地点出土遺物④(1/4)	23	第63図	江川東遺跡第24地点調査区域図(1/300)	83
第17図	北野遺跡の地形と調査区(1/4,000)	26	第64図	東久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第72地点遺構配置図(1/300)、溝(1/60)	84
第18図	北野遺跡第31地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	27	第65図	東中学校西遺跡の地形と調査区(1/4,000)	86
第19図	北野遺跡第31地点出土遺物(1/4)、第32地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	28	第66図	東中学校西遺跡第36地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	87
第20図	北野遺跡第34地点遺構配置図・35地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、ピット(1/60)、第34地点出土遺物(1/4)	29	第67図	西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)	88
第21図	北野遺跡第36・37地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、第36地点出土遺物(1/4)	30	第68図	西ノ原遺跡遺構分布図(1/2,000)	92
第22図	川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)	31	第69図	西ノ原遺跡第164地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、218号住居跡・ピット(1/60)、炉(1/30)	94
第23図	川崎遺跡遺構分布図(1/2,500)	33	第70図	西ノ原遺跡第164地点屋外埋喪(1/30)、土坑(1/60)、溝(1/100)	95
第24図	川崎遺跡第42地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、H79号住居跡(1/60)	35	第71図	西ノ原遺跡第164地点出土遺物(1/4)	96
第25図	川崎遺跡第42地点出土遺物(1/4)	36	第72図	西ノ原遺跡第165・166地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	97
第26図	川崎遺跡第43地点遺構配置図(1/300)、焼土(1/30)、出土遺物(1/4)	37	第73図	西ノ原遺跡第167地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)	98
第27図	川崎遺跡第44地点遺構配置図(1/300)、地下式坑(1/60)	38	第74図	神明後遺跡地形と調査区(1/4,000)	99
第28図	川崎遺跡第44地点貝層(1/30)、地下式坑出土貝層の貝類遺体組成	39	第75図	神明後遺跡第54地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	100
第29図	ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)	40	第76図	浄禅寺跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第40地点出土遺物(1/4)	101
第30図	ハケ遺跡第21地点調査区域図(1/300)	41	第77図	浄禅寺跡遺跡第41地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット(1/60)、出土遺物(1/4)	103
第31図	権現山遺跡の地形と調査区(1/4,000)	42	第78図	小田久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)	104
第32図	権現山遺跡第26地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	43	第79図	小田久保遺跡第11・12地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	105
第33図	滝遺跡の地形と調査区(1/4,000)	44	第80図	大井氏館跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)	106
第34図	滝遺跡遺構分布図(1/2,000)	46	第81図	大井氏館跡遺跡第26地点調査区域図(1/300)、土層(1/60)、出土遺物(1/4)	107
第35図	滝遺跡第26地点遺構配置図(1/300)	48	第82図	本村遺跡の地形と調査区(1/5,000)	108
第36図	滝遺跡第26地点H42号住居跡(1/60)、竈(1/30)	49	第83図	本村遺跡第129地点遺構配置図(1/300)、土層(1/60・1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4)	111
第37図	滝遺跡第26地点H43号住居跡(1/60)	50	第84図	本村遺跡第130地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット(1/60)、出土遺物(1/4)	112
第38図	滝遺跡第26地点H43号住居跡竈・掘方(1/30)、土坑(1/60)	51	第85図	本村遺跡第131地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	113
第39図	滝遺跡第26地点井戸①・落とし穴(1/60)	52	第86図	東台遺跡の地形と調査区(1/5,000)	114
第40図	滝遺跡第26地点井戸②・ピット①(1/60)	53	第87図	東台遺跡第60地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	116
第41図	滝遺跡第26地点ピット②(1/60)	54			
第42図	滝遺跡第26地点溝(1/60)	55			
第43図	滝遺跡第26地点出土遺物①(1/4・1/1)	57			
第44図	滝遺跡第26地点出土遺物②(1/4)	58			
第45図	滝遺跡第27地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、H44号住居跡・掘方(1/60)、遺物出土状況(1/30)	60			
第46図	滝遺跡第27地点出土遺物(1/4)	61			
第47図	長宮遺跡の地形と調査区(1/4,000)	62			

表 目 次

第1表	過去3年間の調査件数と面積一覧表	1	第27表	滝遺跡第26地点ピット一覧表	56
第2表	2015(平成27)年度埋蔵文化財調査一覧表	2	第28表	滝遺跡第26地点出土遺物観察表	58
第3表	2015(平成27)年度立会い調査一覧表1(埋蔵文化財包蔵地内)	3	第29表	滝遺跡第27地点出土遺物観察表	61
第4表	2015(平成27)年度立会い調査一覧表2(埋蔵文化財包蔵地外)	3	第30表	長宮遺跡調査一覧表	63
第5表	ふじみ野市遺跡一覧表	7	第31表	長宮遺跡第52地点ピット一覧表	66
第6表	縄文時代中期時期細対比表	7	第32表	長宮遺跡第52地点出土遺物観察表	68
第7表	鶴ヶ岡遺跡調査一覧表	9	第33表	長宮遺跡第52地点出土石器観察表	68
第8表	西遺跡調査一覧表	11	第34表	亀居遺跡調査一覧表	70
第9表	西遺跡縄文時代住居跡一覧表	11	第35表	鶴ヶ舞遺跡調査一覧表	73
第10表	西遺跡第2地点出土遺物観察表	16	第36表	松山遺跡調査一覧表	75
第11表	西遺跡第3地点J27号住居内ピット一覧表	17	第37表	松山遺跡古代住居跡一覧表	77
第12表	西遺跡第3地点集石土坑・出土礫観察表	19	第38表	江川東遺跡調査一覧表	82
第13表	西遺跡第3地点出土遺物観察表	24	第39表	東久保遺跡調査一覧表	85
第14表	北野遺跡調査一覧表	27	第40表	東中学校西遺跡調査一覧表	87
第15表	北野遺跡第31地点出土遺物観察表	28	第41表	西ノ原遺跡調査一覧表	89
第16表	川崎遺跡調査一覧表	32	第42表	西ノ原遺跡住居跡一覧表	90
第17表	川崎遺跡古代住居跡一覧表	34	第43表	西ノ原遺跡第164地点土坑一覧表	93
第18表	川崎遺跡第42地点出土遺物観察表	36	第44表	西ノ原遺跡第164地点出土遺物観察表	96
第19表	川崎遺跡第44地点地下式坑出土土層の貝類出土量と混貝率	39	第45表	神明後遺跡調査一覧表	100
第20表	ハケ遺跡調査一覧表	41	第46表	浄禅寺跡遺跡調査一覧表	102
第21表	権現山遺跡調査一覧表	43	第47表	小田久保遺跡調査一覧表	104
第22表	滝遺跡調査一覧表	45	第48表	大井氏館跡遺跡調査一覧表	106
第23表	滝遺跡古代住居跡一覧表	47	第49表	本村遺跡調査一覧表	109
第24表	滝遺跡第26地点H43号住居内ピット一覧表	50	第50表	本村遺跡第130地点ピット一覧表	112
第25表	滝遺跡第26地点土坑一覧表	56	第51表	東台遺跡調査一覧表	115
第26表	滝遺跡第26地点井戸一覧表	56			

写真図版目次

写真図版1	鶴ヶ岡遺跡第7地点、西遺跡第2地点(1)	121	写真図版15	滝遺跡第26(6)・27(1)地点	135
写真図版2	西遺跡第2地点(2)	122	写真図版16	滝遺跡第27地点(2)	136
写真図版3	西遺跡第2地点(3)	123	写真図版17	長宮遺跡第52地点(1)	137
写真図版4	西遺跡第3地点(1)	124	写真図版18	長宮遺跡第52地点(2)、亀居遺跡第75地点	138
写真図版5	西遺跡第3地点(2)	125	写真図版19	亀居遺跡第76・77地点、鶴ヶ舞遺跡第23・24地点	139
写真図版6	西遺跡第3地点(3)	126	写真図版20	松山遺跡第82・83・84(1)地点	140
写真図版7	北野遺跡第31・32・34地点	127	写真図版21	松山遺跡第84地点(2)、江川東遺跡第24地点、 東久保遺跡第72地点、東中学校西遺跡第36地点	141
写真図版8	北野遺跡第35・36・37地点、川崎遺跡第42地点(1)	128	写真図版22	西ノ原遺跡第164地点(1)	142
写真図版9	川崎遺跡第42(2)・43地点	129	写真図版23	西ノ原遺跡第164(2)・165・166地点	143
写真図版10	ハケ遺跡第21地点、権現山遺跡第26地点、 滝遺跡第26地点(1)	130	写真図版24	西ノ原遺跡第167地点、神明後遺跡第54地点、 浄禅寺跡遺跡第40・41地点	144
写真図版11	滝遺跡第26地点(2)	131	写真図版25	小田久保遺跡第11・12地点、大井氏館跡遺跡第26地点	145
写真図版12	滝遺跡第26地点(3)	132	写真図版26	本村遺跡第129・130(1)地点	146
写真図版13	滝遺跡第26地点(4)	133	写真図版27	本村遺跡第130(2)・131地点、東台遺跡第60地点	147
写真図版14	滝遺跡第26地点(5)	134			

第1章 遺跡の調査と概要

I 調査に至る経過

埼玉県ふじみ野市は、首都圏 30 km圏内の県南西部に位置する。2005(平成 17)年 10月 1日に、上福岡市と大井町が合併して誕生した。面積 14.64 km²、人口は 2018(平成 30)年 7月現在 114,163 人である。

旧上福岡市地域では明治・大正時代頃までは畑作と稲作、旧大井町地域では畑作を中心とする農村地帯であった。また、近世以降は川越街道(大井宿)や新河岸川(福岡河岸)、東武東上線(上福岡駅)などの交通網が発達した交通の要所でもあった。

昭和初期の太平洋戦争時には、旧福岡村に通信施設や旧日本陸軍造兵廠東京工廠福岡工場(火工廠)が建設され、戦後の昭和 30 年代以降には各市町で中・小の宅地開発や大規模な団地が誕生し人口が急増した。また企業の工場や研究所も多数進出してきた。昭和 60 年代以降、旧大井町地域では大規模な土地区画整理事業が進み、埋蔵文化財の発掘調査も行われた。現在は上福岡駅周辺の再開発と、ふじみ野駅周辺の民間開発が活発に行われている。

ふじみ野市では平成 17 年から国庫・県費の補助を受けて、「市内遺跡群発掘調査事業」(旧上福岡市、旧大井町では昭和 53 年度から合併まで)として試掘・確認調査及び個人住宅建設に伴う発掘調査を実施してきた。また民間の開発に伴う本調査も原因者と協議の上、協定書並びに契約書を締結し原因者負担のもと、市教育委員会が主体となって本調査を実施している。

埋蔵文化財の調査は、庁内関係各課と連絡調整を行い、農業委員会事務局からの農地転用許可申請段階、

建設課(民間の指定確認検査機関含む)への建築確認申請段階、都市整備課からの開発行為の事前申請段階等でそれぞれチェックされる。その後、教育委員会では開発主体者または土地所有者から「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」(以下「埋蔵文化財事前協議書」)の提出を受けて事前協議を行った。埋蔵文化財包蔵地内及びその縁辺部の申請に対して遺跡地図と照合のうえ、現地踏査を実施し現地の状況を確認の上、遺跡に影響を及ぼすとみなされる開発行為に対して申請者に連絡をして協議を行った。

協議後、文化財保護法第 99 条第 5 項にもとづき、民間・公共事業を問わず確認調査については全て公費で対応し、埋蔵文化財包蔵地の詳細な範囲の把握を積極的に実施している。また、その個人の用に供する住宅(個人住宅)の建設に伴う発掘調査についても、教育委員会が発掘調査主体者となって調査を実施した。

2015 年度の試掘及び発掘調査は第 2 表のとおりで、国庫・県費補助事業対象の調査 15 件である。また、試掘調査の結果、個人住宅建設に伴う本調査 1 件、公共事業に伴う本調査 0 件、民間開発に伴う本調査 7 件を行った。開発面積は 26,577.58 m²で、そのうち実質調査面積は試掘 6,224.98(本調査面積 1,636.0) m²である。過去 3 年間の調査件数と調査面積を第 1 表に掲載する。

今後、中小規模の再開発を含む民間開発の増加が見込まれる中で、埋蔵文化財の保存及び活用と、調査体制の強化が求められるところである。

第 1 表 過去 3 年間の調査件数と面積一覧表

年度	件数・内訳		原因者負担		調査原因の内訳
	試掘件数	個人住宅	原因者負担		
	開発面積 m ²	本調査件数	本調査件数		
2013 (平成 25) 年度	54 件	3 件	6 件		個人住宅 20、共同住宅 5、分譲住宅 13、宅地造成等 4、道路 4、店舗 4、高齢者デイサービスセンター等 2、神社社務所 1、苗間薬師堂 1
	86,664	769	63,501		
2014 (平成 26) 年度	46 件	6 件	7 件		個人住宅 20、分譲住宅 12、共同住宅 5、事務所 1、葬祭場 1、宅地造成 3、病院増築 1、駐車場 1、店舗 1、道路 1
	27,152	128	1,418		
2015 (平成 27) 年度	47 件	1 件	7 件		個人住宅 17、共同住宅 6、分譲住宅 13、宅地造成 5、店舗 1、駐車場 2、保育所 1、老人介護施設 1、集会所 1
	25,714	368	9,108		

第2表 2015(平成27)年度埋蔵文化財調査一覧表

No.	遺跡・地点名	申請地住所	開発面積 (㎡)	試掘面積	原因		試掘期間		調査措置
					個人住宅 本調査面積	民間開発 本調査面積	本調査期間		
1	鶴ヶ岡遺跡第6地点	鶴ヶ岡3-3-20の一部	1983.51	614	16	保育所	5/15~27 7/10~8/19	試掘調査・本調査	
2	鶴ヶ岡遺跡第7地点	鶴ヶ岡3-3-20・21	1731.79	445.5		老人介護施設	12/22~1/29	試掘調査	
3	西遺跡第2地点	西2-5905-1	2393	485.5		共同住宅	5/27~29	試掘調査	
4	西遺跡第3地点	西2-2071-1	476	108.7		共同住宅	1/25~27	試掘調査	
5	北野遺跡第31地点	北野2-2130-4・9	179	21.5		分譲住宅	8/18	試掘調査	
6	北野遺跡第32地点	北野2-1841-7他	209.32	4.5		分譲住宅	8/27	試掘調査	
7	北野遺跡第33地点	北野2-1801-3・4・42・43	627.69	169.55	30	分譲住宅	12/1~8 12/15~21	試掘調査・本調査	
8	北野遺跡第34地点	大原2073-1	276.13	24		共同住宅	12/7~8	試掘調査	
9	北野遺跡第35地点	北野2-2116-4	53	4		個人住宅	12/8	試掘調査	
10	北野遺跡第36地点	大原1-2058-10・11の各一部	212	31.16		共同住宅	2/15~16	試掘調査	
11	北野遺跡第37地点	北野1-3127-23・25	70.25	2.76		個人住宅	3/25	試掘調査	
12	川崎遺跡第42地点	川崎字宅地添233-3	200	39		集会所	6/26・7/2	試掘調査	
13	川崎遺跡第43地点	川崎字宮後165-5・8・9	175.21	20		個人住宅	6/26	試掘調査	
14	川崎遺跡第44地点	川崎字宅地添202-1・8	273.56	123.95	123	分譲住宅	11/24~12/10 1/5~20	試掘調査・本調査	
15	ハケ遺跡第19地点	福岡3-1222-1、1223~1225、1255	2296	572.6	885	宅地造成	4/2~5/11・10/13 6/2~9/19	試掘調査・本調査	
16	ハケ遺跡第20地点	福岡3-1252-1	375	90.4	33	分譲住宅	10/14~16 10/29~30	試掘調査・本調査	
17	ハケ遺跡第21地点	福岡3-1193-4・15、2069-10	101	20.2		個人住宅	1/5	試掘調査	
18	権現山遺跡第26地点	滝1-3-23	97	9		個人住宅	11/30	試掘調査	
19	滝遺跡第26地点	滝2-5-6・8	368.92	242	19.2	個人住宅	10/19~27 11/9~10	試掘調査・本調査	
		滝2-5-39・40・41・42	862.92	131.87		分譲住宅	2016.8/24~9/9	試掘調査	
20	滝遺跡第27地点	滝1-1-25	155	29		個人住宅	11/27~12/1	試掘調査	
21	長宮遺跡第52地点	中央1-3-24	484	110.14		分譲住宅	3/11~17	試掘調査	
22	亀居遺跡第75地点	亀久保2-17-7・10の各一部	244.26	21.7		個人住宅	6/5~8	試掘調査	
23	亀居遺跡第76地点	鶴ヶ岡2-3-2	263	52		分譲住宅	8/6	試掘調査	
24	亀居遺跡第77地点	亀久保2-9-24	168	47.25		個人住宅	3/18	試掘調査	
25	鶴ヶ舞遺跡第23地点	鶴ヶ舞1-73-19	72	10		分譲住宅	6/29	試掘調査	
26	鶴ヶ舞遺跡第24地点	鶴ヶ舞1-67-3・4の一部	499	25.5		個人住宅	8/31	試掘調査	
27	松山遺跡第82地点	本新田411の一部	194	35		個人住宅	7/30~31	試掘調査	
28	松山遺跡第83地点	仲1-2-22	98	6		分譲住宅	8/31	試掘調査	
29	松山遺跡第84地点	築地3-4-13	455	190		宅地造成	9/15~16	試掘調査	
30	松山遺跡第85地点	池上362-1の一部、364の一部、365の一部、366の一部	1244.47	485.6	93	分譲住宅	10/1~19 10/20~26	試掘調査・本調査	
31	江川東遺跡第24地点	東久保1-32-12	91.92	6		個人住宅	11/27	試掘調査	
32	東久保遺跡第72地点	ふじみ野2-6-7	100	7		個人住宅	7/2	試掘調査	
33	東中学校西遺跡第36地点	ふじみ野4-3-6・7	724	134		駐車場	8/11	試掘調査	
34	西ノ原遺跡第164地点	苗間1-15-8	647	245		駐車場	5/11~18	試掘調査	
35	西ノ原遺跡第165地点	旭1-12-1	160	25.8		個人住宅	9/30	試掘調査	
36	西ノ原遺跡第166地点	旭1-13-1・17・18	212.01	15.7		分譲住宅	11/5	試掘調査	
37	西ノ原遺跡第167地点	旭1-8-1	349	83.67		アスファルト造成	11/9~10	試掘調査	
38	神明後遺跡第54地点	苗間字神明後293-7・9	342	6		共同住宅	12/3	試掘調査	
39	浄禅寺跡遺跡第40地点	苗間355-1・2・12	2308.06	619	456	分譲住宅	8/19~9/30 10/1~11/9	試掘調査・本調査	
40	浄禅寺跡遺跡第41地点	苗間字神明前509-1・5	349.73	85.4		分譲住宅	12/21	試掘調査	
41	小田久保遺跡第11地点	大井字西原985-4	330.16	30		個人住宅	5/14	試掘調査	
42	小田久保遺跡第12地点	大井字小田久保1190-1・2・4、1196-1・2	279	24		個人住宅	8/18	試掘調査	
43	大井氏館跡遺跡第26地点	大井1-11-1・2・10・11の各一部、11-8	993.73	12.75		店舗	6/1	試掘調査	
44	本村遺跡第129地点	大井2-20-4	1,253.99	397.3		宅地造成	11/5~13	試掘調査	
45	本村遺跡第130地点	大井2-16-17	776	263.3		宅地造成	11/16~20	試掘調査	
46	本村遺跡第131地点	市沢2-8-2	135.18	22.18		共同住宅	3/4~8	試掘調査	
47	東台遺跡第60地点	大井字東台597-2	687.77	75.5		個人住宅	7/7	試掘調査	
合 計			26,577.58	6,224.98	19.2 1,636.0				

第3表 2015(平成27)年度立会い調査一覧表1(埋蔵文化財包蔵地内)

No	遺跡・地点	申請地住所	開発面積(m ²)	原因	立会日	備考
1	鶴ヶ岡	鶴ヶ岡3-19~17-3		ガス管新設工事	立会済	アスファルト撤去工事時立会、遺構遺物なし慎重工事
2	北野	北野1-3125-5	54	個人住宅	7/7立会	解体工事立会時遺構遺物確認なし、念のため工事立会
3	北野	北野2-5-11~3-22	6.11	ガス管新設工事	調査不可	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
4	川崎横穴墓群	元福岡2-1689-1	59	個人住宅		4/15現地確認解体まだ、基礎工事日連絡待ち
5	川崎	川崎字宅地添224-10	202	個人住宅	3/2基礎工事立会	約80cm盛土有、遺構遺物なし、念のため工事立会
6	権現山	滝1-3-36	92	個人住宅	9/15立会	既存建物撤去時深さ確認、遺構遺物なし、念のため工事立会
7	西原	上ノ原1-2-46	173	個人住宅	6/3基礎撤去時立会	解体立会時一部試掘、確認面まで90cm遺構遺物なし、保護層有工事立会
8	長宮	中央2-3-23	120.02	分譲住宅	立会済	4/13~30までに解体工事、発掘届けは後日、No131と重複
9	長宮	中央2-3-23	120	分譲住宅	4/20立会	立会済み(確認調査)遺構遺物なし、慎重工事
10	鶴ヶ舞	福岡武蔵野1411-1の一部・3・6	1968.86	幼稚園	9/17立会	周辺部調査により遺構遺物分布の可能性薄く、工事立会
11	鶴ヶ舞	鶴ヶ舞1-67-3	499.49	支線改修工事	10/22立会	立会済、遺構遺物確認なし慎重工事
12	鶴ヶ舞	鶴ヶ舞1-85-10	42	電柱移設	調査不可	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
13	鶴ヶ舞	鶴ヶ舞1-67-3・6	411.87	集合住宅	2/3立会	立会済
14	鶴ヶ舞	鶴ヶ舞1-58-1		ガス管新設工事		狭小地につき工事立会
15	松山	築地1-1-12		ガス管新設工事	7/8立会	立会済
16	松山	築地3-2-10	165.61	個人住宅		地山ロームまで約80cm、20~30cm盛土されており保護層有工事立会
17	松山	松山2-4-6	429.13	分譲住宅	7/23立会	7/23解体時立会一部試掘遺構遺物なし深さ80cm、念のため工事立会
18	松山	築地1-1-42・43・47	159	個人住宅	12/2立会	12/2基礎撤去工事立会、現地表面下80cmで地山黒色土層確認、保護層有慎重工事
19	松山	築地3-5-64~5-9	4	ガス管新設工事	8/7立会	遺構遺物なし慎重工事
20	江川東	東久保1-37	115	個人住宅	7/28立会	立会時一部試掘、念のため工事立会
21	江川東	東久保1-148-2	424.62	電柱新設工事		狭小地につき調査不可、工事立会
22	駒林	駒林元町2-1-18	200.39	個人住宅	4/15現地確認	確認時建設中、本体終了外溝のみ、立会不可
23	駒林	駒林元町1-8-1	1	本柱・地支線新設	4/16立会	4/16立会、地山ロームGL下40cm、遺構遺物なし
24	東中学校西	ふじみ野3-9-4の一部	213.59	店舗(薬局)	3/30立会	駐車場アスファルト撤去時立会、地山ロームまで約40cm、20~25cm盛土予定、保護層有工事立会
25	西ノ原	旭1-14-3	1602	土地利用に伴う電柱移設		狭小地につき調査不可、工事立会
26	神明後	苗間311-1	597	設備不良に伴う支線改修工事		掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
27	浄禅寺跡	苗間581-1	1	電柱移設	4/3立会	50cm以上黒色土以下ローム地山有、掘削面積狭く調査不可、工事立会
28	浄禅寺跡	苗間字東久保580-22、581-3	139	個人住宅	7/22立会	S59年に北半分調査済(浄禅寺跡3)、H25.11.26ブロック工事時一部試掘済、遺構なし慎重工事
29	浄禅寺跡	苗間字東久保718-7・9	294.31	幼稚園	9/30立会	現地表面盛土、保護層有工事立会、遺構なし
30	浄禅寺跡	苗間340-29	67.42	建売住宅	1/28立会	遺構遺物なし、慎重工事
31	浄禅寺跡	苗間508-5	19.6	ガス管新設工事	調査不可	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
32	小田久保	大井字西原1051-1の一部	106.66	賃貸住宅	4/7立会	解体工事立会90cm以上表土層有、工事立会
33	小田久保	大井1196-1	1	本柱撤去・新設	7/8立会	掘削面積狭く調査不可、工事立会
34	本村	市沢2丁目5-5	2997	公園改修工事	8/25立会	既存施設撤去時立会、遺構遺物確認なし
35	西台	大井字西台901-1の一部	221	倉庫	7/30立会	盛土80~100cm有、基礎GLより35cm、基礎撤去時立会遺構遺物なし慎重工事
36	西台	大井字西台894-21	220	個人住宅	11/13立会	基礎撤去時立会、遺構遺物なし慎重工事
37	西台	大井894-2	2928	電柱移設工事	調査不可	狭小地につき調査不可、工事立会

第4表 2015(平成27)年度立会い調査一覧表2(埋蔵文化財包蔵地外)

No	遺跡・地点	申請地住所	開発面積(m ²)	原因	立会日	備考
1	長宮隣接	花ノ木1丁目1-33・40・57	181.96	分譲住宅	10/26立会	立会済
2	城山隣接地	福岡字天神畑222-1	499.9	個人住宅	立会済	道路よりも5cm程土盛り
3	東久保隣接	丸山472-1	768	宅地造成	7/15立会	
4	小田久保隣接	大井1051-3・4	3	電柱撤去	7/21立会	立会済
5	西台隣接	大井字西台904-44	139	分譲住宅	立会済	立会済
6		清見1丁目1-5・8・9	2012	店舗	6/24立会	立会済
7		亀久保字大野原1614-2・11	2269.94	工場増築		既存建物撤去時立会、遺構遺物確認なし
8		上福岡5-1129-1・4	2934.07	斎場	9/16立会	立会済
9		亀久保字大野原1609-3・5	1380.09	工場	10/14立会	立会済
10		亀久保1丁目13-2・3・4の一部・5	1823	保育所	11/6立会	立会済
11		市沢1-6-30の一部、6-4の一部、6-5・6・7	1184	サービス付高齢者向け住宅		立会済
12		上福岡5-8053-1 他12筆	1470.04	保育園	10/7立会	立会済
13		大井中央2-1196-2・3・33	8127.43	地中埋設物調査・開発造成	3/18立会	立会済

II 立地と環境

ふじみ野市は埼玉県の南西部に位置し、市内には国道254号バイパス、東武東上線、川越街道(国道254号線)、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市内の開発はこうした幹線沿いや、東武東上線福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畑地や田園風景も多くみられる。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地と荒川低地に大きく分かれ、旧大井町域は武蔵野台地縁辺部に位置し、旧上福岡市域は台地縁辺部から荒川低地の沖積地に広がる。

武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高180m、扇端部は標高15~20mで比高差10m前後の急斜面となって荒川低地と接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と沖積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が

流れ、台地縁辺を鋸歯状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していくことがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町地域を南北方向の断面図で見ると、北と南に高台が続き、その中間に低位台地(大井台)がある。この大井台の中を3本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭山丘陵に流れを発する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、浄禅寺川などの小河川は市内に湧水源をもつ。湧水源は浅い窪地から発しており、こうした窪地の形成は従来から伏流水が再湧出したことによるものと、宙水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を発生その流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京

都にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦に見えるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫でできた旧河道(埋没河川)、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。

Ⅲ 市内の遺跡

ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれる。

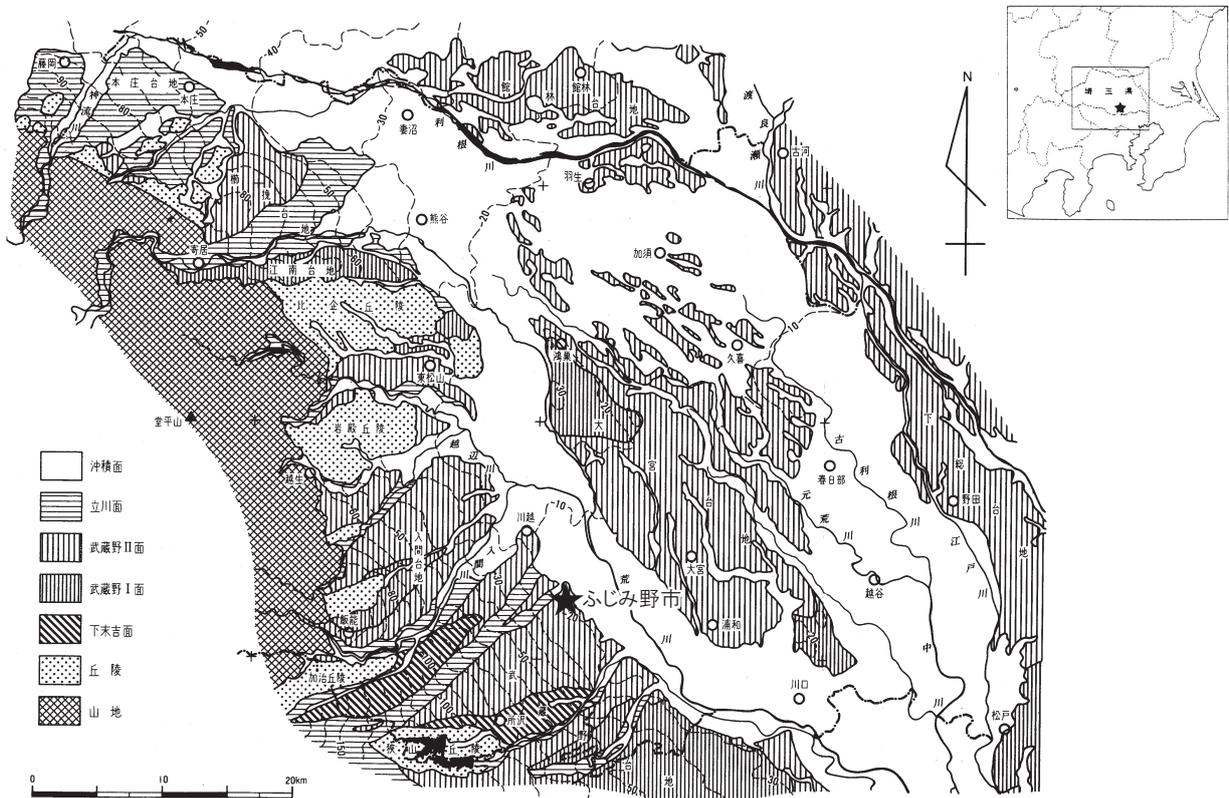
市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

【旧石器時代・縄文時代】 市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡(川越市)が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤間江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として有名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺

跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れる。台地東端は急峻を成し、崖線上には縄文時代中期のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手(北側)を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に対峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期関山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1 km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺域に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ舞遺跡では、旧石器時代立川ローム第IV層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保堀跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。



(原図 堀口1980に一部加筆)

第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

福岡江川の900m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外記塚遺跡(富士見市)で立川ロームⅢ層～Ⅹ層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6mの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連綿と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるA T降灰前(立川ロームⅦ層)の石器を本村遺跡の微高地上から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では炉穴、落とし穴が散在する。

【弥生・古墳時代】 荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐島遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群(埼玉県指定史跡権現山古墳群)は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳(2号墳)1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群(通称権現山北古墳群)3基がある。ハケ遺跡第16地点の調査(2014)で、古墳の周溝から、6世紀中葉とみられる複数の人物埴輪と円筒埴輪が新たに発見されたが、古墳の形態や主体部については不明である。また第19地点の調査(2015)では6世紀代の円墳3基が新たに発見され、群集墳であることが判明した。

他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】 7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が

存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉～9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐島遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。またハケ遺跡からは銚子金具が、川崎遺跡からは瓦塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

【中世】 駒林遺跡では14世紀代に造立された板碑の下に、蔵骨器が埋納された葺石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶毘跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、本村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に本村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半～17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、浄禅寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ばせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】 近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地藏院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である浄禅寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鷲森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である東京第一陸軍造兵廠川越製作所(通称造兵廠「火工廠」)の跡地で、防爆土塁・防空壕・水溜・消火栓・排水枳などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。



ふじみ野市全図

第2図 ふじみ野市遺跡分布図 (1/30,000)

第5表 ふじみ野市遺跡一覧表

No.	遺跡名	主 な 時 代	遺跡番号	No.	遺跡名	主 な 時 代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡外遺跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-036	25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-042
2	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047	26	駒林遺跡	近世の堀跡・中世の墳墓	25-013
3	西遺跡	縄文中期の集落跡	25-001	27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地、中・近世寺院	25-015
4	北野遺跡	縄文中期、奈良・平安の集落	25-002	28	鷲森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004	29	伊佐島遺跡	古墳前期、平安の集落跡	25-021
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡	25-003	30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期、近世の集落跡	30-008
7	ハケ遺跡	縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡、6世紀代の古墳群	25-005	31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-032
8	上福岡貝塚	縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡	25-006	32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-001
9	権現山遺跡群(古墳群)	古墳前期の集落跡・古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落	25-007	33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-044
10	滝遺跡	縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡	25-008	34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-041
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025	35	苗間東久保遺跡	旧石器、縄文早期～後期	30-020
12	長宮遺跡	縄文前期、中・近世の集落跡	25-009	36	浄禅寺跡遺跡	旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡	30-022
13	亀居遺跡	旧石器、縄文前期・中期の集落跡	30-030	37	小田久保遺跡	旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡	30-040
14	鶴ヶ舞遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡	30-046	38	大井宿遺跡	近世～近代の宿場跡	30-010
15	富士見台横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-011	39	大井氏館跡遺跡・大井戸遺跡	旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡	30-037
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023	40	本村遺跡	旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡	30-034
17	松山遺跡	奈良・平安、中・近世の集落跡	25-010	41	西台遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡	30-039
18	天神廻遺跡	古墳中期の散布地	25-018	42	大井戸上遺跡	旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡	30-014
19	城山遺跡	中・近世の館跡	25-019	43	東台遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、製鉄遺跡	30-024
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020	44	大井宿木戸跡	近世～近代の宿場跡	30-048
21	江川南遺跡	旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡	30-007	45	石塔畑	中世の散布地	30-027
22	江川東遺跡	奈良・平安、近世の集落跡	30-045				
23	東久保遺跡	旧石器、縄文中期、近世の集落跡	30-009				
24	亀久保堀跡遺跡	中世の堀跡	30-006				

第6表 縄文時代中期時期細分対比表

本書 2018 ①	安孫子昭二 1988 鈴木・山本 1988 ②	植木 弘 ③ 1994	黒尾和久 ④ 1995	谷井 他 ⑤ 1982	考古学協会 ⑥ 1981	
狛沢・阿玉台Ⅰ古	狛沢・阿玉台Ⅰ古	狛沢・阿玉台Ⅰ古	1a 中 1a 新 1b 2a 古 2a 新 2b 3a 3b 古 3b 新	阿玉台Ⅰ古Ⅳb	Ⅱ期 阿玉台出現期	
勝坂Ⅰ古・新道古・阿玉台Ⅰb新 勝坂Ⅰ新・新道新・阿玉台Ⅱ古	勝坂第Ⅰ様式 Ⅱ様式	勝坂Ⅰ様式 Ⅱ様式		中期 中葉 後半 勝坂	阿玉台Ⅰ古Ⅴa Ⅴb Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅷ	Ⅲ期 (勝坂最古段階)
勝坂Ⅱ古・藤内古・阿玉台Ⅱ新 勝坂Ⅱ新・藤内新	Ⅲ様式 Ⅳ様式	Ⅲ様式 Ⅳ様式				Ⅳ期 (勝坂盛時段階)
勝坂Ⅲ古・井戸尻・阿玉台Ⅲ古 勝坂Ⅲ新・阿玉台Ⅲ新	Ⅴ様式 Ⅵ様式	Ⅴ様式 Ⅵ様式				Ⅴ期 (勝坂終末)
加曾利EⅠ古	加曾利EⅠ様式	加曾利EⅠ直前				a b
加曾利EⅠ新	古相 中相 新相 加曾利EⅡ様式	加曾利EⅠ式		c 1 2 3 4 後半	Ⅸa Ⅸb X	加曾利EⅠ新
加曾利EⅡ	古相 中相 新相 加曾利EⅢ様式	加曾利EⅡ式	1 2 3 加曾利	2c 古 2c 新 3a	加曾利EⅡ	
加曾利EⅢ	加曾利EⅣ様式 ^a	加曾利EⅢ式	1 2 利	3b 3c	加曾利EⅢ	
加曾利EⅣ	加曾利EⅣ様式 ^b		E E4	4	加曾利EⅣ	

第2章 鶴ヶ岡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

鶴ヶ岡遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ藤間江川に面した標高22mの台地北縁に立地する東西200m以上の広い遺跡であり、その範囲は、川越市とふじみ野市にまたがっている。表面採集の遺物として、縄文早期のほか中期の各時期、平安時代の土器が知られており、複合遺跡である事を示している。表面採集の遺物は北の崖面寄りが密であり、住居などの集中部分と思われる。この部分のうち、ふじみ野市鶴ヶ岡八幡神社に接する川越市域部分で、1988年に調査が行われたが、その際に勝坂期末の住居1軒・加曾利E I 新期の住居1軒・加曾利E IV期の土坑などが検出され、ほぼ完形の有孔鏝付土器を含む大量の土器と石器若干が出土している。また、本遺跡の下流にある西遺跡の一部が1992年以降の試掘・発掘調査で、阿玉台I b期、勝坂期II～III期、加曾利E III期の住居など24軒が、確認または検出されている。

ふじみ野市、川越市にまたがる本遺跡のうち、ふじみ野市分は1991年に旧大井町の体験学習園開設のため初めて試掘調査を実施し、2018年4月現在、7地点で試掘調査、本調査を行っている。2015年7月の

第6地点の調査で、本遺跡で初めて旧石器時代と縄文時代早期の炉穴群が検出された。2001年7月に埼玉県教育委員会が本遺跡の南西側を試掘調査しているが、遺構・遺物は確認されていない。

II 鶴ヶ岡遺跡第6地点

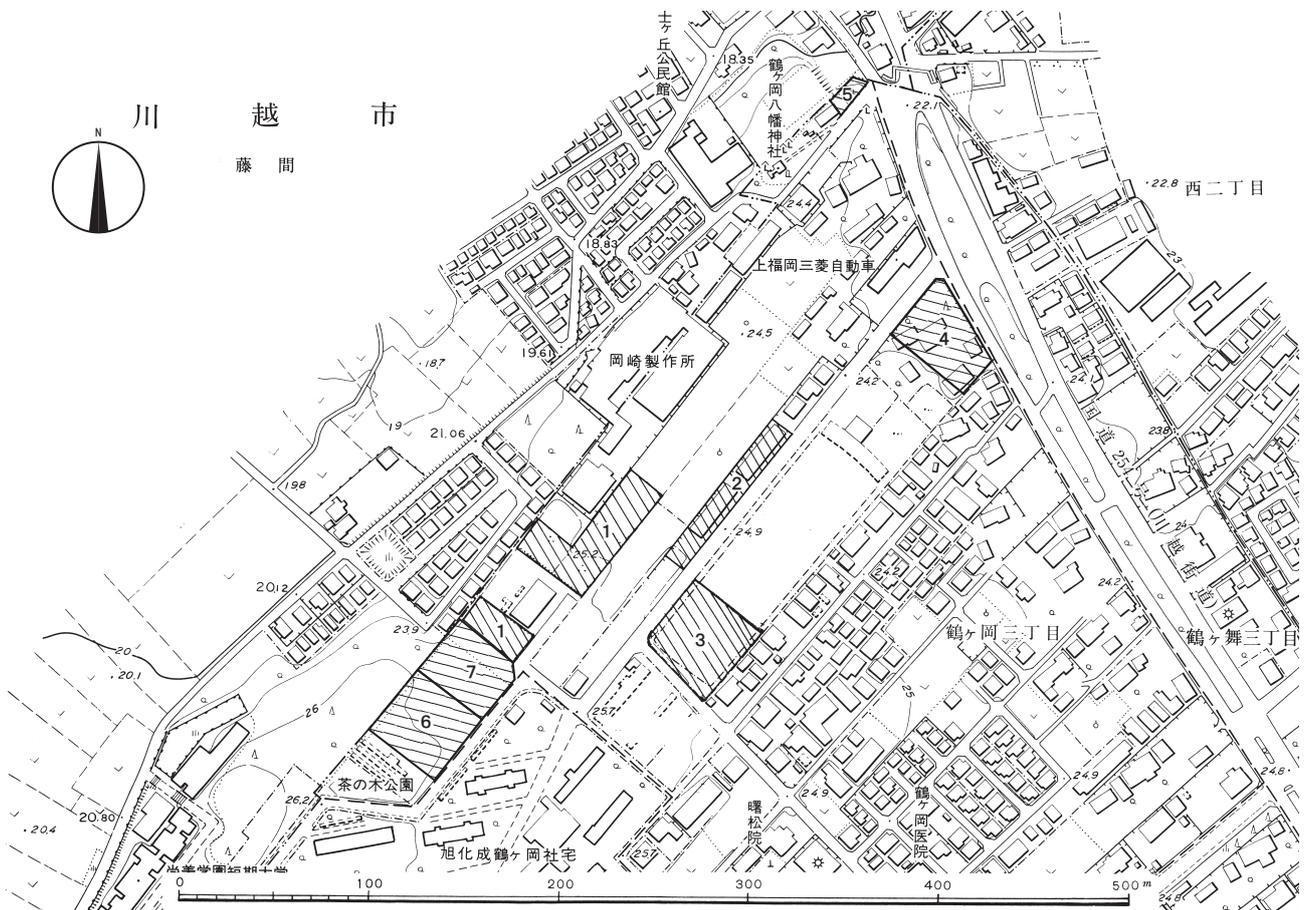
(1) 調査の概要

調査は保育園建設に伴い、2015年5月15日～27日に試掘調査、7月10日～8月19日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛した。

III 鶴ヶ岡遺跡第7地点

(1) 調査の概要

調査は老人ホーム建設に伴うもので、原因者より2015年10月21日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年12月22日～2016年1月29日に試掘調査を実施した。



第3図 鶴ヶ岡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

試掘調査は、幅 1.5～2m のトレンチ 11 本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは 50～60cm である。調査区北西側で東西方向に延伸する根切り溝と、調査区中央やや東側で土坑 1 基を検出した。土坑 1 は縄文土器片 1 点が出土しているが、土層の観察から中近世以降のものと考えられる。

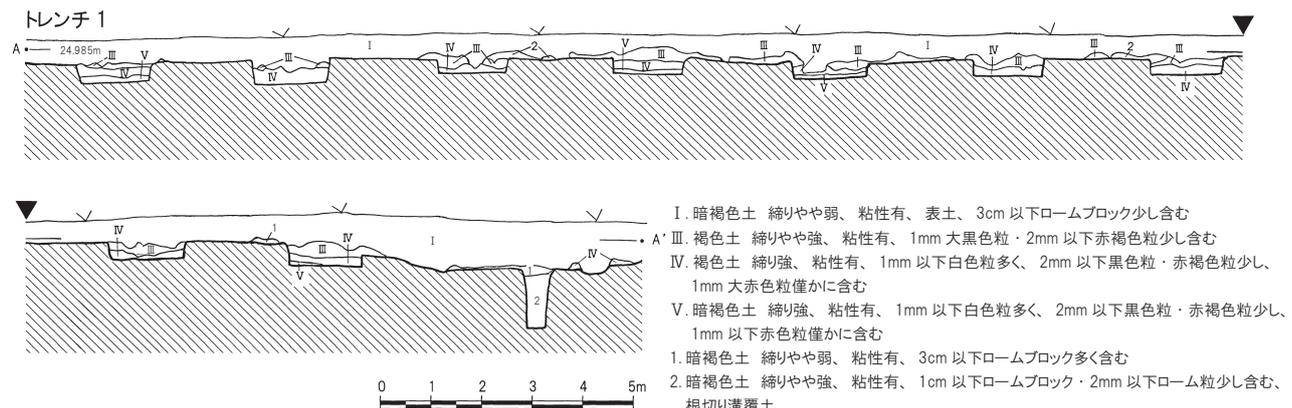
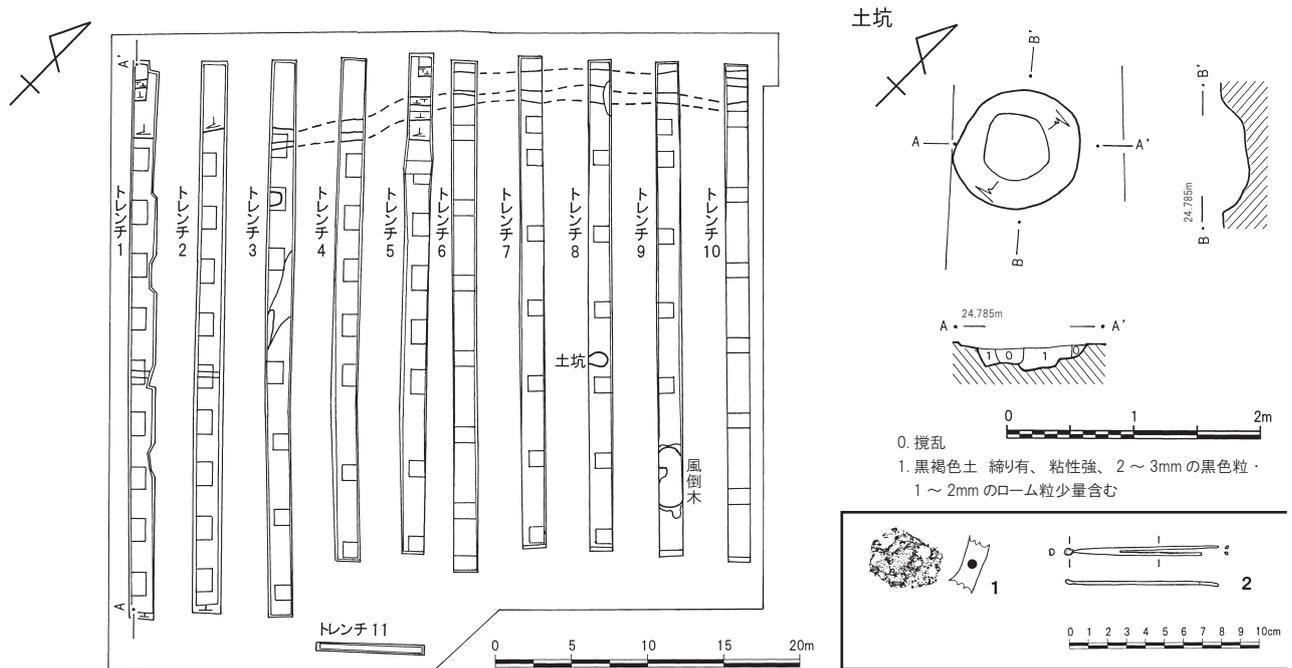
その後、旧石器時代の遺物と遺構を確認するため、トレンチ 1～10 内に 1.5m×2m の小トレンチを約 2m 間隔で設定した。試掘調査の結果、旧石器時代の遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

土坑は調査区中央部やや西寄りのトレンチ 8 で検出した。平面形態は円形で、確認面径 100×95cm、底径 52×52cm、深さ 24.6cm である。土層の観察から近世以降に帰属するものと考えられる。出土遺物はない。

出土遺物はすべて表土中からである。1 は縄文土器片で、外面の摩耗が激しく詳細は不明。胎土に雲母を比較的多く含む。2 は銅製の簪で長さ 8cm、幅 0.45cm、厚さ 0.22cm である。根本は折れて欠落する。先端に耳かきが付くタイプで 18 世紀以降のものであると考えられる。

第7表 鶴ヶ岡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	鶴ヶ岡3-3-1・21	(1991.6.26～7.17)	5,710	体験学習園整備	遺構なし、縄文土器片、銭	町内遺跡群 I
2	鶴ヶ岡3-16-1・14	(2000.4.6～2000.5.16)	1,327	共同住宅	遺構なし、旧石器、縄文土器片	町内遺跡群 X
3	鶴ヶ岡3	(2005.1.7)	2,059	個人住宅	遺構・遺物なし	町内遺跡群 XII
4	鶴ヶ岡3-18-1・12、23-3、26-6	(2005.5.12)	1,742	店舗	土坑、縄文土器片	市内遺跡群 2
5	鶴ヶ岡3-1-1	(2013.6.25)	235.5	神社社務所	遺構なし、縄文土器片	市内遺跡群 18
6	鶴ヶ岡3-18-23	(2015.5.15～27) 2015.7.10～8.19	1,983.34	保育園	旧石器時代石器集中 1、縄文時代炉穴群 2	市内遺跡群 19
7	鶴ヶ岡3-3-20・21	(2015.12.22～2016.1.29)	1,731.79	老人介護施設	土坑 1、根切り溝他 2、風倒木 1	市内遺跡群 22



第4図 鶴ヶ岡遺跡第7地点遺構配置図(1/500)、土層(1/150)、土坑(1/60)、出土遺物(1/4)

第3章 西遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

西遺跡は、藤間江川に面した標高 22m の台地北縁、低地との比高差 8m 以上の急峻な崖面上に立地する南北 150m、東西 200m 以上の遺跡である。上福岡駅まで約 600m に位置する利便性のため、早くから宅地開発が進み遺跡の大部分は住宅地となっている。

周辺の遺跡は、西側に隣接して縄文時代中期の集落である鶴ヶ岡遺跡、川越市八幡神社遺跡がある。約 800m 上流に旧石器時代の礫群・石器群が広がる鶴ヶ岡外遺跡がある。また、藤間江川の支谷をはさんだ対岸には川越市藤原町遺跡があり、八幡神社遺跡とともに縄文時代の集落が広がる。さらに下流へ向かうと、「川崎貝塚」として著名な川崎遺跡、川崎横穴墓群があり、旧石器時代から縄文、古墳、飛鳥・奈良・平安、中・近世にわたる複合遺跡となる。

本遺跡は 1992 年 3 月、駐車場造成に伴い約 3,000 m² が発掘調査され、縄文時代中期中葉の勝坂期～加曾利 E I 期の住居跡 17 軒、集石土坑や土坑等を多数検出、1996 年の第 2・3 次調査でも縄文集落を検出し、弧状に分布する縄文集落が明らかとなってきた。2018 年 4 月現在、16ヶ所で試掘及び発掘調査が行なわれ、時期不明の溝跡等も検出している。主たる時代は縄文時代中期である。

II 西遺跡第 2 地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 4 月 14 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は 2015 年 5 月 27 日～29 日まで行った。幅 1～1.8m のトレンチ 11 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは 25～40 cm である。調査の結果、縄文時代の住居跡 3 軒、集石土坑 3 基以上、土坑、ピット多数を検出した。遺構への影響が避けられないため本調査が必要であったが、その後開発計画が中止となった。そのため、写真撮影・全測図等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

今回の調査では、縄文時代住居跡と土坑、ピットのプランを確認した。遺構の規模や性格を確認するため、部分的にサブトレンチを設定し掘削を行ったが、大部分は未掘のままである。その際に出土した遺物を第 9 図及び観察表を第 10 表に掲載した。



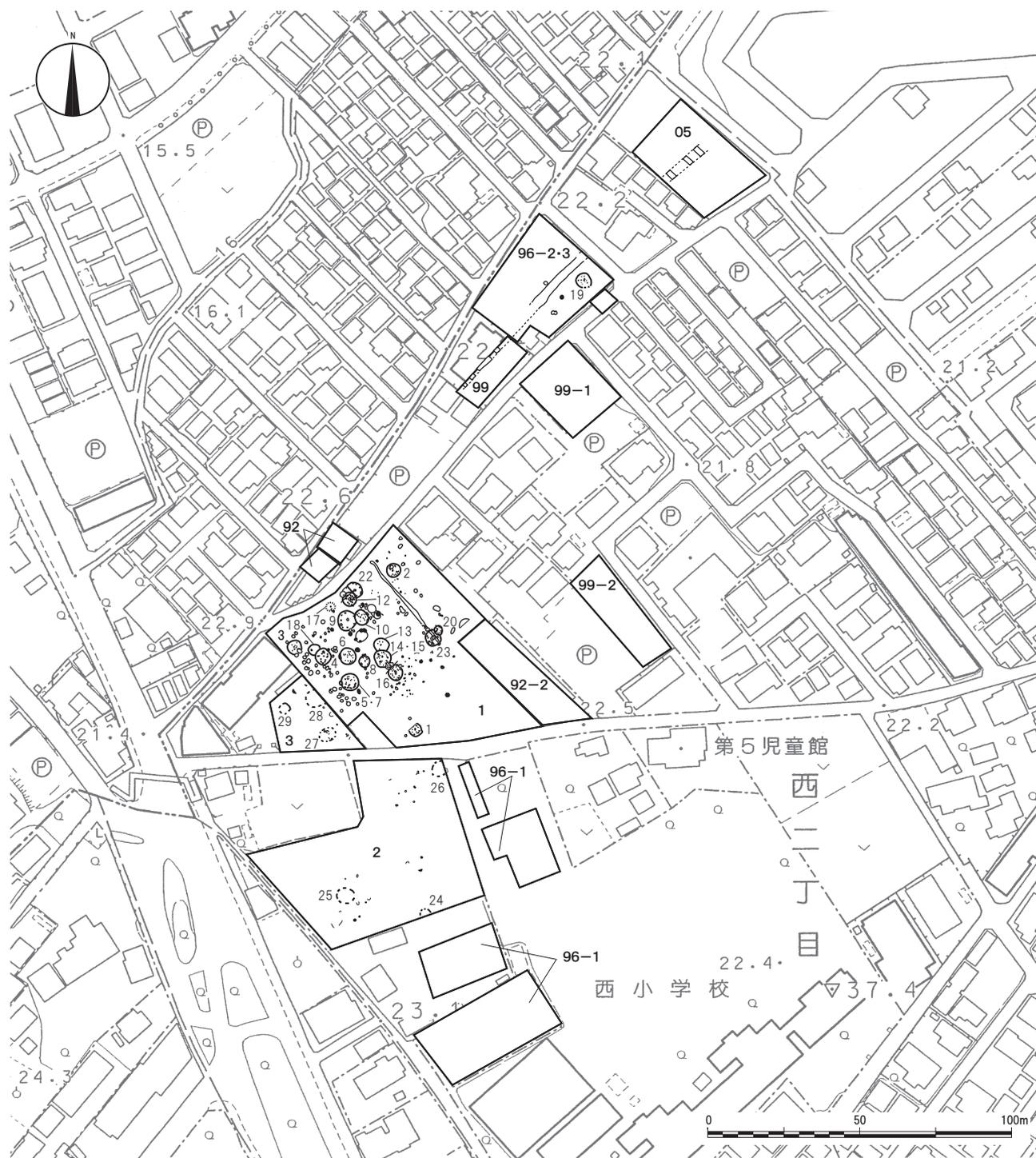
第 5 図 西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第8表 西遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1991年試	西2-5905	1991.7.23~7.31	350	防火水槽	遺構・遺物なし	埋蔵文化財の調査(14)
第1次	西2-2068	(1992.1.14~3.19)	3,061	駐車場	縄文中期住居17、集石遺構17、土坑65	上福岡市遺跡調査会報告書第2集、 上福岡市史資料編第1巻自然史・考古
		1992.3.23~5.2				
1992年試(1)	西2-1845	1992.4.24~25	200	共同住宅	遺構・遺物なし	埋蔵文化財の調査(15)
1992年試(2)	西2-2068-2	1992.12.3~12.9	559.2	共同住宅	縄文中期土器細片	埋蔵文化財の調査(15)
第2次	西2-2072-8	1996.5.29~6.5	100	個人住宅	縄文中期住居1、溝1、縄文土器、石器	埋蔵文化財の調査(19)
第3次	西2-2072-12	1996.6.6~6.14	111.2	個人住宅	土坑2、集石土坑、溝、縄文土器、石器	埋蔵文化財の調査(19)
1996年試	西2-2071-1	1996.5.21~5.28	1,146.2	宅地造成	縄文中期住居跡1、集石土坑、溝(第2・3次地点試掘調査)	埋蔵文化財の調査(19)
1996年試①	西2-5891-3他	1996.7.17	1,400	プール改築		上福岡市の社会教育(平成8年度)
1996年試②	西2-1827-2	1996.10.16	47.4	個人住宅	遺構・遺物なし	上福岡市の社会教育(平成8年度)
1999年試(1)	西2-1828-1	1999.4.23~26	497.6	共同住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(22)
1999年試(2)	西2-1835-4	1999.5.14~17	324	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(22)
2001年試	西2-1833-3・4	2001.4.9~11	202.5	宅地造成	溝1条、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(24)
第1地点	西2-2068-1・3・4、 2069-1	(2007.3.12~26、4.2~ 20)2007.6.4~8.1	3,467	共同住宅及び 分譲住宅	縄文中期住居跡3、集石土坑6、土坑12、ピット68、溝1	市内遺跡群4
第2地点	西2-5905-1	(2015.5.27~29)	2,393	共同住宅	縄文住居跡3、集石土坑3、土坑4、ピット1	市内遺跡群22
第3地点	西2-2071-1	(2016.1.25~27)	476	共同住宅	縄文住居跡3、集石土坑1、土坑2、ピット3	市内遺跡群22
第4地点	西2-5904-1の一部、 2の一部	(2016.7.27~28)	489	集合住宅	遺構・遺物なし	未報告

第9表 西遺跡縄文時代住居跡一覧表

住居 番号	調査 年度	遺構名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉			埋篋	周溝	時期	備考	文献	
						地床	炉体	石囲						
1	1992	第1次1号住	完掘	円~楕円形	440×440×45 290×290×45	○	○				勝坂期	2度以上建替	西遺跡第1次調査概要、 上福岡市史資料編第1 巻自然史・考古	
2	1992	第1次2号住	完掘	円形	440×460×35 380×380×35	○	○				勝坂Ⅲ古	3度建替え大型打製石器		
3	1992	第1次3号住	完掘	円形	450×450×35 370×370×35	○					~勝坂Ⅲ	2度以上建替		
4	1992	第1次4号住	完掘	円形	560×540×64 415×380×64		○	○			勝坂Ⅲ	3度以上建替		
5	1992	第1次5号住	完掘	楕円形	505×480×50		○	2		○	~加曾利EⅠ古	7号住と重複、2度以上建替		
6	1992	第1次6号住	完掘	楕円形	550×530×55 420×380×55	○	2		○		~勝坂Ⅲ	2~3度建替		
7	1992	第1次7号住	完掘	円形	440×370×55		○			○	加曾利EⅠ古	5号住と重複、2度以上建替		
8	1992	第1次8号住	完掘	楕円形	370×340×20 280×280×20	○					~勝坂Ⅲ	覆土層から阿玉台Ⅱ式土器出土		
9	1992	第1次9号住	完掘	楕円形	640×620×25 580×570×25					○	勝坂~加曾利E	勝坂期中業土器片		
10	1992	第1次10号住	完掘	楕円形	515×440×25 470×380×25	○					~勝坂Ⅱ	建替有		
12	1992	第1次12号住	完掘	円形	450×450×30 350×350×30	○					~勝坂Ⅱ	2度以上建替		
13	1992	第1次13号住	完掘	円形	(460)×460		○	2			阿玉台Ⅰb、貉沢	14号住15号住と重複		
14	1992	第1次14号住	完掘	楕円形	560×440×40					○	~勝坂Ⅲ	15号住より古。2度以上建替		
15	1992	第1次15号住	完掘	楕円形	450×350×45		○	○		○	勝坂Ⅲ	2度以上建替		
16	1992	第1次16号住	完掘	隅丸六角形	(470×450)×20 390×400×20	○	2		○		勝坂Ⅱ	覆土層から多量の土器出土		
17	1992	第1次17号住	完掘	(楕円形)	(350)×(300)	○					勝坂~加曾利E			
18	1992	第1次18号住	完掘	楕円形	350×(400)×5					○	勝坂~加曾利E	4号住と重複		
19	1996	第2次19号住	完掘	円形	450×450	○				○	勝坂Ⅱ			埋蔵文化財の調査(19)
20	2007	20号住居跡	完掘	楕円形	310×248×24	なし						勝坂Ⅱ		貉沢~勝坂Ⅱ式土器出土
22	2007	22号住居跡	完掘	隅丸六角形	(580×520×—)	○						勝坂~加曾利E	覆土に勝坂Ⅰ~加曾利E式土器含	
23	2007	23号住居跡	完掘	円~楕円形	508×465×9		○	2				加曾利EⅡ	炉体土器加曾利EⅡ、連弧文系	
24	2015	24号住居跡	トレンチ	不明	(355×101)×9	なし								市内遺跡群22
25	2015	25号住居跡	トレンチ	不明	570×(135)×1.2	なし								市内遺跡群22
26	2015	26号住居跡	トレンチ	不明	(305×135)×13.5	なし								市内遺跡群22
27	2015	27号住居跡	トレンチ	不明	423×(255)×30.1	○	○						炉跡のみ検出	市内遺跡群22
28	2015	28号住居跡	トレンチ	不明	509×(134)×59.5	なし								市内遺跡群22
29	2015	29号住居跡	トレンチ	不明	300×(125)×30.2	なし								市内遺跡群22



第6図 西遺跡遺構分布図(1/2,000)

①住居跡

住居跡は少なくとも3軒以上が存在するとみられる。検出は行っていない。プランの規模を第9表に掲載する。

②土坑

今回確認した土坑4基も検出は行っていない。調査実施時は1～5まで付番していたが、図面等を精査した結果、4が欠番となった。

【土坑1】トレンチ3西側で確認した。平面形態は不明。確認面径79×(25)cm、底径62×(17)cm、深さ25.6cmである。出土遺物はない。

【土坑2】トレンチ3中央やや西側で確認した。平面形態は不明。確認面径102×(48)cm、底径80×(43)cm、深さ16.8cmである。出土遺物はない。

【土坑3】トレンチ3西側、土坑2より約3m西側で

確認した。平面形態は不明。確認面径95×(89)cm、底径72×(36)cm、深さ44.8cmである。出土遺物はない。

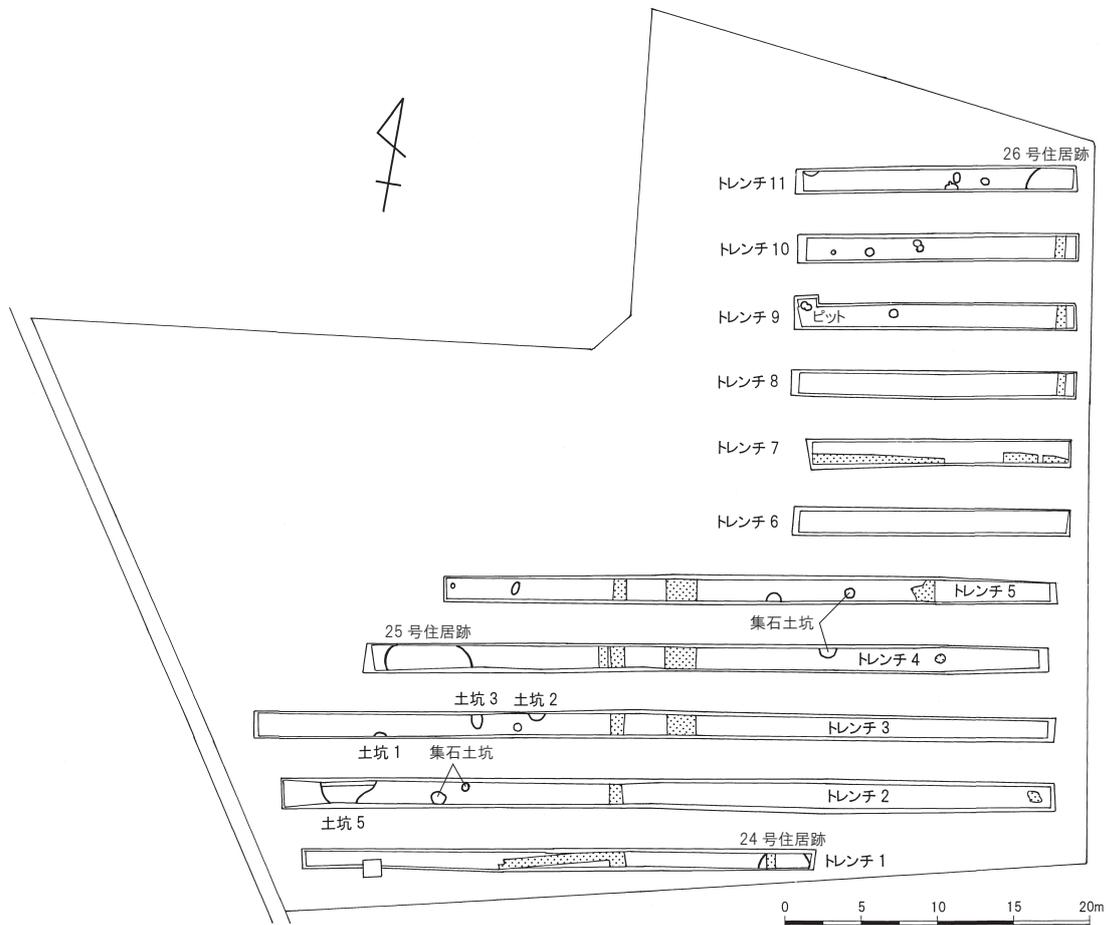
【土坑5】トレンチ2西側で確認した。平面形態は不明。確認面径362×(152)cm、底径333×(131)cm、深さ6.3cmである。出土遺物はない。

③ピット

ピットは調査区北側のトレンチ9で検出した。平面形態は不整形で、遺構の規模は確認面径70×60cm、底径9×9cm、深さ70.1cmである。縄文土器片2点が出土した。

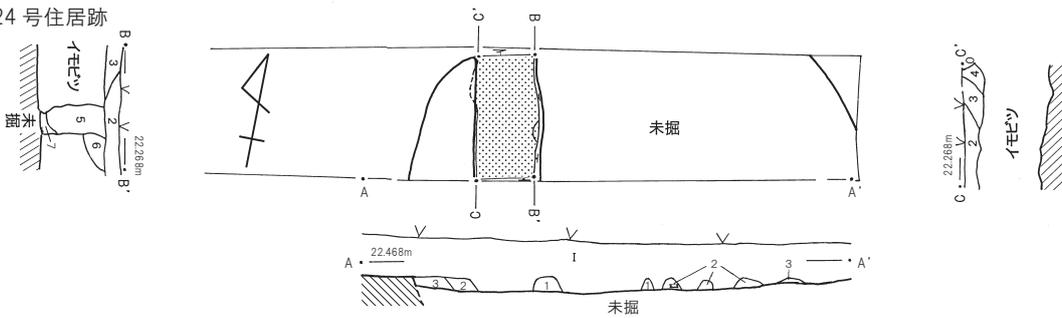
④出土遺物

出土遺物については第9図及び観察表を第10表に掲載した。

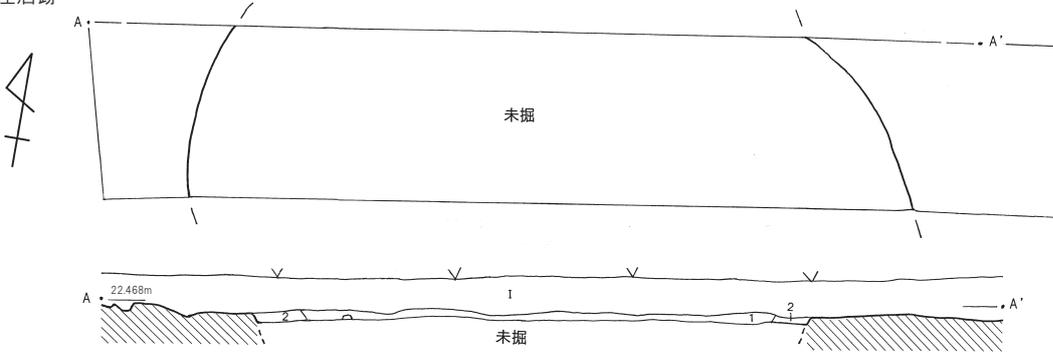


第7図 西遺跡第2地点遺構配置図(1/500)

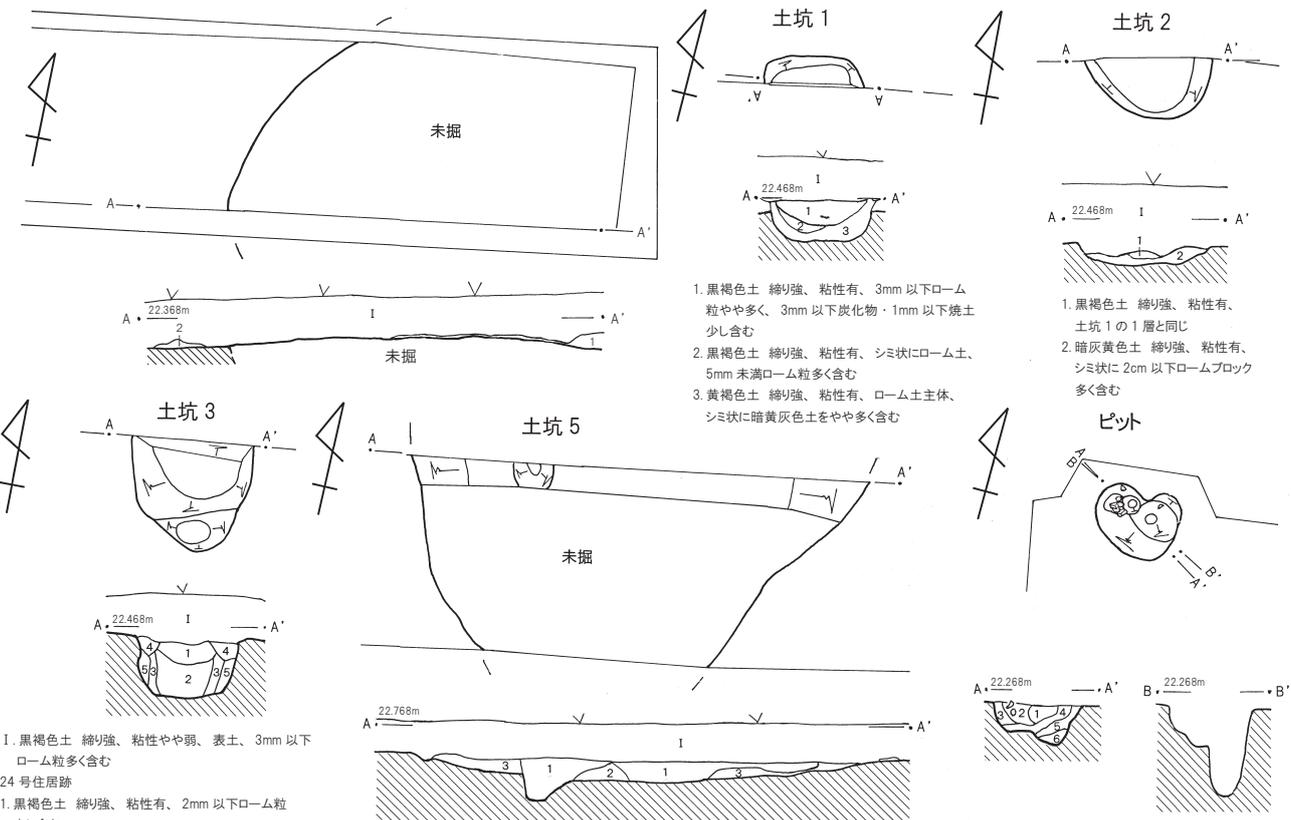
24号住居跡



25号住居跡



26号住居跡



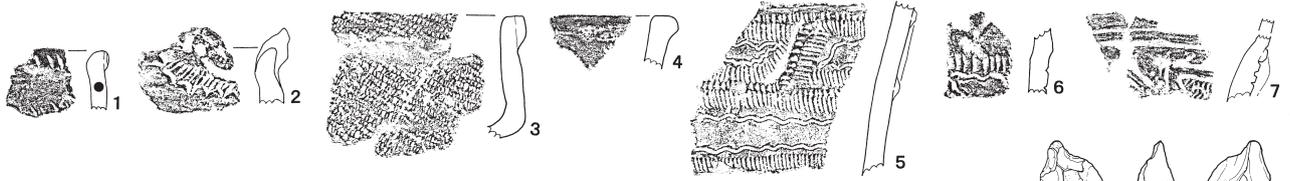
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、3mm以下炭化物・1mm以下焼土少し含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状にローム土、5mm未満ローム粒多く含む
- 3. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、シミ状に暗黄灰色土をやや多く含む

- 1. 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、表土、3mm以下ローム粒多く含む
- 24号住居跡
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒・炭化物やや多く、2mm以下焼土少し含む、遺物を伴う
- 3. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、5mm未満ローム粒やや多く、シミ状にローム土少し含む
- 4. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒・炭化物少し、シミ状に1cm大ロームブロックやや多く含む
- 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm未満ローム粒多く、5mm以下炭化物やや多く含む
- 6. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、ソフト質ローム土主体、3mm以下ローム粒多く、2mm以下炭化物少し含む
- 7. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多く、1cm大ロームブロック・2mm以下炭化物少し含む
- 25号住居跡
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多く、2mm以下焼土少し含む、色調褐色味強い
- 2. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く、1mm以下炭化物少し含む
- 26号住居跡
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～10mmロームブロックやや多く、3mm大焼土少し含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒・3mm以下焼土少し含む
- 土坑3
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、2mm以下炭化物・1mm以下焼土少し含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1～3cmロームブロックやや多く、5mm未満ローム粒多く、3mm以下炭化物・焼土少し含む
- 3. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多く、2mm以下炭化物少し含む

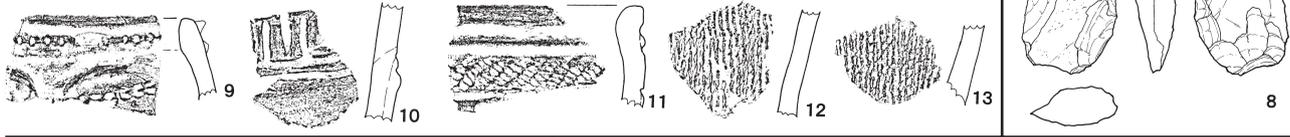
- 4. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し含む
- 5. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、シミ状にローム土を多く含み、全体の色調は黄褐色
- 土坑5
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多く、3mm以下焼土少し含む
- 2. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、シミ状にローム土、2mm以下ローム粒多く含む
- 3. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、5～10mmロームブロック・2mm以下ローム粒・同焼土少し、下部にシミ状にローム土多く含む
- ピット
- 1. 褐色土 締りやや強、粘性有、1～3mmローム粒多く、5mm大ロームブロック・1mm大炭化物粒少し、1mm以下焼土僅かに含む
- 2. 褐色土 締り強、粘性有、1mm大ローム粒・同炭化物粒少し含む、礫を含む
- 3. 黄褐色土 締り強、粘性有、1～5cmロームブロック多く、1mm大ローム粒・同炭化物粒・暗褐色土僅かに含む
- 4. 黄褐色土 締り強、粘性有、1mm大ローム粒・同炭化物粒僅かに含む
- 5. 褐色土 締り強、粘性有、1～2mmローム粒多く、1mm大炭化物粒少し含む
- 6. 暗褐色土 締り強、粘性有、1～2cmロームブロック少し、1～2mmローム粒多く、5～10mm黒色土ブロック僅かに含む

第8図 西遺跡第2地点 24～26号住居跡・土坑・ピット (1/60)

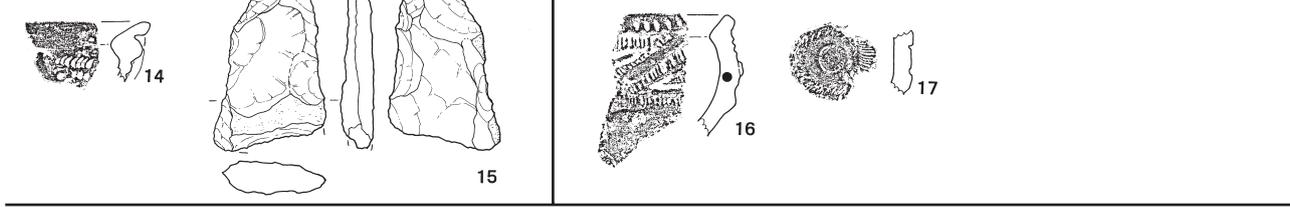
24号住居跡



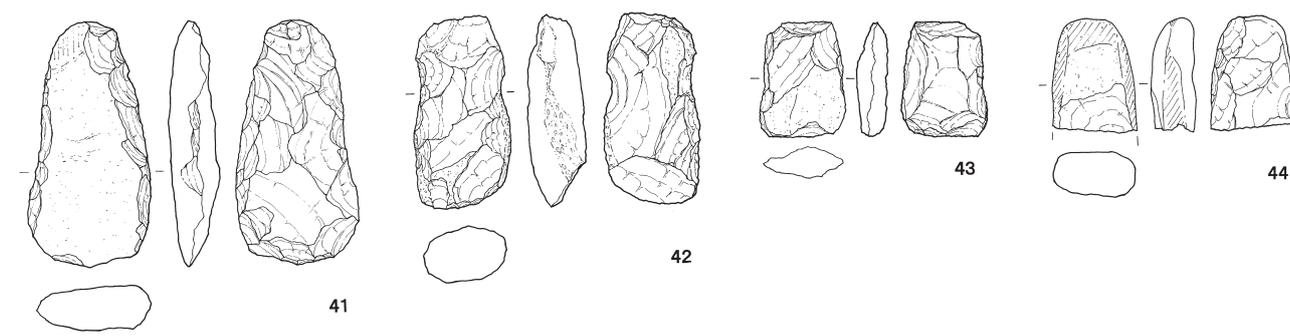
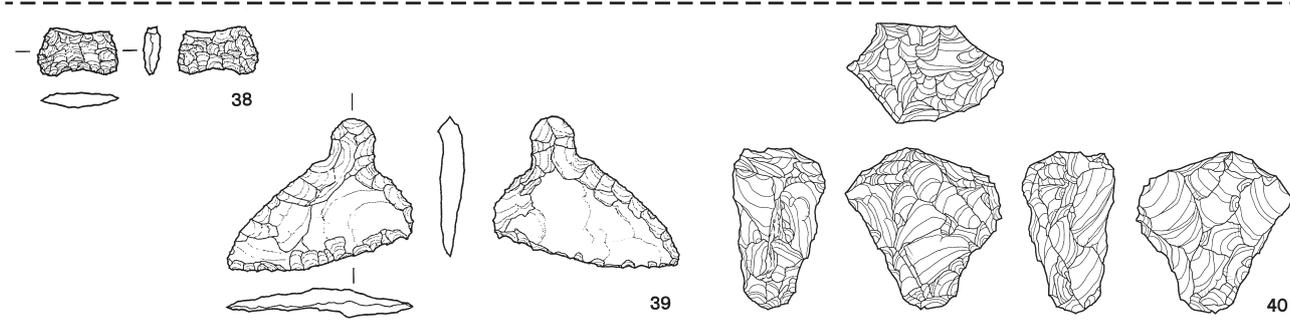
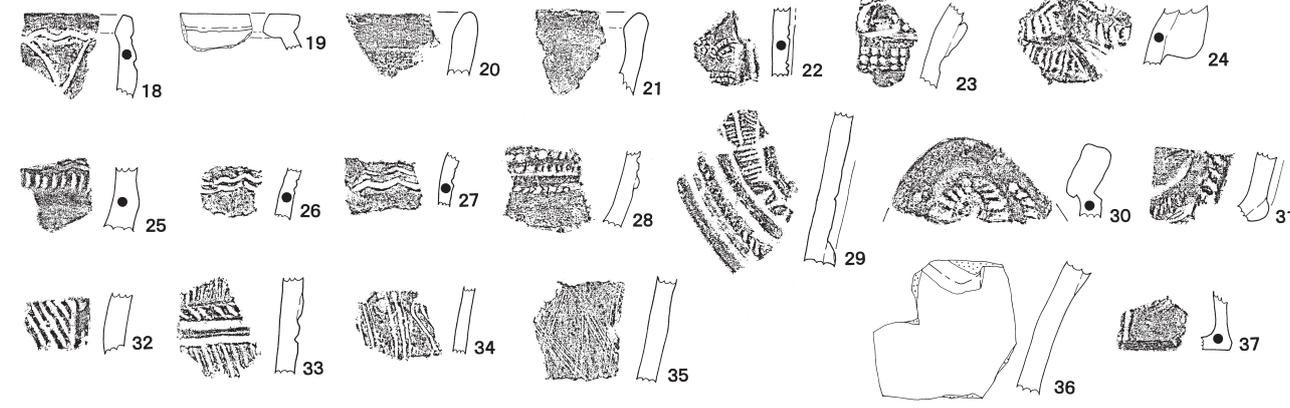
25号住居跡



26号住居跡



遺構外



第9図 西遺跡第2地点出土遺物(1/4・2/3)

III 西遺跡第3地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2015年11月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年1月25日～27日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅1.5～1.8mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

試掘調査の結果、縄文時代住居跡3軒と集石土坑1基、土坑2基を確認した。確認面までの深さは70～80cmで、30cm以上の保護層が確保できるため工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を

行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

今回の調査では縄文時代住居跡と土坑のプランのみを確認、また集石土坑は規模を確認するため一部調査を行ったが、大部分は未掘のままである。

出土遺物は第13～16図及び観察表を第13表に掲載した。

①住居跡

今回の調査では縄文時代の住居跡を3軒確認した。詳細は第9表に掲載した。

【27号住居跡】

トレンチ2南東部で確認した。前述のとおり住居跡全体の検出は行っていないが、炉とピットのみ検出

第10表 西遺跡第2地点出土遺物観察表 (単位cm・g)

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式	
第9図-1	24号住居跡	深鉢/口縁部	口縁に刻み/胎土に雲母含む	中期/勝坂II	
第9図-2		深鉢/口縁部	突起部/連続刺突、胎に爪形文	中期/勝坂II	
第9図-3		深鉢/口縁部	横位RL縄文	中期/勝坂	
第9図-4		浅鉢/口縁部	内外面ミガキ	中期	
第9図-5		深鉢/胴部	刻目隆帯、胎に刻み、沈線による波状文	中期/勝坂II	
第9図-6		深鉢/胴部	押引文、波状沈線	中期/勝坂II	
第9図-7		深鉢/胴部	隆帯、沈線による区画、区画内刻みと爪形の刺突	中期/勝坂II	
第9図-8			打製石斧	長さ:8.7、幅:5.0、厚さ:2.2、重量:93.04/石材:細粒砂岩/完形	-
第9図-9	25号住居跡	浅鉢/口縁部	口縁隆帯上に刻み、弧状の隆帯の下位に半截竹管状工具を連続刺突	中期/勝坂II	
第9図-10		深鉢/胴部	横位隆帯による区画	中期	
第9図-11		深鉢/口縁部	縦位RL縄文、横位の沈線、隆帯による区画	中期/加曾利E I	
第9図-12		深鉢/胴部	Lr燃糸	中期	
第9図-13		深鉢/胴部	Lr燃糸	中期	
第9図-14	26号住居跡	深鉢/口縁部	口縁に刺突、隆帯胎に連続爪形文、区画内に連続刺突	中期/勝坂II	
第9図-15		打製石斧	長さ:(8.7)、幅:(6.0)、厚さ:1.8、重量:(96.61)/石材:ホルンフェルス/刃部欠損	中期	
第9図-16	P1	深鉢/口縁部	口縁に刻み、隆帯胎、区画内に押引文/胎土に雲母含む	中期/阿玉台II	
第9図-17		胴部	中央に2列の押引文、周囲幅広押引文/内面赤彩	中期/勝坂II	
第9図-18	遺構外	深鉢/口縁部	棒状工具による沈線/胎土に雲母含む	中期/阿玉台II	
第9図-19		浅鉢/口縁部	外面ミガキ	中期/加曾利E	
第9図-20		深鉢/口縁部	無文	中期	
第9図-21		浅鉢/口縁部	内外面ミガキ	中期	
第9図-22		深鉢/口縁部	2列の押引文、断面三角形の隆帯/胎土に雲母・石英含む	中期/阿玉台II	
第9図-23		深鉢/胴部	ヒダ状の隆帯、その下位に3列の押引文	中期/勝坂	
第9図-24		深鉢/口縁部	隆帯胎に幅広の連続爪形文/胎土に雲母含む	中期/阿玉台II	
第9図-25		深鉢/胴部	波状沈線、連続爪形文/胎土に雲母含む	中期/勝坂II	
第9図-26		深鉢/胴部	2列の波状沈線/胎土に雲母含む	中期/阿玉台	
第9図-27		深鉢/胴部	2列の波状沈線/胎土に雲母含む	中期/勝坂II	
第9図-28		深鉢/胴部	隆帯胎に押引文	中期/勝坂II	
第9図-29		深鉢/胴部	刻目隆帯、胎に沈線、区画内刻み充填	中期/勝坂	
第9図-30		深鉢/口縁部	突起部/渦巻状に押引文/胎土に雲母含む	中期/阿玉台III	
第9図-31		深鉢/胴部	刻目隆帯	中期/勝坂III	
第9図-32		深鉢/胴部	沈線による区画、斜位の沈線を充填	中期/勝坂	
第9図-33		深鉢/胴部	縦位RL燃糸、刻目隆帯	中期/勝坂III	
第9図-34		深鉢/胴部	3本1組の沈線	中期	
第9図-35		深鉢/胴部	縦位、斜位の4本1組の多裁工具による沈線	中期	
第9図-36		深鉢/胴部	弧状の隆帯	中期	
第9図-37		深鉢/底部	沈線/胎土に雲母含む	中期/阿玉台	
第9図-38			石鏃	長さ:(1.0)、幅:1.6、厚さ:0.3、重量:(0.51)/石材:黒曜石/上半部欠損	-
第9図-39			石匙	長さ:3.0、幅:4.0、厚さ:0.5、重量:4.15/石材:チャート/完形	-
第9図-40			石核	長さ:3.2、幅:3.1、厚さ:1.8、重量:14.27/石材:黒曜石	-
第9図-41			打製石斧	長さ:12.9、幅:6.5、厚さ:2.5、重量:263.63/石材:ホルンフェルス/完形	-
第9図-42			打製石斧	長さ:10.2、幅:5.1、厚さ:2.9、重量:214.77/石材:細粒砂岩/完形/側面に敲打痕	-
第9図-43			打製石斧	長さ:5.1、幅:4.6、厚さ:1.6、重量:58.57/石材:泥岩/完形	-
第9図-44			打製石斧	長さ:(6.1)、幅:(4.9)、厚さ:2.4、重量:(110.4)/石材:ホルンフェルス/下部欠損/側面および表上部に摩滅有り	-

を行った。

炉は住居跡北側に位置し、部分的に水道管の攪乱で破壊される。口縁部・底部共に欠損する縄文土器を正位に設置した埋甕炉である。残存規模は長軸(74)cm、短軸68cm、深さ23cmである。

ピットは住居内で3基検出した。そのうちピット1及び2が支柱穴である。詳細については第11表に掲載した。

【28号住居跡】

トレンチ1で確認した。未検出のため確認面での規模は509×(134)cm、サブトレンチ部分で確認した深さは59.5cmである。

【29号住居跡】

トレンチ3で確認した。トレンチ内で検出したところ、遺構の規模は300×(125)cm、深さ30.2cmと非常に浅い。柱穴等は未検出である。

②集石土坑

トレンチ2の北西部で確認した。北側に広がるため全容は不明である。規模等の詳細については第12表に掲載した。

③土坑

土坑1・2共にトレンチ1の中央部で検出した。

【土坑1】

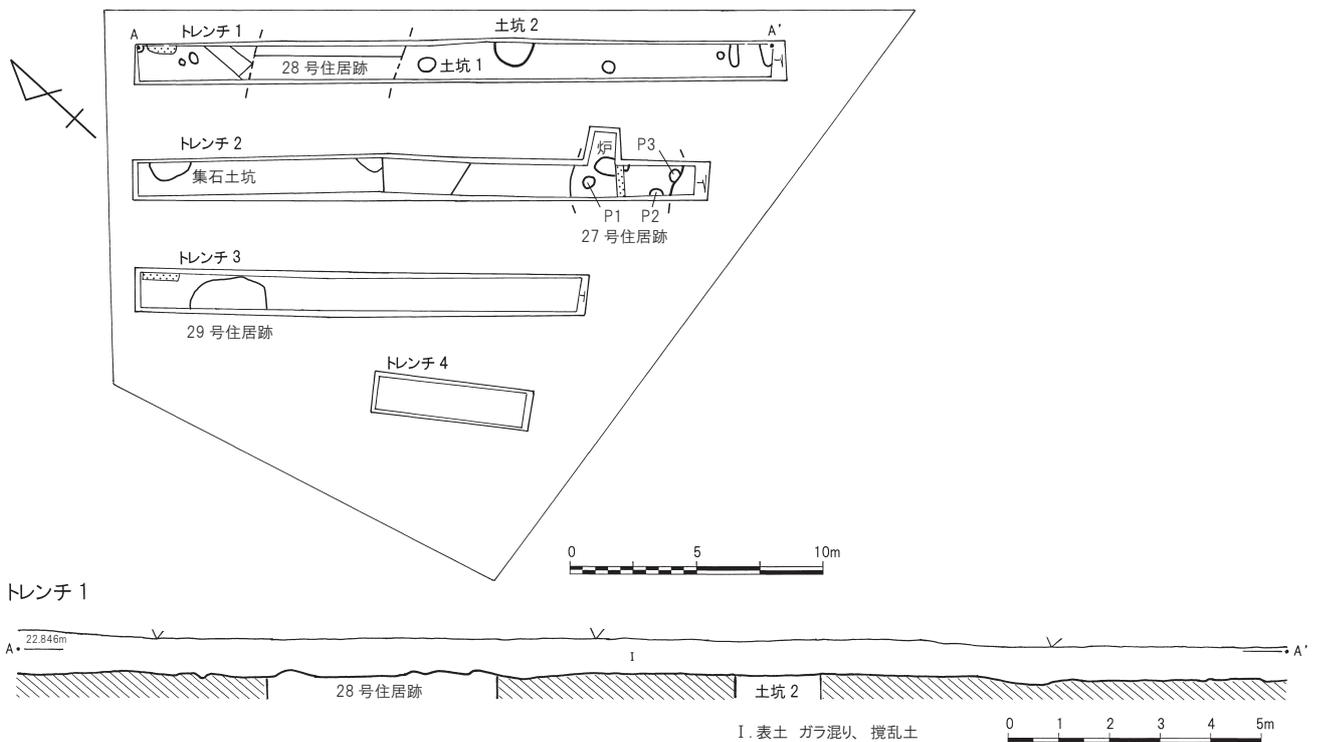
平面形態は楕円形で、確認面径87×69cm、底径35×24cm、深さ28.6cmである。縄文土器片が1点出土している。

【土坑2】

検出は行っていないため平面形態は不明。確認面径は140×(90)cmである。覆土中より縄文土器片が1点出土している。

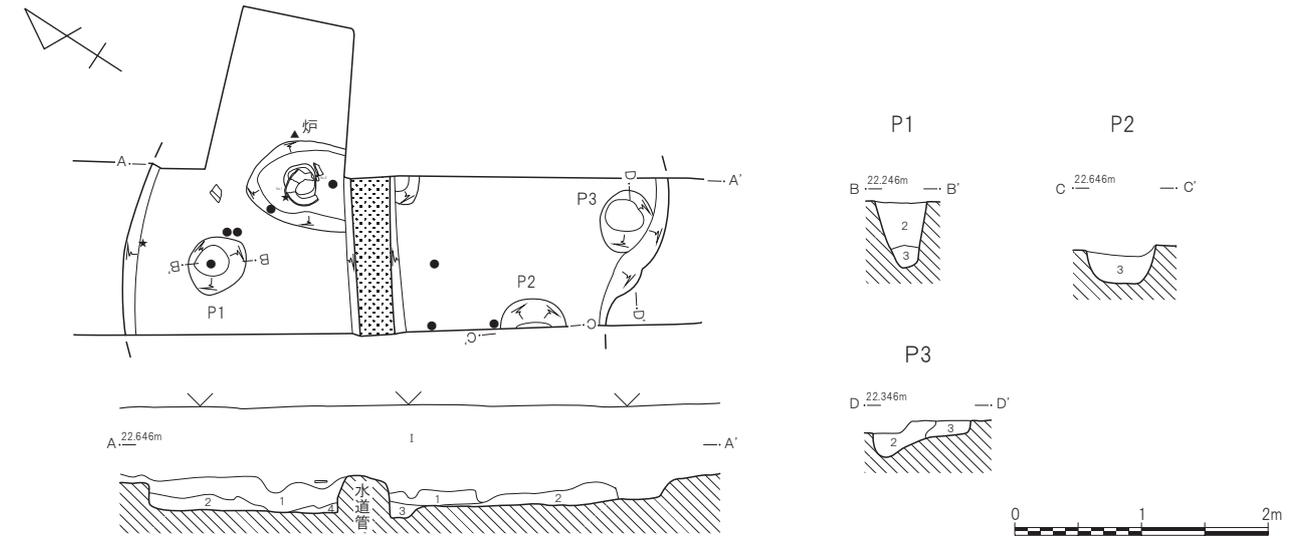
第11表 西遺跡第3地点J27号住居内ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	円形	50×43	28×24	54.4	
2	不明	51×(24)	30×(5)	28.9	
3	不明	48×40	30×25	21.5	

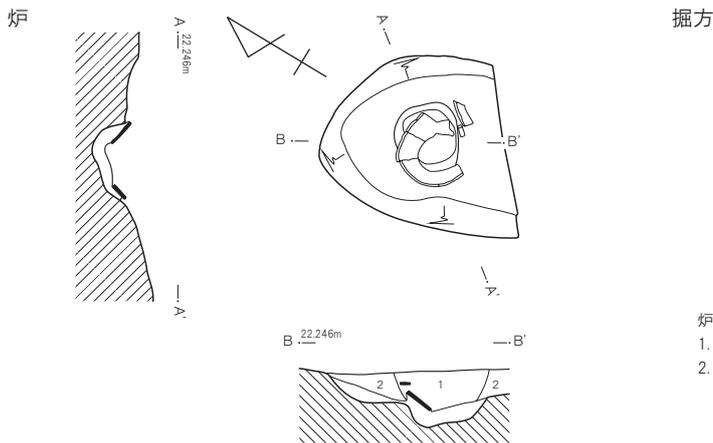


第10図 西遺跡第3地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)

27号住居跡・遺物出土状況

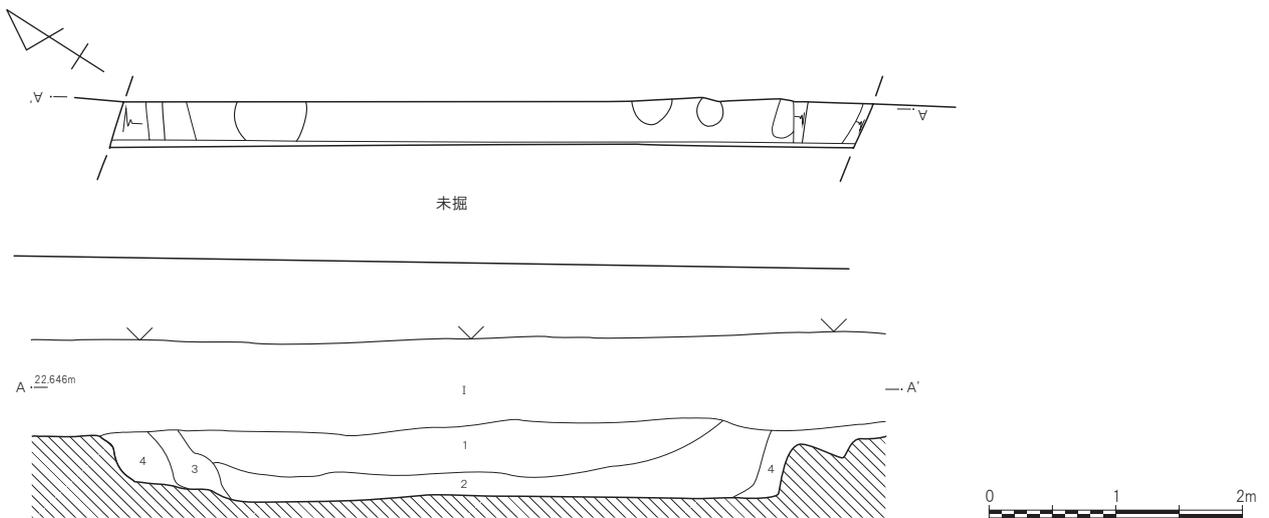


- I. 表土、ガラ混じり、攪乱土
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm大ローム粒僅かに含む
 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下炭化物粒僅かに含む
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し、同焼土粒多量に含む



- 炉
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し、同焼土粒多量に含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し、2mm以下焼土粒多く含む

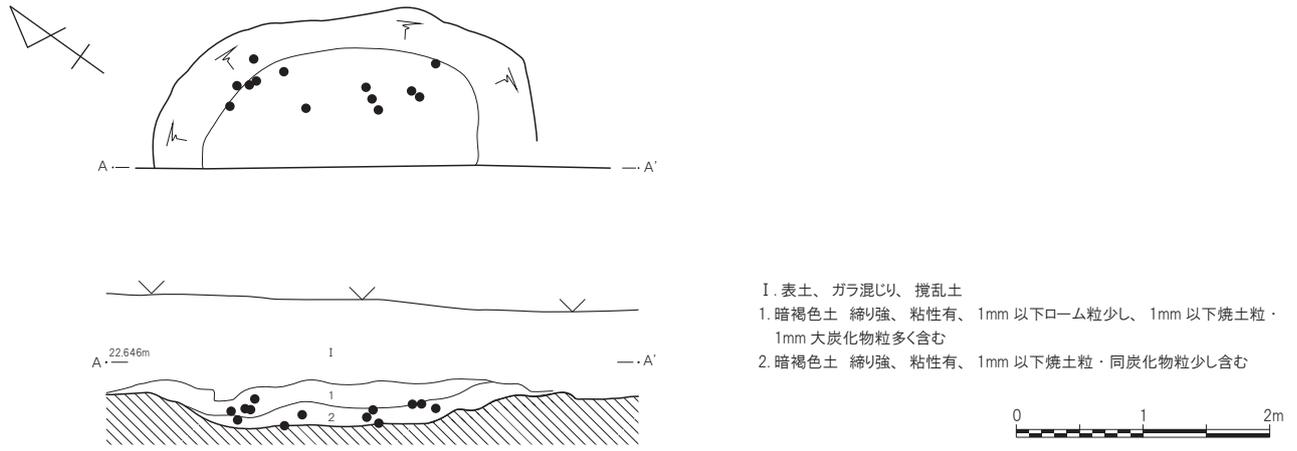
28号住居跡



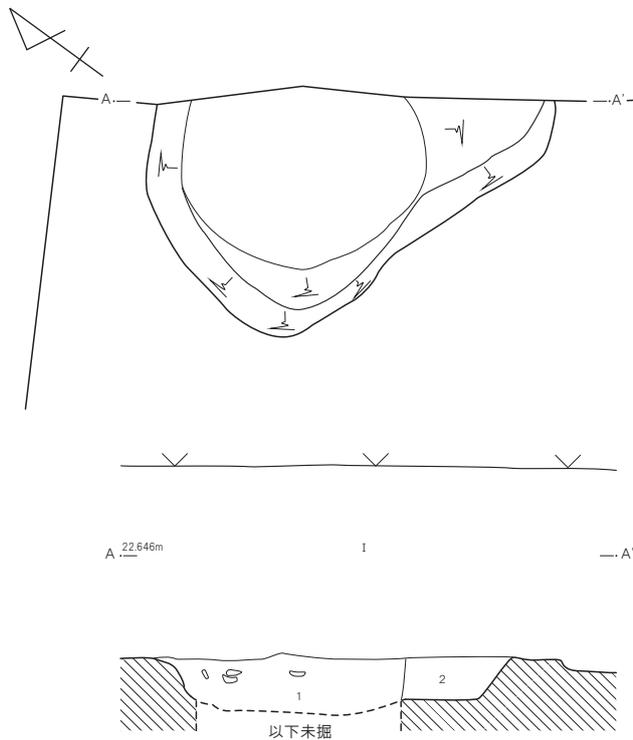
- 28号住居跡
- I. 表土、ガラ混じり、攪乱土
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下焼土粒・1mm以下炭化物・礫を多く含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒・2mm以下焼土粒少し含む
 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm大ローム粒・1mm以下焼土粒多く含む
 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し、1mm以下焼土粒僅かに含む

第11図 西遺跡第3地点27・28号住居跡(1/60)、炉(1/30)

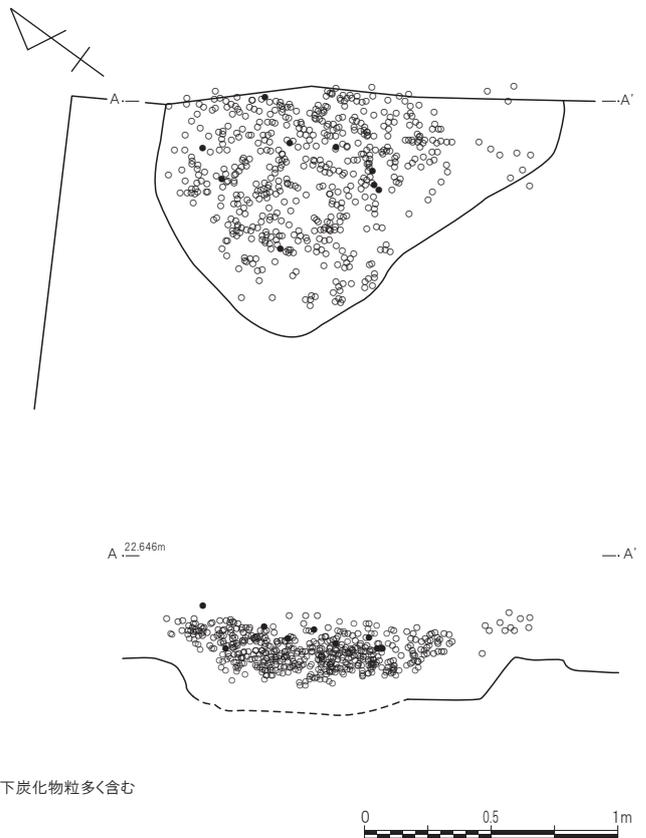
29号住居跡・遺物出土状況



集石土坑



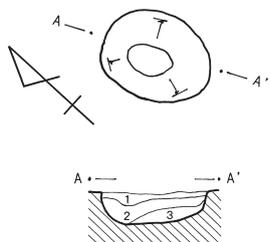
遺物出土状況



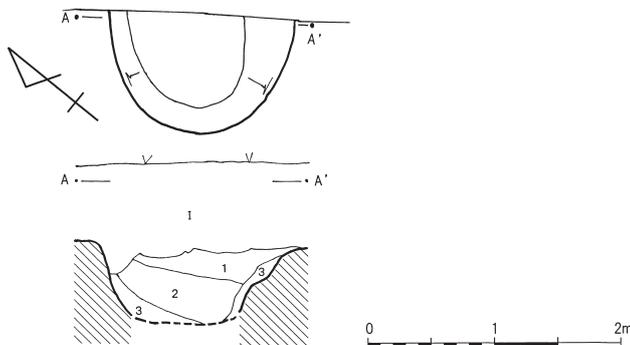
I. 表土、ガラ混じり、攪乱土

- 1. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒僅か、2mm以下焼土粒少し、2mm以下炭化物粒多く含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm大ローム粒僅かに含む

土坑1



土坑2

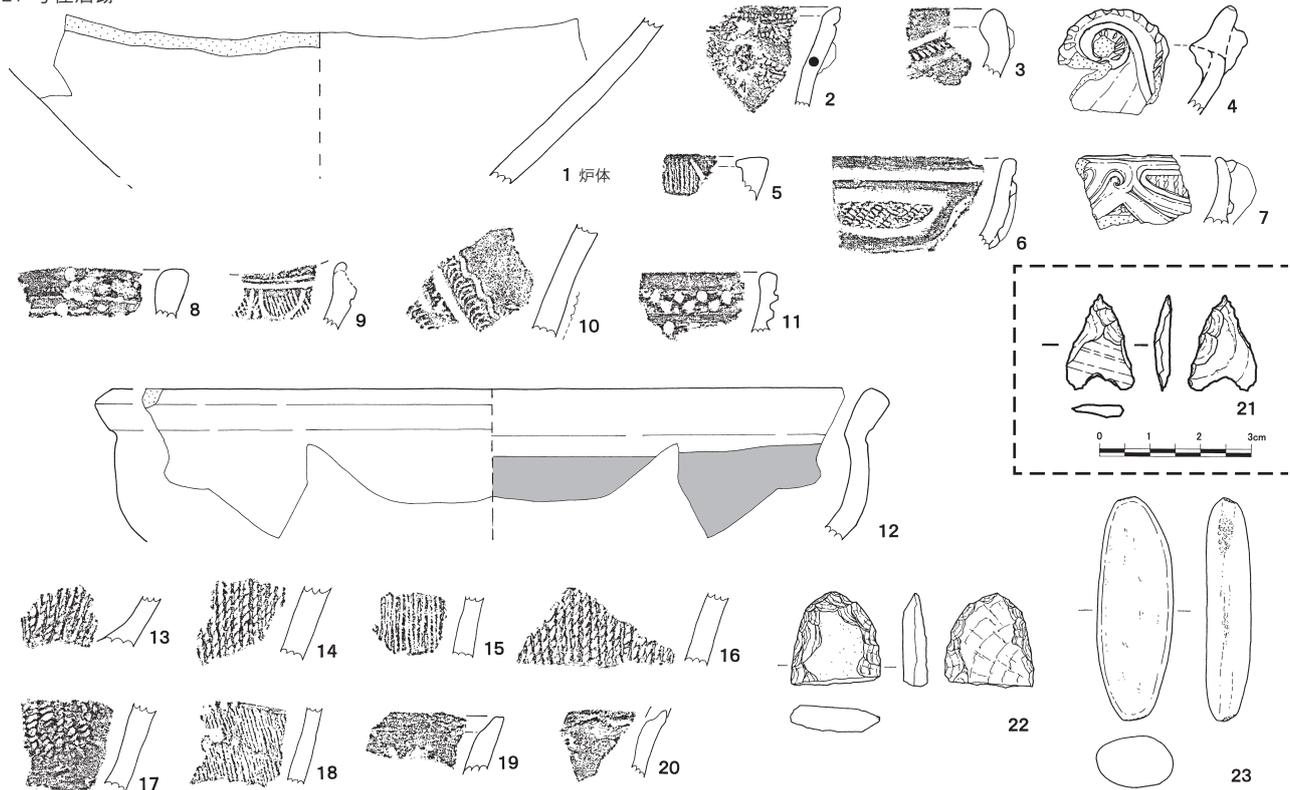


第12図 西遺跡第3地点29号住居跡・土坑(1/60)、集石土坑(1/30)

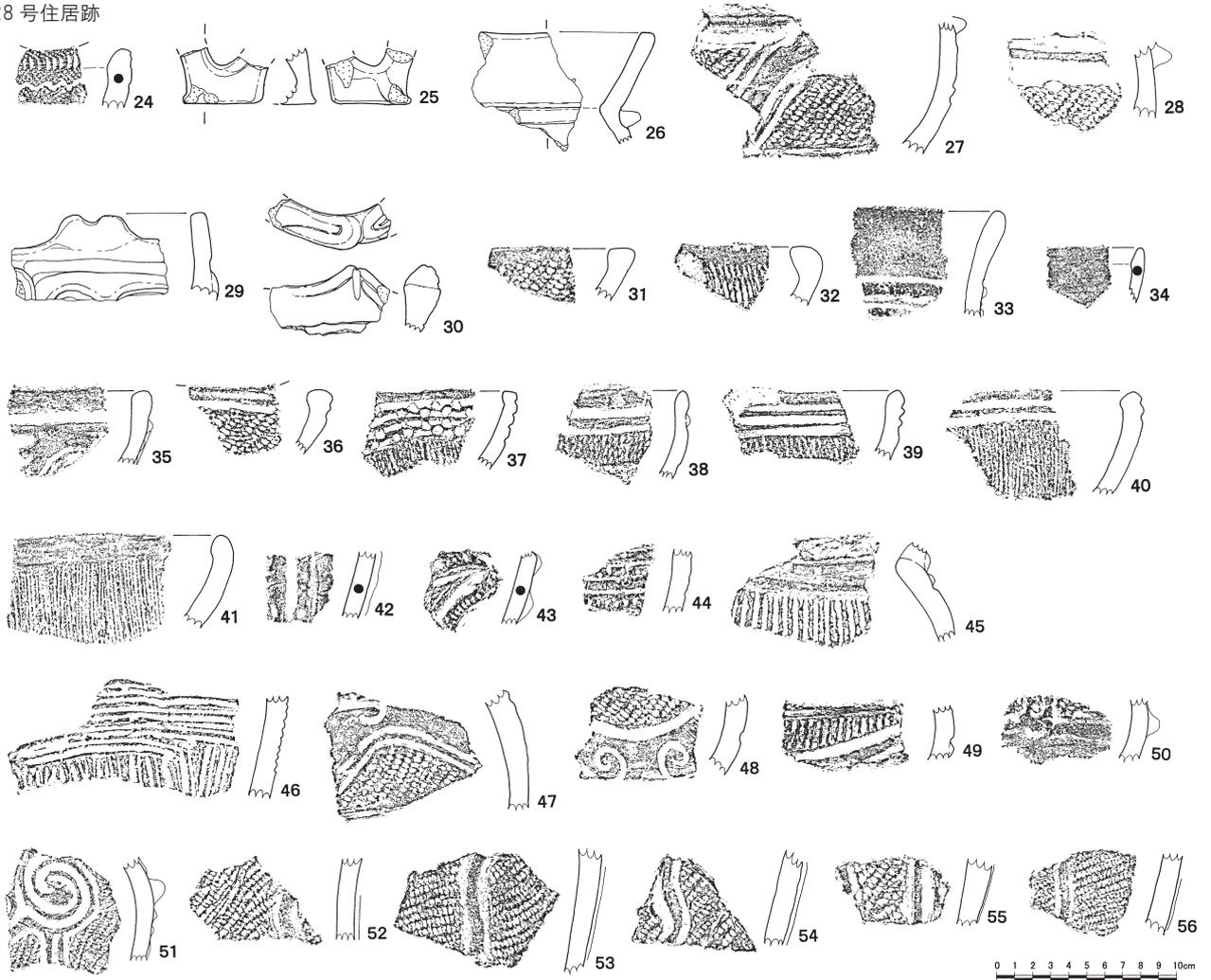
第12表 西遺跡第3地点集石土坑・出土礫観察表(単位cm・g)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	総点数	総重量	平均重量	破損数	完形数	焼成数	未焼成数	タール・煤付着数	タール・煤未付着数	備考
1	不明	156×99	96×73	22.6	543	77,176.15	142.13	473(87.11%)	70(12.89%)	445(81.95%)	98(18.05%)	400(73.66%)	143(26.34%)	

27号住居跡



28号住居跡



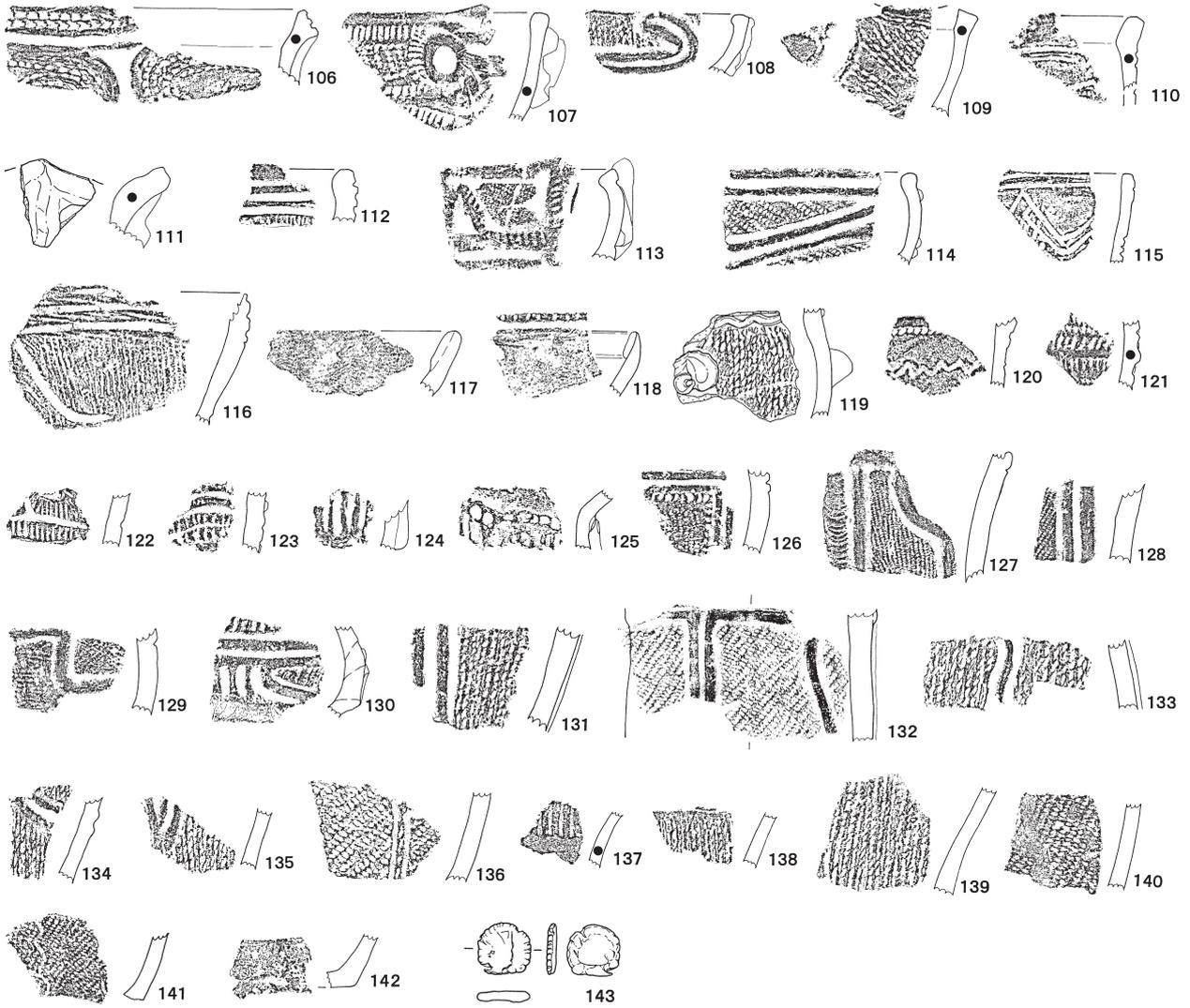
第13図 西遺跡第3地点出土遺物① (1/4・2/3)

28号住居跡

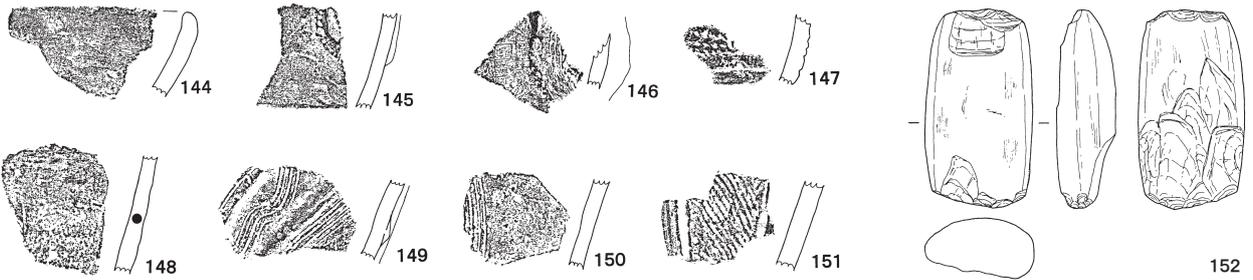


第14图 西遺跡第3地点出土遺物②(1/4)

29号住居跡



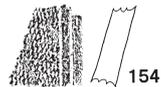
集石土坑



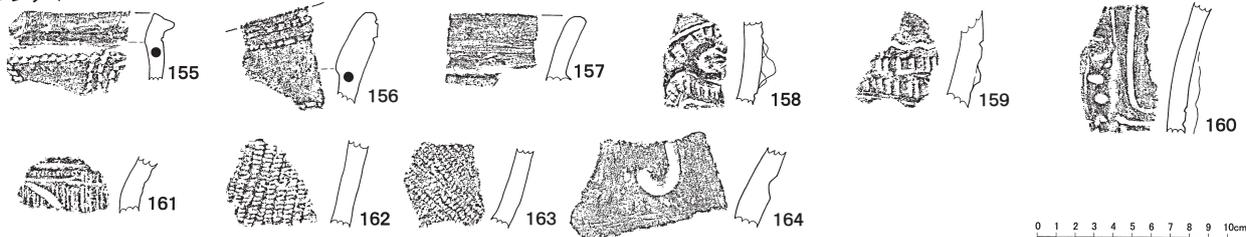
土坑 1



土坑 2



トレンチ 1

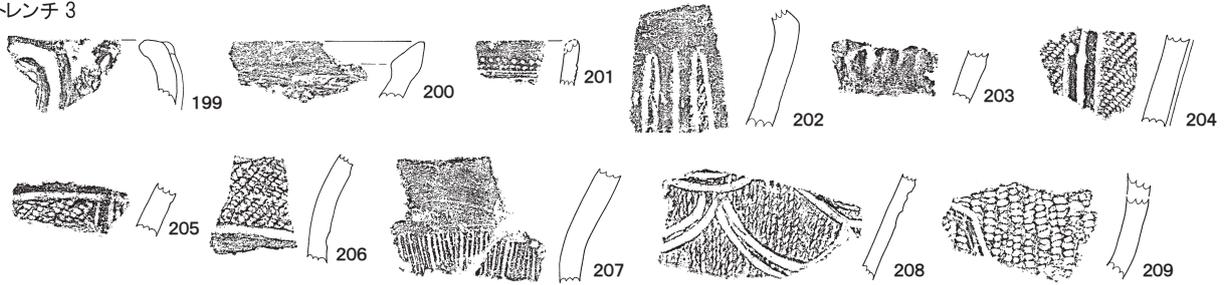


第15図 西遺跡第3地点出土遺物③(1/4)

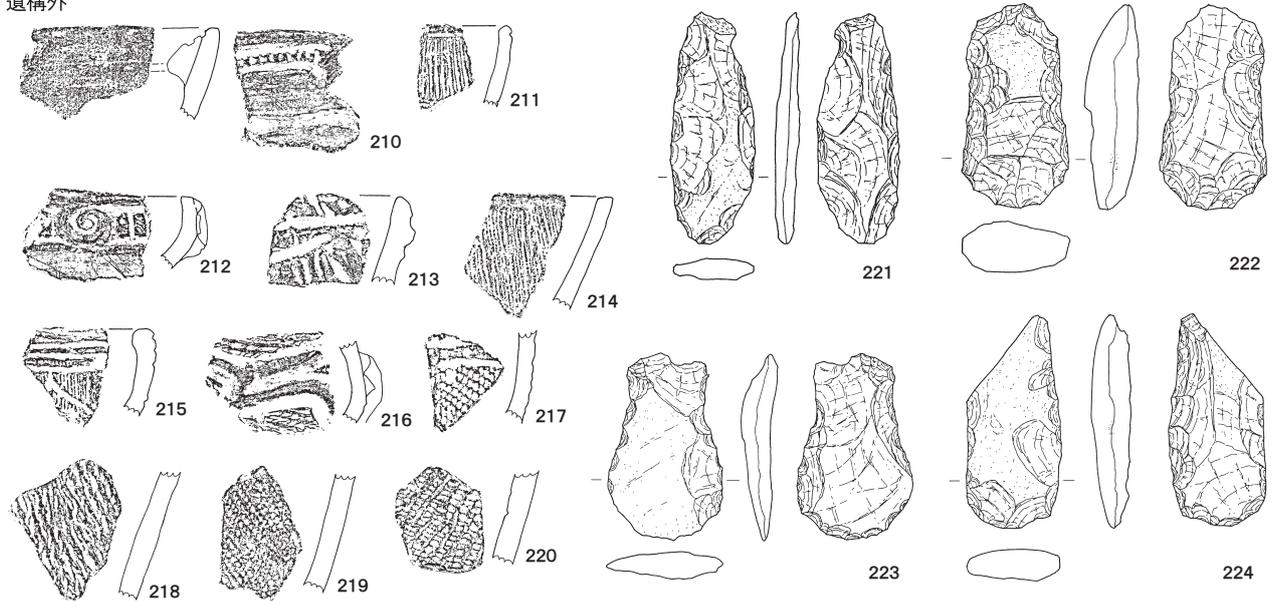
トレンチ 2



トレンチ 3



遺構外



第16図 西遺跡第3地点出土遺物④(1/4)

第13表 西遺跡第3地点出土遺物観察表 (単位cm・g)

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式
第13図-1	27号住居跡	浅鉢/胴部	炉体土器/内外面に被熱痕	中期
第13図-2		深鉢/口縁部	円形の貼り付け文、横位、斜位の押引文/胎土に雲母含む	中期/阿玉台Ⅱ
第13図-3		深鉢/口縁部	刻目隆帯	中期/勝坂Ⅲ
第13図-4		深鉢/口縁部	突起部/刻みを持つ渦巻状の隆帯	中期/勝坂Ⅲ
第13図-5		深鉢/口縁部	縦位RL燃系	中期
第13図-6		深鉢/口縁部	縦位RL縄文	中期/加曾利EⅡ
第13図-7		深鉢/口縁部	縦位LR燃系、2条の平行隆帯	中期/加曾利EⅠ
第13図-8		浅鉢/口縁部		中期
第13図-9		深鉢/口縁部	波状口縁/地文条線	中期/加曾利EⅡ
第13図-10		深鉢/胴部	刻目隆帯、胎に連続爪形文と波状沈線	中期/勝坂Ⅱ
第13図-11		深鉢/口縁部	交互刺突帯を2条	中期/加曾利EⅡ
第13図-12		浅鉢/口縁部	内面口縁部以下黒色	中期/加曾利E
第13図-13		深鉢/底部	縦位LR燃系	中期
第13図-14		深鉢/胴部	縦位LR燃系	中期
第13図-15		深鉢/胴部	縦位LR燃系	中期
第13図-16		深鉢/胴部	縦位LR燃系	中期
第13図-17		深鉢/胴部	斜位RL縄文	中期
第13図-18		深鉢/胴部	縦位LR燃系	中期
第13図-19		深鉢/口縁部		中期
第13図-20		深鉢/口縁部		中期
第13図-21	石鏝	長さ:1.9、幅:1.3、厚さ:0.3、重量:(0.58)/石材:真岩/一部欠損	—	
第13図-22	打製石斧	長さ:(4.9)、幅:(4.7)、厚さ:(1.2)、重量:(47.95)/石材:砂岩/下部欠損	—	
第13図-23	敲石	長さ:11.8、幅:4.0、厚さ:2.4、重量:198.06/石材:凝灰岩/壳形/両端、側面の一部に使用痕	—	
第13図-24	深鉢/口縁部	波状口縁/地文縦位RL・LR縄文を羽状、幅広、幅狭の押引文	中期/勝坂Ⅱ	
第13図-25	突起部	眼鏡状突起破片か	中期/勝坂	
第13図-26	鍔付土器/口縁部	内外面ミガキ/26~28、47、48は同一個体	中期/加曾利EⅢ	
第13図-27	鍔付土器/鍔部	地文縦位RL縄文、平行沈線2条による斜位の区画、沈線間磨り消し	中期/加曾利EⅢ	
第13図-28	鍔付土器/胴部		中期/加曾利EⅢ	
第13図-29	深鉢/口縁部	地文縄文	中期/加曾利E	
第13図-30	浅鉢/口縁部	波頂部	中期/勝坂	
第13図-31	浅鉢/口縁部	縦位RL縄文/口唇部赤彩か	中期	
第13図-32	浅鉢/口縁部	縦位RL燃系	中期	
第13図-33	深鉢/口縁部	平行隆帯	中期/勝坂	
第13図-34	深鉢/口縁部	胎土に雲母・石英含む	中期/阿玉台	
第13図-35	深鉢/口縁部	地文縦位燃系/扁平な隆帯	中期/加曾利EⅠ~Ⅱ	
第13図-36	深鉢/口縁部	波状口縁/地文横位LR縄文/平行沈線	中期/加曾利EⅡ	
第13図-37	深鉢/口縁部	地文縦位LR燃系/平行沈線間を交互刺突	中期/加曾利EⅡ	
第13図-38	深鉢/口縁部	地文縦位LR燃系/平行沈線	中期/加曾利EⅡ	
第13図-39	深鉢/口縁部	地文縦位LR燃系/平行沈線	中期/加曾利EⅡ	
第13図-40	深鉢/口縁部	地文条線/平行沈線	中期/加曾利EⅡ	
第13図-41	深鉢/口縁部	地文条線	中期/加曾利EⅡ	
第13図-42	深鉢/胴部	断面三角形の隆帯/胎土に雲母含む	中期/阿玉台	
第13図-43	深鉢/胴部	刻目隆帯	中期/勝坂Ⅲ	
第13図-44	深鉢/胴部	平行沈線、ベン先状工具による刺突	中期/加曾利EⅡ	
第13図-45	深鉢/口縁部	棒状工具による平行沈線	中期/曾利	
第13図-46	深鉢/胴部	先端の尖った工具による粗雑な沈線文	中期/曾利	
第13図-47	鍔付土器/胴部	地文縦位RL縄文/平行沈線による区画	中期/加曾利EⅢ	
第13図-48	鍔付土器/胴部		中期/加曾利EⅢ	
第13図-49	深鉢/口縁部	地文縦位燃系	中期/加曾利EⅠ	
第13図-50	深鉢/頸部	地文縄文、平行隆帯による口縁部文様	中期/加曾利EⅠ	
第13図-51	深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、平行隆帯による渦巻き	中期/加曾利EⅠ	
第13図-52	深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、隆帯による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅠ	
第13図-53	深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、隆帯による蛇行懸垂文、52と同一個体	中期/加曾利EⅠ	
第13図-54	深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、隆帯による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅠ	
第13図-55	深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、平行隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ	
第13図-56	深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、隆帯による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅠ	
第14図-57	深鉢/胴部	地文縦位LR燃系、薄い隆帯による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅠ	

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式
第14図-58	28号住居跡	深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、隆帯による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅠ
第14図-59		深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、平行沈線による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅡ
第14図-60		深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、隆帯による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅠ
第14図-61		深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、平行隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ
第14図-62		深鉢/胴部	地文横位LR縄文、平行隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ
第14図-63		深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、平行隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ
第14図-64		深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、平行隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ
第14図-65		深鉢/胴部	地文縦位LR燃系、平行隆帯による頸部区画、沈線による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅡ
第14図-66		深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、平行沈線による懸垂文	中期/加曾利EⅡ
第14図-67		深鉢/胴部	地文条線、半截竹管状工具による3条の懸垂文	中期/加曾利EⅡ
第14図-68		深鉢/胴部	地文条線、半截竹管状工具による懸垂文	中期/加曾利EⅡ
第14図-69		深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、半隆起線による懸垂文	中期/加曾利EⅡ
第14図-70		深鉢/胴部	地文斜位RL縄文、平行沈線による弧	中期/加曾利EⅡ
第14図-71		深鉢/胴部	地文条線、平行沈線による連弧文	中期/加曾利EⅡ
第14図-72		深鉢/胴部	地文横位RL縄文、隆帯による胴部区画、半截竹管状工具による鋸歯状沈線	中期/加曾利EⅡ
第14図-73		深鉢/胴部	平行沈線による連弧文、懸垂文	中期/加曾利EⅡ
第14図-74		深鉢/胴部	地文縦位LR縄文、U字の懸垂文	中期/加曾利EⅢ
第14図-75		深鉢/胴部	地文縦位RL縄文、沈線による懸垂文間を磨り消し	中期/加曾利EⅢ
第14図-76		深鉢/胴部	地文縦位LR縄文、沈線による懸垂文間を磨り消し	中期/加曾利EⅢ
第14図-77		深鉢/胴部	地文縦位LR燃系、沈線による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅡ
第14図-78	深鉢/胴部	地文縦位LR燃系	中期/加曾利E	
第14図-79	深鉢/胴部	地文縦位LR燃系	中期/加曾利E	
第14図-80	深鉢/胴部	地文斜位LR縄文	中期/加曾利E	
第14図-81	深鉢/胴部	地文縦位RL縄文	中期/加曾利E	
第14図-82	深鉢/胴部	地文横位LR縄文	中期/加曾利E	
第14図-83	深鉢/胴部	地文縦位RL縄文	中期/加曾利E	
第14図-84	深鉢/底部	沈線による懸垂文/底径:(8.0)	中期/加曾利EⅡ	
第14図-85	深鉢/口縁部	胎土に雲母含む	中期/勝坂Ⅲ	
第14図-86	浅鉢/口縁部	外面ミガキ/外面赤彩	中期/勝坂~加曾利E	
第14図-87	浅鉢/口縁部	外面ミガキ/外面赤彩、内面黒色	中期/加曾利EⅠ	
第14図-88	浅鉢/口縁部	内外面ミガキ	中期/勝坂~加曾利E	
第14図-89	浅鉢/口縁部	内面ミガキ	中期/勝坂~加曾利E	
第14図-90	浅鉢/口縁部	内外面ミガキ	中期/勝坂~加曾利E	
第14図-91	浅鉢/口縁部	内外面ミガキ/内外面黒色、内面口縁部に赤彩	中期/加曾利EⅠ	
第14図-92	浅鉢/頸部	内外面ミガキ	中期	
第14図-93	浅鉢/頸部	内外面ミガキ/隆帯による渦巻き	中期/勝坂~加曾利E	
第14図-94	浅鉢/胴部	内外面ミガキ	中期	
第14図-95	浅鉢/胴部	内外面ミガキ/内面黒色	中期	
第14図-96	浅鉢/胴部		中期	
第14図-97	浅鉢/底部	底径:(10.0)	中期	
第14図-98	土製品/耳飾	上径:(2.4)、下径:(3.0)、高さ:2.6	中期	
第14図-99	土製品/円盤	地文縦位RL縄文/径:5.2	中期	
第14図-100	石匙	長さ:7.5、幅:2.4、厚さ:1.2、重量:23.58/石材:緑泥片岩/壳形	—	
第14図-101	打製石斧	長さ:9.0、幅:5.0、厚さ:1.9、重量:95.91/石材:ホルンフェルス/壳形	—	
第14図-102	打製石斧	長さ:8.8、幅:4.6、厚さ:1.7、重量:127.01/石材:細粒砂岩/壳形	—	
第14図-103	打製石斧	長さ:10.2、幅:4.8、厚さ:2.1、重量:91.64/石材:細粒砂岩/壳形	—	
第14図-104	磨り石・敲き石	長さ:6.3、幅:9.1、厚さ:2.9、重量:230.56/石材:安山岩/壳形	—	
第14図-105	敲き石	長さ:10.0、幅:3.4、厚さ:2.1、重量:135.22/石材:泥岩/壳形	—	
第15図-106	深鉢/口縁部	隆帯に沿って2列1組の押引文/胎土に雲母含む	中期/阿玉台Ⅱ	
第15図-107	深鉢/口縁部	環状の隆帯、幅広の押引文で区画、区画内はベン先状工具の連続刺突/胎土に雲母含む	中期/勝坂Ⅰ	
第15図-108	深鉢/口縁部	地文LR燃系、平行隆帯	中期/加曾利EⅠ	
第15図-109	深鉢/口縁部	半截竹管状工具の連続刺突、隆帯による懸垂文? /胎土に雲母含む	中期/阿玉台Ⅱ	
第15図-110	深鉢/口縁部	平行沈線/胎土に雲母含む	中期	
第15図-111	深鉢/口縁部	隆帯による懸垂文/胎土に雲母含む	中期/阿玉台	

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式	
第15図-112	29号住居跡	深鉢/口縁部	地文条線、平行沈線	中期/加曾利EⅡ	
第15図-113		深鉢/口縁部	刻目隆帯	中期/勝坂Ⅲ	
第15図-114		深鉢/口縁部	地文横位RL縷文、平行隆帯	中期/加曾利EⅠ	
第15図-115		深鉢/口縁部	平行沈線による連弧文	中期/加曾利EⅡ	
第15図-116		深鉢/口縁部	地文口縁部は横位RL、胴部は縦位の擦糸、平行沈線による連弧文	中期/加曾利EⅡ	
第15図-117		深鉢/口縁部		中期/勝坂	
第15図-118		深鉢/口縁部	口唇部に刻み	中期/勝坂	
第15図-119		深鉢/胴部	地文縦位RL擦糸、頭部に波状の粘土紐貼り付け	中期/曾利	
第15図-120		深鉢/胴部	押し文、鋸歯状の沈線	中期/勝坂Ⅱ	
第15図-121		深鉢/胴部	幅広の押し文、ベン先状工具の連続刺突/胎土に雲母含む	中期/勝坂Ⅰ	
第15図-122		深鉢/胴部	沈線間に刻み	中期/勝坂Ⅲ	
第15図-123		深鉢/胴部	半隆起線の上に刻み	中期/勝坂Ⅲ	
第15図-124		深鉢/胴部	平行隆帯	中期/勝坂Ⅲ	
第15図-125		深鉢/頸部	隆帯上に刺突、縦位に平行沈線	中期/曾利	
第15図-126	深鉢/胴部	半隆起線による区画、区画内連続刺突、横位の縷文	中期/勝坂Ⅱ		
第15図-127	深鉢/胴部	半隆起線、一部押しきによる区画、区画内斜位のRL縷文	中期/勝坂Ⅱ		
第15図-128	深鉢/胴部	半隆起線による区画、区画内縦位のRL縷文	中期/勝坂Ⅱ		
第15図-129	深鉢/胴部	半隆起線によるクランク状区画、区画内斜位の縷文	中期/勝坂Ⅱ		
第15図-130	深鉢/口縁部	地文縦位RL擦糸/内面ミガキ	中期/加曾利EⅠ		
第15図-131	深鉢/胴部	地文縦位RL擦糸、平行隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ		
第15図-132	深鉢/胴部	地文縦位RL縷文、平行隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ		
第15図-133	深鉢/胴部	地文縦位RL擦糸、隆帯による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅠ		
第15図-134	深鉢/胴部	地文縦位RL擦糸、平行隆帯による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅠ		
第15図-135	深鉢/胴部	地文縦位RL擦糸、平行隆帯による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅠ		
第15図-136	深鉢/胴部	地文縦位RL縷文、平行沈線による懸垂文	中期/加曾利EⅡ		
第15図-137	深鉢/胴部	縦位平行沈線? /胎土に雲母含む	中期/阿玉台		
第15図-138	深鉢/胴部	地文縦位RL擦糸	中期		
第15図-139	深鉢/胴部	地文縦位RL擦糸	中期		
第15図-140	深鉢/胴部	地文縦位RL縷文	中期		
第15図-141	深鉢/胴部	地文縦位RL縷文、沈線による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅡ		
第15図-142	深鉢/底部		中期		
第15図-143	土製品? /円盤	側面に刻み/裏面中央にはがれ痕があるため、土器の一部の可能性がある	中期		
第15図-144	深鉢/口縁部	無文	中期/勝坂Ⅲ		
第15図-145	深鉢/胴部	隆帯脇に連続刺突	中期/勝坂Ⅱ		
第15図-146	深鉢/胴部	断面三角形の隆帯に沿って波状の平行沈線	中期/勝坂Ⅱ		
第15図-147	深鉢/口縁部	地文横位RL擦糸、平行沈線	中期/加曾利EⅠ		
第15図-148	深鉢/胴部	胎土に雲母含む	中期/阿玉台		
第15図-149	深鉢/胴部	2種類の多載工具による沈線/胎土に結晶片岩を含む	中期/勝坂		
第15図-150	深鉢/胴部	2種類の多載工具による沈線/胎土に結晶片岩を含む/149と同一個体	中期/勝坂		
第15図-151	深鉢/胴部	地文縦位LR縷文、平行沈線による懸垂文	中期/加曾利EⅡ		
第15図-152	磨製石斧	長さ:10.5、幅:5.6、厚さ:3.2、重量:294.86/石材:凝灰岩/完形/被熱	—		
第15図-153	土坑1	深鉢/口縁部		中期	
第15図-154	土坑2	深鉢/胴部	地文縦位RL擦糸、半截竹管状工具による平行沈線	中期/加曾利EⅡ	
第15図-155	トレンチ1	深鉢/口縁部	棒状工具の連続刺突/胎土に雲母を含む	中期/阿玉台Ⅱ	
第15図-156		深鉢/口縁部	沈線に近い押し文/胎土に雲母・石英を含む	中期/阿玉台	
第15図-157		深鉢/口縁部	有孔鈔付土器か/内面ミガキ	中期	
第15図-158		深鉢/胴部	隆帯脇に幅広の押し文、その内側に幅の狭い押し文	中期/勝坂Ⅱ	
第15図-159		深鉢/胴部	隆帯脇に幅広の押し文、波状沈線	中期/勝坂Ⅱ	
第15図-160		深鉢/胴部	隆帯上交互刺突	中期/勝坂Ⅲ	
第15図-161		深鉢/胴部	地文条線、連弧文	中期/加曾利EⅢ	
第15図-162		深鉢/胴部	縦位RL縷文	中期	
第15図-163		深鉢/胴部	横位RL縷文	中期	
第15図-164		深鉢/胴部	J字の懸垂文	中期	
第16図-165		トレンチ2	浅鉢/口縁部	口縁に交互刺突、刻目隆帯脇に押し文、V字の沈線	中期/勝坂Ⅱ
第16図-166		浅鉢/口縁部	把手部/隆帯に沿う連続刺突による渦巻き文	中期/勝坂Ⅱ	
第16図-167		深鉢/口縁部	連続刺突/胎土に雲母を含む	中期/阿玉台	

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式
第16図-168	トレンチ2	深鉢/口縁部	口唇部に沈線、隆帯による頭部区画、地文縦位擦糸	中期/加曾利EⅠ
第16図-169		深鉢/口縁部	平行沈線	中期/加曾利EⅡ
第16図-170		深鉢/口縁部	縦位RL擦糸	中期/勝坂
第16図-171		深鉢/口縁部	地文有り、平行沈線	中期/加曾利EⅡ
第16図-172		深鉢/口縁部	胎土に雲母・石英を含む	中期/阿玉台
第16図-173		深鉢/口縁部		中期/勝坂
第16図-174		深鉢/口縁部		中期/勝坂
第16図-175		深鉢/口縁部		中期/勝坂
第16図-176		深鉢/口縁部	地文横位RL擦糸、弧状の平行隆帯	中期/加曾利EⅠ
第16図-177		深鉢/口縁部	地文条線	中期/加曾利EⅡ
第16図-178		深鉢/胴部	地文縦位LR縷文、隆帯による渦巻き/内面ミガキ	中期/加曾利EⅠ~Ⅱ
第16図-179		深鉢/胴部	刻目隆帯脇に沈線	中期/勝坂Ⅲ
第16図-180		深鉢/胴部	刻目隆帯脇に沈線	中期/勝坂Ⅲ
第16図-181		深鉢/底部	半截竹管状工具による沈線区画、区画縁に刻み、内側に刺突列	中期/勝坂
第16図-182	深鉢/胴部	管状工具の刺突列、平行沈線間に交互刺突/胎土に結晶片岩	中期/五領ヶ台	
第16図-183	浅鉢? /胴部	内面ミガキ	中期/勝坂	
第16図-184	深鉢/胴部	キャタピラ文、平行沈線	中期/勝坂	
第16図-185	深鉢/胴部	刻目隆帯脇に沈線、区画内に連続刺突列	中期/勝坂Ⅲ	
第16図-186	深鉢/胴部	地文横位平行沈線、棒状隆帯貼り付け	中期/曾利	
第16図-187	深鉢/胴部	横位LR縷文	中期/勝坂	
第16図-188	深鉢/胴部	地文縦位RL擦糸、幅広の隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ	
第16図-189	深鉢/胴部	地文縦位RL擦糸、隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ	
第16図-190	深鉢/胴部	地文縦位RL縷文、平行隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ	
第16図-191	深鉢/底部	地文縦位RL縷文、平行隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ	
第16図-192	深鉢/底部	縦位LR擦糸	中期	
第16図-193	深鉢/胴部	縦位RL擦糸	中期	
第16図-194	深鉢/胴部	縦位RL擦糸	中期	
第16図-195	深鉢/胴部	縦位RL縷文	中期	
第16図-196	深鉢/胴部	斜位RL縷文	中期	
第16図-197	深鉢/胴部	斜位RL縷文	中期	
第16図-198	土製品/円盤	地文縦位LR縷文、平行隆帯による懸垂文/径:4.0	中期	
第16図-199	浅鉢/口縁部	平行する弧状の隆帯	中期/加曾利EⅠ	
第16図-200	浅鉢/口縁部	内面ミガキ	中期	
第16図-201	深鉢/口縁部	2列の刺突文、平行沈線	中期/加曾利EⅡ	
第16図-202	深鉢/口縁部	沈線による懸垂文、沈線間に縦位RL縷文	中期/加曾利EⅢ	
第16図-203	深鉢/胴部	ヒタ状圧痕	中期/阿玉台	
第16図-204	トレンチ3	深鉢/胴部	地文縦位RL縷文、平行隆帯による懸垂文	中期/加曾利EⅠ
第16図-205		深鉢/胴部	地文縦位RL縷文、平行沈線による懸垂文	中期/加曾利EⅡ
第16図-206		深鉢/胴部	地文縦位RL縷文、磨り消し	中期/加曾利EⅢ
第16図-207		深鉢/頸部	多載工具による縦位の沈線	中期/加曾利EⅢ
第16図-208		深鉢/胴部	地文縦位RL擦糸、平行沈線による連弧文	中期/加曾利EⅡ
第16図-209		深鉢/胴部	地文縦~斜位RL縷文、沈線による蛇行懸垂文	中期/加曾利EⅡ
第16図-210		浅鉢/口縁部	平行する沈線間に刻み	中期/勝坂Ⅰ
第16図-211		深鉢/口縁部	横位の沈線による区画内に沈線を充填	中期
第16図-212		浅鉢/口縁部	地文横位の擦糸か、隆帯による渦巻き文	中期/加曾利EⅠ
第16図-213		深鉢/口縁部	沈線による懸垂文、連弧文	中期/加曾利EⅡ~Ⅲ
第16図-214		深鉢/口縁部	地文条線	中期/加曾利EⅡ~Ⅲ
第16図-215		深鉢/口縁部	地文条線、連弧文	中期/加曾利EⅡ~Ⅲ
第16図-216		深鉢/口縁部	地文横位L擦糸、平行隆帯	中期/加曾利EⅠ
第16図-217		深鉢/胴部	地文縦位RL縷文、沈線間磨り消し	中期/加曾利EⅢ
第16図-218	深鉢/胴部	縦位RL擦糸	中期	
第16図-219	深鉢/胴部	横位RL縷文	中期	
第16図-220	深鉢/胴部	縦位RL縷文	中期	
第16図-221	遺構外	石匙	長さ:12.3、幅:4.3、厚さ:1.2、重量:78.92/石材:ホルンフェルス	—
第16図-222		打製石斧	長さ:10.8、幅:5.6、厚さ:2.9、重量:211.4/石材:中粒砂岩	—
第16図-223		打製石斧	長さ:9.9、幅:6.1、厚さ:1.6、重量:94.47/石材:ホルンフェルス	—
第16図-224		打製石斧	長さ:(11.2)、幅:(4.9)、厚さ:2.0、重量:134.45/石材:ホルンフェルス/基部欠損	—

第4章 北野遺跡の調査

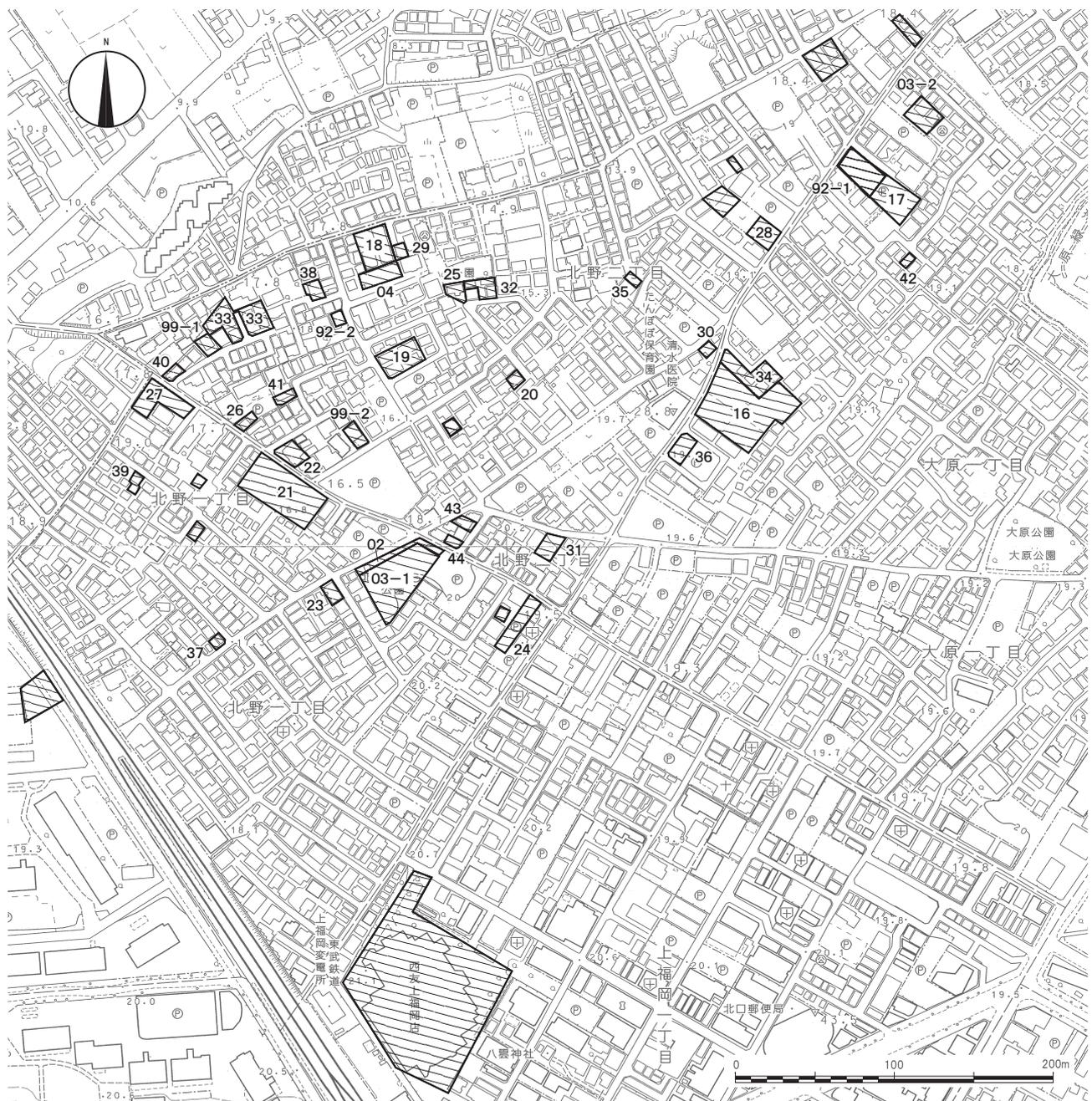
I 遺跡の立地と環境

北野遺跡は、藤間江川に面した標高17～18mの台地縁辺にあり、開析した小支谷を囲うように立地する南北250m、東西650m以上の遺跡である。上福岡駅まで600mに位置する利便性のため、昭和30年代から宅地開発され、ほとんど空き地は残っていない。

周辺の遺跡は、1km上流に縄文集落の西遺跡、下流に旧石器時代から縄文、古代、中近世にわたる複合遺

跡の川崎遺跡、川崎横穴墓群がある。

1965年の分布調査、1970年代後半の宅地開発で縄文時代早～中期の土器片が採集され、1980年以来、2018年4月現在44ヶ所で試掘調査が行われている。縄文時代中期と平安時代の住居跡各1軒、縄文時代中期頃と考えられる集石土坑、中世以前とみられる溝等を検出、縄文時代中期深鉢土器の顔面把手等も採集されている。



第17図 北野遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

Ⅱ 北野遺跡第31地点

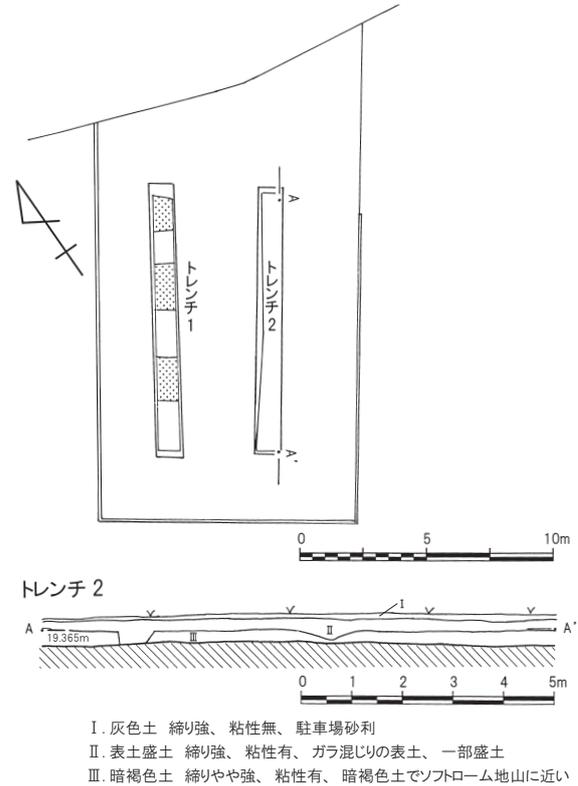
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年7月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年8月18日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは50～60cmである。遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべてトレンチ覆土中から出土したものである。出土遺物に関しては第19図及び第15表に掲載した。



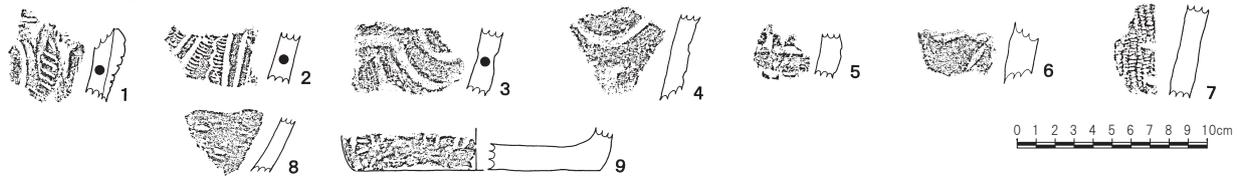
第18図 北野遺跡第31地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

第14表 北野遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	北野2-2110-1の一部、2112-1	(2006.4.7)	408(44)	分譲住宅	遺構遺物なし	市3
2	北野1-3119-11	(2006.8.4)	131	個人住宅	遺構遺物なし	18教要、市3
3	北野1-3061-4	(2006.4.28)	148	個人住宅	保護層有、遺構遺物なし	市3
4	北野2-8-3	(2006.8.24)	58	個人住宅	遺構遺物なし	18教要
92-1	大原2-2079-1	(1992.6.19～22)	617	駐車場	溝2、縄文時代中期土器片、土師器片	埋15
92-2	北野2-1809-1	(1992.8.6)	138	個人住宅	遺構遺物なし	埋15
99-1	北野2-1797-5	(1999.7.2)	157.4	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋22
99-2	北野2-1787-1	(1999.8.9～12)	179.1	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋22
02	北野1-3058-1、3114-1の一部	(2002.11.28～29)	100	公園歩道	遺構遺物なし	埋25
03-1	北野1-3058-1、3114-1の一部	(2003.7.1～11)	1,484	公園	遺構遺物なし	埋26
03-2	大原2-2081-6	(2003.8.8～11)	350	宅地造成	土坑1、縄文土器片	埋26
04	北野2-1827-1～3	(2004.4.16～19)	435	共同住宅	遺構遺物なし	埋27
05	北野1-3129-3・20	(2005.12.2)	101	個人住宅	遺構遺物なし	17教要
16	大原1-2070-1、2071-1	(2009.4.8～10)	296(1,888)	宅地造成	ビット3、中期初頭土器・石器	市8
17	大原1-2079-1・6	(2009.10.13～17)	122.5(412)	共同住宅	土坑2、阿玉台IV土器	市8
18	北野2-1828-2・12、1829-1・2	(2009.3.9～18)	178(507.9)	分譲住宅	縄文住居跡1(J1住)、奈良平安住居跡(H1住)、土坑3、ビット8	市8
19	北野2-1821-1・2、1820-4	(2010.12.1～2)	476.3	共同住宅	ビット2、遺物なし	市10
20	北野2-1835-11	(2011.8.11)	61.3(4)	個人住宅	遺構遺物なし	市14
21	北野1-3117-3、3118-1	(2011.12.8～20)	830	分譲住宅	堀跡1、縄文土器片、焙烙	市14
22	北野2-1788-8の一部	(2012.2.6～8)	48(207.1)	分譲住宅	遺構なし、須恵器片	市14
23	北野1-3111-4(1-4-9)	(2012.8.28)	140.8	個人住宅	遺構遺物なし	市15
24	北野1-3063-1	(2012.9.13～14)	335	分譲住宅	土坑1、根張り溝1、縄文土器片	市15
25	北野2-1833-3(2-6-6)	(2012.12.10)	142.7	分譲住宅	遺構遺物なし	市15
26	北野2-1795-3	(2012.12.14)	117	分譲住宅	遺構遺物なし	市15
27	北野1-3119-11	(2014.5.7)	481	共同住宅	遺構遺物なし	市20
28	北野2-2110-9	(2014.5.27～28)	100.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市20
28	北野2-2110-8	(2014.5.27)5.28	101.4	個人住宅	縄文時代集石土坑1、土器片	市20
29	北野2-1830-8	(2014.10.14～15)	83.7	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市20
30	北野2-2067-8	(2014.10.30～11.5)	75.9	分譲住宅	溝1、遺物なし	市20
31	北野2-2130-4・9	(2015.8.18)	179	分譲住宅	遺構なし、縄文土器片	市22
32	北野2-1841-7他	(2015.8.27)	209	分譲住宅	遺構遺物なし	市22
33	北野2-1801-3・4・42・43	(2015.12.1～8)2015.12.15～21	627.69	分譲住宅	集石土坑5、縄文土器片	市19
34	大原-2073-1	(2015.12.7～8)	276.13	共同住宅	ビット1、縄文土器片	市22
35	北野2-2116-4	(2015.12.8)	53	個人住宅	遺構遺物なし	市22
36	大原1-2058-10・11の各一部	(2016.2.15～16)	212	共同住宅	遺構なし、土器片	市22
37	北野1-3127-23・25	(2016.3.25)	70.25	個人住宅	遺構遺物なし	市22
38	北野2-1807-6・7・8、1808-3・5	(2016.7.29)	106.9	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	未報告
39	北野1-3129-27・28	(2016.12.5)	119	建売住宅	遺構遺物なし	未報告
40	北野2-5-27	(2017.1.31)	65	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
41	北野2-1794-2の一部	(2017.2.20)	157.49	専用住宅	遺構遺物なし	未報告
42	大原2-5692-9	(2017.7.6)	63.83	建売住宅	溝、ビット、遺物なし	未報告
43	北野2-2129-11	(2017.8.4)	86.67	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	未報告
44	北野2-2129-7	(2017.12.14)	68.59	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告

* 埋: 上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調: 上福岡市遺跡調査会報告書、教要: 上福岡市・ふじみ野市教育要覧、市: ふじみ野市市内遺跡群報告書

第31 地点出土遺物



第15表 北野遺跡第31 地点出土遺物観察表 (単位cm・g)

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式
第19図-1	遺構外	深鉢/胴部	隆帯上に刻み、隆帯脇に沈線/胎土に石英粒、雲母含む	中期/勝坂
第19図-2		深鉢/胴部	竹管状工具による平行沈線とそれに沿う刺突、爪形文/胎土に石英粒、雲母僅か	中期/勝坂
第19図-3		深鉢/胴部	竹管状工具による沈線/内外面とも磨滅が激しい、4と同一個体か	中期
第19図-4		深鉢/胴部	竹管状工具による沈線/内外面とも磨滅が激しい、3と同一個体か	中期
第19図-5		深鉢/胴部	竹管状工具による沈線/内外面とも磨滅が激しい	中期
第19図-6		深鉢/胴部	沈線	中期
第19図-7		深鉢/胴部	縦位R燃糸	中期
第19図-8		深鉢/胴部		中期
第19図-9		深鉢/底部	沈線	中期

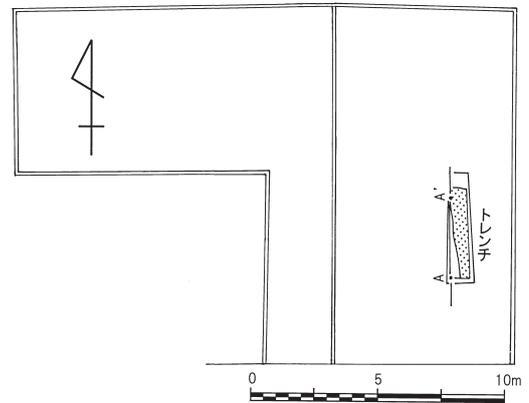
Ⅲ 北野遺跡第32 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年8月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや北寄りに位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年8月27日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約60cmである。試掘の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

第32 地点



トレンチ



I. 黒褐色土 締り弱、粘性有、表土耕作土 10cm 以下ロームブロック少し含む

Ⅳ 北野遺跡第33 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴い、2015年12月1日～8日に試掘調査、12月15日～21日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛した。

V 北野遺跡第34地点

(1) 調査の概要

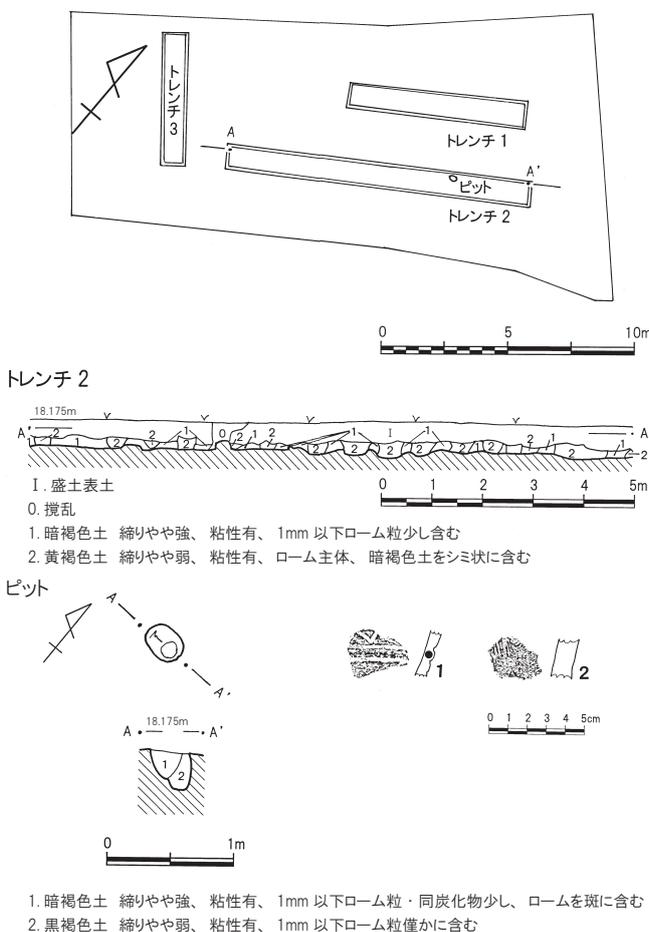
調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2015年11月21日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の東側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年12月7～8日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1mのトレンチ3本を設定し、人力で表土除去、表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約50～60cmである。試掘の結果、遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図等記録保存を行ったうえで重機によって埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

遺物は表土中から出土した縄文土器片2点である。1は金雲母を含み、横位の平行沈線と鋸歯状沈線を施す。中期阿玉台式。2は器面が荒れているが、わずかに条痕がみられる。中期か。

第34地点



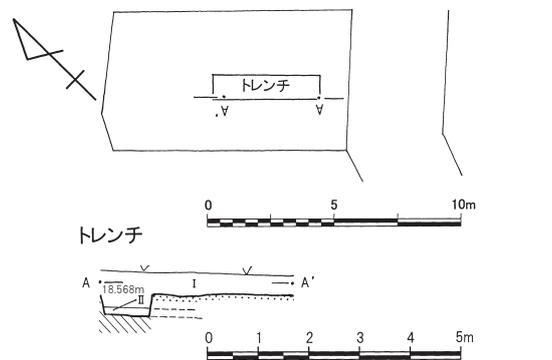
VI 北野遺跡第35地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年12月3日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年12月8日に試掘調査を実施した。調査は幅約1mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約80cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第35地点



第20図 北野遺跡第34地点遺構配置図・35地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、ピット(1/60)、第34地点出土遺物(1/4)

Ⅶ 北野遺跡第36地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2016年1月22日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年2月15日～16日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.2～1.6mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40cmである。

調査の結果、表土中より縄文土器片1点が出土したのみで遺構は発見されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

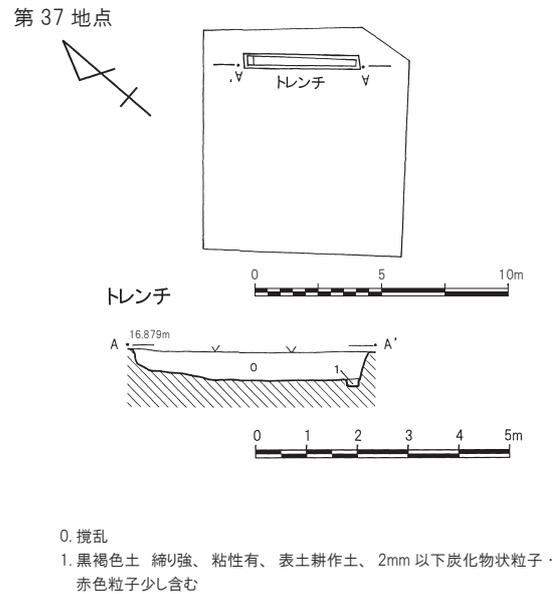
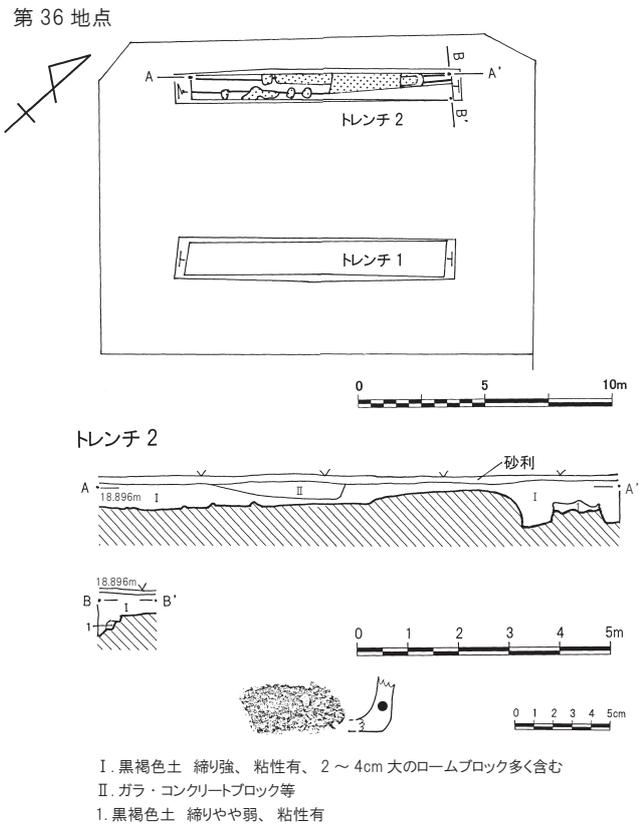
遺物は無文の深鉢底部で、金雲母を多く含む。中期か。

Ⅷ 北野遺跡第37地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2016年3月22日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年3月25日に試掘調査を実施した。調査は幅約60cmのトレンチ1本を設定し、人力で表土除去、表面精査を行った。現地表面から約60cmまでが表土層であり、その下は埋没谷覆土のため地山ローム層は確認できなかった。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第21図 北野遺跡第36・37地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、第36地点出土遺物(1/4)

第5章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

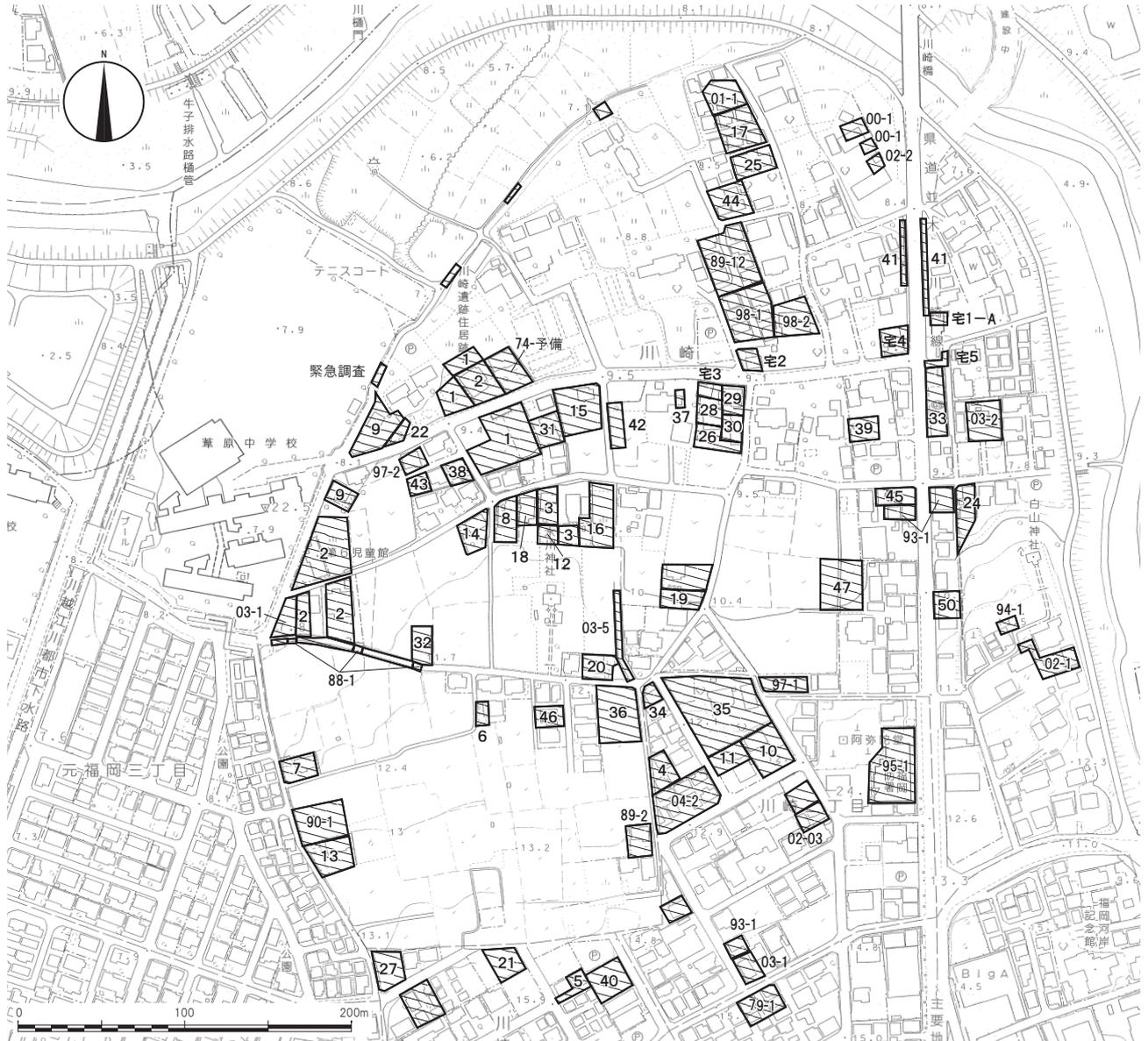
川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に

川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正6)年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928(昭和3)年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2018年4月現在79ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。

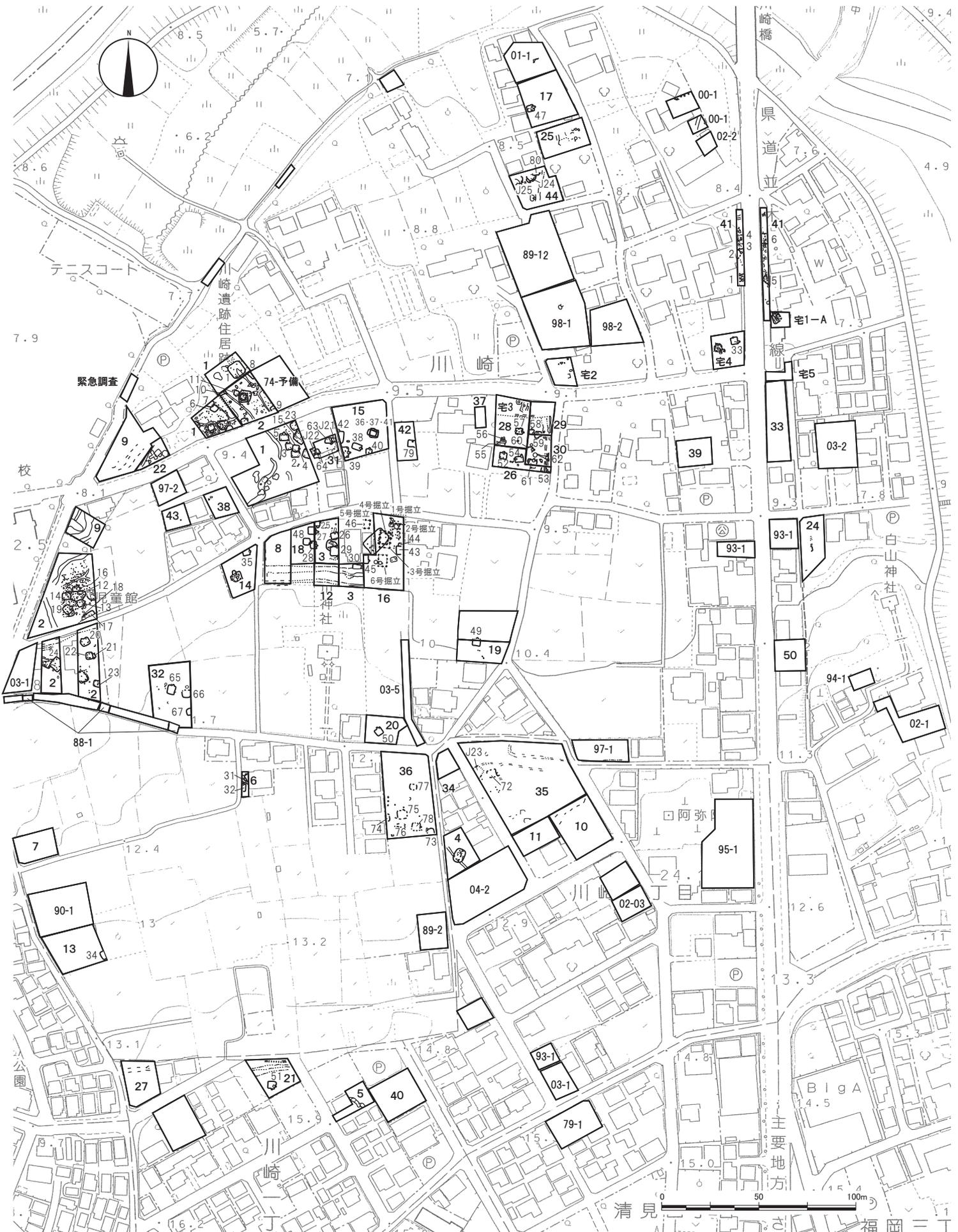


第22図 川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第16表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎160	(1974.3.25~4.4)	84	事前調査	炉穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上遺調
1次	川崎162~176	1974.7.20~9.19	1,800	事前調査	住居跡11(縄文時代前期3、古墳時代前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎字宮後168-3	1975.3.30~5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上遺調
宅地添1次(A地区)	大字川崎字宅地添122	1975.6.8~29	50	個人住宅	縄文時代早期住居跡1、縄文土器、石器、礫	上遺調
2次	川崎137~174	1975.9.4~12.5	3,055	事前調査	縄文時代住居跡9、古墳時代住居跡6、奈良平安時代住居跡10、中世遺構他	川崎遺跡第2次調査概報
3次	川崎149-6	1977.11.1~12.3	300	住宅建設	縄文時代住居跡2(7・8)、奈良平安時代住居跡6(1・2・4~6・9)、焼土散	川崎遺跡第3次・長宮遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎198	1978.5.15~25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋(I)
宅地添3次(C地区)	川崎230	1978.5.23~31	130	宅地造成	井戸2、地下坑1、溝1	埋(I)
4次	川崎2-5-2	1979.4.19~5.11	304	宅地造成	縄文前期時代住居跡1、溝1、黒浜式土器、貝類	埋(II)(IV)
5次	川崎1-1-4	1979.9.26~10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋(II)
79年度試掘(清見)	清見4-3-11	(1979.11.12~19)	260	宅地造成	溝1	埋(II)
6次	川崎102-5	1979.12.3~8	30	プレハブ家屋	縄文時代前期住居跡2、平安時代住居跡2、縄文土器片	埋(II)
7次	川崎124-3	1981.11.27~30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	埋(IV)
8次	大字川崎字宮脇148-1	1984.1.17~26	400	住宅建設	溝1	埋(VI)
宅地添4次	川崎宅地添219	1984.9.25~10.9	301	住宅建設	縄文時代住居跡1、平安時代住居跡1	埋(VII)
9次	川崎字宮後口172-1・2	1986.9.11~20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安時代土器散布	埋(IX)
10次	川崎224-1	1987.11.24~30	603	個人住宅	溝1	埋(X)
11次	川崎2-6-2	1988.5.10~17	289	住宅建設	遺構遺物なし	埋(11)
88試	市道402号線	(1988.9.19~21)	60	下水道設置	住居跡1	埋(11)
89試(1)	川崎字宅地添196-1	(1989.4.10~18)	1,045	住宅建設	遺構遺物なし	埋(12)
89試(2)	川崎字宮前98-2	(1989.10.3~6)	264	住宅建設	遺構遺物なし	埋(12)
12次	川崎字宮前149-4・5	1990.4.20~27	311	住宅建設	溝2	埋(13)
13次	大字川崎字宮前122	1990.5.1~17	480	住宅建設	奈良時代住居跡1	埋(13)
90試(1)	大字川崎字宮前122	(1990.5.18~23)	530	範囲確認	遺構遺物なし	埋(13)
14次	大字川崎字宮前145	1990.10.1~31	499	住宅建設	縄文時代前期住居跡1、貝塚、平安時代住居跡1	埋(13)
15次	川崎字宮後口160-1	1991.10.23~11.20	499	個人住宅	平安時代住居跡7、土坑1	埋(14)
92試(1)	大字川崎字山向9-5	(1993.2.18~19)	168	店舗併用住宅	遺構遺物なし	埋(15)
93試(1)	川崎2-2-10-11	(1993.8.24)	131	個人住宅	遺構遺物なし	埋(16)
93試(2)	川崎1-1-1の一部	(1993.9.10~13)	422	個人住宅	遺構遺物なし	埋(16)
94試(1)	川崎字台258他1筆	(1994.11.17~24)	230	機械置場敷設	遺構遺物なし	埋(17)
95試(1)	川崎2-7-2・3	(1995.10.13~16)	1,126	消防署	遺構遺物なし	埋(18)
16次	川崎字宮脇150-2・3	1995.12.11~1996.3.8	828	駐車場及び資材置場	駐車場及び資材置場跡1、同期住居跡2・土坑2、平安時代住居跡4・掘立柱建物跡6、中世竪穴遺構2	7年教要
17次	川崎字宅地添204の一部	1996.7.15~23	779	個人住宅	平安時代住居跡1	埋(19)
18次	川崎字宮脇148-3	1996.11.18~25	198	個人住宅	平安時代住居跡1	埋(19)
97試(1)	川崎字山向21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(20)
97試(2)	川崎字宮後口165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	遺構遺物なし	埋(20)
97試(3)	川崎字宅地添199-1・2・5	(1998.2.12~16)	780	個人住宅	遺構遺物なし	9年教要
98試(1)	川崎字宅地添197-1	(1998.10.27~11.6)	996	宅地造成	縄文時代前期土坑1他	埋(21)
市道402号線2次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21~25	496	道路	縄文時代前期住居跡1	11年教要
00試(1)	川崎大字宅地添209の一部	(2000.6.19~22)	123.3	個人住宅	貝塚の一部	埋(23)
範囲確認調査	川崎字宅地添209	(2001.6.12~25)	100	車庫	溝1	埋(24)
19次	川崎字宮脇157の一部	2001.9.18~10.4	289	個人住宅	平安時代初期住居跡1	埋(24)
01試(1)	川崎字宅地添204-1	(2001.10.29~30)	825	宅地造成	遺構遺物なし	埋(24)
02試(1)	川崎249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	遺構遺物なし	埋(25)
02試(2)	川崎210-1、2の一部	(2002.10.28~29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋(25)
02試(3)	川崎2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	遺構遺物なし	14年教要
02試(4)	川崎2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	遺構遺物なし	14年教要
02試(5)	川崎字宮脇155先	(2003.3.26)	164	市道401号線	遺構遺物なし	14年教要
03試(1)	川崎137-1の一部	(2003.8.6~7)	257	個人住宅	遺構遺物なし	埋(26)
03試(2)	川崎字宅地添226-14	(2003.12.8~19)	381	個人住宅	遺構遺物なし	埋(26)
宅地添地区5次	川崎字宅地添222-3先	2004.2.16~18	88		古墳時代初期竪穴住居跡1【調査実施】	15年教要
04試(1)	川崎字宮脇157-1の一部	(2004.6.14~15)	421	個人住宅	平安時代住居のカマドの一部	埋(27)
04試(2)	川崎2-5-1	(2004.11.1~4)	881	宅地造成	遺構遺物なし	埋(27)
20次	川崎字宮脇153-5	(2005.11.22~27)2005.11.28~12.2	257	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内1
21	川崎1-6-10	(2006.4.11)2006.4.14~20	298	個人住宅	奈良時代住居跡1、溝	市内3
22	川崎171-1、174-10	(2007.4.16~23)	104	消防団倉庫	炉穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内4
24	川崎字宅地添225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	遺構遺物なし	市内4
25	川崎字宅地添203-1の一部、203-3の一部	(2008.4.14)2008.4.15~17	1,033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1、溝、近代以降の地下室1	市内6
26	川崎字宅地添230-5	(2008.4.21)2008.4.22~5.17	228	個人住宅	奈良平安時代住居跡4、土坑、ピット、近代以降の井戸1	市内6
27	川崎1-7-1	(2008.5.15~21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内6
28	川崎字宅地添230-7	(2008.7.4~9)2008.7.10~8.8	434	個人住宅	奈良平安時代住居跡2、土坑、ピット	市内6
29	川崎字宅地添230-1	(2008.7.9~11)2008.7.14~8.22	203	個人住宅	奈良平安時代住居跡2、溝3	市内6
30	川崎字宅地添230-6	(2008.7.17)2008.7.18~9.5	200	個人住宅	奈良平安時代住居跡4、井戸3、土坑、溝5	市内6
31	川崎字宮後161-5の一部、161-6	(2009.10.28)2009.10.28~11.27	304	個人住宅	縄文時代中期~後期住居跡2、奈良平安時代住居跡2、ピット12	市内8
32	川崎字宮脇140の一部	(2011.2.24~25)2011.3.2~25	396	個人住宅	奈良平安時代住居跡3、土坑2、建物部分本調査	市内10
34	川崎2-5-4	(2011.7.2~26)	117.8	分譲住宅	遺構遺物なし	市内14
35	川崎2-6-4~7-9	(2011.9.27~11.24)	1,924	分譲住宅	縄文時代前期(黒浜期)住居跡1、奈良平安時代住居跡1他	市内14
36	川崎字宮前100-1	(2011.12.15~26)2012.1.10~2012.1.17	1,096	公園整備	奈良平安時代住居跡6他	市内14
37	川崎字宅地添232-1	(2012.9.3)	1,298	個人住宅	須恵器片、遺構なし	市内15
38	川崎字宮後165-3	(2013.2.25)2013.2.26~27	176	個人住宅	縄文焼土跡2・中世以降ピット5	市内15
39	川崎字宅地添227-1	2013.3.4~5	1,121.33	個人住宅	遺構なし、縄文土器、土師器、須恵器、焙烙	市内15
40	川崎1-1-7	(2013.10.11~17)	447	共同住宅	遺構なし、陶器	市内18
41	川崎218-1他	2014.8.1~10.31	419	道路	縄文時代住居跡2・炉穴15・土壇8・ピット15、古代住居跡3、近世の竪穴跡1・溝1・ピット3、縄文土器、石器、石鏡、土師器破片、須恵器破片	川崎遺跡第41次(原址調査事業)報告書第420集
42	川崎宅地添233-3	(2015.6.26~7.2)	200	集会所	平安時代住居跡1、須恵器、土師器、土器片	市内22
43	川崎字宮後165-5・8・9	(2015.6.26)	175.21	個人住宅	焼土、土器片	市内22
44	川崎字宅地添202-1・8	(2015.11.24~12.10)2016.1.5~20	273.56	分譲住宅	縄文時代住居跡2、奈良平安時代住居跡1、貝塚1、地下式坑1、土坑3、ピット7、溝1、縄文土器、石器、石製品、土師器、須恵器	市内19
45	川崎字山向8-4、7-7・8	(2017.2.24)	254.72	個人住宅	溝1(近世以降か)、焙烙、石器(尖頭器あり)	未報告
46	川崎字宮前101-5、103-8	(2017.3.13)	199	個人住宅	性格不明遺構1、土師器、須恵器	未報告
47	川崎字山向15-1、16-1	(2017.12.19)	749	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
48	川崎宅地添234-1	2018.8.27~30	266	個人住宅	縄文時代住居跡1、近世以降溝、縄文土器、土師器、須恵器破片	未報告
49	川崎1-1-5	2019.2.7~8	509	分譲住宅	根切り溝、遺物なし	未報告
50	川崎字山向10-4の一部	(2014.9.8)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内20

※埋:上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調:上福岡市遺跡調査会報告書、教要:上福岡市教育要覧、市内:ふじみ野市内遺跡群報告書



第 23 図 川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)

第17表 川崎遺跡古代住居跡一覧表

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形()は推定	規模	炉	設置壁	カマド	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
						カマドK		カマド規模 cm					
1	1974	第1次LN72	完掘	隅丸方形	760×730×40	炉	地床炉	60×50	○	N-60-E	3世紀終末	市指定文化財	川崎遺跡第1次概観
2	1974	第1次LN05	完掘	方形	390×320×	K			○	N-5-E	国分		〃
3	1974	第1次LN06	完掘	歪んだ方形	320×320×	K	東			N-13-W	9C 4半期		〃
4	1974	第1次LN07	完掘	方形	320×320×	K	東	80×90	○	N-83-W	9C 中葉		〃
5	1974	第1次LN24	完掘	長方形	470×340×50	K	北	120×75	○	N-5-E	10C 1半期		〃
6	1974	第1次LN25	完掘	方形	320×300×	K	北	40×40	○	N-42-E	9C 1半期		〃
7	1974	第1次LN28	西側未掘	(長方形)	×300	K	東	50×60	○	N-69-W	9C 3半期		〃
8	1974	第1次LN71	東側7割未掘	(方形)	×600								〃
9	1975	第2次LN75	部分	(長方形)									川崎遺跡第2次概観
10	1975	第2次LN92	部分	(長方形)							10C 1半期		〃
11	1975	第2次LN72	完掘	隅丸方形	250×250×13	K	南	50×80		N-18-E	国分		〃
12	1975	第2次LN07	完掘	方形	720×720	K	北		○	N-32-E	6C後半	ビット多数、土すい	〃
13	1975	第2次LN04	完掘	方形	390×350	K	東	60×70	○	N-64-E	6C前半	貯蔵穴有り	〃
14	1975	第2次LN05	完掘	長方形	450×370	K	北	100×80	○	N-1-E	10C 2半期		〃
15	1975	第2次LN19	14住に切られる			K	東				9C 4半期	支脚がたつまま	〃
16	1975	第2次LN14	完掘	長方形	370×260	K	北	90×80	○	N-4-E	9C 3半期		〃
17	1975	第2次LN12	南側未掘	長方形	700×						6C	紡錘車	〃
18	1975	第2次LN33	17住と大きく重複し全体不明										〃
19	1975	第2次LN06	完掘	隅丸方形	410×420	K	北東		○	N-45-E	6C後半	良好	〃
20	1975	第2次LN22	完掘	長方形	410×330	K	北	120×120	○	N-29-W			〃
21	1975	第2次LN53	完掘	長方形	350×280	K	東	70×60	○	N-87-E	10C 2半期	22住を切る	〃
22	1975	第2次LN54	部分	方形	330×320	炉	地床炉				五領		〃
23	1975	第2次LN20	3/5	(長方形)	×350	K	北		○	N-23-E	9C 2半期	鍛冶工房跡	〃
24	1975	第2次LN21	ほぼ完掘	正方形	580	K	北西	50×70	○	N-43-W	鬼高		〃
25	1977	第3次1号住居	南東隅のみ	(長方形)		K	東	途中で廃絶されたもの	○				川崎遺跡第3次
26	1977	第3次2号住居	完掘	長方形	350×330	K	北	×70	○		国分	鉄製品多い	〃
27	1977	第3次4号住居	(完掘)	長方形	350×400	K	東	170×110	○		国分		〃と埋文調査19
28	1977	第3次5号住居	(完掘)	長方形	350×320	K	東	120×90	○		国分		〃と埋文調査19
29	1977	第3次6号住居	4/5	正方形	440×	K	北	155×90	○		9C 4半期	焼失家屋	〃
30	1977	第3次9号住居	1/2	(方形)	415×						国分		〃
31	1979	第6次1B住居			340×				○		9C 2半期		埋蔵文化財の調査II
32	1979	第6次2号住居	1/3		340×	K	北→東	140×80	○		9C 1半期	鉄製品多い	〃
33	1984	宅地添第4次3住	完掘	正方形	340×340	K	東	120×100	○		8C 3半期		埋蔵文化財の調査VII
34	1990	第13次1号住居	1/2~1/3		390×	K					7C後半		埋蔵文化財の調査13
35	1990	第14次2号住居	南1/2		340×	K	東		○		9C 1半期		〃
36	1991	第15次1号住居			395×285	K	北東				9C~10C		埋蔵文化財の調査14
37	1991	第15次2号住居		正方形	380×380	K	東				9C中葉		〃
38	1991	第15次3号住居	完掘	長方形	265×430	K	南東		○		9C初頭		〃
39	1991	第15次4号住居	1/2	正方形	580×	K	東		○		8C末~9C初頭		〃
40	1991	第15次5号住居	3/4		280×	K	北		○		9C前半~中		〃
41	1991	第15次6号住居		正方形	425×270	K	北		○		8C後半	35,36住と重複	〃
42	1991	第15次7号住居	1/2	正方形	570×	K	北		○		9C前半	緑釉陶器、焼失家屋	〃
43	1994	第16次1号住居	1/2		450×						9C前半~後半		未報告
44	1994	第16次2号住居	北西隅のみ								9C前半~後半		〃
45	1994	第16次5号住居	2/3		440×	K	東		○		9C前半~後半		〃
46	1994	第16次6号住居	カマドのみ			K	東				9C前半~後半		〃
	1994	第16次1号掘立	2/3	長方形									〃
	1994	第16次2号掘立	西側柱のみ	長方形	南北2間						9C前半~後半	42住と隣接	〃
	1994	第16次3号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間								〃
	1994	第16次4号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間								〃
	1994	第16次5号掘立	1/2	長方形	南北2間								〃
	1994	第16次6号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間								〃
47	1996	第17次1号住居	完掘	長方形	400×400	K	東		○		国分	墨書土器	埋蔵文化財の調査19
48	1996	第18次2号住居	完掘	長方形	300×300	K	東		○		国分		埋蔵文化財の調査19
49	2001	第19次1号住居	1/2		360×	K					9C前半		埋蔵文化財の調査24
50	2005	第20次1号住居	完掘	長方形	320×350	K	北西		○	N-45-W	7C前半~中		市内遺跡群1
51	2006	第21次1号住居	完掘	方形	410×365×10	K	東	145×125	○	N-106-E	9C後半		市内遺跡群3
	2008	第25地点1号掘立		長方形	南北2間 東西2間								市内遺跡群6
52	2008	第26地点H28号住居	完掘	方形	349×316×33	K	北	95×83	○	N-16-E	9C後半		〃
53	2008	第26地点H29号住居	北側のみ	(方形)	431×205×24	K	北	70×	○	N-16-E	9C後半		〃
54	2008	第26地点H30号住居	完掘	長方形	424×296×20	K	北	98×71	○	N-4-E	8C後半		〃
55	2008	第28地点H31a号住居	北側のみ	(方形)	(390)×(233)×15	K	北	88×84	○	N-19-E	8C中~後半		〃
56	2008	第28地点H31b号住居	北側のみ	(方形)	(404)×325×2				○	N-18-E			〃
57	2008	第28地点H32号住居	完掘	長方形	357×295×24	K	東	108×80	○	N-105-E	8C中~後半		〃
58	2008	第29地点H33号住居	北東のみ	(方形)	(214)×(205)×16	K	東	(65)×(65)	○	N-98-E	8C後半~9C初頭		〃
59	2008	第29地点H34号住居	完掘	方形	(378)×372×12	K	北	71×90	○	N-16-E	9C後半	墨書土器	〃
60	2008	第30地点H35号住居	完掘	長方形	294×232×26	K	東	141×88	○	N-104-E	9C前半		〃
61	2008	第30地点H37号住居	完掘	方形	415×414×21	K	北	88×140	○	N-16-E	9C後半	灰陶陶器	〃
62	2008	第30地点H38号住居	1/2	(方形)	375×(105)×17				○	N-5-E	9C後半	墨書土器	〃
63	2009	第31地点H63号住居		長方形	310×276×29	K		105×90	○	N-7-E	9C		市内遺跡群8
64	2009	第31地点H64号住居		長方形	215×265×15	K		82×40	無	N-88-E	9C		〃
65	2011	第32地点H65号住居	完掘	長方形	355×460×35	K	北東	113×132	○	N-27-E	10C		市内遺跡群10
66	2011	第32地点H66号住居	ほぼ完掘	方形	420×365×50	K	東	49×105	○	N-99-E	8C後半~9C初頭		〃
67	2011	第32地点H67号住居	1/2	方形	(220)×330×30	未	未	未	○	N-0-E	10C		〃
72	2011	第35地点H72号住居	プランのみ	隅丸長方形	(370×470)×50	未	未	未	未	未	不明	未掘	市内遺跡群14
73	2012	第36地点H73号住居	2/3	隅丸方形	320×(177)×60	K	北	77×40	○	E-7-S	9C後半		〃
74	2012	第36地点H74号住居	プランのみ	(長方形)	(90×350)	未	未	未	未	未	不明	未掘	〃
75	2012	第36地点H75号住居	プランのみ	(長方形)	(440×450)	未	未	未	未	未	不明	未掘	〃
76	2012	第36地点H76号住居	プランのみ	(長方形)	(130×460)	未	未	未	未	未	不明	未掘	〃
77	2012	第36地点H77号住居	プランのみ	(長方形)	340×(260)	未	未	未	未	未	不明	未掘	〃
78	2012	第36地点H78号住居	プランのみ	(長方形)	(390)×420	未	未	未	未	未	不明	未掘	〃
79	2015	第42地点H79号住居	プランのみ		(340)×(350)	未	未	未					市内遺跡群22
80	2015	第44地点H80号住居	1/2~1/3	(長方形)	330×140以上				○		9C代		市内遺跡群19

II 川崎遺跡第 42 地点

(1) 調査の概要

調査は集会所建設に伴うもので、原因者より 2015 年 5 月 18 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 6 月 26 日と 7 月 2 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。調査の結果、現地表面下約 20cm で平安時代の住居跡 1 軒を確認した。建物基礎の深さは 43cm であるが、55cm の盛土を行うため 30 cm 以上の保護層が確保できるとして、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

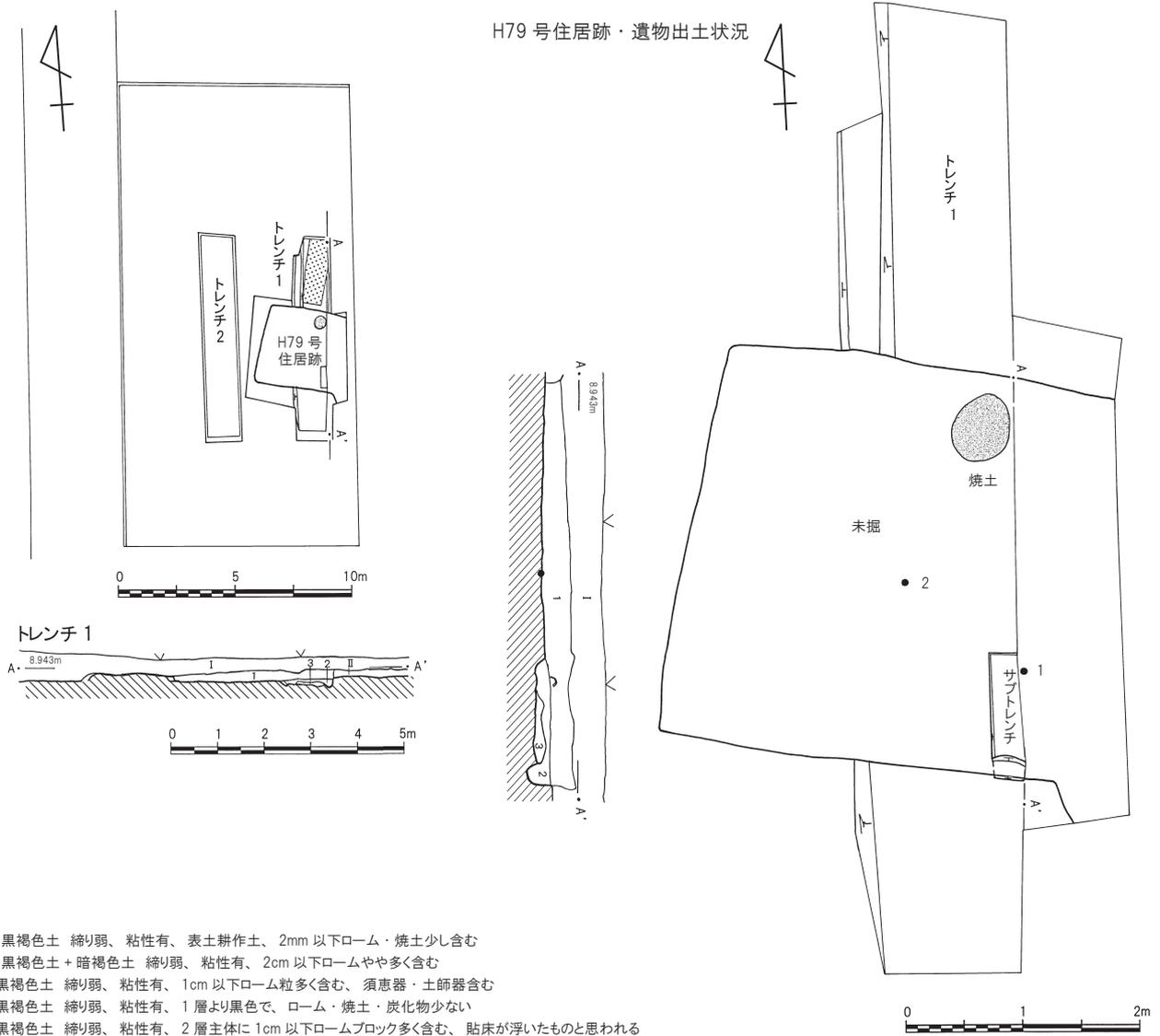
(2) 遺構と遺物

① H79 号住居跡

調査区東側中央でプランのみ検出した。東西 3.4m 以上、南北 3.5m の規模を有する。竈は確認していないが、北東隅で焼土が集中する箇所を検出した。

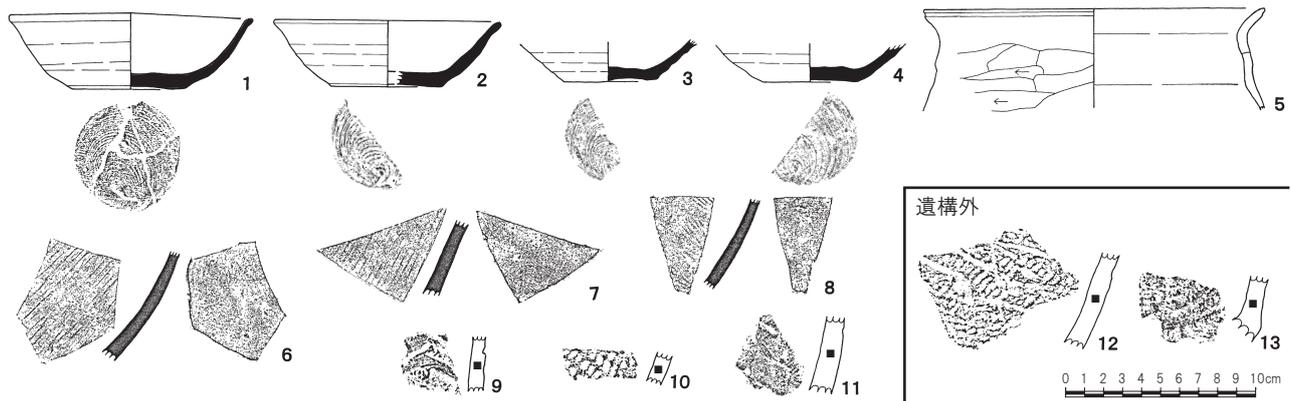
② 出土遺物

遺物については第 25 図及び第 18 表に掲載した。



第 24 図 川崎遺跡第 42 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、H79 号住居跡 (1/60)

H79号住居跡



第25図 川崎遺跡第42地点出土遺物(1/4)

第18表 川崎遺跡第42地点出土遺物観察表 (単位cm・g)

図版番号	出土遺構	種別/器種	口径・長さ	器高・幅	底径・厚さ	技法・文様/胎土/備考	推定産地	推定年代
第25図-1	H79号住居跡	須恵器/坏	12.5	4.2	5.7	回転糸切り未調整、酸化炎焼成	—	9世紀後半
第25図-2		須恵器/坏	(12.0)	3.5	(5.8)	回転糸切り未調整/僅かに海綿骨針を含む、チャート等小礫を含む	南比企産	9世紀後半
第25図-3		須恵器/坏	—	(1.9)	(5.0)	回転糸切り未調整、灰白色を呈する	—	9世紀後半以降
第25図-4		須恵器/坏	—	(2.0)	(5.0)	回転糸切り未調整/白色粒子を多く含む	東金子産	9世紀後半以降
第25図-5		土師器/甕	(18.0)	(5.3)	—	口縁部内外面ナデ、体部外面ヘラケズリ	—	9世紀後半
第25図-6		須恵器/甕	—	(5.7)	—	外面平行タタキ、内面無文当て具/僅かに海綿骨針を含むか、微細な白色粒子を多く含む	—	—
第25図-7		須恵器/甕	—	(4.0)	—	外面平行タタキ、内面無文当て具/微細な白色粒子を多く含む	—	—
第25図-8		須恵器/甕	—	(4.8)	—	外面平行タタキ、内面無文当て具、灰白色を呈する	—	—
第25図-9		縄文/破片	—	—	—	沈線	—	縄文前期
第25図-10		縄文/破片	—	—	—	縦位RL縄文	—	縄文前期
第25図-11		縄文/破片	—	—	—	無文	—	縄文
第25図-12		遺構外	縄文/破片	—	—	—	付加条(軸RL+r?)	—
第25図-13	遺構外	縄文/破片	—	—	—	底部付近、磨滅が激しい	—	縄文前期

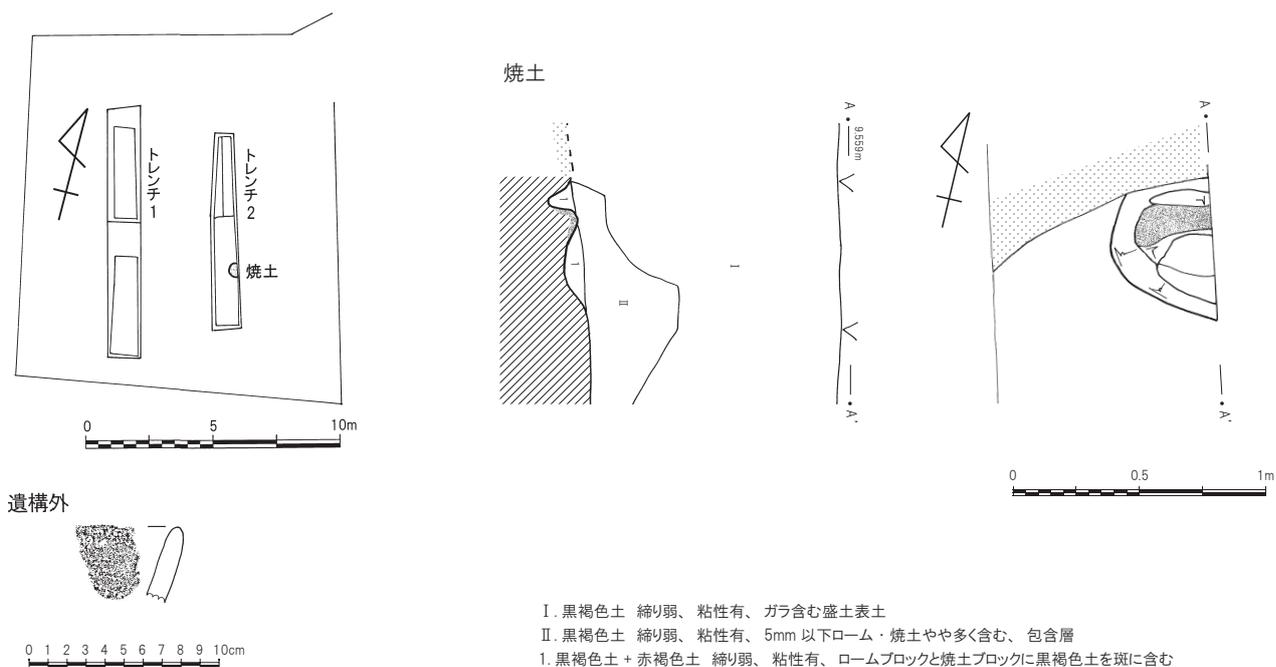
Ⅲ 川崎遺跡第 43 地点

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 5 月 7 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 6 月 26 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1 ～ 1.2m のトレンチ 2 本を設定

し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さは 1 ～ 1.2m である。時期不明の焼土跡を確認したが、遺物は伴わなかった。遺構の属性が確認できないため、今回は遺構として取り扱っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

表土中より 1 点遺物が出土している。口縁部である。磨滅が激しく、文様・時期等は不明である。縄文時代。



第 26 図 川崎遺跡第 43 地点遺構配置図 (1/300)、焼土 (1/30)、出土遺物 (1/4)

IV 川崎遺跡第44地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴い、2015年11月24日～12月10日まで試掘調査、2016年1月5日～20日まで本調査を行った。調査の結果、縄文時代の住居跡2軒、平安時代の住居跡1軒、貝層を伴う地下式坑他を検出した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため本書では割愛するが、地下式坑内から出土した貝についての報告が十分ではなかったため、本書にて追記する。

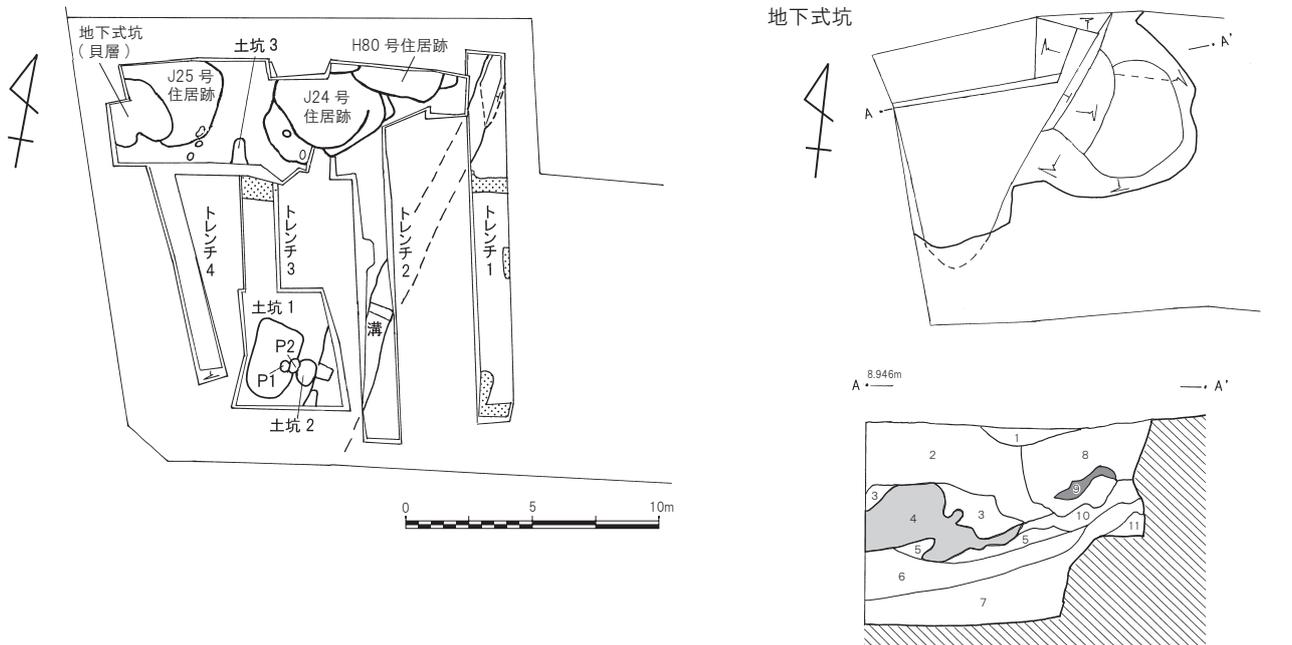
(2) 遺構と遺物

貝層は地下式坑の覆土中より出土した。土層の観察から、地下式坑の埋没過程で廃棄がなされたものと考えられる。貝の詳細については第19表及び第28図に掲載した。

本地点で出土した貝はマツカサガイ・チリメンカワニナ・オオタニシ・マルタニシである。主体はマツカサガイで、全体量の72.6%を占める。次にチリメン

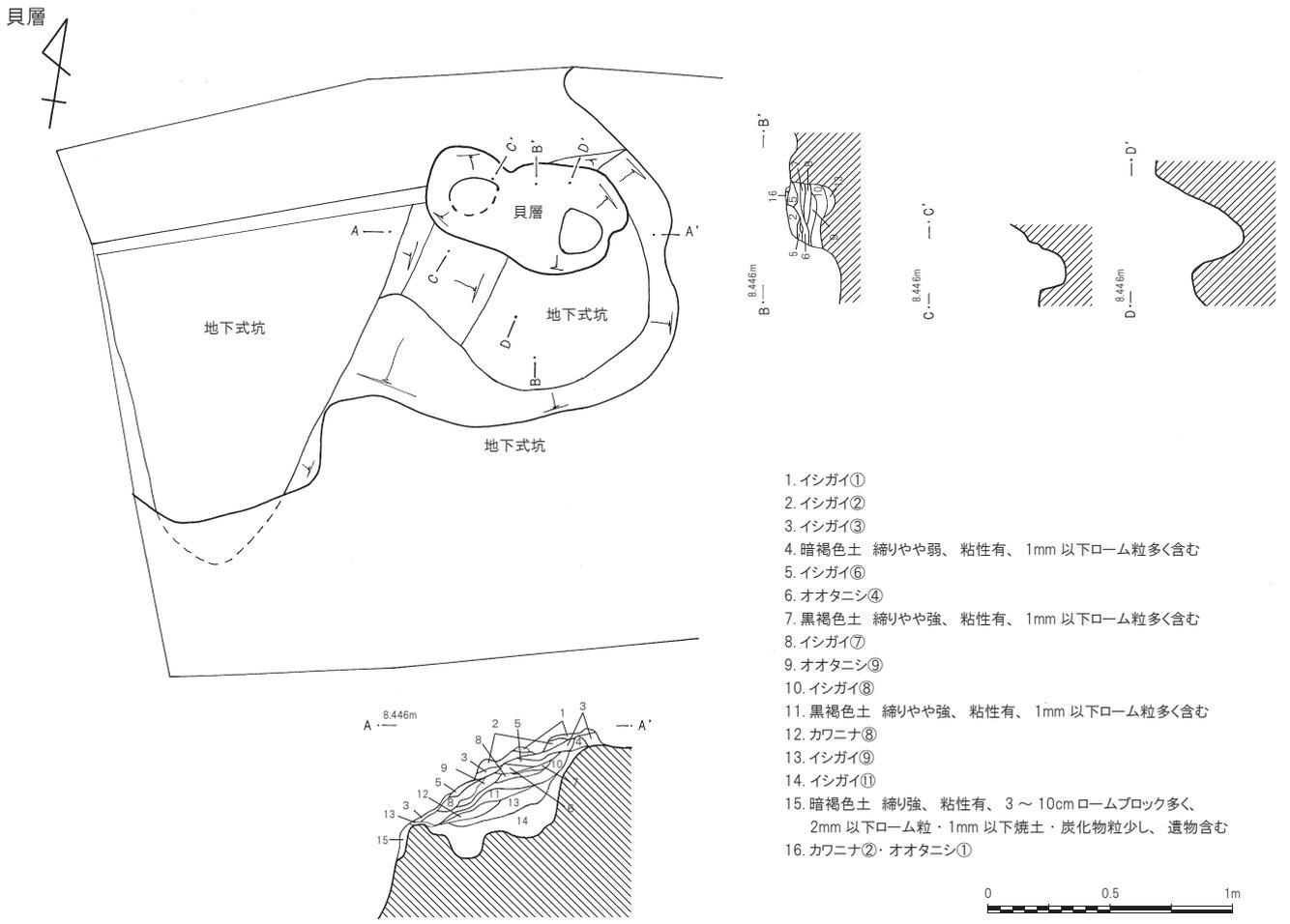
カワニナ、オオタニシと続く。マルタニシは数点確認できたのみである。出土した貝はいずれも淡水に生息するもので、新河岸川で採取したものを廃棄した跡と推測できる。

今回の調査で発見された貝塚は、地下式坑の天井崩落以降あまり間を置かずに廃棄が開始されたものと考えられる。地下式坑の帰属時期は遺構の大半が未調査のため不明である。本地点から南西に約240m離れた第22地点の調査で検出した地下式坑は、出土した瀬戸産の陶器の花瓶から14世紀中葉に帰属する。本地点の地下式坑も同様の時期である可能性が考えられる。また、中世と思われる貝塚としては本地点より約1.3km南の滝遺跡第25地点で確認されている。古代以降と考えられる井戸が完全に埋没した後、新たにピットを掘削して貝類を廃棄している。ここで検出した貝類も主体はマツカサガイで、チリメンカワニナとタニシを含んでおり、本地点の貝類の構成と共通する。周辺の事例を含めて考えると、今回の調査で発見された貝塚も中世以降の所産である可能性が高い。



1. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒・炭化物粒少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、3～10cmロームブロック多く、2mm以下ローム粒・1mm以下焼土・炭化物粒少し、遺物含む
3. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、4層・2cm以下ロームブロック多く、遺物含む
4. 黄褐色土 締り強、粘性有、天井ローム
5. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、3cm以下ロームブロック・2mm以下ローム粒多く、1mm以下褐色土粒少し含む
6. 鈍い黄褐色土 締りやや弱、粘性有、2cm以下ロームブロック・2mm以下ローム粒多く含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、2cm以下ロームブロック僅かに、2mm以下ローム粒少し含む
8. 暗褐色土 締り強、粘性有、2cm以下ロームブロック少し、2mm以下ローム粒多く、2mm以下炭化物粒少し含む、貝層ピット覆土
9. 貝層
10. 暗褐色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・2mm以下ローム粒多く、1mm以下炭化物粒僅かに含む
11. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム主体、黒褐色土シミ状に含む

第27図 川崎遺跡第44地点遺構配置図(1/300)、地下式坑(1/60)

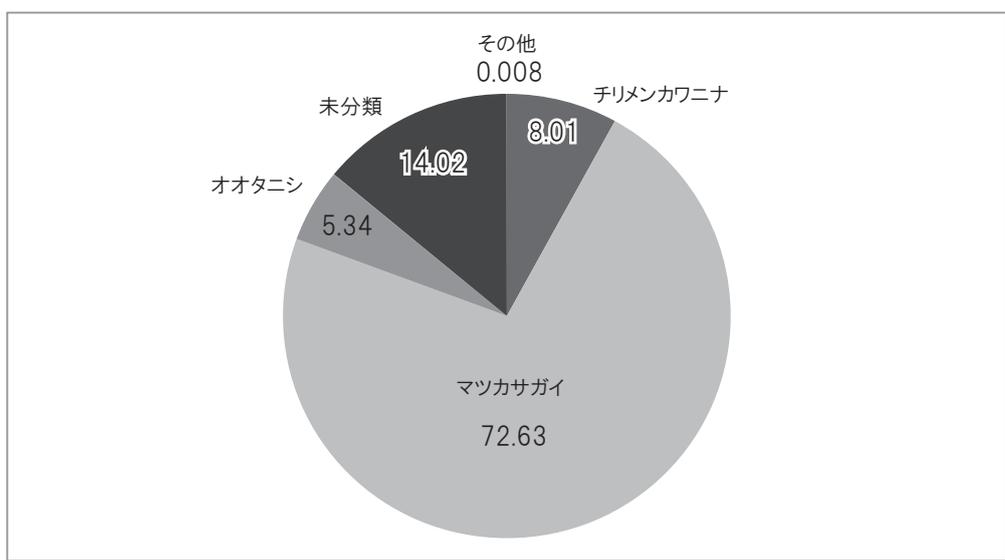


- 1. イシガイ①
- 2. イシガイ②
- 3. イシガイ③
- 4. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、1mm以下ローム粒多く含む
- 5. イシガイ⑥
- 6. オオタニシ④
- 7. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒多く含む
- 8. イシガイ⑦
- 9. オオタニシ⑨
- 10. イシガイ⑧
- 11. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒多く含む
- 12. カワナ⑧
- 13. イシガイ⑨
- 14. イシガイ⑩
- 15. 暗褐色土 締り強、粘性有、3～10cmロームブロック多く、2mm以下ローム粒・1mm以下焼土・炭化物粒少し、遺物含む
- 16. カワナ②・オオタニシ①

洗浄前 全体重量(g)	貝類重量(g)	混貝率(%)
49362.93	5719.43	11.60

チリメンカワナ	マツカサガイ	オオタニシ	未分類	その他	合計
457.99	4153.8	305.57	801.6	0.47	5719.43

第19表 川崎遺跡第44地点地下式坑出土貝層の貝類出土量と混貝率



第28図 川崎遺跡第44地点貝層(1/30)、地下式坑出土貝層の貝類遺体組成

第6章 ハケ遺跡の調査

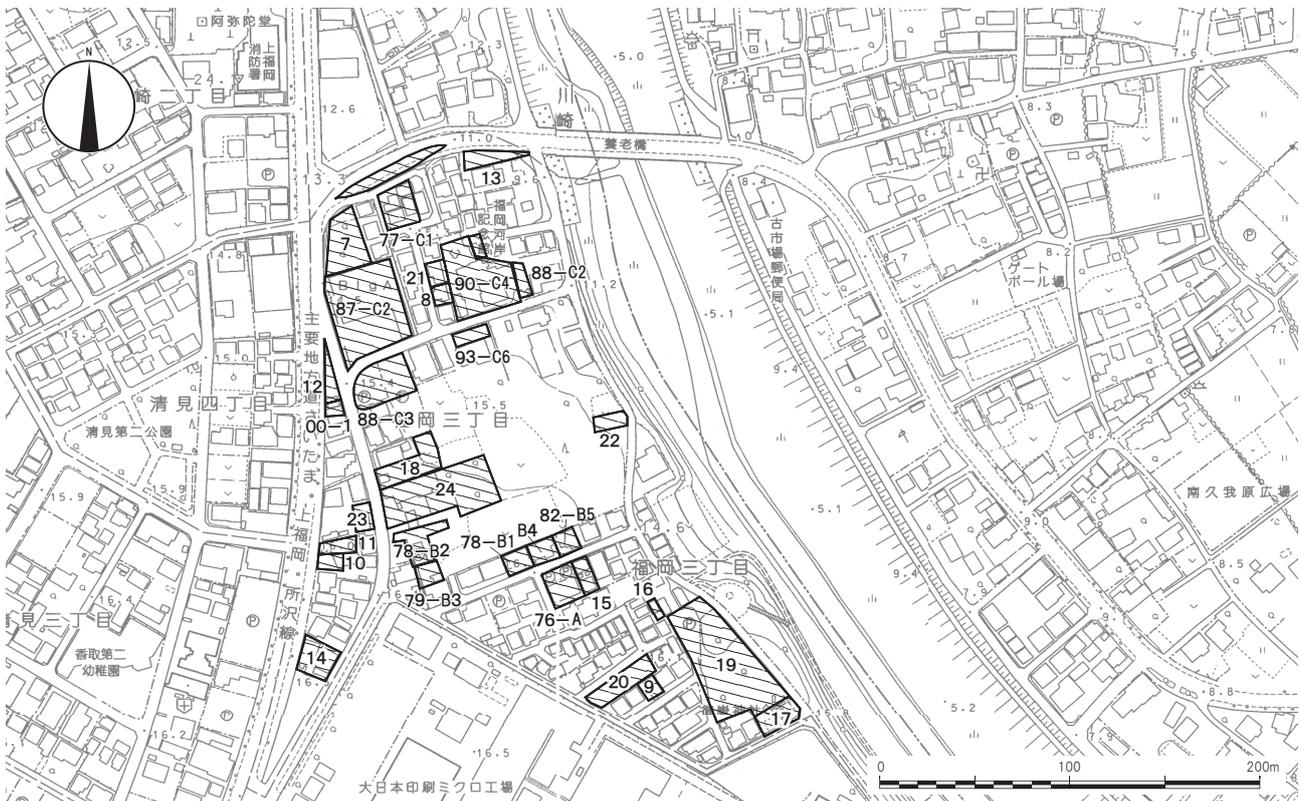
I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差2m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16mで、遺跡の範囲は南北360m、東西160m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時

代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2018年4月現在31ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構(旧福田屋跡)と、2014年に第16地点の発掘調査で、古墳の周溝から6世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土し、2015年の第19地点でも新たに3基の円墳を検出した。本遺跡は便宜上東西に走る道路によって南側からハケ遺跡A、ハケ遺跡B、ハケ遺跡Cと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。



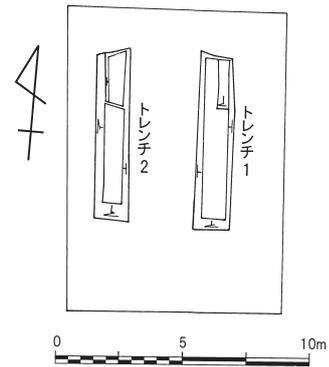
第29図 ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)

Ⅱ ハケ遺跡第 21 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 9 月 28 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 1 月 5 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

調査の結果、現地表面から約 100 cm まで攪乱土であり地山ローム層は確認できなかった。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 30 図 ハケ遺跡第 21 地点調査区域図 (1/300)

第 20 表 ハケ遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1次	大字中福岡字遠見1228~2021	1976.9.11~16	306	個人住宅	古墳住居跡 1、竪穴状遺構 3、縄文土器	上福岡市遺跡調査報告書
C-1次	大字中福岡字清見1480	1977.8.2~27	1,794	宅地造成	縄文住居跡 5、奈良平安住居跡 2、竪穴状遺構、土坑、炉跡	ハケ遺跡調査会 ハケ遺跡 C 地区
B-1次	中福岡1228-40	1978.8.28~9.10	165	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査 (I)
B-2次	中福岡1181-2	1978.9.11~25	360	貸家建設	土坑 4、炉跡 1、土器	埋蔵文化財の調査 (I)
B-3次	中福岡1228-37	1979.7.20~31	166		土坑 3、縄文土器	埋蔵文化財の調査 (II)
B-5次	大字中福岡字遠見1228-46	1982.5.10~17	165		溝 1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査 (V)
C-2次	福岡3-2068-1・2	1987.4.16~5.29	1,900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡 11、奈良平安住居 4、掘立 1	埋蔵文化財の調査 (X)
C-3次	福岡2-2-1	1988.8.15~20	627	駐車場	縄文中期住居跡 4、平安住居跡 2	埋蔵文化財の調査 (11)
C-試	福岡3-4-2	1988.10.24~28	60	擁壁改修工事	縄文前期住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (11)
C-4次	旧福田屋敷地内	1990.6.20~9.6 H3.1月末~継続調査予定	500		旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、(礎石・火処 3・物置跡・粘土貼りつけ円形小竪穴)・江戸前期~中期長方形土坑 12・溝 1・平安住居跡 3・縄文中期住居跡 2、縄文後・晩期住居跡 3	2 年度教育要覧 市史料編
C-6次	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6~18	141.91	個人住宅	縄文中期土坑 6	埋蔵文化財の調査 (16)
C-4次	福岡3-2069-1の一部	1994.6.10~1.31	54	河岸記念館管理棟・庭造成工事	縄文中期住居跡 5、土坑 30	埋蔵文化財の調査 (17)
C-試	福岡3-1884-8	2000.1.26	100	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査 (22)
C-7次	福岡3-2	(2006.7.10~22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構検出	市内遺跡群 3
C区 8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	個人住宅	住居跡確認	市内遺跡群 6
C区 9	福岡3-1257-7、1259-1	(2010.2.2~4)	120	個人住宅	土坑 1、風倒木 1	市内遺跡群 8
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22)	122.1	個人住宅	時期不明溝 1	市内遺跡群 14
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21~22)	157.7	分譲住宅	縄文時代屋外埋蔵 1、土器	市内遺跡群 14
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	個人住宅	ピット 1、土器	市内遺跡群 15
13	福岡3-1484-1	(2013.10.2~3)	183	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 18
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 18
15	福岡3-1228-19	(2014.4.8~9)	184.09	共同住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 20
16	福岡3-1254-7・14・17	(2014.8.11~9.2) 9.3~9	68	分譲住宅	古墳 1 基、人物・円筒埴輪等、縄文土器	市内遺跡群 21
17	福岡3-1219-1・2	(2014.9.26~30)	98.58	個人住宅	現代のゴミ穴 1、近世~近代陶磁器、ガラス製品	市内遺跡群 20
18	福岡3-1182、2066-5	(2014.12.4~10) 2015.1.6~16	510.67	個人住宅	縄文時代中期住居跡 1、炉 4、土坑 2、溝 2、縄文土器	市内遺跡群 16
19	福岡3-1222-1、1223~1225、1255	(2015.3.17~5/11・10/13) 6/2~9/19	2,296.5	宅地造成	古墳 3、溝 2、縄文土器、土師器、埴輪	市内遺跡群 21
20	福岡3-1252-1	(2015.10.14~16) 2015.10.29~30	375	分譲住宅	古代以降の堀跡 1、土坑 1、土師器、火工廠境界杭	市内遺跡群 21
21	福岡3-1193-4・15、2069-10	(2016.1.5)	101	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 22
22	福岡3-2061の一部	(2016.12.26~2017.1.19) 2017.1.25~2.8	249.32	はけ自治会集会所施設	古代住居跡 1 (H18)、土坑 13、ピット 13、縄文土器、土師器	未報告
23	福岡3-1183-1の一部	(2017.7.18)	137	個人住宅	ピット、縄文土器片	未報告
24	福岡3-1178-1、1179-1、1180-1、1181-1、2066-2、2067	(2017.7.19~27) 2017.7.28~8.7	1,702.15	宅地造成	縄文時代住居跡 1、竪穴状遺構 1、土坑 2、時期不明集石土坑 1、ピット 12、縄文土器、石器、須恵器、陶磁器	未報告

第7章 権現山遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

権現山遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の南東端部に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。また、南側は旧清水という小川が流れる低地で、やはり急傾斜の斜面を形成する。標高は16～18mを測る。遺跡の範囲は南北300m、東西300m以上ある。

周辺の遺跡は、台地続きの北側に縄文時代前期・中期・晩期、古墳時代の集落がある著名な上福岡貝塚、台地下の低地面に縄文時代早期・前期、古墳から奈良・平安時代の集落跡である滝遺跡がある。

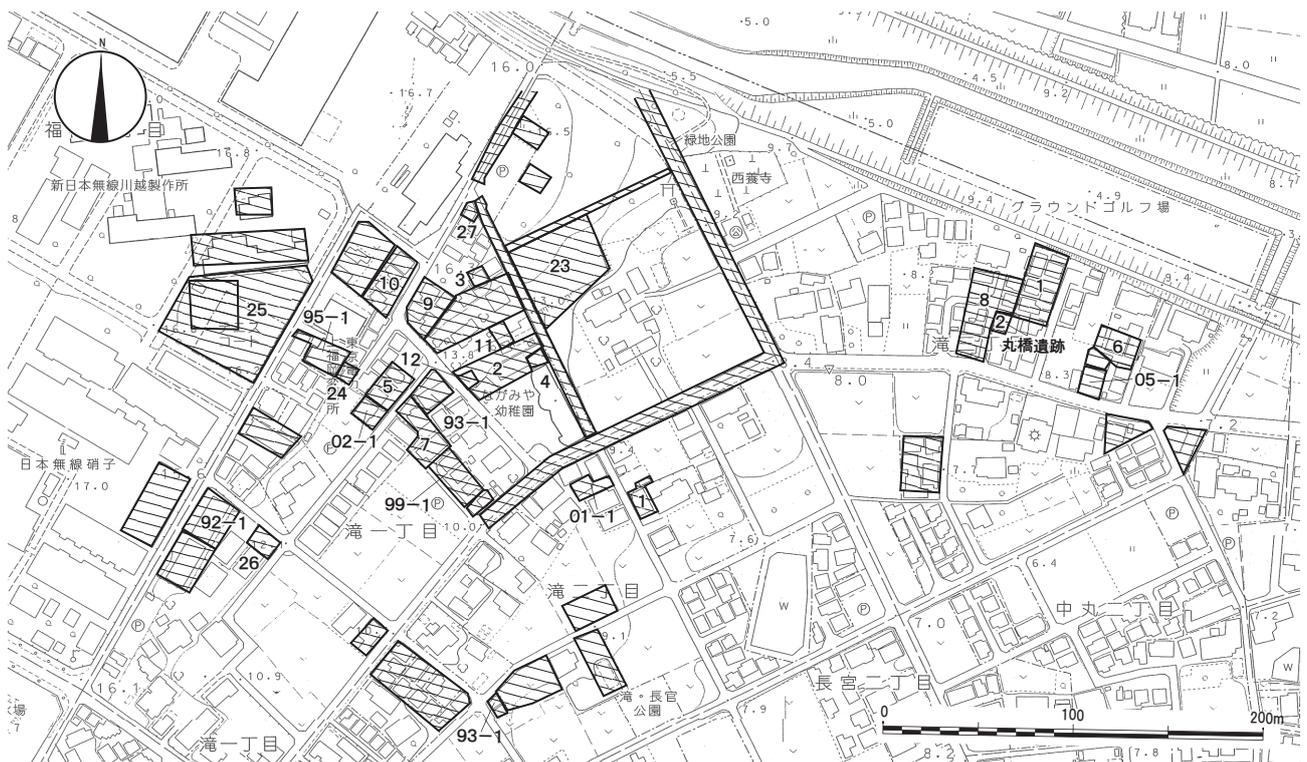
権現山遺跡は大正6年に安部立郎氏により「権現山といふ円形古墳」(安部1917)として紹介された。その後、1937年(昭和12年)に山内清男、関野克によって上福岡貝塚が調査された折に作成された遺構配置図には、新河岸川沿いに3群6基の古墳が記述されている。(山内1937)戦後は『埼玉縣史』(1951)、『古墳調査報告書—入間地区—』(1961)等に古墳の記載がある。しかし、1965年に行われた通称「厄病塚」

(権現山北古墳群2M・3M)の調査では古墳の確証が得られず、十三塚の可能性が考察されている。

一方、通称「権現山」(権現山古墳群2M)は徳川家康が鷹狩りに訪れたという伝承から、1963年に市指定文化財(上福岡市)に指定された。資料上の初見は元禄12(1699)年の「武州入間郡福岡村除地水帳」に「権現社地」の記載があり、塚の上には天保11(1840)年2月造立の「東照神祖命」の石造物が安置される。

その後1982年～1993年までの6次にわたる発掘調査により、古墳時代前期の古墳群(11基)が発見され、「権現山」はいわゆる前方後方墳であることが判明し、2002年3月22日県指定文化財に指定された。

1982年以来2018年4月現在、27ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代中期の集落、古墳時代前期の方形周溝墓群、古墳時代の集落、奈良・平安時代の集落である。なお、滝遺跡の第3・5・9・10次調査および、1995年と2002年の試掘は権現山遺跡の範囲に入っているため、権現山遺跡第1・2・5～7・14・17地点へ変更した。



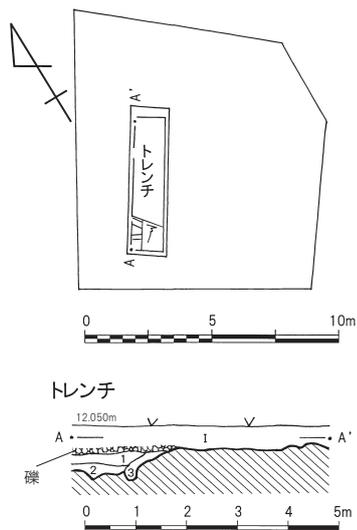
第31図 権現山遺跡の地形と調査区(1/4,000)

II 権現山遺跡第26地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年10月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月30日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.5mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったが、表土層下で砂利を伴う道路状の硬化面と溝状の掘り込みを検出した。土層の観察から近代以降に帰属するものと考えられる。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



- I. 黒褐色土 地表土、下層で、1層との間に3cm以下礫多く含む
- 1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、5cm以下ロームブロック多量に含む
- 2. 暗褐色土 粘り強、粘性有、1cm以下ロームブロック多量に含む
- 3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、3mm以下ローム粒多量に、下層に3cm以下ロームブロック多く含む

第32図 権現山遺跡第26地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

第21表 権現山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	滝1-4-15	1980.6.27~7.3	76	個人住宅	古墳住居跡1、竃(旧滝3次)	埋蔵文化財の調査(III)
2	滝1-3-21	1980.7.20~31	330		遺構なし、中世以降陶器片(旧滝5次)	埋蔵文化財の調査(III)
3	滝3-4-7	1982.1.20~2.6	50	自転車置場設置 (公共事業)	古墳方形周溝墓、壺形土器、縄文中期住居跡1、縄文土器多数	56年度教育要覧
	滝1-5-4	1982.12.8~28	200	範囲確認調査	古墳方形周溝墓6、古墳住居跡1	埋蔵文化財の調査(V) / 上福岡市史資料編1
4	滝1-5-4	1983.5.18~6.28	100	範囲確認調査	古墳住居跡1、方形周溝墓1	埋蔵文化財の調査(VI)
5	滝1-4-4	1984.5.11~22	466	住宅建設	溝2(旧滝9次)	埋蔵文化財の調査(VII) / 上福岡市史資料編1
6	滝1-3-17	1984.6.1~12	363	住宅建設	古墳住居跡1、溝4、土坑3(旧滝10次)	埋蔵文化財の調査(VII) / 上福岡市史資料編1
7	滝1-4-2	1984.6.28~30	33	物置建設	集石2、土坑2(旧滝11次)	埋蔵文化財の調査(VII) / 上福岡市史資料編1
8	大字福岡1500	1985.1.20~2.25		市道舗装工事	方形周溝墓2、古墳3、須恵器・壺形土器	59年度教育要覧 / 上福岡市史資料編1
9	滝1-4-8	1985.8.9~9.9	430	範囲確認調査	古墳住居跡2、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(VIII)
10	滝1-5-9・10	1986.2.10~22	202	範囲確認調査	第2周溝墓の前方部の調査	埋蔵文化財の調査(VIII)
11	福岡3-1187-4	1988.6.7~14	3,200	工場増築	古墳1、奈良・平安住居跡4	
12	滝1-6-7	1989.2.20~3.6	2,000	農地改善工事	古墳住居跡3、方形周溝4、古墳溝跡1、中世大溝跡1、時期不明溝跡1	埋蔵文化財の調査(11) / 上福岡市史資料編1
	滝1-6-1	1989.5.8~	1,724	農地改善工事	方形周溝4	H1年度教育要覧
13	滝1-5-4	1993.7~8		範囲確認調査	2号墳、11号墳のトレンチ調査	上福岡市史資料編1
14	滝1-3-13	1995.11.27~30	462	共同住宅	なし(旧滝試掘)	埋蔵文化財の調査(18)
15	滝1-4-3	1996.4.15~5.7	396	個人住宅	古墳住居跡1軒、溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(19)
16	滝1-3-49	2002.5.29~30	165	個人住宅	なし(旧滝試掘)	埋蔵文化財の調査(25)
17	滝1-3-16	2004.5.17~27	856	範囲確認調査	奈良竪穴住居跡2(16、17号)【調査済み】	埋蔵文化財の調査(27)
18	滝1-5-4	2006.4.25~27		古墳群保存整備工事		
19	字福岡2-1500-23(工場内)			工場増築		
20	字福岡2-1500-23(工場内)			工場増築		
21	字福岡2-1500-23(工場内)			工場増築		
22	滝1-3-58~60			住宅建設		
23	滝1-6-7	2008.10.23~29	1,576	古墳群保存整備	土坑3、集石1、須恵器、土器	市内遺跡群6
24	滝1-3-25	(2013.5.17)	90	個人住宅	遺構なし、土師器、土器	市内遺跡群18
25	福岡2-1-1	(2014.6.2~7.18) 2014.7.22~9.2	3,588	事務所	縄文時代の炉穴2・土坑1、古代住居跡3・溝3、須恵器・土師器	市内遺跡群16
26	滝1-3-23	(2015.11.30)	97	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群22
27	滝1-4-6	(2017.7.3~4)	63	建売住宅	ピット2(時期不明)、縄文土器、土師器、須恵器破片	未報告

第8章 滝遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

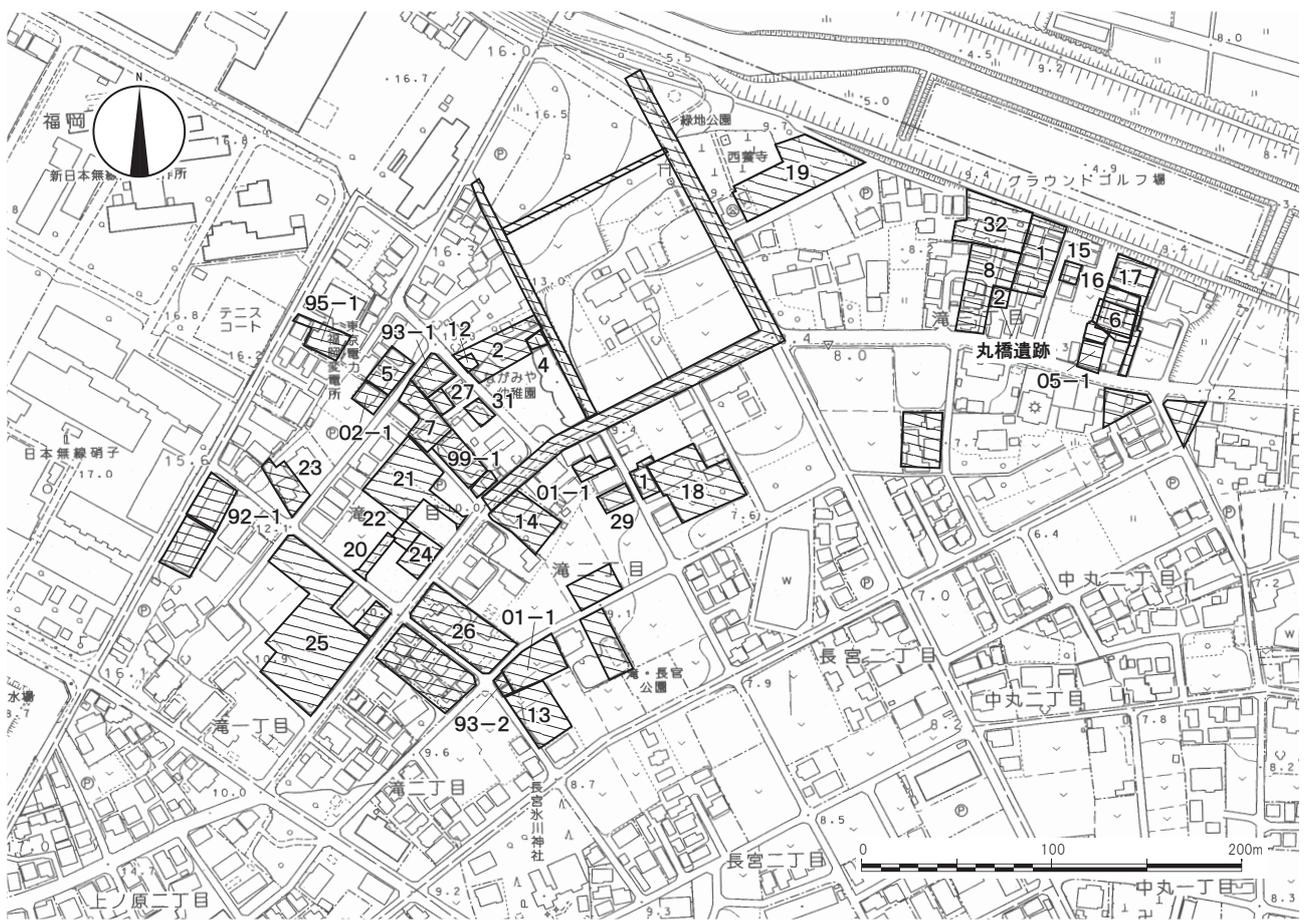
「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ

南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡(1981年の変更増補で滝遺跡と合併)で古墳時代前期と後期の住居跡を検出以来2018年4月現在、44ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査(1)は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡第1・2・5～7・14・17地点とする。

遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代～奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構(集石を伴う)である。

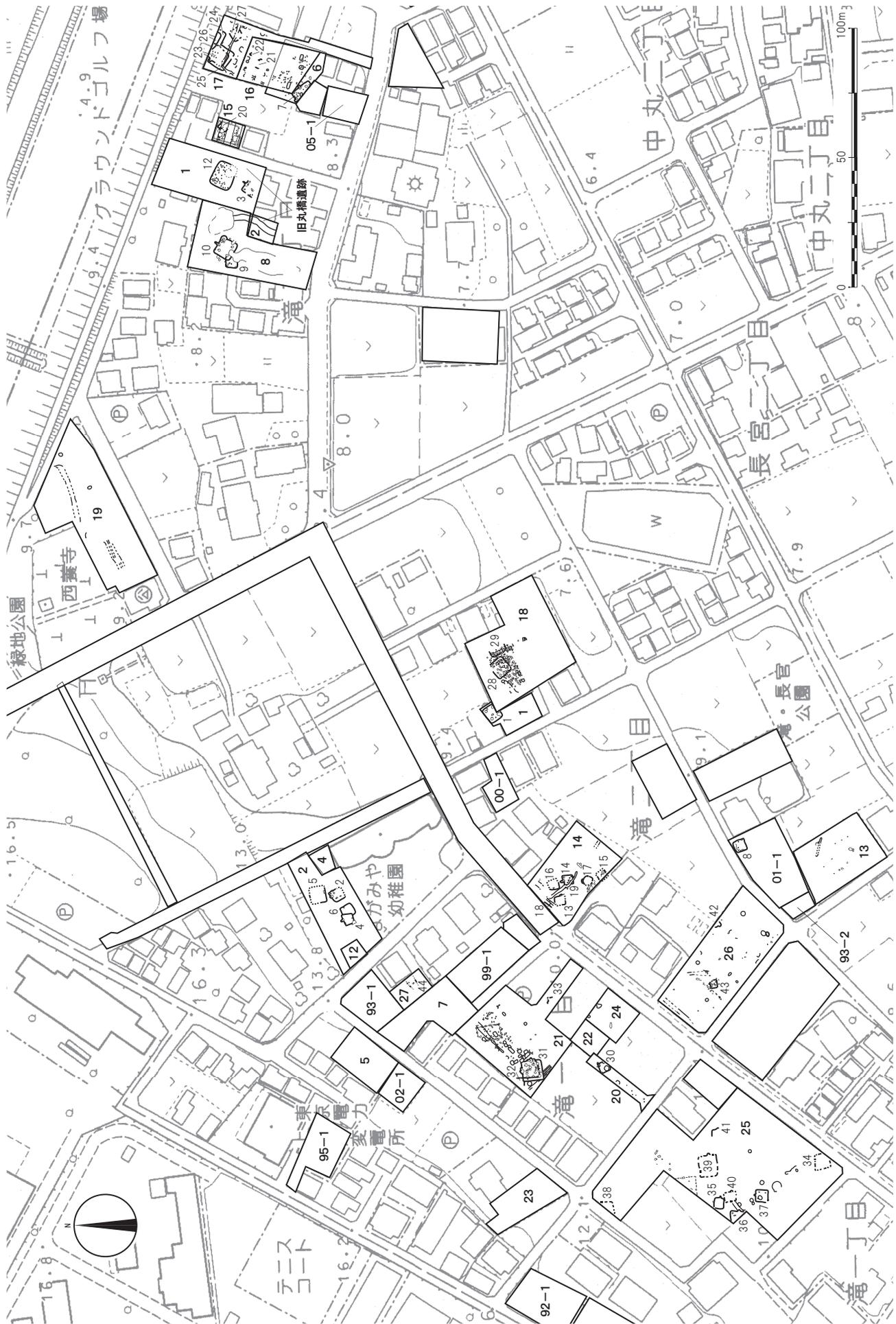


第33図 滝遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第22表 滝遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書	備考
丸橋1次	滝3-3-77~81	(1976.6.26~27) 1976.7.24~8.12	543	建売住宅	古墳前期住居跡1・後期住居跡1	上福岡市遺跡調査報告書	丸橋遺跡は滝遺跡へ統合
丸橋2次	滝3-3-13	1978.7.26~8.6	210	住宅建設	古墳前期土坑1、現代溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)	
1次	滝2-6-11	1978.10.2~13	129	住宅建設	住居跡1、土師器	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)	
2次	滝1-4-2	1979.4.15~5.7	278	幼稚園プール	住居跡5、周溝、土坑、長甕、土器	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)	
3次	滝1-4-15	1980.6.27~7.3	76	住宅建設	権現山遺跡1地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
4次	滝1-4-15	1980.7.7~12	105	住宅建設	遺構なし、平安土師器片	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	
5次	滝1-3-21	1980.7.20~31	330	住宅建設	権現山遺跡2地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
6次	滝3-3-6	1980.11.20~12.2	166	住宅建設	縄文土坑、奈良住居跡2、縄文早期土器、石器、奈良土器他	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	
7次	滝1-1-19	1981.7.30~31	400	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅳ)	
8次	滝3-3-15他	1983.11.14~26	990	住宅建設	古墳住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅵ)	
9次	滝1-4-4	1984.5.11~22	466	住宅建設	権現山遺跡5地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
10次	滝1-3-17	1984.6.1~12	363	住宅建設	権現山遺跡6地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
11次	滝1-4-2	1984.6.28~30	33.12	物置建設	権現山遺跡7地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
12次	滝1-4-2	1984.12.22~24	94	住宅建設	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	
92試(1)	滝1-2-14の一部	(1992.7.6~8)	400	倉庫建設	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(15)	
93試(1)	滝1-1-4	(1993.4.23~28)	313.08	共同住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(16)	
93試(2)	滝2-2-7	(1993.8.25)	99	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(16)	
95試(1)	滝1-3-13	(1995.11.27~30)	462	共同住宅	権現山遺跡14地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(18)	
99試(1)	滝1-1-6	(1999.10.21~26)	511.09	宅地造成(土地分譲)	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(22)	
00試(1)	滝2-5-20	(2001.1.23~24)	154.7	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(23)	
01試(1)	滝2-2-8	(2001.4.17~20)	519.64	共同住宅	奈良初頭住居跡1	埋蔵文化財の調査(24)	
02試(1)	滝1-3-49	(2002.5.29~30)	165	個人住宅	権現山遺跡17地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(25)	
05試(1)	滝3-3-5・143	(2005.6.24~27)	350	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群1	
立会	滝1-4-1・26・27	(2006.4.15)	2,492	幼稚園	遺構遺物なし		
12	滝2-5-3・4の一部	2007.2.6	472	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群3	
13	滝2-2-6	2007.10.24~11.1	737.7	共同住宅	焼土範囲2、ピット8	市内遺跡群4	
14	滝2-5-11・17	(2007.11.8~19) 2007.11.20~12.6	692	分譲住宅	住居跡7、溝3、井戸1、須恵器、土師器	市内遺跡群4	
15	滝3-3-84	(2009.9.2~14) 2009.10.23~11.6	100	分譲住宅	8世紀住居跡1、井戸1、土坑8、ピット20、須恵器、土師器、紡錘車	市内遺跡群7	
16	滝3-145	(2009.12.2~14)	434	宅地造成	ピット3	市内遺跡群8	
17	滝3-3-6・144	(2010.5.6~6.18)	331	分譲住宅	奈良平安時代住居跡5、井戸1、土坑4、溝2、集石	市内遺跡群10	
18	滝2-6-4・6	(2011.6.6~13) 2011.6.14~7.14	1,164	個人住宅	古墳時代住居跡2他、土師器、近世陶磁器等	市内遺跡群14	
19	滝3-4-2	(2011.10.17~24)	1,277.16	分譲住宅	溝2、陶磁器等	市内遺跡群14	
20	滝1-8-9	(2012.5.9~11)	124.45	道路築造	奈良・平安時代住居跡1、時期不明井戸、土坑、ピット	市内遺跡群12	
21	滝1-1-7・26・31	(2012.5.11~21) 2012.7.17~8.25	1,176.25	共同住宅	奈良平安時代鍛冶炉付住居跡1(H31)・奈良平安時代住居跡2(H32・H33)、掘立柱建物跡、井戸、溝、土坑、ピット、須恵器、土師器、鍛冶関連遺物他	市内遺跡群12	
22	滝1-1-40	(2013.7.30)	114	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18	
23	滝1-3-5の一部	(2014.2.12)	371	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18	
24	滝1-1-8の一部	(2014.7.16~18)	222.8	分譲住宅	奈良平安時代と見られる土坑2、ピット2	市内遺跡群20	
25	滝1-2-4・32	(2014.7.17~8.26) 2014.9.8~10.31	2,804	宅地造成	古代住居跡8(H34~H41)、掘立柱建物跡1、井戸4、土坑3、溝2、ピット23、須恵器、土器	市内遺跡群16	
26	滝2-5-6・8	(2015.10.19~27) 2015.11.9~10	1,231	個人住宅	縄文時代落とし穴1、古代住居跡2(H42・H43)、時代不明井戸5、土坑7、ピット44、溝2、縄文土器、石器、土師器、須恵器	市内遺跡群22	
	滝2-5-39・40・41・42	(2016.8.24~9.9)		分譲住宅			
27	滝1-1-25	(2015.11.27~12.1)	155	個人住宅	古代住居跡1(H44)、ピット3、土師器、砥石	市内遺跡群22	
28	滝1-4-4・26・27	(2016.9.3~6)	2,492.15	幼稚園舎建設	住居跡1、土師器、支脚	未報告	
29	滝2-5-46	(2016.11.10)	150.41	個人住宅	溝2、縄文土器、土師器	未報告	
30	滝1-1-3	(2017.2.13~15)	303	分譲住宅	遺構なし、縄文土器	未報告	
31	滝1-1-3	(2017.2.13~15)	109	個人住宅	遺構遺物なし	未報告	
32	滝3-3-14	(2017.6.26~29)	784.54	分譲住宅	井戸1、ピット10(近世以降か)、縄文土器、近世陶磁器、泥面子	未報告	

※埋:上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調:上福岡市遺跡調査会報告書、教要:上福岡市教育要覧、市内:ふじみ野市市内遺跡群報告書



第34図 滝遺跡遺構分布図 (1/2,000)

第23表 滝遺跡古代住居跡一覧表

新 住居 番号	旧 調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模 ()は残存 又は推定値	炉 罫:K	設置 壁・炉 位置	カマド・炉規模		周溝	主軸 方向	時 期	備 考	文 献	
								長軸	幅						
1	1978	第1次1号住居	5/6	隅丸方形	640×(580)×40	炉	中央 西寄り	115	70	○	S-55-W	4世紀前半	4本主柱穴、方形貯蔵穴 110×95×40	埋蔵文化財の調査I	
2	1979	第2次2号住居	ほぼ完掘	正方形	(460)×470×45	K	北	(100)	106	○	N-32-W	7世紀前半	焼失住居、方形貯蔵穴 62×55×45	埋蔵文化財の調査II	
3	1978	丸橋第1次3号住居	2/3	正方形	(510×470)×15	K	北東	210	102	○	N-38-W	7世紀前半	焼失住居、(4本主柱穴)	上福岡市遺跡調査報告書	
6		第2次3号住居	完掘	方形	(480×460)×15	—	—	—	—	○		9世紀前半		埋蔵文化財の調査II	
4	1979	第2次4号住居	ほぼ完掘	長方形	南北340×東西 380~415×30	K	北	160	110	○	N-14-W	8世紀前半		埋蔵文化財の調査II	
5	1979	第2次5号住居	3/8	(正方形)	(490)×610×60	—	—	—	—	○	不明	8世紀前半	竈は調査区外未調査	埋蔵文化財の調査II	
—	1980	第3次5号住居	1/5	不明	(260×270)×30	—	—	—	—	○	不明	4世紀前半	権現山遺跡1号住居跡に 変更	埋蔵文化財の調査III	
7	1980	第6次7号住居	1/3	正方形	620×(250)×12	K2基	A竈:北 B竈:西	115×90 122×90		○	N-52-E N-37-W	7世紀前半	建て替わり、不整形 貯蔵穴175×95×20、 床面焼土範囲有	埋蔵文化財の調査III	
8	2001	2001年度範囲確認 調査第15号住居跡	完掘	方形	400×400×	K	北	不明	不明	○	不明	(8世紀前 半)	今後15号住居跡から8 号住居跡に名称変更	埋蔵文化財の調査24	
9	1983	第8次9号住居	2/3	隅丸方形	(500)×470×20	炉3	中央北 西寄り	60×40 (35)×32 40×32		○	—	—	4世紀前半	焼失住居、床面硬化 範囲2ヶ所	埋蔵文化財の調査VI
10	1983	第8次10号住居	完掘	正方形	690×660×15	K	北東	215	125	○	N-52-E N-37-W	6世紀前半	4本主柱穴、方形貯蔵穴 (80)×75×35	埋蔵文化財の調査VI	
11	1984	第10次11号住居	完掘	隅丸方形	445×(380)×35	K	北	115	95	○	N-5-W	6世紀前半	権現山遺跡に変更	埋蔵文化財の調査VII	
12	1978	丸橋第1次 12号住居	ほぼ完掘	隅丸長方形	980×770×20	土器 罫炉	北部	140	100	○	N-54-W N-36-E	4世紀前半	床面焼土点在	市史資料編第1巻	
13	2007	第14次13号住居	1/2	方形	370×370×45	K	東	90	65	○	N-36-E		貼床	市内遺跡群4	
14	2007	第14次14号住居	4/5	(長方形)	385×(380)×202	K	北	171	82	○	真北	8世紀前半	比企型坏多数出土、貼床	市内遺跡群4	
15	2007	第14次15号住居	1/3	不明	(370×—)×20	—	—	—	—	—	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群4	
16	2007	第14次16号住居	1/4	不明	(250×170)×40	—	—	—	—	○	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群4	
17	2007	第14次17号住居	1/3	不明	(344×360)×102	—	—	—	—	○	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群4	
18	2008	第14次18号住居	1/5	不明	(297×270)×30	—	—	—	—	○	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群4	
19	2008	第14次19号住居	1/5	不明	(450×—)×350	K	北	(85)	(82)	—		8世紀前半 ~	14号住居より新	市内遺跡群4	
20	2009	H20号住居	2/3	隅丸長方形	370×350×398							8世紀		市内遺跡群7	
21	2009	H21号住居	一部	不明	285×(135)×—	K	東							市内遺跡群8	
22	2009	H22号住居	一部	不明	—									市内遺跡群8	
23	2010	H23号住居	プラン	長方形	595×700×27	K	北				N-46-W	8世紀	H24、H25住居より新	市内遺跡群10	
24	2010	H24号住居	プラン	(方形)	590×(265)×30							8世紀	H23、H26住居より古、 H25住居より新	市内遺跡群10	
25	2010	H25号住居	プラン	長方形	810×700×12						N-46-W	7世紀	H23、H24住居より古	市内遺跡群10	
26	2010	H26号住居	プラン	(方形)	450×(110)×40							8世紀	H24住居より新	市内遺跡群10	
27	2010	H27号住居	プラン	方形	420×400×10									市内遺跡群10	
28	2011	H28号住居	完掘	隅丸方形	660×630×18.2	炉		165	110		N-34-W	4世紀後半		市内遺跡群14	
29	2011	H29号住居	1/2	(隅丸長方形)	290×648×18.2							4世紀後半		市内遺跡群14	
30	2012	H30号住居	4/5	方形	410×390×5	K	東			○	N-75-E	9世紀		市内遺跡群12	
31	2012	H31A号住居	完掘	方形	780×770×50	K	北・東	95	130	○	N-92-E	8世紀前半		市内遺跡群12	
31	2012	H31B号住居	完掘	方形	640×640×50	K	北	135	170	○	N-2-E	8世紀前半	鍛冶炉	市内遺跡群12	
32	2012	H32号住居	一部	(方形)	—×—×25								保存のため未調査	市内遺跡群12	
33	2012	H33号住居	一部	(方形)	—		北				N-0-E		保存のため未調査	市内遺跡群12	
34	2014	H34号住居		(方形か長 方形)	420以上	K	東	156	132	○		7世紀中頃	全容は不明	市内遺跡群16	
35	2014	H35号住居	完掘	長方形	360×220×48.6	K2基	北	119	111	○		8世紀中~ 後半	別住居の重複か建替	市内遺跡群16	
							東	78	75						
36	2014	H36号住居		(正方形か長 方形)	415×535×105	K	東	100	100	○2		8世紀前半 ~中頃		市内遺跡群16	
37	2014	H37号住居		正方形	460×460×66	K	北	111	87	○		7世紀後半	井戸1と重複、住居のほ うが古	市内遺跡群16	
38	2014	H38号住居											未調査	市内遺跡群16	
39	2014	H39号住居											未調査	市内遺跡群16	
40	2014	H40号住居											未調査	市内遺跡群16	
41	2014	H41号住居											未調査	市内遺跡群16	
42	2015	H42号住居	1/2以下	(正方形か長 方形)	(250×192)×20	K	北	(109)	(72)	○?		7世紀後半		市内遺跡群22	
43	2016	H43号住居	完掘	方形	345×303×20	K	北	(108)	(90)	○		8世紀中頃 ~後半		市内遺跡群22	
44	2016	H44号住居	完掘	不明	305×(250)					○		7世紀後半 ~		市内遺跡群22	

II 滝遺跡第26地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅及び分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや西寄りに位置する。申請者と協議の結果、個人住宅と分譲住宅2軒分に当たる南側を先行して試掘調査し、北側部分は既存建物撤去後に調査することとなった。

南側部分の調査は2015年10月19～27日まで実施した。調査は幅約1.5～1.8mのトレンチ6本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。北側部分は、2016年7月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が再提出された後、2016年8月24～9月9日まで試掘調査を実施した。調査は幅約1.2～1.5mのトレンチ8本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは50～60cmである。

調査の結果、全体を通して平安時代の住居跡2軒、落とし穴1基、土坑7基、井戸5基、ピット多数、溝2条を検出した。個人住宅建設部分のみ遺構への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、本調査を実施した。

本調査は2015年11月9～10日まで、調査区南東部の井戸3が確認された部分を重機で表土除去後、人力による調査を行った。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H42号住居跡

【位置・時期】 本住居跡は調査区東側、トレンチ6に位置する。東側は調査区外に延びるため未検出である。時期は出土遺物から7世紀後半と考えられる。

【形状・規模】 平面形態は長方形とみられるが全容は不明である。規模は長軸250cm以上、短軸192cm以上、深さ20cmである。柱穴、周溝は確認できなかった。

【竈】 竈は住居の北側に位置する。攪乱によって壊されており、僅かに袖部分と思われる粘土塊が残る程度であった。

【遺物出土状況】 遺物は竈の周辺部に集中して出土した。

② H43号住居跡

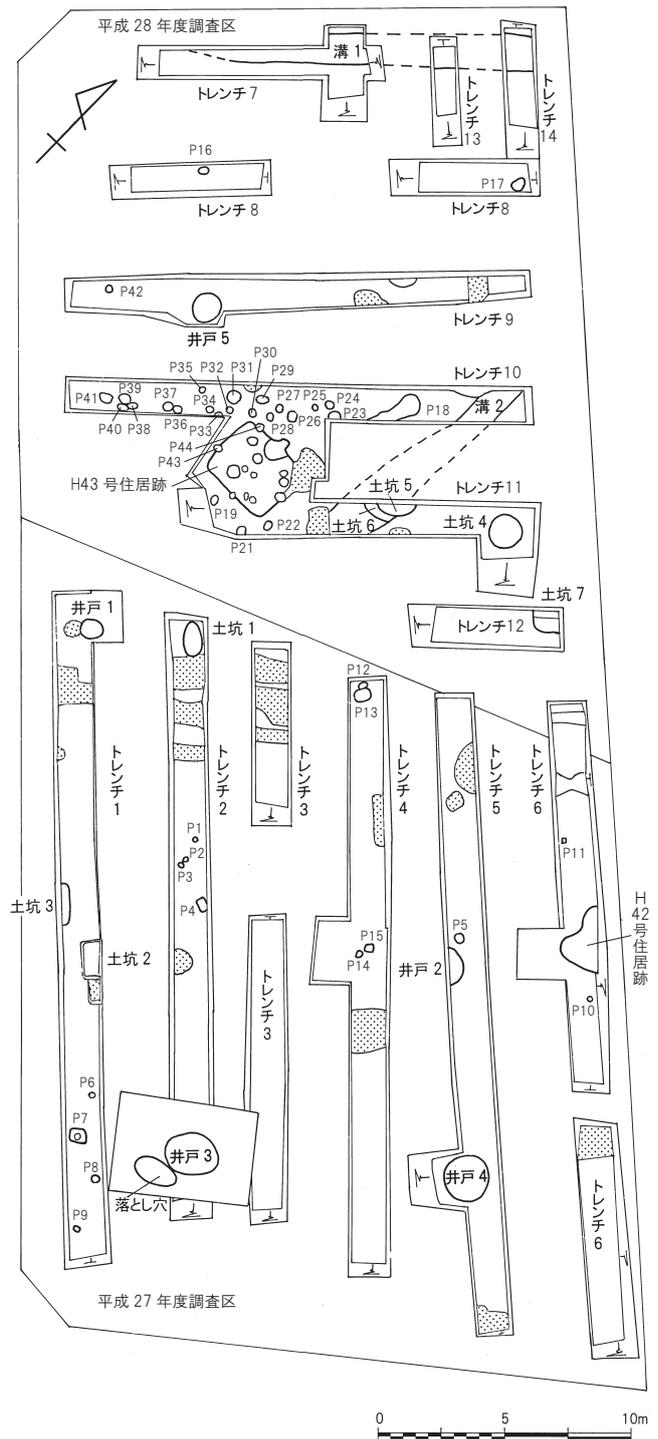
【位置・時期】 調査区中央部、トレンチ10・11に位置する。出土遺物から8世紀中～後半に帰属するも

のとみられる。

【形状・規模・掘方】 平面形態は方形で、北東部分が一部攪乱によって破壊されている。遺構の規模は345×303cm、深さ20cmである。掘方は地山ローム層まで全体的に掘り下げた後、貼床を行う。

【周溝】 周溝は北側の一部で僅かに確認できた。規模は上幅13.3cm、下幅6cm、深さ17cmである。

【ピット】 住居内で10基のピットを検出した。ピットの詳細については第37図及び第24表に掲載した。



第35図 滝遺跡第26地点遺構配置図(1/300)

いずれのピットも浅いが、P4 と P6 は柱穴の可能性も考えられる。

【竈】北側に位置する。天井部は崩落しているが奥壁・燃烧部・両袖部が部分的に残存していた。竈両袖部の構築材は黄灰色の粘土である。竈残存部は長軸 108 cm、幅 90 cm である。

【遺物出土状況】遺物は竈の周辺から集中して出土した。

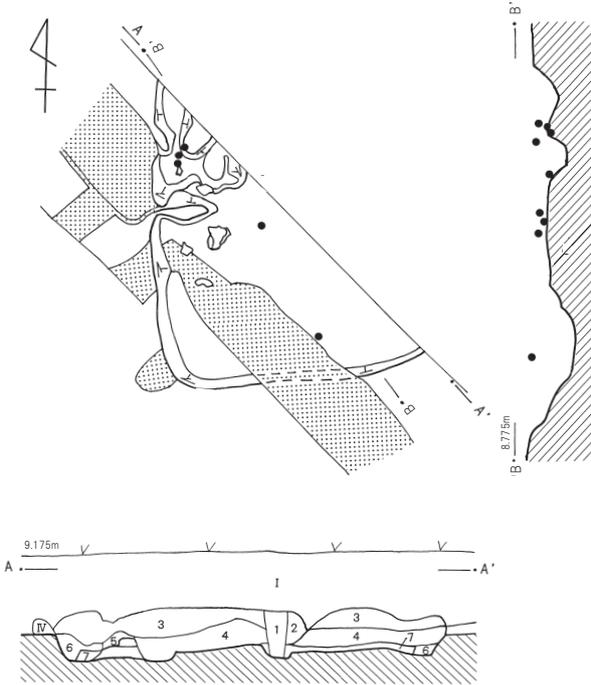
③落とし穴

調査区南側で検出した。井戸 3 と切り合う。平面形状は楕円形で、遺構の規模は確認面径 167 × 101 cm、底径 122 × 54 cm、深さ 115.8 cm である。土層の観察から縄文時代のものであろう。

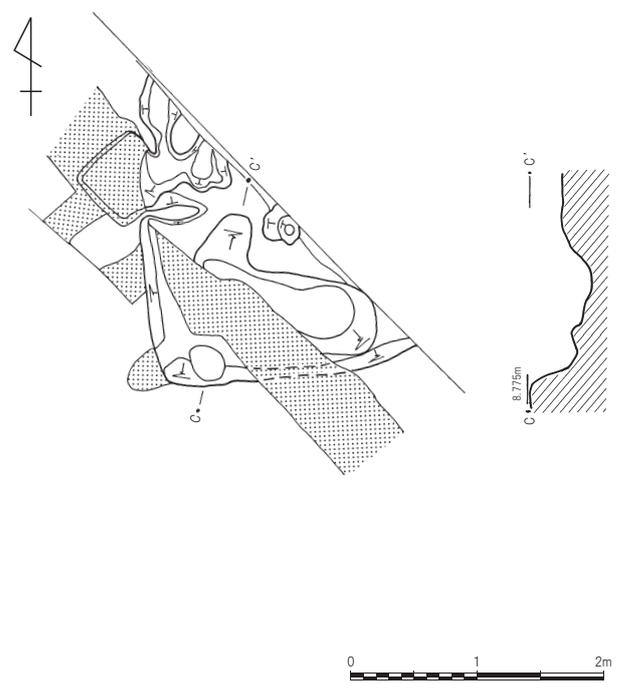
④土坑

土坑の規模等詳細については第 25 表に掲載した。
【土坑 1】調査区中央部、トレンチ 2 の東端で検出した。土層の観察から近世以降と考えられる。出土遺物はない。

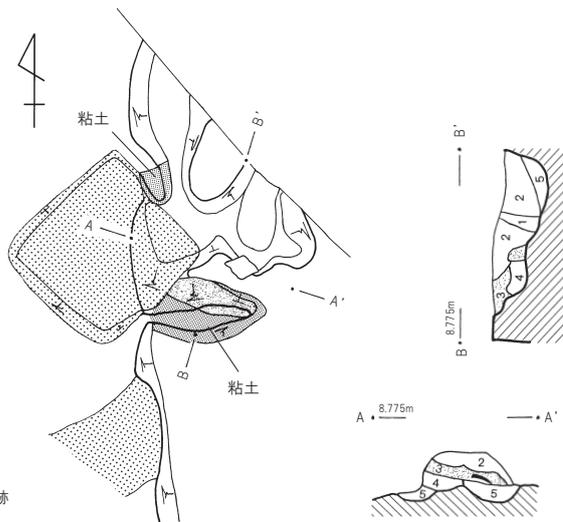
遺物出土状況



掘方



竈



掘方



H42 号住居跡

I. 表土

IV. ハードローム

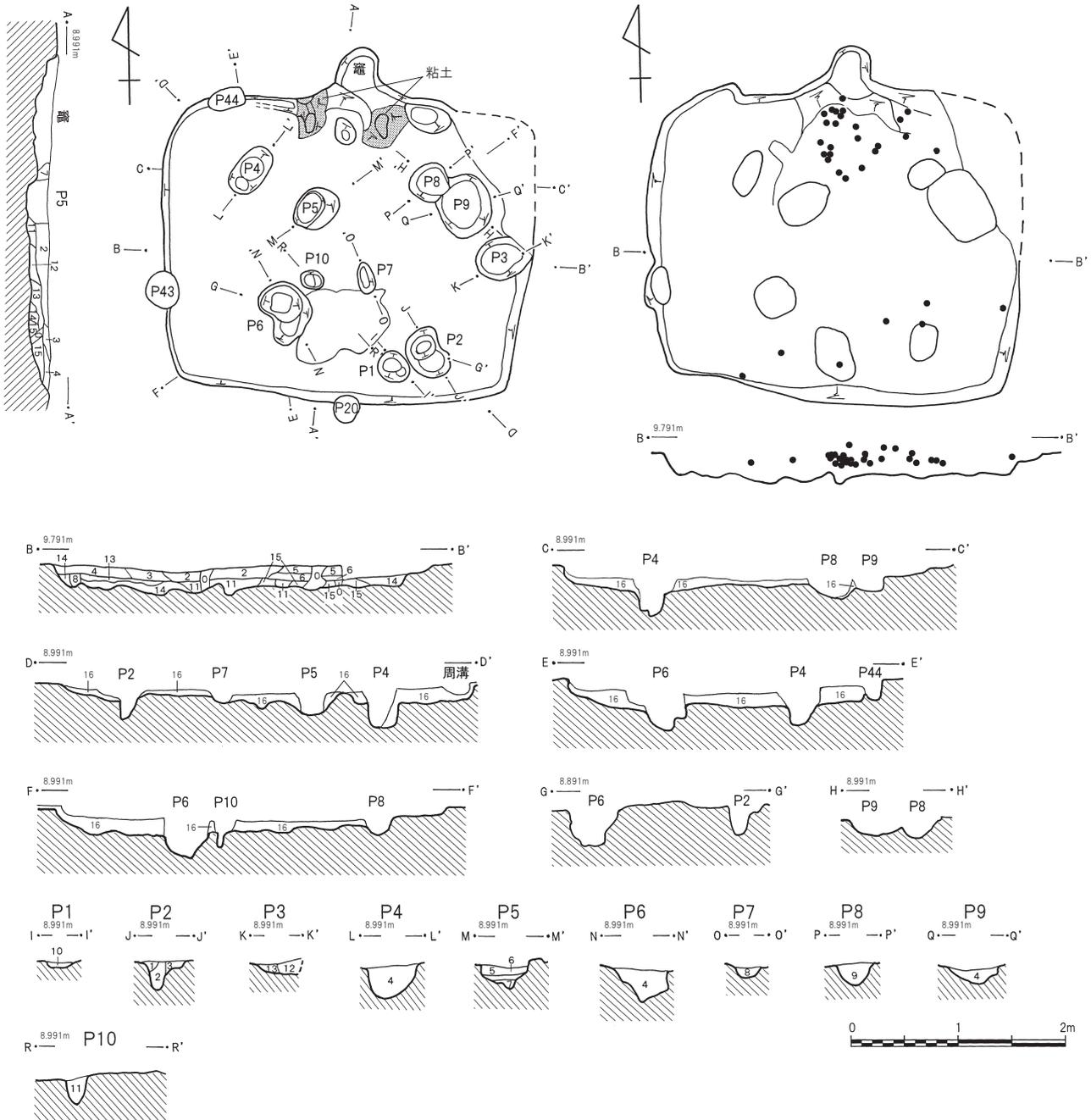
- 1. 黒色土 締り強、粘性有、2mm 以下シミ状ローム粒・焼土粒やや多く含む（中近世）
- 2. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、I 層に同じ、2mm 以下ローム粒少し含む、攪乱
- 3. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、2mm 以下ローム粒・同焼土粒少し含む
- 4. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、2mm 以下ローム粒・同焼土粒少し含む、3 層より締りやや強く、密である
- 5. 暗灰褐色土 締り強、粘性有、暗灰褐色土主体に 2mm 以下焼土粒少し含む、竈崩落土
- 6. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒多量に含む、周溝の可能性有
- 7. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム主体に 1cm 以下黒色土多く含む、貼床

竈

- 1. 黒色土 締り弱、粘性有、2mm 以下シミ状焼土少し含む、天床の穴か？
- 2. 暗灰褐色土 締り強、粘性有、竈天床構築土が崩落したもので、1mm 大シミ状黒褐色土粒・同焼土粒極少し含む
- 3. 赤褐色土 締りやや強、粘性有、焼土層で、天床の燃烧面か？
- 4. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、5mm 以下焼土粒多く含む、燃烧面下の灰原層か？
- 5. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む

第 36 図 滝遺跡第 26 地点 H42 号住居跡 (1/60)、竈 (1/30)

遺物出土状況

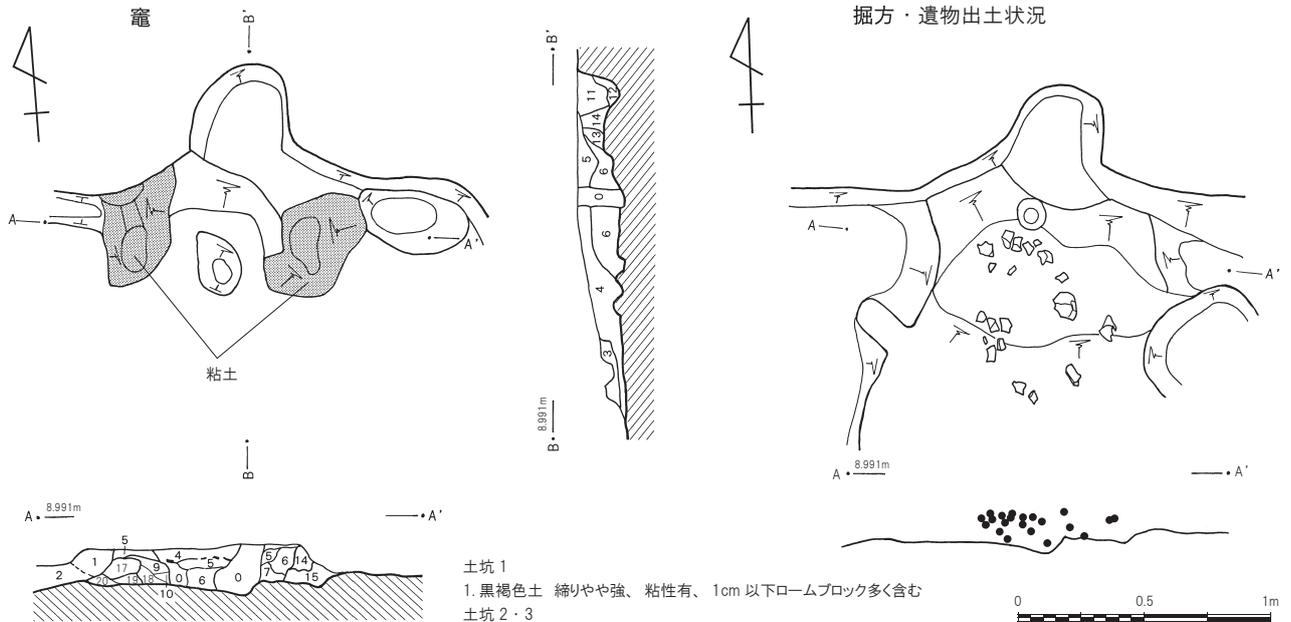


第24表 滝遺跡第26地点H43号住居内ピット一覧表 (単位cm)

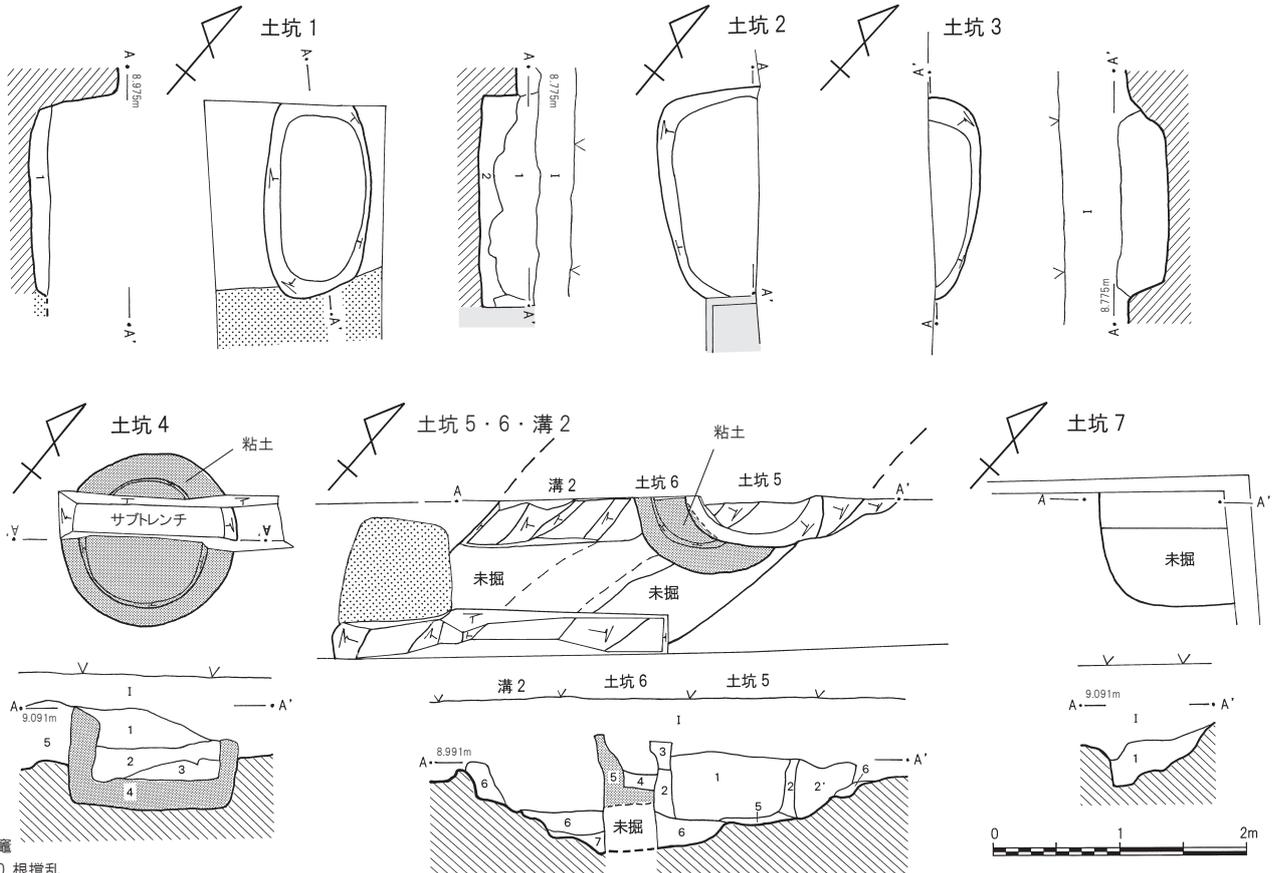
- 0. 攪乱
- 1. 黒褐色土 締りやや強、粘性やや弱、1mm以下ローム粒少量含む
- 2. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、5mm以下ローム粒多量に、同黒色粒少量含む
- 3. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、2mm以下ローム粒微量に含む
- 4. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒少量含む
- 5. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、2層に近い、シミ状にロームが混ざる
- 6. 暗褐色土 締り強、粘性強、2mm以下ローム粒多量、焼土粒極まれ、シミ状にロームと上層の土が混じる
- 7. 暗褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒・炭化物微量に、3mm以下焼土粒少量含む
- 8. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ローム粒多量、黒色土粒少量含む、周溝か
- 9. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、ローム・黒色土ブロック微量に含む
- 10. 黒褐色土 締り強、粘性強、2mm以下ローム粒・炭化物微量に、3mm以下焼土粒少量含む
- 11. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多量に、同黒色土少量含む
- 12. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・黒色土ブロック・5mm以下ローム粒少量含む
- 13. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・黒色土ブロック多量、5mm以下ローム粒中量含む
- 14. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ロームブロック・黒色土粒多量、ロームブロック少量含む
- 15. 黄褐色土 締り極強、粘性やや強、ローム主体、2cm大黒色土まじりに含む、掘り過ぎ?
- 16. 貼床

新No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No.
1	楕円形	31×26	17×13	7	2016年P 6
2	楕円形	47×33	16×9	27.3	2016年P 7
3	楕円形	52×40	39×28	11.5	2016年P 8
4	楕円形	48×29	23×19	38.5	2016年P32
5	楕円形	45×35	29×18	22.3	2016年P33
6	不整形	55×39	18×18	37.6	2016年P34
7	楕円形	29×13	21×7	9.2	2016年P35
8	隅丸方形	38×(31)	27×26	20.3	2016年P36
9	隅丸方形	57×48	43×35	17.9	2016年P37
10	楕円形	22×15	3×2	33.8	2016年P38

第37図 滝遺跡第26地点H43号住居跡(1/60)



- 土坑 1
 1. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1cm 以下ロームブロック多く含む
 土坑 2・3
 I. 表土
 1. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、2mm 以下ローム粒・同焼土粒少し含む
 2. 黒褐色土 締りやや強、粘性有

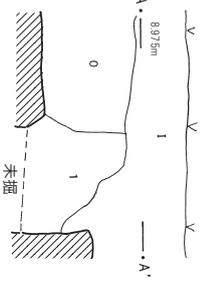


竈

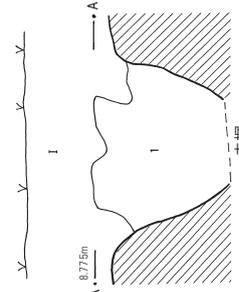
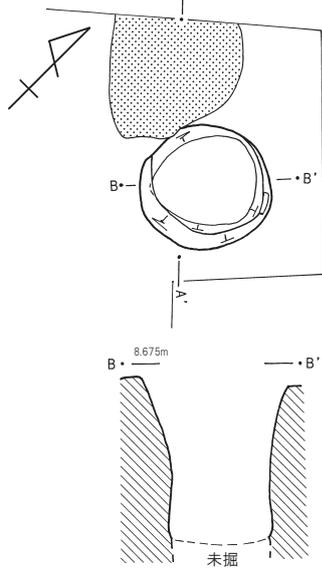
0. 根攪乱
 1.2 層に比べてローム粒少ない
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・5mm 以下ローム粒少量、黒色土微量
 3. 灰褐色土 締り有、粘性有、3mm 以下焼土粒微量
 4. 灰褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下焼土粒・炭化物・灰白色粘土粒少量
 5. 灰褐色土 締り有、粘性やや弱、5mm 以下焼土粒・炭化物・灰白色粘土粒中量
 6. 灰褐色土 締り強、粘性やや弱、2mm 大ローム粒少量、同焼土粒微量
 7. 灰褐色土 締り強、粘性有、5mm 大焼土粒中量
 8. 灰褐色土 締り有、粘性有、5mm 大焼土粒中量、粘土粒微量
 9. 灰褐色土 締りやや強、粘性有、5mm 大焼土粒微量
 10. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、5mm 以下焼土粒微量
 11. 黒色土 締りやや弱、粘性有、褐色ロームがやや混じる
 12. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム混り
 13. 黒色土 締り強、粘性有、シミ状ローム・ローム粒微量
 14. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm 大ローム粒・焼土粒微量、シミ状にローム
 15. 灰褐色土 締り強、粘性有、色調明るめ、1mm 大白色粒極微量
 16. 灰褐色土 締り強、粘性有、2mm 大ローム粒・炭化物少量
 17. 灰褐色土 締り強、粘性やや弱、3mm 以下焼土粒・炭化物少量、灰白色粘土粒微量
 18. 灰褐色土 締り有、粘性有、5mm 大焼土粒・2mm 大炭化物少量
 19. 灰褐色土 締り強、粘やや強、2mm 大ローム粒・炭化物少量
 20. 灰褐色土 締りやや弱、粘性有、2mm 大ローム粒・炭化物中量
 土坑 4
 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm 以下ローム粒・赤褐色粒微量
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1層に同じ
 3. 黄灰色土 締り強、粘性やや強、1~5cm ロームブロック少量
 4. 黒褐色土 締り極強、粘性強、5~10mm ローム粒中量、粘土
 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、1~5mm ローム粒少量、5mm 大炭化物・赤褐色粒微量

第 38 図 滝遺跡第 26 地点 H43 号住居跡竈・掘方 (1/30)、土坑 (1/60)

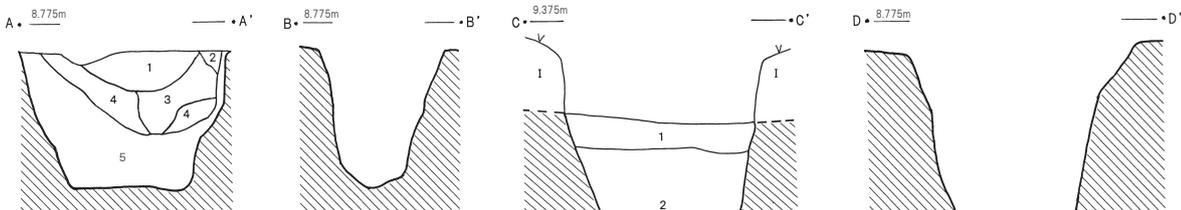
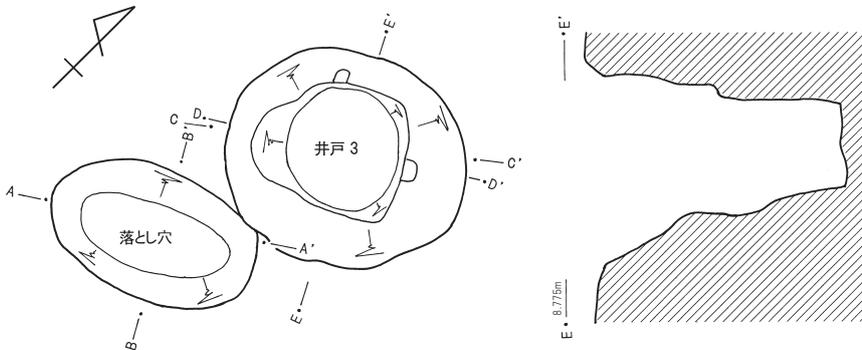
井戸 1



井戸 2



落とし穴・井戸 3



土坑 5・6・溝 2

- 1. 黒褐色土 締り弱、粘性有、2～5mm ローム粒微量
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、
- 3. 黄灰色土 締り強、粘性やや強、1～5cm ロームブロック少量
- 4. 黒褐色土 締り極強、粘性強、5～10mm ローム粒中量、粘土
- 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、1～5mm ローム粒少量、5mm 大炭化物・赤褐色粒微量

土坑 7

I. 表土

- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒微量に含む

落とし穴

- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒少し含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、2cm 大シミ状ロームを少し含む
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・1mm 以下ローム粒少し含む
- 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・1mm 以下ローム粒少し含む、3層よりローム主体
- 5. 暗褐色土 締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・1mm 以下ローム粒多く、黒褐色土を斑に含む

井戸

I. 表土

0. 攪乱

井戸 1

- 1. 黒色土 締り強、粘性有、2mm 以下焼土粒多く、同ローム粒・炭化物粒少し含む

井戸 2

- 1. 黒色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒・焼土粒多く含む、井戸 1 の1層に類似

井戸 3

- 1. 黒色土 締りやや強、粘性有、2mm 以下ローム粒・同焼土粒少し含む
- 2. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、5cm 以下ロームブロックと黒褐色土の混合土、埋戻し土
- 3. 黒色土 締りやや強、粘性有、2mm 以下ローム粒・同焼土粒極少し含む

井戸 4

- 1. 黒色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む、2cm 以下ロームブロック極少し含む
- 2. 褐色土 締り強、粘性有、1cm 以下ロームロームブロックやや多く、同シミ状ロームも少し含む
- 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、2cm 以下のロームを層状に多く含む
- 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム主体に2mm 以下黒色土を少し含む
- 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒色土主体に2cm 以下シミ状茶褐色土と同ロームを少し含む

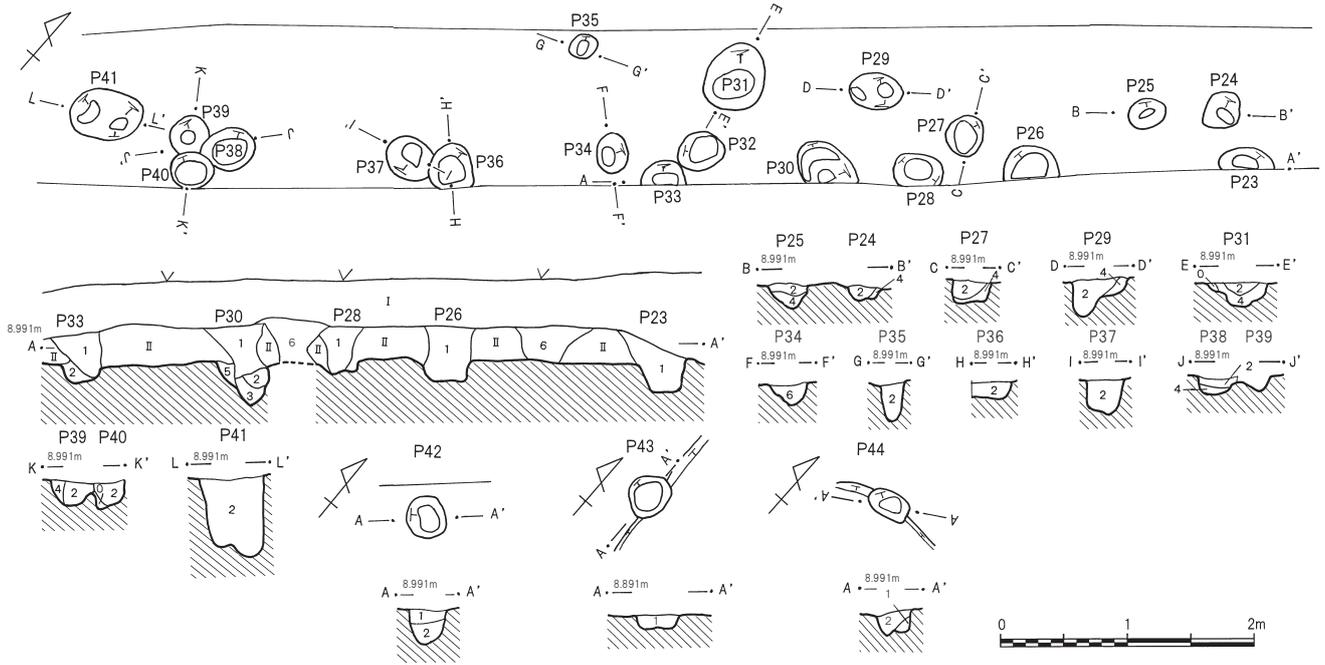
底部と5層の部分に赤褐色酸化鉄多く付着、水性堆積痕

井戸 5

- 1. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、3cm 以下ロームブロック・1mm 以下ローム粒少し含む
- 2. 黄褐色土 締りやや強、粘性有、ロームブロック
- 3. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、1cm 程度ロームブロック・1mm 以下ローム粒多く含む
- 4. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm 以下ローム粒僅かに含む
- 5. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、3cm 以下ロームブロック・1mm 以下ローム粒多く、ロームをシミ状に含む
- 6. 黒色土 締りやや強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し、酸化鉄を僅かに含む



第39図 滝遺跡第26地点井戸①・落とし穴 (1/60)



P1 ~ 13

1. 黒褐色土 締り弱、粘性有、1cm 大ローム少し、2mm 以下ローム粒少量含む
2. 黒色土 締り強、粘性有、1層より黒く、2mm 以下ローム粒少量(1層より少ない)含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5cm 以下ロームブロックと黒色土を斑状に含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、締りの強いローム主体に1cm 以下黒色土多く含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、暗褐色土主体に2mm 以下シミ状褐色土少量含む

P14

1. 黒色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む

P15

1. 黒色土 締りやや弱、粘性有、黒色土主体に2cm 以下シミ状暗褐色土・2mm 以下ローム粒やや多く含む(栓痕)
2. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、ローム主体で2cm 以下黒褐色土と2mm 以下ローム粒多く含む

P16 ~ 17

1. 黒褐色土 締り弱、粘性有、1mm 以下ローム粒少量含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック少量含む
3. 黒褐色土 締り弱、粘性有、5mm 以下ローム粒少量含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 ~ 2cm 以下ロームブロック中量含む

P18

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 ~ 5mm ローム粒少量含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、3 ~ 5cm ロームブロック・1 ~ 5mm ローム粒少量、5cm 大褐色土微量に含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5cm 大褐色土中量含む
4. 黒褐色土 締り弱、粘性強、1 ~ 5cm 褐色土微量に含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 ~ 5cm ロームブロック微量、1 ~ 5mm ローム粒多量に含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性強、1 ~ 5cm ロームブロック微量に含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック混じる

P19 ~ 20

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、1 ~ 3mm ローム粒中量含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、1 ~ 5mm ローム粒多量、黒色土をブロック状に含む
3. 黒褐色土 締り有、粘性有、1 ~ 2cm ロームブロック微量に含む

P21

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 大ローム粒微量に含む
2. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、5mm 以下ローム粒極微量に含む

P22

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒少量含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、2cm 以下ロームブロック中量含む

P23 ~ 41

I. 表土

- II. 黒褐色土 締り有、粘性強、ロームをシミ状に含む、包含層か

0. 攪乱

1. 黒褐色土 締り有、粘性強、1cm 以下ロームブロック少量含む
2. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm 以下ローム粒少量含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性強、5mm 以下ローム粒多量に含む
4. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、2cm 以下ロームブロック多量、1mm 大ローム粒少量含む
5. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒中量含む
6. 暗褐色土 締り弱、粘性有、1cm 以下ロームブロック少量、2mm 以下ローム粒多量に含む、より新しいピット

P42

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、1 ~ 5mm ローム粒少量含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1cm 大ロームブロック少量含む

P43

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒少量含む

P44

1. 黒褐色土 締り有、粘性弱、5cm 以下ロームブロック微量に含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒微量に含む

トレンチ 7 溝 1

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 ~ 5mm ローム粒微量に含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性強、1 ~ 5mm ローム粒少量含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、1 ~ 2cm ロームブロック少量含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性強、2cm 以下ロームブロック多量に含む

トレンチ 14 溝 1

I. 表土

III. 黒褐色土 黒色土包含層

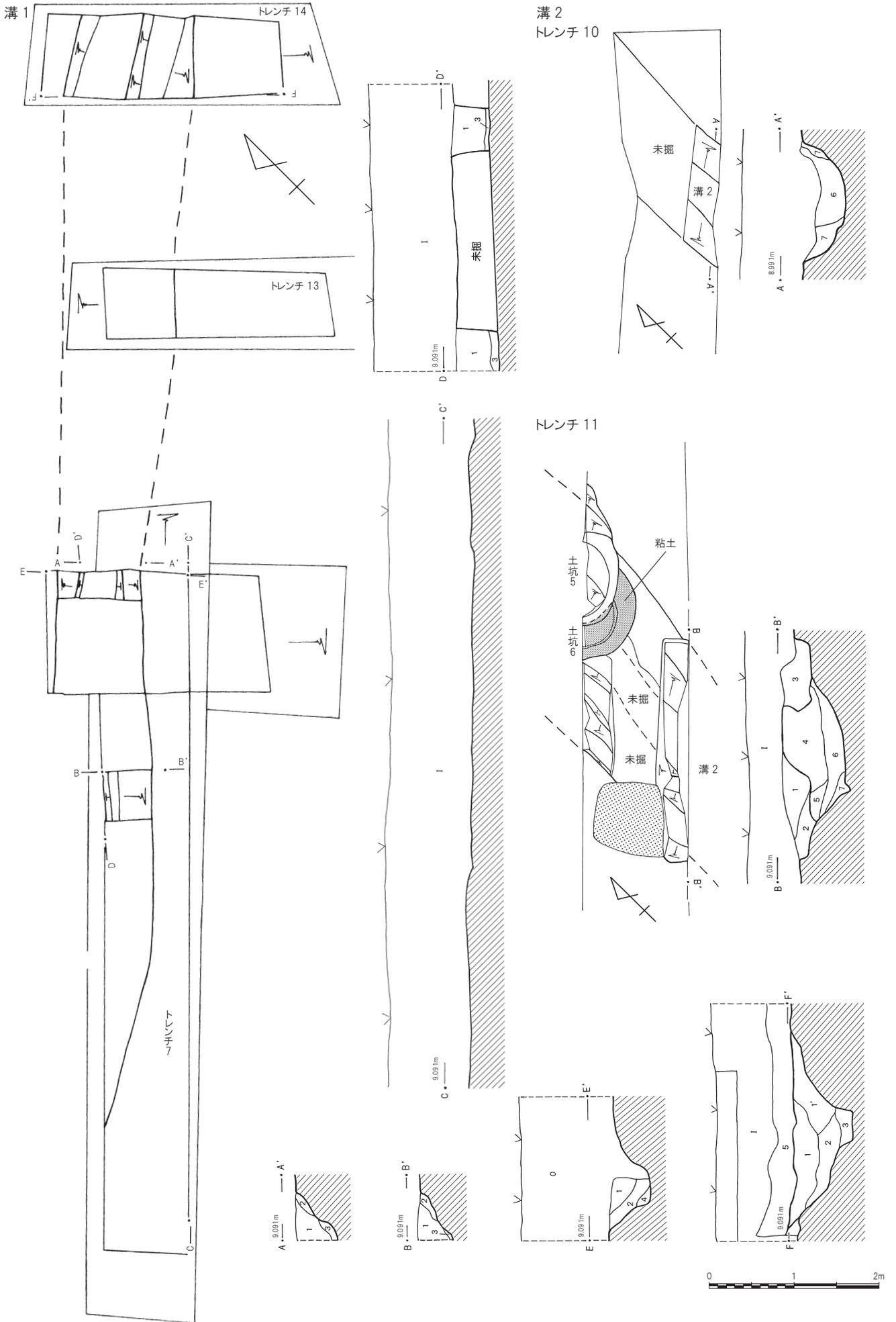
0. 攪乱

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒微量に含む
- 1'. 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、1層よりも色調やや明るく、バサつく
2. 黒褐色土 締り有、粘性強、5mm 以下ローム粒少量含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、2cm 以下ロームブロック少量含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性強、2cm 以下ロームブロック多量に含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒微量に含む、下層よりも締り強い

トレンチ 10・11 溝 2

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、1 ~ 5mm 以下ローム粒少量含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、1 ~ 5mm 以下ローム粒微量に含む
3. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、1 ~ 5mm 以下ローム粒微量に含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性強、ロームブロック多量に含む
5. 黒褐色土 締り有、粘性有、2 ~ 5cm ロームブロック微量、2 ~ 5mm ローム粒少量含む
6. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒少量に含む
7. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒多量に含む

第41図 滝遺跡第26地点ピット②(1/60)



第 42 図 滝遺跡第 26 地点溝 (1/60)

【土坑2】調査区南西部、トレンチ1で検出した。トレンチ東側へ続くため、全体の規模は不明。土層の観察から近世以降と考えられる。須恵器坏片1点が出土した。

【土坑3】トレンチ1で検出した。トレンチ西側へ続くため、全容は不明である。土層の観察から近世以降と考えられる。出土遺物はない。

【土坑4】トレンチ11の東端で検出した。土坑の壁面と底面に厚さ25～35cmの白色粘土が貼り付けられる。近現代の吸い込み跡か。瓦片、金属製品、銭貨が出土した。

【土坑5】調査区中央部、トレンチ11で検出した。溝2、土坑6と切り合う。この中では土坑5が最も新しい。土坑壁面に厚さ約15cmの粘土ブロックを含む層が巡っている。しかしながら土坑4・6のように底面には貼られていない。出土遺物はない。

【土坑6】土坑5と溝2と切り合っており、土坑5より新しく溝2より古い。土坑4と同様、壁面と底面に白色粘土が貼られている。近現代の吸い込み跡か。

第25表 滝遺跡第26地点土坑一覧表(単位cm)

新No	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No
1	長方形	(154)×84	130×67	20.3	2015年土坑1
2	不明	(166×79)	(155×66)	29.4	2015年土坑2
3	不明	(160×39)	(132×31)	31.9	2015年土坑3
4	円形	138×133	98×92	58.5	2016年土坑2
5	不明	(164×60)	88×(26)	40.5	2016年土坑3
6	不明	(103×57)	(34×27)	23.3	2016年土坑4
7	不明	(100×80)	—	32	2016年土坑5

陶器片が1点出土している。

【土坑7】調査区東側、トレンチ12で確認した。調査区外へ広がるため詳細は不明。土層の観察から近世以降と考えられる。

⑤井戸

井戸の規模等詳細については第26表に掲載した。

【井戸1】調査区西部、トレンチ1の北端で検出した。底部は未検出であるため、全容は不明である。出土遺物なし。

【井戸2】調査区東側、トレンチ5の中央部で検出した。底部未検出であるため、全容は不明。出土遺物はない。

【井戸3】調査区南側、トレンチ2の南端で検出した。落とし穴と僅かに切り合う。須恵器坏片が出土した。

【井戸4】調査区東側、トレンチ5の南端で検出した。

【井戸5】調査区西側、トレンチ9で検出した。底部は未検出のため、全容は不明である。出土遺物はない。

⑥ピット

検出したピットの詳細については第27表に掲載した。今回検出したピットはすべて近世以降である。

第26表 滝遺跡第26地点井戸一覧表(単位cm)

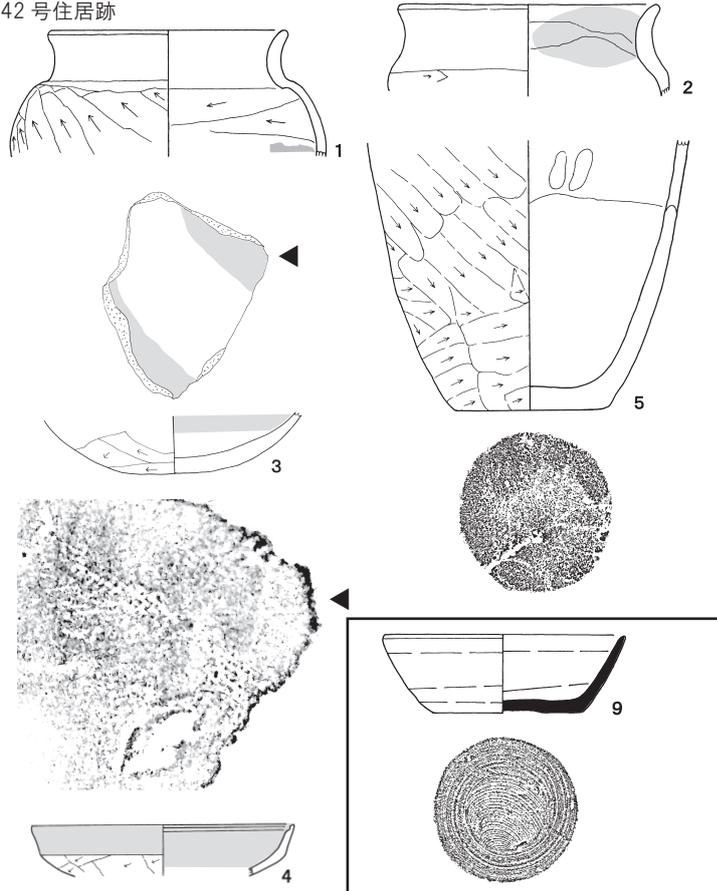
新No	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No
1	円形	103×97	80×68	134.3	2015年井戸1
2	不明	145×(51)	56×(25)	90.4	2015年井戸2
3	円形	190×168	93×88	205.6	2015年井戸3
4	円形	172×168	112×111	166.4	2015年井戸4
5	円形	112×110	77×75	185.4	2016年井戸1

第27表 滝遺跡第26地点ピット一覧表(単位cm)

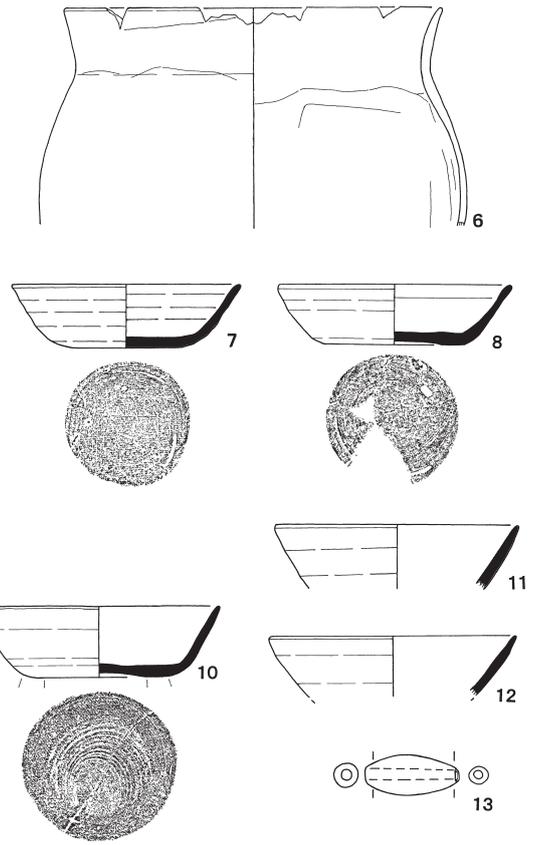
新No	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No
1	楕円形	27×20	11×8	44.7	2015年P1
2	方形	22×21	8×6	49.6	2015年P2
3	円形	28×25	15×8	22.8	2015年P3
4	円形	64×54	17×11	41.6	2015年P4
5	方形	18×17	13×11	26.4	2015年P5
6	方形	23×23	9×7	36.1	2015年P6
7	方形	74×66	12×11	46	2015年P7
8	方形	34×25	17×15	23.9	2015年P8
9	方形	34×32	22×18	45.8	2015年P9
10	方形	24×20	13×10	18.8	2015年P10
11	方形	18×14	11×9	17.6	2015年P11
12	方形	26×26	19×17	34.4	2015年P12
13	円形	(39)×38	(28)×26	14.1	2015年P13
14	方形	26×24	11×8	38.5	2015年P14
15	方形	36×31	13×13	56.9	2015年P15
16	楕円形	48×34	35×20	12.2	2016年P1
17	楕円形	60×47	16×6	78.3	2016年P2
18	不明	(163)×82	67×55	62.3	2016年P3
19	楕円形	42×29	14×13	28.3	2016年P4
20	円形	27×25	12×11	13.2	2016年P5
21	楕円形	40×36	25×22	48.7	2016年P9
22	円形	33×31	23×15	22.1	2016年P10

新No	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No
23	不明	44×(18)	18×(10)	32.8	2016年P11
24	楕円形	33×25	16×8	17.1	2016年P12
25	楕円形	31×23	13×4	20.4	2016年P13
26	不明	44×(27)	26×(21)	26.7	2016年P14
27	楕円形	33×29	27×18	24	2016年P15
28	不明	37×(26)	22×16	17.4	2016年P16
29	楕円形	42×29	14×5	30.9	2016年P17
30	不明	45×(32)	14×10	36	2016年P19
31	楕円形	56×45	35×22	18.1	2016年P20
32	楕円形	37×28	25×19	19.1	2016年P21
33	不明	35×(20)	21×(9)	13.2	2016年P22
34	円形	35×25	15×9	14.2	2016年P23
35	円形	20×19	13×6	31.3	2016年P24
36	円形	(35)×34	22×20	19.3	2016年P25
37	円形	35×33	15×15	29.1	2016年P26
38	楕円形	44×34	28×20	16.8	2016年P27
39	円形	31×30	12×11	25	2016年P28
40	円形	34×27	24×19	22.6	2016年P29
41	楕円形	55×40	13×10	78.4	2016年P30
42	円形	33×29	21×14	28.3	2016年P31
43	円形	33×31	22×22	13.3	2016年P39
44	楕円形	33×20	17×12	20.3	2016年P40

H42 号住居跡



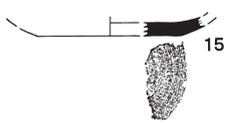
H43 号住居跡



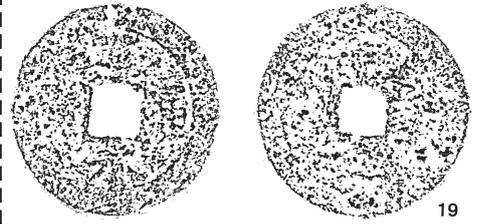
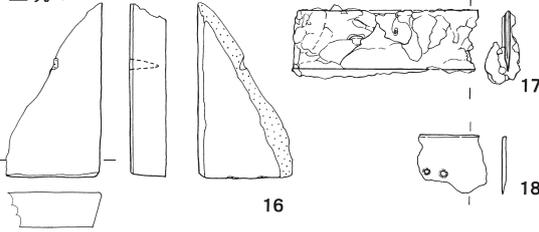
落とし穴



土坑 2

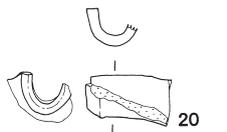


土坑 4

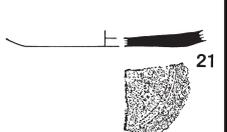


0 1 2 3cm

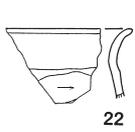
土坑 6



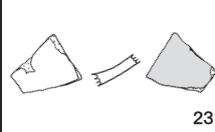
井戸 3



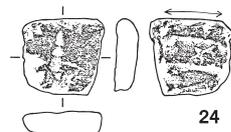
P4



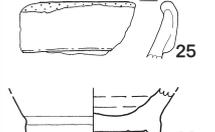
P18



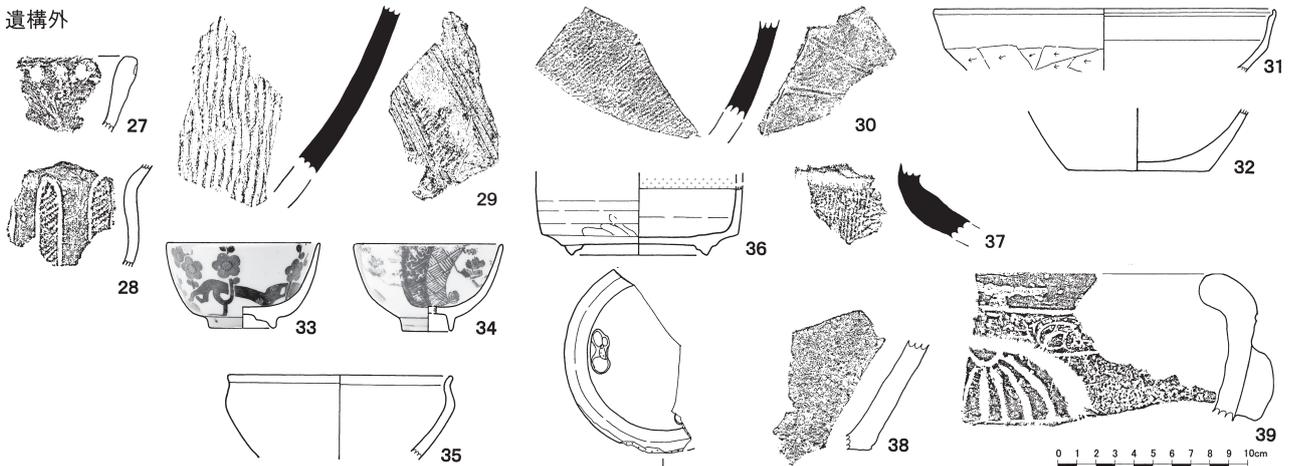
P21



溝 1



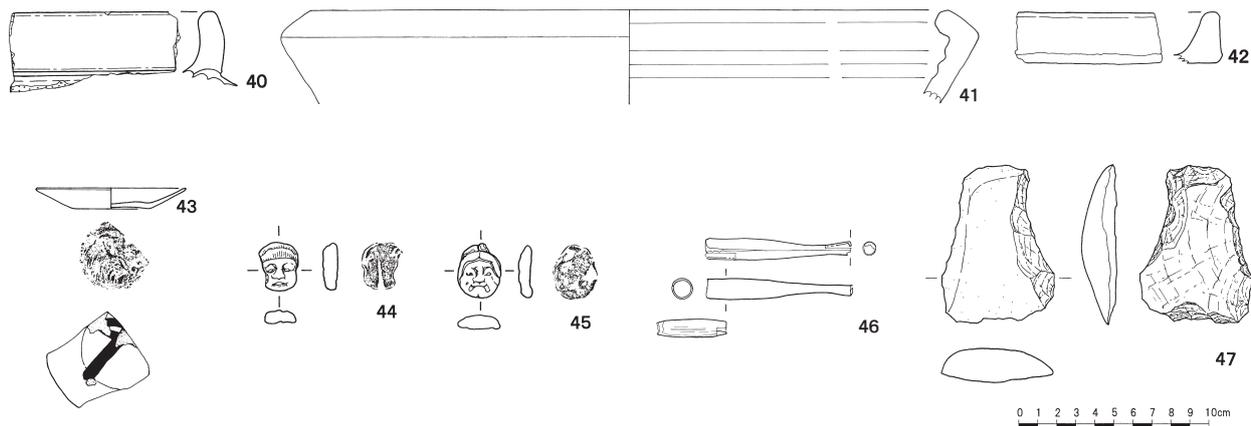
遺構外



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第 43 図 滝遺跡第 26 地点出土遺物① (1/4 · 1/1)

遺構外



第 44 図 滝遺跡第 26 地点出土遺物② (1/4)

第 28 表 滝遺跡第 26 地点出土遺物観察表 (単位cm・g)

図版番号	出土遺構	種別/器種	口径・長さ	器高・幅	底径・厚さ	技法・文様/胎土/備考	推定産地	時期/型式
第43図-1	H42号住居跡	土師器/壺	(12.6)	(6.2)	—	胴部ナナメ方向のヘラケズリ、口縁部ナデ、外面赤彩の痕跡有、内面一部に煤付着	—	7世紀後半
第43図-2		土師器/甕	(13.6)	(4.6)	—	胴部ヘラケズリ、口縁部ナデ、口縁部内面に赤彩/白色粒子、黒色粒子	—	7世紀後半
第43図-3		土師器/碗	—	(3.0)	5.8	外面・底部ヘラケズリ、内面ナデ、内面に赤彩、外面に黒斑、内面底部に織物状の庄痕有/白色粒子、黒色粒子、チャート	—	7世紀後半
第43図-4		土師器/坏	—	(2.7)	—	口縁部ナデ、底部ヘラケズリ、内面と外面口縁部に赤彩、口縁部内面に沈線/白色粒子、黒色粒子	—	7世紀後半
第43図-5		土師器/甕	—	(14.3)	8.0	外面ヘラケズリ、内面ナデ、底部に木の葉文、内面に粘土紐痕有/白色粒子、黒色粒子、雲母僅か	—	7世紀後半
第43図-6	H43号住居	土師器/甕	(20.0)	(11.8)	—	胴部ヘラケズリか、口縁部ナデ、器厚3~7mmと非常に薄い/白色粒子、雲母少量/外面に白色粘土のようなものが付着	—	8世紀前葉
第43図-7		須恵器/坏	10.0	3.3	6.5	底部回転系切り後回転ヘラケズリ/白色粒子、白色針状物質、小礫が多い	南比企産	8世紀中葉
第43図-8		須恵器/坏	12.6	3.2	7.0	底部回転系切り後回転ヘラケズリ/黒色粒子/全体的に摩耗が激しい、焼成不良で軟質	—	8世紀中葉
第43図-9		須恵器/坏	12.6	4.2	7.6	底部回転系切り後回転ヘラケズリ/白色粒子、長石含む/焼成やや不良	—	8世紀中葉
第43図-10		須恵器/坏	(12.4)	3.2	7.2	底部回転系切り後回転ヘラケズリ/白色粒子、黒色粒子、白色針状物質、長石	南比企産	8世紀中葉
第43図-11		須恵器/坏	13.0	(3.4)	—	黒色粒子、小礫ごく僅か/底部欠損	—	8世紀中葉~後半
第43図-12		須恵器/坏	(13.0)	(3.2)	—	黒色粒子、小礫ごく僅か/底部欠損、焼成やや不良	—	8世紀中葉~後半
第43図-13		土製品/土鉢	5.0	2.1	—	中膨れ、孔径0.5cm/胎土に長石を含む	—	—
第43図-14	落とし穴	縄文土器	—	—	—	—	—	縄文前期力
第43図-15	土坑 2	須恵器/坏	—	—	—	底部回転系切り後回転ヘラケズリ/白色粒子、白色針状物質	南比企産	8世紀中葉~
第43図-16	土坑 4	瓦	(9.3)	(5.1)	1.8	型成形、外面から孔を開けた痕跡有	—	近代以降
第43図-17		鉄製品	(3.8)	(9.7)	—	板状鉄製品、錆が酷く詳細不明	—	近代以降
第43図-18		鉄製品	(3.0)	(3.7)	—	板状鉄製品、径5mmの孔が2つ開く	—	近代以降
第43図-19		銅貨/寛永通宝	2.8	2.8	—	孔:0.6cm、全体的に摩耗が激しい	—	18世紀後半以降
第43図-20	土坑 6	陶器/片口鉢	—	—	—	注口部分、内外面に灰釉	瀬戸・美濃	18世紀
第43図-21	井戸 3	須恵器/坏	—	—	(8.4)	底部回転ヘラケズリ/白色粒子、白色針状物質、長石	南比企産	8世紀前~中葉力
第43図-22	ビット 4	土師器/壺	—	—	—	胴部ヘラケズリ、口縁部ナデ/白色粒子、黒色粒子、雲母僅か/小型壺か鉢	—	7世紀後半~8世紀前半
第43図-23	ビット 18	土師器/坏	—	—	—	外面ヘラケズリ、内面赤彩/白色粒子、黒色粒子	—	—
第43図-24	ビット 21	土器/転用砥石	(4.0)	(4.3)	—	赤色粒子僅か/1面使用	—	—
第43図-25	溝 1	陶器/鉢	—	—	—	轆轤成形、口縁部貼付による二重口縁、内外面に鉄釉/黒色粒子	瀬戸・美濃	近世以降
第43図-26		磁器/碗	—	—	(7.0)	轆轤成形、高台部分貼付/黒色粒子/徳利力	肥前	18世紀以降
第43図-27	遺構外	縄文/深鉢	—	—	—	口縁部外面に刺突文/黒色粒子、赤色粒子/磨減が激しい	—	中期
第43図-28		縄文/深鉢	—	—	—	沈線によるU字文、区内面に縦位L充填、器面ミカキ/白色粒子、黒色粒子、雲母	—	加曾利E III~IV
第43図-29		須恵器/甕	—	—	—	外面平行タタキ、内面同心円文当て具使用後ナデ/白色粒子、黒色粒子、白色針状物質、長石	南比企産	—
第43図-30		須恵器/甕	—	—	—	外面平行タタキ、内面ナデ/白色粒子、黒色粒子	—	—
第43図-31		土師器/皿	18.0	(3.2)	—	外面底部ケズリ、内外面口縁部ナデ、口縁部内面に沈線/白色粒子、黒色粒子	—	8世紀前半
第43図-32		土師器/甕	—	(3.2)	(7.6)	外面ケズリ後ナデカ/白色粒子、黒色粒子	—	—
第43図-33		磁器/碗	8.0	4.5	3.6	轆轤成形/銅版染付/梅「光琳」の銘	瀬戸・美濃	19世紀後半
第43図-34		磁器/碗	8.0	4.6	2.8	轆轤成形/ゴム印絵付け/松	瀬戸・美濃	20世紀以降
第43図-35		陶器/天目茶碗	11.8	(4.4)	—	轆轤成形、内外面に鉄釉/黒色粒子	瀬戸・美濃	17世紀以前
第43図-36		陶器/香炉	—	(4.2)	(8.0)	轆轤成形、外面と内面の一部に釉/白色粒子、黒色粒子/底部に粘土塊を貼り付けた脚あり	瀬戸・美濃	18世紀以降
第43図-37		須恵器/甕	—	—	—	外面平行タタキ及び格子タタキ、頸部/白色粒子、白色針状物質、長石/焼成やや不良	南比企産	古代
第43図-38		瓦質土器/甕	—	—	—	轆轤成形、外面に自然釉	—	中近世
第43図-39		瓦質土器/火鉢	—	—	—	轆轤成形、取っ手貼付、口縁部外面に文様/白色粒子、黒色粒子(共に僅か)/養蚕火鉢(山王焼?)	東松山力	近代以降
第44図-40		瓦質土器/甕	—	—	—	轆轤成形/白色粒子、黒色粒子、雲母	—	近代以降
第44図-41		瓦質土器/鉢	(33.4)	—	—	轆轤成形/赤色粒子、黒色粒子	—	近代以降
第44図-42		土器/焙烙	—	—	—	轆轤成形/赤色粒子、黒色粒子/底面に煤付着	—	中近世
第44図-43		土器/かわらけ	(7.7)	(3.8)	1.1	轆轤成形、底部回転系切り未調整/色調:橙、白色粒子/内面に白色粘土付着痕、底部外面に墨書(解読不能)	在地	近世以降
第44図-44		土製品/泥面子	2.5	2.1	—	芥子面(童子)、型押し成形、一部欠損	—	近世以降
第44図-45		土製品/泥面子	2.8	2.2	—	芥子面(鬼?)、型押し成形	—	近世以降
第44図-46		銅製品/煙管	1.0	7.6	—	吸口、口部分は内側に巻き込み、ヤニ付着、羅字は竹製、羅字口径:0.86cm、長さ3.5cm	—	18世紀以降
第44図-47		打製石斧	8.2	5.9	1.8	凝灰岩/重量:94.89g	—	—

⑦溝

【溝 1】調査区北側、トレンチ 7・13・14 で確認した。走行方向は N-48° -E で西から東へ流れる。遺構の規模は上幅 145 cm、下幅 35 cm、深さ 53.9 cm、断面形状は台形を呈する。陶器片 2 点が出土した。走行方向等から本地点の東側に位置する第 14 地点で検出した溝 2 に繋がる可能性も考えられる。

【溝 2】調査区中央部西側、トレンチ 10 及び 11 で確認した。主軸をほぼ南北方向にとり、北側は調査区外へ延伸するものと考えられる。南側はトレンチ 1 及び 2 では確認できないため、トレンチ 2 と 11 の間で走行方向を変えるか途切れる可能性がある。遺構の規模は上幅 115 cm、下幅 41 cm、深さ約 60 cm、断面形状は U 字状を呈する。出土遺物がないため時期は特定できないが、土層の観察から中近世以降に属するものと想定できる。

⑧出土遺物

出土遺物についての詳細については第 43・44 図及び第 28 表に掲載した。

Ⅲ 滝遺跡第 27 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 11 月 13 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 11 月 27 日～12 月 1 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1～1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力に

よる表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さは約 80～150 cm である。

調査の結果、奈良時代の住居跡 1 軒を検出した。本地点は斜面地に位置するため遺構確認面までが深く、保護層確保が可能であることから工事立会の措置となった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H44 号住居跡

【位置・時期】調査区中央部、トレンチ 2 に位置する。

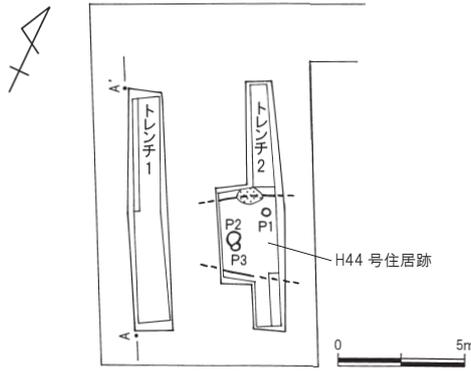
【形状・規模・掘方】トレンチ内での確認のため形状・規模共に不明。今回の調査で確認できた平面規模は 305 × (250) cm である。掘方は中央部分を中心に地山ローム層まで掘り下げた後、貼床を行う。

【周溝】上幅約 20 cm、下幅約 10 cm、深さ約 10 cm の周溝を確認した。

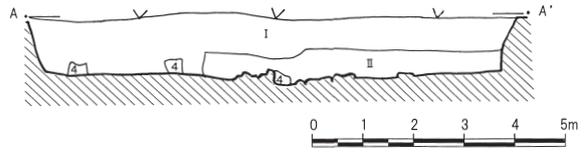
【ピット】住居内でピット 3 基を検出した。ピット 1 は住居内やや北寄りに位置する。平面形態は不整形円で、確認面径 33 × 25 cm、底径 22 × 16 cm、深さ 50.5 cm である。ピット 2・3 は住居内やや南に位置し、2 基が並ぶ。切り合い関係は判然としない。ピット 2 は円形を呈し、確認面径 40 × 36 cm、底径 15 × 13 cm、深さ 41.3 cm。ピット 3 は不整形円で、確認面径 30 × 25 cm、底径 9 × 6 cm、深さ 37 cm である。

【竈】今回の調査では確認されなかった。

【遺物出土状況】遺物はピット 1 の東側でまとまって出土した。詳細については第 46 図及び第 29 表に掲載した。

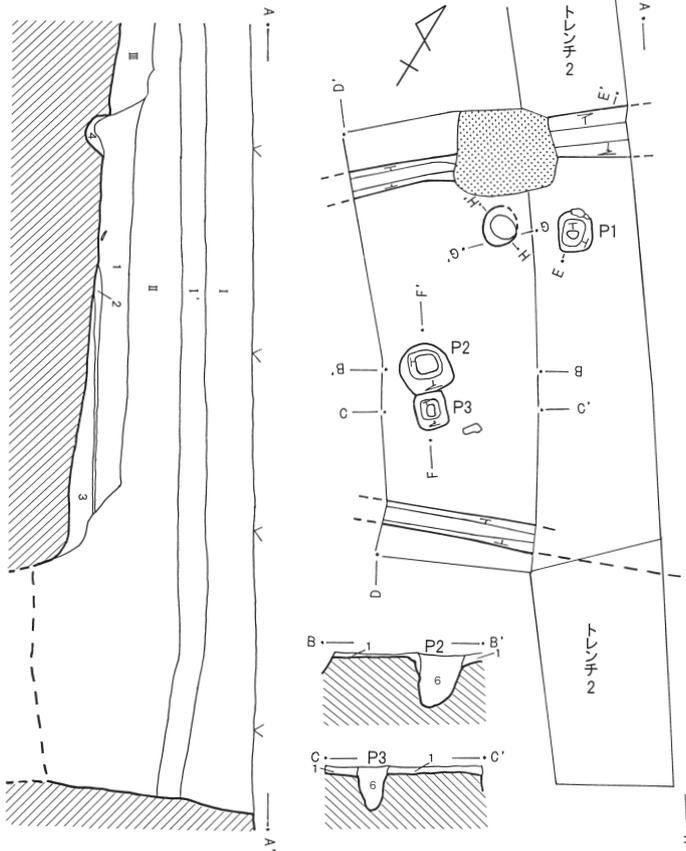


トレンチ 1

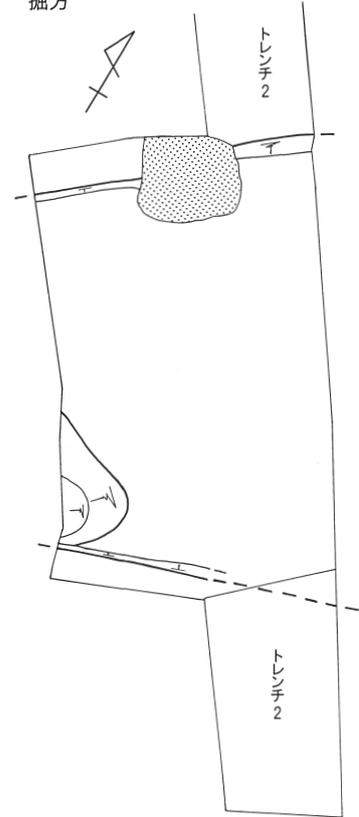


- I. 表土
- II. 暗褐色土 締り有、粘性有、3mm 大ロームブロック~ 2mm 大ローム粒含む
- 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、シミ状にロームを含む

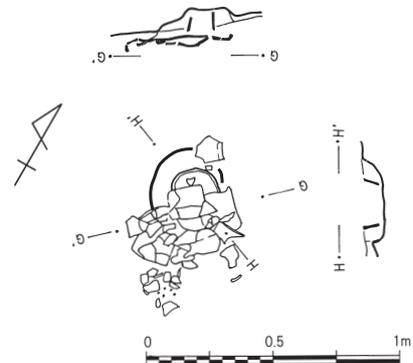
H44 号住居跡



掘方



遺物出土状況

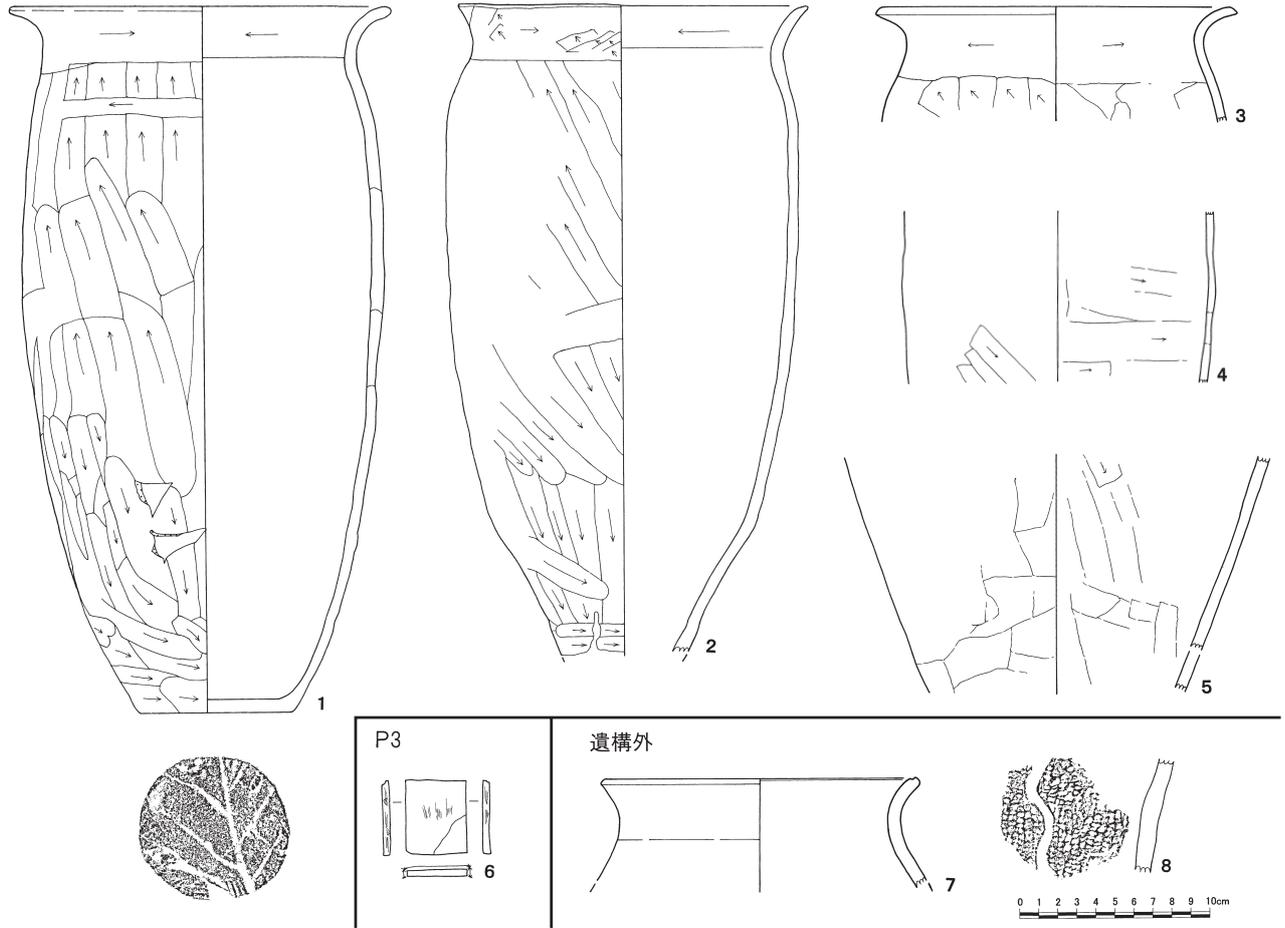


H44 号住居跡

- I. 黒褐色土 締り弱、粘性有、5cm 以下ロームブロック・プラスチックごみ・炭化物含む、表土層、盛土
- I'. 暗褐色土 締り弱、粘性有、ローム主体にシミ状に黒褐色土少し含む。盛土
- II. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、3cm 以下シミ状黒褐色（暗褐色）土やや多く、1cm 以下ロームブロック少し含む
- III. 暗褐色土 締り強、粘性有、黒色味の有る包含層で、シミ状に暗褐色ロームを多く含む
- 1. 黒色土 締り弱、粘性有、2mm 以下ローム粒少し、同焼土粒多く含む
- 2. 褐色土 締り強、粘性有、ローム貼床でシミ状に黒褐色土少し含む、（貼床）
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、黒色味の有るローム質土主体に、1cm 以下黒色土・2mm 以下ローム粒少し含む（掘方）
- 4. 暗褐色土 締り弱、粘性有、暗褐色土主体に1cm 以下シミ状黒色土・同焼土少し含む
- 5. 暗褐色土 締り弱、粘性有、2mm 以下黒色土・褐色ロームの粒多く含む、周溝土層
- 6. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm 以下ローム粒僅か、2mm 以下焼土粒少し、2mm 以下炭化物粒多く含む

第 45 図 滝遺跡第 27 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、H44 号住居跡・掘方 (1/60)、遺物出土状況 (1/30)

H44 号住居跡



第 46 図 滝遺跡第 27 地点出土遺物 (1/4)

第 29 表 滝遺跡第 27 地点出土遺物観察表 (単位cm・g)

図版	番号	出土遺構	種別/器種	口径・長さ	器高・幅	底径・厚さ	技法・文様/胎土/備考	推定年代
第46図	1	H44号住居跡	土師器/長胴甕	20.2	37.4	8.1	胴部縦位ヘラケズリ後口縁部ヨコナデ、底部欠損	7世紀後半～8世紀初頭
	2		土師器/長胴甕	18.5	34.4	6.8	胴部縦位ヘラケズリ後口縁部ヨコナデ、底部に木の葉文、完形	7世紀後半～8世紀初頭
	3		土師器/長胴甕	(19.0)	(6.0)	—	長胴甕口縁～胴部、胴部縦位ヘラケズリ後口縁部ヨコナデ	7世紀後半～8世紀初頭
	4		土師器/長胴甕	—	(9.1)	—	長胴甕胴部、胴部復元径16.5cm、縦位ヘラケズリ、内面ヨコナデ	7世紀後半～8世紀初頭
	5		土師器/長胴甕	—	(12.2)	—	長胴甕胴部、胴部復元径18.0cm、縦位ヘラケズリ	7世紀後半～8世紀初頭
	6	P3	砥石	(4.0)	3.3	(0.5)	重量:10.58g、粘板岩	—
	7	遺構外	土師器/壺	(16.8)	(5.4)	—	壺口縁部、ヨコナデ/内外面に部分的に煤付着	7世紀後半～8世紀初頭力
	8		縄文/深鉢	—	(6.2)	—	地文RL単節、縦位に波状沈線を施す	縄文中期

第9章 長宮遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

長宮遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ（現在は排水溝として利用）、幅 100m ほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500m 南側には福岡江川が流れ、標高 9～10m 前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北 300m、東西 500m 以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

遺跡の西方には長宮氷川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国期に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に縄文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中近世の松山遺跡が隣接する。1977年の保育園建設に伴う緊急調査で、中世の屋敷地と思われる

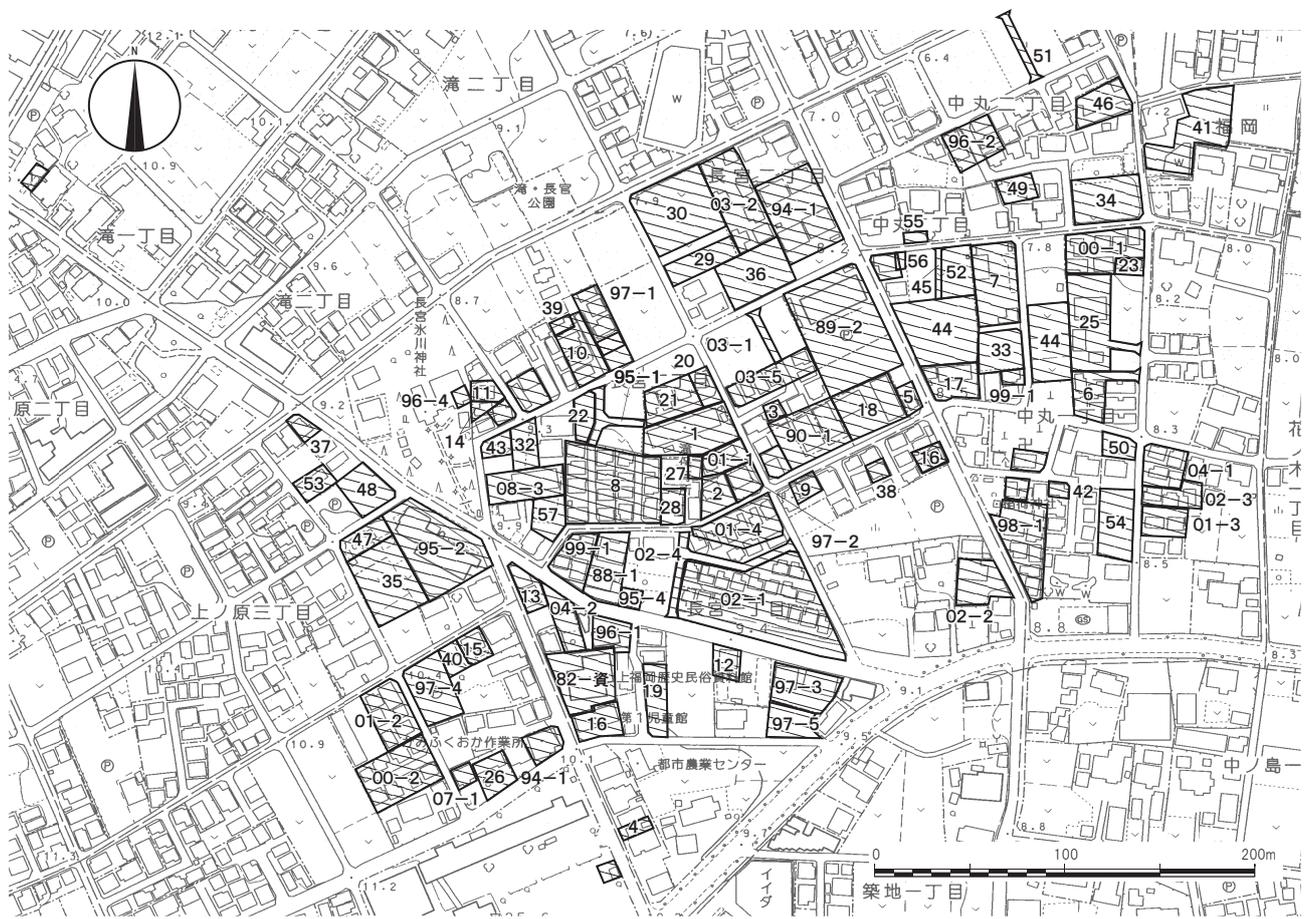
遺構群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより 2018年4月現在 95ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は縄文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りに飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮氷川神社参道に關係のある溝跡などである。

長宮遺跡第 44 地点の試掘調査および本調査については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 14 集『市内遺跡群 13』（2015.3）で報告済みのため、本書では割愛した。

II 長宮遺跡第 52 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2016年3月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央やや東側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年3月11日～17日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約 1～1.5m のトレンチ 4本を設定し、



第 47 図 長宮遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約70cmである。

試掘の結果、溝2条・井戸3基・土坑1基・ピットを検出したが、30cmの保護層の確保が可能のため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①土坑

土坑は調査区の調査区中央、トレンチ3で確認された。平面形態は楕円形で、規模は確認面径104×90cm、底径86×68cm、深さ18.9cmである。出土遺物はない。

②井戸

【井戸1】 井戸1は調査区北側、トレンチ3で確認した。平面形態は不整形で、確認面径131×105cm、底径92×87cm、深さ86.9cmである。覆土中より縄文土器が出土したが、井戸の時期を特定するような遺物は出土していない。

【井戸2】 井戸2は調査区南側、トレンチ3の南端で検出した。平面形態は円形を呈する。規模は確認面径102×80cm、底径65×60cm、深さ94.2cmで、

井戸1よりやや小さい。井戸の時期を示す遺物の出土はなく、覆土中より縄文土器片が1点出土したのみである。

【井戸3】 井戸3は調査区南西隅、トレンチ4の南端で溝2の走行方向を確認するために掘削した拡張部分で確認した。検出は行っていないため、平面形態は不明、プランの規模は(95)×(30)cmである。

③ピット

ピット1～5はトレンチ1で、ピット6はトレンチ2で検出した。規模については第31表に掲載する。

④溝

【溝1】 調査区東側、トレンチ1で確認した。緩やかに蛇行しながら南北方向に走行する。確認面の規模は50～100cm、断面形状、深さは不明である。出土遺物はない。

【溝2】 調査区西側、トレンチ4で確認した。プランのみ確認のため規模、形状は不明。やや東に振れるが、南北方向に走行する。走行方向から第44・45地点で検出した溝4であると想定できる。

⑤出土遺物

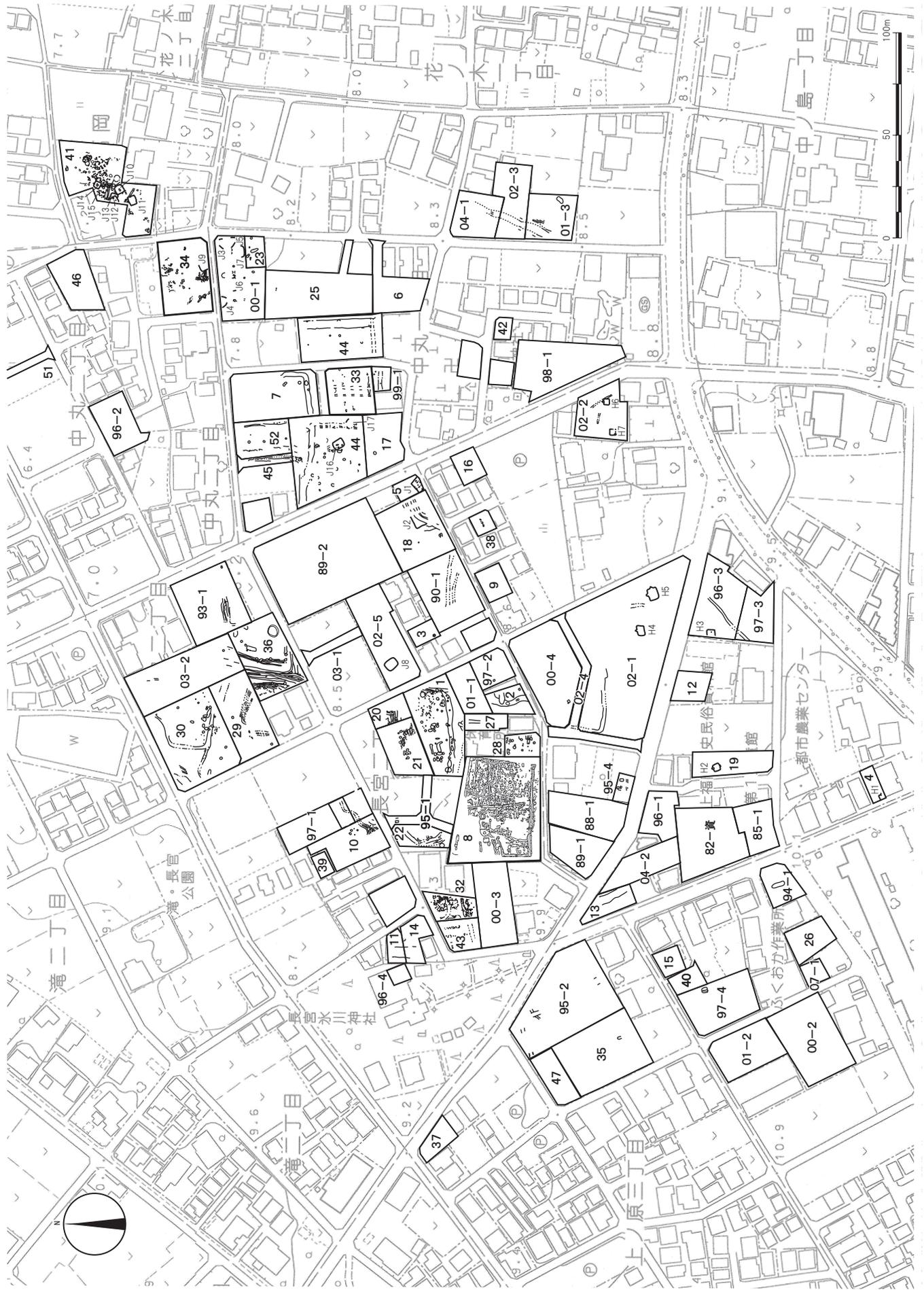
出土遺物の詳細については、第50・51図及び第32・33表に掲載した。

第30表 長宮遺跡調査一覧表

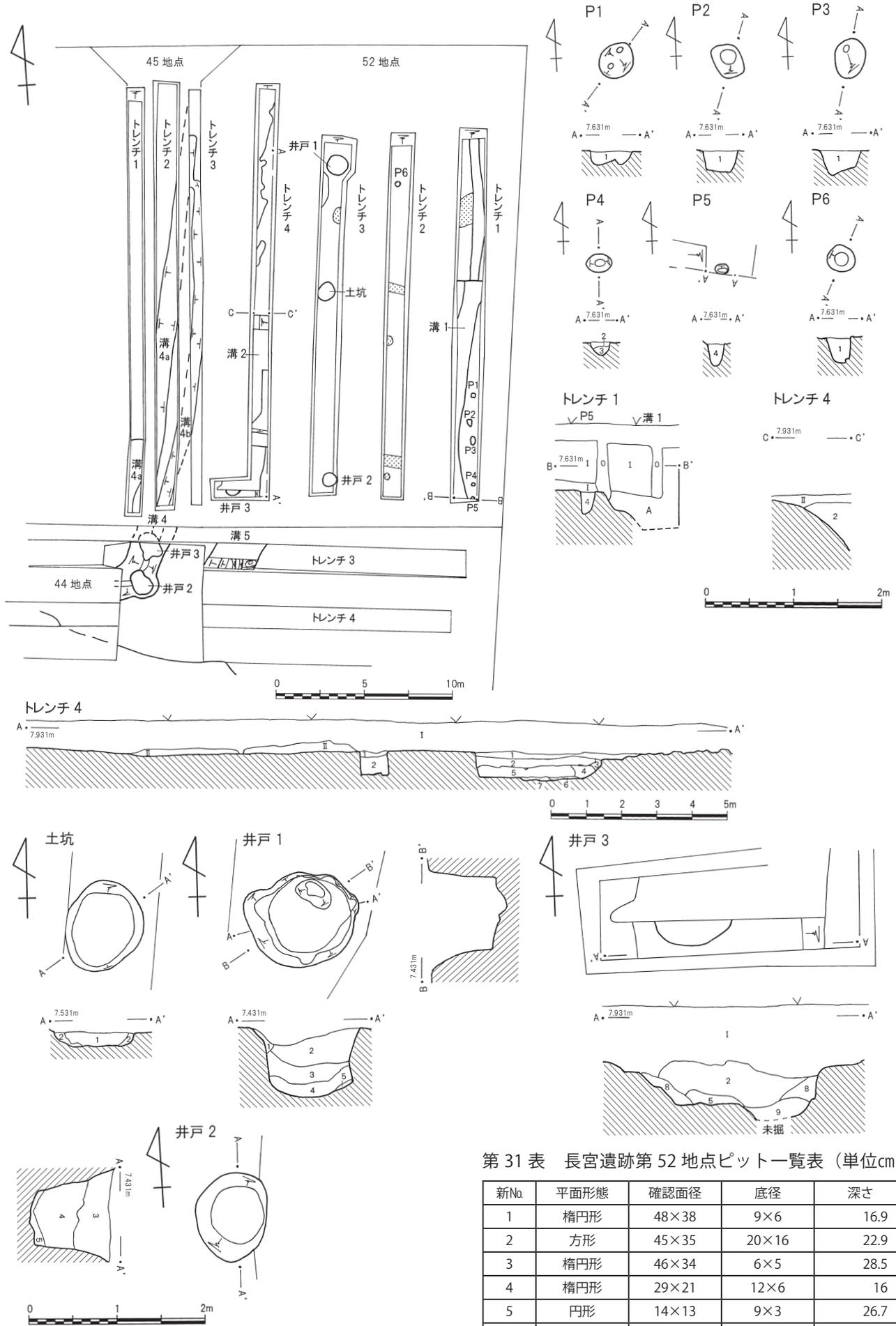
地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	長宮2-1-23	1977.10.3~30	1,000	保育園	溝3、土坑48、柱穴	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
2次	長宮2-1-27	1978.4.25~5.15	235	民間宅地	溝2、土坑1、石臼、板碑、砥石、古銭、陶器、馬骨	埋(Ⅰ)
3次	長宮2-5-11	1978.7.24~30	111	民間宅地	土坑1	埋(Ⅰ)
4次	長宮1-1-14	1978.10.6~9	37		住居跡1、土師器、須恵器、鉄製品	埋(Ⅰ)
5次	長宮2-5-2	1979.4.16~20	110		縄文前期住居跡1、縄文土器片	埋(Ⅱ)(Ⅳ)
6次	中丸1-4-13	1980.4.21~30	515		遺構なし、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
7次	中丸1-3-6	1980.5.13~31	869		溝、井戸跡、縄文土器、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
8次	長宮2-1-10~13	1980.9.8~10.8	1,900	宅地造成	中世溝、井戸、土坑、板碑、砥石、陶磁器、古銭、馬歯	遺調1集
9次	長宮1-4-10	1980.9.21~30	200		遺構なし、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
10次	長宮2-3-4	1980.12.5~15	485		溝、土坑他、縄文前期土器・石器、中世以降古銭・陶器	埋(Ⅲ)
11次	長宮2-2-10	1980.12.16~22	117		溝、縄文土器片、中世以降陶器	埋(Ⅲ)
12次	長宮1-2-7	1981.5.26~30	160	個人住宅	溝1、中世陶器片、縄文土器片	埋(Ⅳ)
13次	長宮1-2-13	1981.6.3~11	251	個人住宅	遺構なし、中世陶器片	埋(Ⅳ)
82試	長宮1-2-12		1,000	歴史民俗資料館	溝2	57年教要
14次	長宮2-2-1	1985.9.24~27	156	個人住宅	溝1	埋(Ⅷ)
15次	西原2-5-8	1985.10.22~31	116	個人住宅	なし	埋(Ⅷ)
85試	長宮1-2-11	(1986.3.6~15)	400	学童保育	溝2	60年教要
16次	長宮1-4-7	1986.6.9~17	173	個人住宅	縄文土器片	埋(Ⅸ)
17次	中丸1-3-11	1987.6.19~30	504	個人住宅	縄文前期土器散布	埋(Ⅹ)
88試	長宮1-3-8	(1988.9.13~16)	657	住宅建設	なし	埋(11)
89試(1)	長宮1-3-9	(1989.9.20~30)	448	住宅建設	なし	埋(12)
89試(2)	長宮2-5-19	(1989.11.14~24)	1,778	住宅建設	なし	埋(12)
90試	長宮2-5-4	(1990.11.27~30)	919	共同住宅	なし	埋(13)
18次	長宮2-5-3	1992.10.6~12.2	925	共同住宅	縄文住居跡1,中近世土坑2、溝5	埋(15)
19次	長宮1-2-21,35	1993.12.17~1994.1.22	467	駐車場	古墳末期住居跡1	埋(15)
93試	長宮2-4-2の一部	(1994.2.10~28)	1,501.54	共同住宅	溝2、土坑1、中世後期板碑	5年教要
94試	西原2-5-1	(1994.7.25~8.2)	314	心身障害者デイケア施設	断面図形溝1	埋(17)
20次	長宮2-1-22の一部	1995.4.10~5.9	169.59	個人住宅	中近世溝4	埋(18)
21次	長宮2-1-63,65	(1995.6.19~8.8)	360.94	個人住宅	中近世溝1、井戸7	埋(18)
95試(1)	長宮2-1-20外	(1995.8.9~28)	421	市道敷設	なし	埋(18)
95試(2)	上ノ原3-1-6外4筆	(1995.10.4~12)	1,528	共同住宅	溝1	埋(18)

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
95試(3)	長宮2-1-60	(1995.10.23~25)	269	駐車場	中近世溝1、井戸4	埋(18)
22次	長宮2-1-60	1995.10.27~11.9	269	駐車場	中近世井戸跡4、溝1、陶器、板碑破片、かわらけ	遺調6集
95試(4)	長宮1-3-13	(1995.12.12~25)	120	駐車場	なし	埋(18)
96試(1)	長宮1-2-16	(1996.7.12~18)	348.52	宅地造成	なし	埋(19)
96試(2)	中丸2-2-9他3筆	(1996.11.7)	568	宅地造成	なし	埋(19)
96試(3)	長宮1-2-4	(1997.1.14~21)	794.16	共同住宅	古墳~奈良住居跡1	埋(19)
96試(4)	長宮2-2-4	(1997.2.24)	204.78	社務所改築	なし	8年教要
97試(1)	長宮2-3-3	(1997.4.8~9)	611	農地天地返し	溝1(時期不明)	埋(20)
97試(2)	長宮2-1-2	(1997.4.9~11)	289	個人住宅	土坑1(時期不明)	埋(20)
97試(3)	長宮1-2-36,37	(1997.6.4~5)	423.33	駐車場	溝1	埋(20)
97試(4)	西原2-5-6	(1997.8.15~21)	753	駐車場	中近世竪穴状遺構1	埋(20)
98試	中丸1-2-4	(1998.11.24~27)	1,014	宅地造成	なし	埋(21)
99試	中丸1-3-12	(1999.11.8~16)	98	個人住宅	溝1、縄文前期集石2	埋(22)
00試(1)	中丸1-4-7	(2000.7.4~11)	932	宅地造成(土地分譲)	縄文前期(関山期)住居跡5、土坑13	埋(23)
00試(2)	西原2-4-8,10	(2000.7.17~24)	1,081	宅地造成(土地分譲)	なし	埋(23)
00試(3)	長宮2-1-17	(2000.8.21~23)	687	共同住宅	なし	埋(23)
00試(4)	長宮1-3-3 A,4A	(2001.1.17~23)	1,118.9	宅地造成(土地分譲)	近世以降土坑1	埋(23)
23次	中丸1-4-7	2001.7.18~26	137.01	個人住宅	土坑6(縄文早期後葉1、前期4、近世以降1)	埋(24)
01試(1)	長宮2-1-3	(2001.4.20~24)	330	個人住宅	なし	埋(24)
01試(2)	西原2-4-7	(2001.5.25)	634	共同住宅	なし	埋(24)
01試(3)	中丸1-1-3	(2001.8.7~24)	513	共同住宅	道路状遺構1、縄文前期土坑1	埋(24)
01試(4)	長宮2-8-6	(2001.11.6)	130	個人住宅	なし	13年教要
02試(1)	長宮1-3-2~5	(2002.6.5~11)	3,536	宅地造成(土地分譲)	住居跡2【盛土保存】	埋(25)
02試(2)	長宮1-4-3	(2002.6.20~7.2)	575	確認調査	住居跡2、溝2	埋(25)
02試(3)	中丸1-1-5	(2002.9.3~11)	622	宅地造成(土地分譲)	道路状遺構1	埋(25)
02試(4)	長宮1-3-31	(2002.9.20~25)	362.19	地区計画道路	溝1	埋(25)
24次	長宮1-4-3	2003.1.30~2.14	72	個人住宅	住居跡2	14年教要
02試(5)	長宮2-5-6	(2003.3.10~12)	827	宅地造成	住居跡1【盛土保存】	14年教要
03試(1)	長宮2-5-30,32	(2003.9.16)	196.64	区画道路	なし	埋(26)
03試(2)	長宮2-4-7	(2003.12.16~18)	1,123	宅地造成	井戸跡1	埋(26)
04試(1)	中丸1-1-11	(2004.11.26)	488	宅地造成	なし	埋(27)
04試(2)	長宮1-2-15	(2004.12.7~9)	466	農地改良	なし	埋(27)
25	中丸1-4-8	(2007.2.15~16)	1,161	個人住宅	ビット3、縄文土器・石器他	市内3
26	西原2-5-2の一部	(2007.3.28)	594	個人住宅	縄文土器片	市内3
27	長宮2-1-4	(2007.5.30~31)	174.58	個人住宅	溝、保存措置	市内4
28	長宮2-1-8	(2007.5.31~6.5) 2007.6.6~22	188	個人住宅	中近世井戸5、土坑10、ビット13他、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内4
工事立会	西原2-5-31	2007.10.15	119.58	個人住宅		市内4
29	長宮2-4-6の一部	(2007.11.20~12.3) 2007.12.4~5	618	共同住宅	土坑1、井戸2、堀跡1、溝5、ビット10、縄文土器、中近世土器他	市内4
30	長宮2-4-6	(2009.9.28~11.2) 2009.11.4~12.8	1,362.1	老人福祉施設	中近世土坑、井戸、ビット8、溝2、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内7・8
31	欠番					
32	長宮2-1-18	(2010.1.15~25) 2010.2.4~26	271	分譲住宅	中近世土坑20、ビット142、溝3、縄文土器、中近世陶磁器他	市内7・8
33	中丸1-3-2	(2011.5.19~31)	534	分譲住宅	縄文時代集石土坑1、土坑4、ビット13、溝3、縄文土器、瓦器、陶磁器	市内14
34	中丸2-2-2,46	(2011.6.27~7.16) 2011.11.2~12.1	914	分譲住宅	縄文時代早期炉穴、前期(関山)住居跡1、近世溝、縄文土器他	市内11
35	上ノ原3-1-4	(2011.9.9~26)	1,157.88	分譲住宅	縄文時代炉穴1、土器、石鏃	市内14
36	長宮2-4-3	(2011.10.4~17) 2011.10.21~11.14	981	分譲住宅	中近世井戸16、土坑4、溝16、ビット20、板碑他	市内11
37	上ノ原3-6-6	(2011.11.8)	105	個人住宅	なし	市内14
38	長宮1-4-27	(2011.11.24~25)	101	分譲住宅	なし	市内14
39	長宮2-3-23	(2012.2.1)	130.54	個人住宅	なし	市内14
40	西原2-5-7の一部	(2012.4.16)	201	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	市内15
41	福岡字丸橋988-1~3, 989-2~5,990-3	(2012.4.17~25) 2012.6.11~7.25	1,152.62	分譲住宅	縄文時代炉穴10、縄文時代前期住居跡6、落とし穴2、土坑27、ビット190、溝4、縄文前期土器片、石器、近世陶磁器等	市内12
42	仲丸1-2-24	(2012.7.31)	101	分譲住宅	なし	市内15
43	長宮2-1-72	(2013.2.27~3.1)	231	個人住宅	中世~近世溝2・土坑3・ビット17、土器、磁器	市内15
44	中丸1-3-3,4,5	(2013.5.14~6.24) 2013.6.25~7.30	1,329	分譲住宅	縄文前期住居跡1、炉穴6、落とし穴1、土坑15、井戸5、溝9、ビット4、縄文時代前期の土器、石器、中近世以降の陶磁器や板碑	市内13
45	中丸1-3-17・18、3-5	(2013.8.7~10)	119	道路築造	溝2、土師器、石器、板碑	市内18
46	中丸2-22・13	(2013.9.6~10)	488	高齢者デイサービスセンター	遺構なし、磁器	市内18
47	上ノ原3-1-5	(2013.10.10)	330	共同住宅	遺構遺物なし	市内18
48	上ノ原3-6-1	(2014.4.2~8)	555	分譲建売	井戸1、溝1、遺物なし	市内20
49	中丸2-2-4	(2014.10.23~30)	293.09	集合住宅	焼土跡5(縄文時代)、遺物なし	市内20
50	中丸1-2-17	(2015.3.16)	228	分譲住宅	遺構なし、陶磁器	市内20
51	中丸2-3-45・46	(2012.4.5)	176	道路	遺構なし、土器片1	市内15
52	中丸1-3-24	(2016.3.11~17)	484	分譲住宅	土坑1、井戸3、ビット6、溝2、土器片、石器、古銭、陶磁器	市内22
53	上ノ原3-6-3	(2016.7.11)	223	長屋建設	遺構なし、土器、陶磁器	未報告
54	中丸1-2-16	(2017.5.16~23)	800	分譲住宅	縄文前期住居跡1、土坑1、道路状遺構1、縄文土器	未報告
55	中丸2-2-6の一部	(2017.6.29)	191	個人住宅	土坑1、溝1、土器片	未報告
56	中丸1-3-37	(2017.7.5)	123	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
57	長宮2-1-16	(2018.2.15)	374.63	個人住宅	土坑1(縄文時代か)、縄文土器片	未報告

* 埋:上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調:上福岡市遺跡調査会報告書、教要:上福岡市教育要覧、市内:ふじみ野市市内遺跡群報告書



第48図 長宮遺跡遺構分布図 (1/2,500)



第31表 長宮遺跡第52地点ピット一覧表 (単位cm)

新No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	楕円形	48×38	9×6	16.9
2	方形	45×35	20×16	22.9
3	楕円形	46×34	6×5	28.5
4	楕円形	29×21	12×6	16
5	円形	14×13	9×3	26.7
6	円形	30×28	19×19	31.5

第49図 長宮遺跡第52地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・井戸・ピット・溝(1/60)

トレンチ1・4、井戸3

I. 耕作土

II. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、ロームブロック混じり

0. 攪乱

A. 暗褐色土 締りやや弱、3mm以下ロームブロック・2mm以下ローム粒多く、1mm以下炭化物・焼土少し含む

1. 暗褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック微量に含む
2. 暗褐色土 締りやや強、粘性やや強、3~5mmローム粒、1~2mm酸化鉄粒・礫微量含む
3. 暗褐色土 締り有、粘性やや強、3~5mmローム粒、1~2mm酸化鉄粒・礫微量含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、3~5mmローム粒・同酸化鉄粒少量、炭化物・礫微量含む
5. 黒褐色土 締りやや強、粘性やや強、4層と同じ
6. 褐色土 締り有、粘性強、4層と同じ、弱グライ化
7. 褐灰色土 締り有、粘性強、1~3mmローム粒極微量、弱グライ化、板礫片出土
8. 黒褐色土 締りやや強、粘性やや強、3~10mmローム粒少量含む
9. 黒褐色土 締り強、粘性強、1~5cmロームブロック少量含む

ピット

1. 暗褐色土 締りやや弱、3mm以下ロームブロック多く、2mm以下ローム粒・炭化物少し含む
2. 暗褐色土 締り強、1mm以下ローム粒少し、1mm以下赤褐色粒・炭化物僅かに含む
3. 黒褐色土 締り強、1mm以下ローム粒多く、1mm以下赤褐色粒・炭化物少し含む
4. 暗褐色土 締りやや強、2mm以下ローム粒・炭化物少し含む

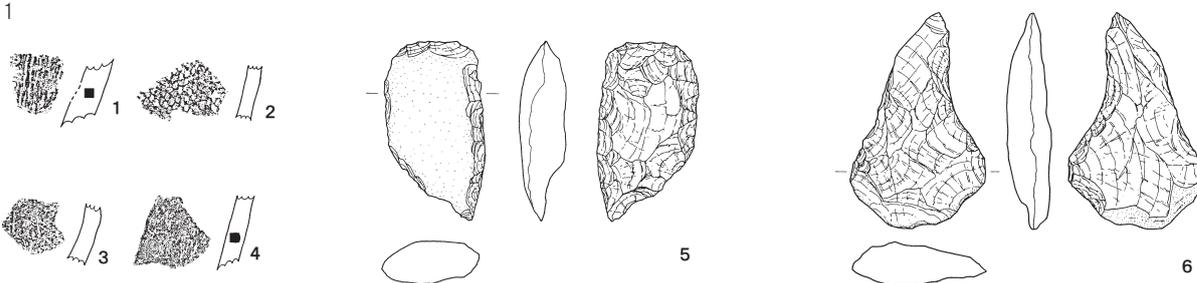
土坑

1. 暗褐色土 締り強、1mm以下ローム粒・赤色粒子・炭化物少し含む
2. 黄褐色土 締り強、地山ロームをシミ状に含む

井戸1・2

1. 暗褐色土 締りやや弱、1mm以下ローム粒少し含む、ボソボソ
2. 灰黄褐色土 締り強、4mm以下ロームブロック少し、2mm以下ローム粒・赤色粒子多く、1mm以下炭化物粒少し含む、下層に一部鉄分沈着
3. 褐灰色土 締り強、粘質土、3mm以下ロームブロック・2mm以下ローム粒少し、1mm以下赤色粒子・炭化物僅かに含む
4. 暗褐色土 締り強、粘質土、3層+ロームブロック非常に多く含む
5. 暗褐色土 締り強、3mm以下ロームブロック・2mm以下ローム粒多く含む

井戸1



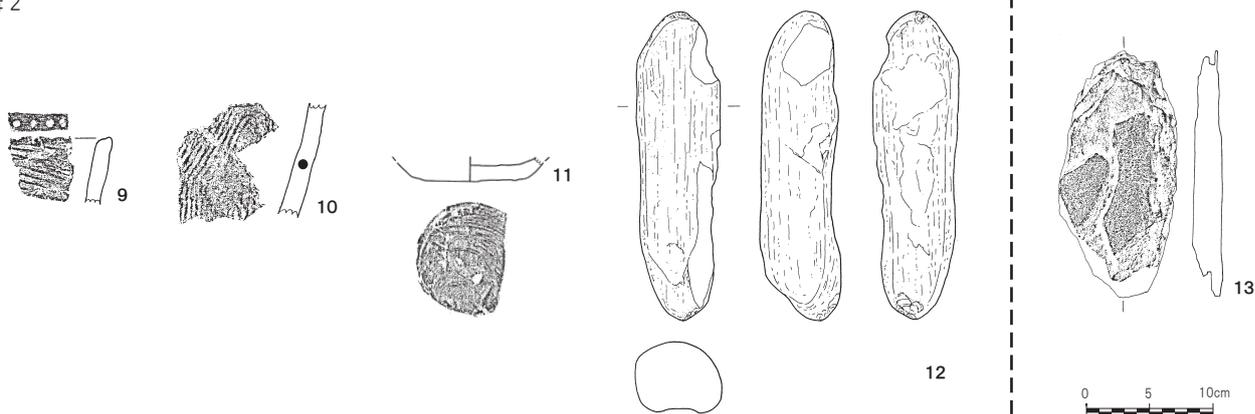
井戸2



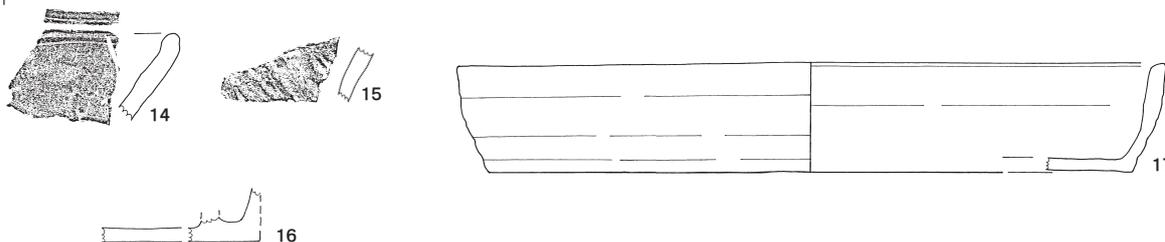
P4



溝2

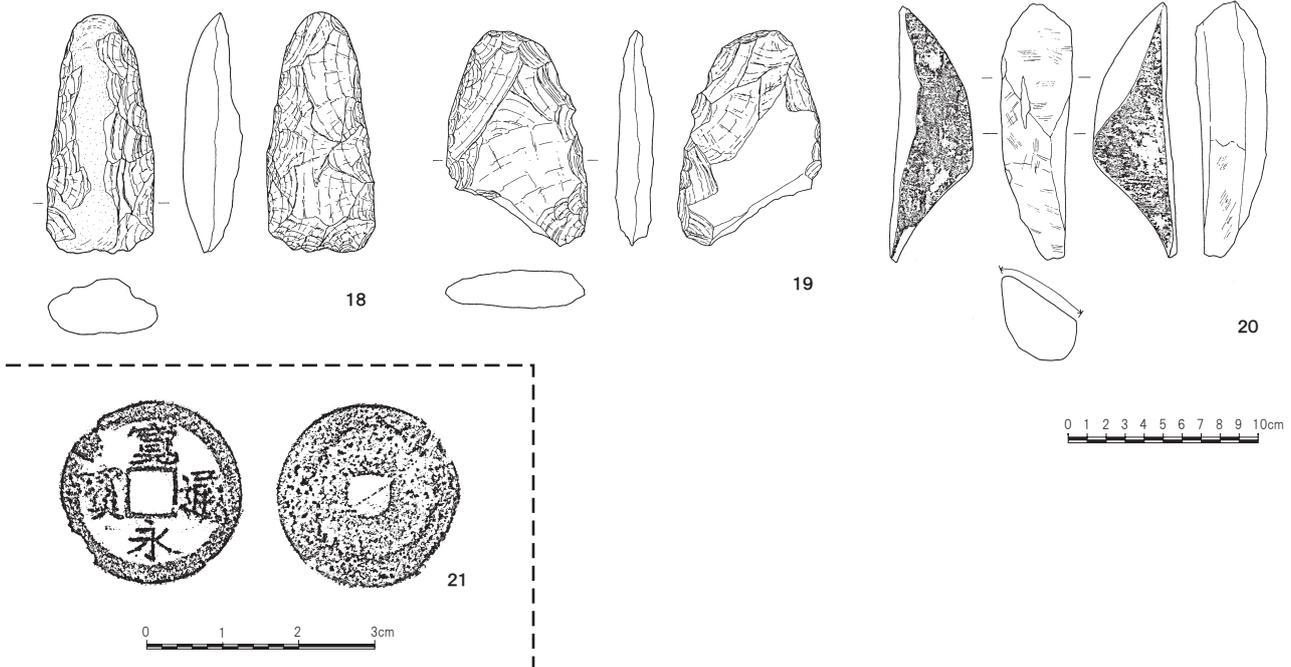


遺構外



第50図 長宮遺跡第52地点出土遺物①(1/4・1/6)、トレンチ・土坑・井戸・ピット・土層説明

遺構外



第 51 図 長宮遺跡第 52 地点出土遺物② (1/4・1/1)

第 32 表 長宮遺跡第 52 地点出土遺物観察表 (単位cm・g)

図版番号	出土遺構	種別/器種	技法・文様/胎土/備考	推定年代
第50図-1	井戸 1	縄文/破片	撚糸力、磨滅が激しい/繊維含む	縄文前期
第50図-2		縄文/破片	LR縄文	縄文前期/関山
第50図-3		縄文/破片	無文/砂粒を多く含む	縄文
第50図-4		縄文/破片	無文/白色針状物質、繊維を含む	縄文
第50図-7	井戸 2	縄文/破片	RI縄文力、磨滅が激しい	縄文前期
第50図-8	P4	陶器/甕	常滑焼甕底部、輪積み成形、ナデ/小礫を多く含む、底径(15.6)	中世
第50図-9	溝 2	縄文/破片	貝殻圧痕文、口唇部に刻み/白色粒子を多く含む	縄文早期/茅山下層式
第50図-10		縄文/破片	Lr縄文/白色粒子を少量含む	縄文中期
第50図-11		土師器/坏	回転糸切り未調整/赤色粒子を僅かに含む/底径(6.0)	古代~
第50図-13		結晶片岩	長さ19.6cm、幅9.2cm、厚さ2.5cm、重量619.24g	—
第50図-14	遺構外	土器	口縁部、輪積み成形、ナデ/白色粒子、小礫を少量含む	中世~
第50図-15		縄文/破片	棒状工具による押引文力/白色粒子を多く含む	縄文中期
第50図-16		土器/焙烙	内面に内耳剥離痕/外面剥離	近世
第50図-17		土器/焙烙	轆轤成形/外面に煤付着/底径(34.0)	近世
第51図-21		銅貨/寛永通宝	鑄造/径1.5cm、中央穴0.5cm/背面は磨滅が激しい	1697~

第 33 表 長宮遺跡第 52 地点出土石器観察表 (単位cm・g)

図版番号	遺構名・注記No.	種別/器形	長さ	幅	厚さ	重量	石材/推定生産地	推定年代	残存/備考
第50図-5	井戸 1	打製石斧	9.5	5.0	2.3	146.05	細粒砂岩	縄文時代	完形
第50図-6		打製石斧	11.5	7.1	2.3	149.20	ホルンフェルス	縄文時代	上端部欠損
第50図-12	溝 2	敲き石	16.3	4.4	4.1	478.72	泥岩	縄文時代	完形
第51図-18	遺構外	打製石斧	12.5	5.6	3.0	227.91	凝灰岩	縄文時代	完形
第51図-19		打製石斧	11.4	7.2	1.8	177.86	中粒砂岩	縄文時代	刃部欠損
第51図-20		砥石	13.44	3.8	4.4	220.38	上州	中世以降	完形

第10章 亀居遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

亀居遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部に位置している。標高25～26mで現谷底との比高差は5mを測る。本遺跡をのせる北側の台地は急傾斜をなすが、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡の時期は、旧石器時代及び縄文時代中期前葉で、特に後者は周辺では類例の少ない単一集落である。江川南遺跡の立地とあわせて台地の奥に形成された中期前葉の遺跡のあり方として特異な様相が窺える。遺跡周辺は、土地区画整理事業により区画道路が縦横にとりつけられ、宅地化が進んでいる。

1977年の最初の調査から2018年4月現在まで78地点で調査され、縄文時代中期前半の住居跡16軒、屋外埋壘2基、集石土坑99基、土坑、ピット多数が確認されている。

遺物は阿玉台式、勝坂式土器が主体で一部五領ヶ台上層期の土器片も出土している。

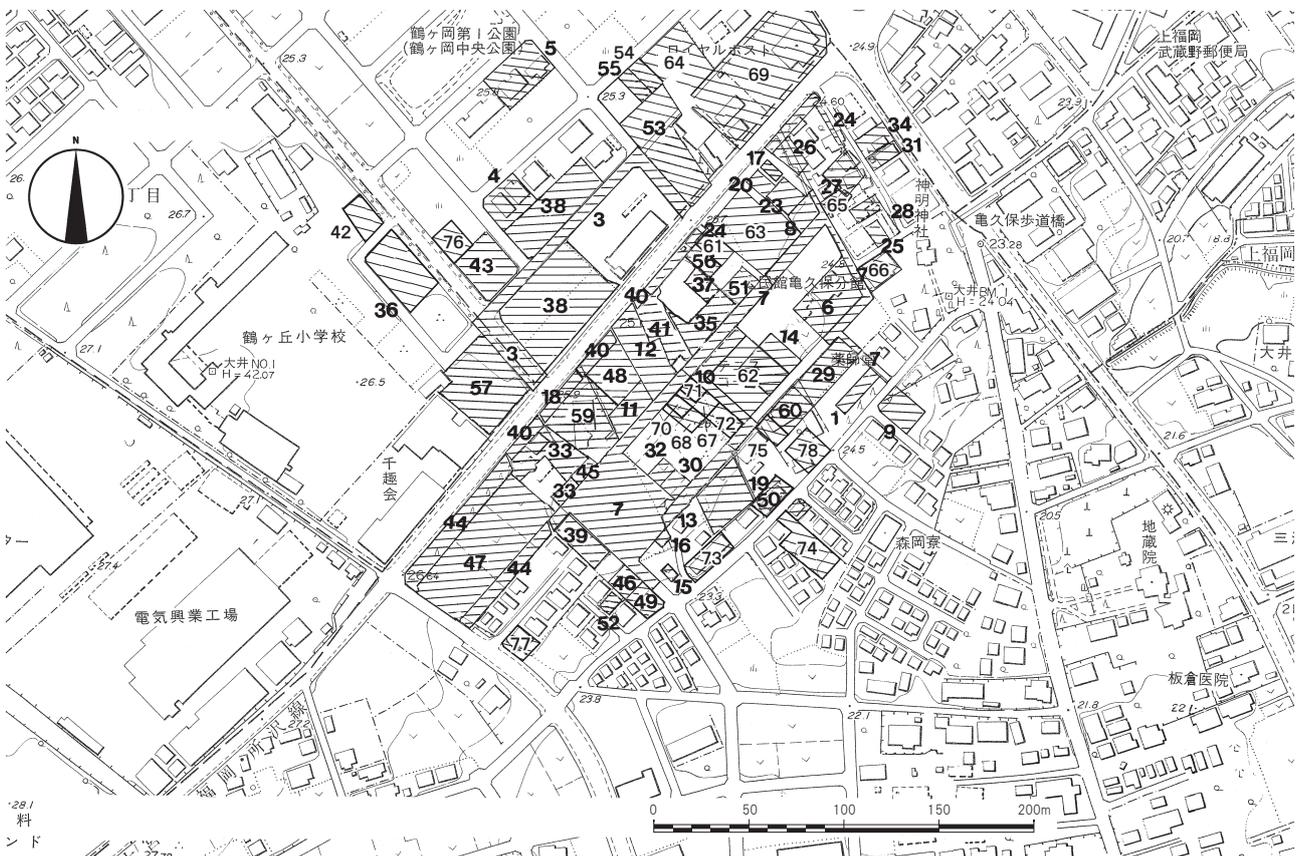
II 亀居遺跡第75地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年5月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年6月8日に試掘調査を実施した。

調査は幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。遺構確認面までの深さは40～50cmである。遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

遺物はトレンチ覆土中より縄文土器片1点が出土した。竹管状工具による横位の押引文を施す。胎土に白色粒子を多く含む。中期か。



第52図 亀居遺跡の地形と調査区(1/4,000)

Ⅲ 亀居遺跡第 76 地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 7 月 8 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 8 月 6 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1～1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 40～50 cm である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

Ⅳ 亀居遺跡第 77 地点

(1) 調査の概要

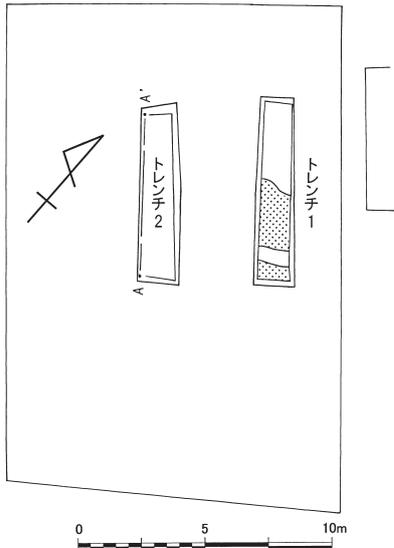
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 2 月 29 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 3 月 18 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 cm である。

調査の結果、時期不明の根切り溝と見られる溝 1 条を確認したが、遺物もないため今回は遺構して扱わない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

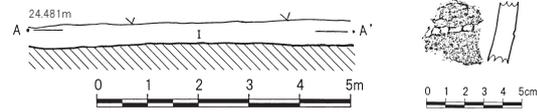
第 34 表 亀居遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (m ²)	調査原因	遺構と遺物				所収報告書	
					住居	集石土坑	土坑	ピット		屋外埋藏
1	亀久保1001	1972	155	農地転用					史資料編1、 調査会報告8集	
2	亀久保1005	1973	350	農地転用					遺構なし	
3	鶴ヶ岡161-1	1979.11~12	750	区画整理	2	1	6		1	東部遺跡群I、 調査会報告8集
4	鶴ヶ岡2-2	(1984)試掘		区画整理						遺構なし
5	鶴ヶ岡2-4-3	(1984)試掘		区画整理					1	
6	亀久保1000	1985	914	区画整理		7	4	30		東部遺跡群VI
7	亀久保999	1986.8	2,740	区画整理	2	7	84	138		調査会報告8集
8	亀久保1001	1986.8	181	個人住宅		2	3	11		東部遺跡群VII
9	亀久保989-1	(1986.9)試掘		住宅建設						遺構なし
10	亀久保1010-1	1986.10	650	区画整理	1		20	17		調査会報告8集
11	亀久保1011-3	1987.10.13~11.13	389	個人住宅		2		73		東部遺跡群VIII
12	亀久保1011-1	1987.11.16~12.16	387	個人住宅		1		48	1	東部遺跡群VII
13	亀久保1007-3	1988.8	242	区画整理	2					調査会報告8集
14	亀久保999-4	(1988.7.22~8.3)	165	個人住宅						遺構なし 東部遺跡群IX
15	亀久保1007	(1989.2)試掘		個人住宅						遺構なし 東部遺跡群IX
16	亀久保1007	(1989.2)	45	個人住宅						遺構なし 東部遺跡群IX
17	亀居995-3	1989.9.14~18	112	個人住宅			3	8		東部遺跡群X
18	県道拡幅	1990.3	210	区画整理						遺構なし 東部遺跡群X
19	亀居1007	1990.3.12~26	613	個人住宅						遺構なし 東部遺跡群X
20	亀久保1001-3	1990.5.21~25	118	個人住宅			1			東部遺跡群XI
23	亀久保1001-14-15	1990.9.3~10	160	個人住宅				10		東部遺跡群XI
24	亀久保995-4	1990.12	1,324	区画整理			1	3		調査会報告8集
25	亀久保995-7	1991.3.12~16	162	個人住宅						遺構なし 町内遺跡群I
26	亀久保1001-14	1991.2.14~3.15	259	個人住宅		2		60		町内遺跡群I
27	亀久保995-2	1991.5	249	個人住宅				5		町内遺跡群I
28	亀久保995-6	1991.1.24~2.1	475	個人住宅			6			東部遺跡群XI
29	亀久保992-2	1991.7	925	集合住宅	1	2		36		調査会報告3集
30	亀久保1007-3、1008-3	1991.7	116	個人住宅						遺構なし 町内遺跡群I
31	亀久保995-2-7	1991.9	197	個人住宅						遺構なし 町内遺跡群I
32	亀久保1008-1	1991.12.3~9	115	個人住宅				6		町内遺跡群I
33	亀久保1011-7	1991.12~1992.4	998	個人住宅		1	3	42		町内遺跡群II
34	亀久保955-2	(1992.2.13)	634	個人住宅						遺構なし 町内遺跡群I
35	亀久保1012-7	1993.9.28~11.5	470	個人住宅	1	2	7	56		町内遺跡群III
36	鶴ヶ岡1-2-2	(1994.2.17~18)	798	礼拝所建設			1			落とし 穴1 町内遺跡群III
37	亀久保1003-2-6他	1994.2.18~25	566	店舗併用住宅			1	13		町内遺跡群III
38	鶴ヶ岡2-1-1、2-2-1	(1994.8.22~30)1994.9	3,162	店舗		37	21	29		落とし 穴2 調査会報告8集
39	亀久保1008-5	(1994.8.26~29)	342	駐車場造成			1	5		炉穴4 町内遺跡群IV
40	亀久保1012-5 他	1995.5	380	道路築造						遺構なし 調査会報告8集
41	亀久保995-23・24他	1995.5.31~8.4	530	道路築造	1			66		調査会報告8集
42	鶴ヶ岡1-3-14	(1995.7.11~18)	196	歯科医院建設						遺構なし 町内遺跡群V
43	鶴ヶ岡2-3-1	(1995.8.9~30)	818	店舗兼用共同住宅		4	2			町内遺跡群V
44	亀久保1013-1	1995.10.22~12.4	1,030	道路築造			7	29		炉穴3、 燼群1 調査会報告8集
45	亀久保1008-5、1011-5	(1996.5.15~17)	619	共同住宅						5 炉穴1 町内遺跡群VI
46	亀久保1007-17	(1996.6.24~25)	192	分譲住宅						遺構なし 町内遺跡群VI
47	亀久保1013-1 他	(1996.9.11~17)1996.10.1~12.11	2,741	共同住宅	1	14	4	174		落とし 穴1 調査会報告8集 町内遺跡群VI
48	亀久保995-19	(1997.1.20~29)	858	プレハブ事務所				1		炉穴1 町内遺跡群VI
49	亀久保1007-14	(1997.11.6~10)	214	店舗併用住宅						町内遺跡群VII
50	亀久保1007-5	(1998.2.9~20)1998.2.6	197	個人住宅	1		1			町内遺跡群VII
51	亀久保3街区4画地	1999.6.15~7.9	222	個人住宅			6	4	11	町内遺跡群IX
52	亀久保7街区14画地	(2000.2.1~2)	121	個人住宅						町内遺跡群IX
53	鶴ヶ岡2-28-1	(2000.10.30~2001.1.18)	1,422	店舗				7		町内遺跡群X
54	鶴ヶ岡2-28-17	(2001.4.24~27)	148	個人住宅						町内遺跡群XI
55	鶴ヶ岡2-28-16	(2001.11.14~16)	148	個人住宅						町内遺跡群XI
56	亀久保2-13-14	2002.11.5~21	172	個人住宅					38	町内遺跡群XII
57	鶴ヶ岡1-1-1	2003.4.24~28	1,356	店舗						町内遺跡群XII
58	亀久保2-975-19・24	(2005.4.18)	79	個人住宅						市内遺跡群2
59	亀久保2-10-5	(2005.8.3~31)2005.9.1~16	1,073	共同住宅	2	1	1			調査会報告18集
60	亀久保2-17-7	(2005.9.16)	293	個人住宅						市内遺跡群2
61	亀久保2-13-4の一部	(2006.10.4)2006.10.10~13	88	個人住宅	1	2	1	5		市内遺跡群3
62	亀久保2-12-3	(2007.11.12~26)2008.1.7~18	1,284	共同住宅				28	28	市内遺跡群4
63	亀久保2-13-5	2008.9.17~10.15	998.15	モジュールーム	1					市内遺跡群6
64	鶴ヶ岡2-28-19	2008.9.1~2	907	分譲住宅建設						遺構なし 市内遺跡群6
65	亀久保2-14-9の一部、13	(2011.4.25~26)	179	公民館分館						遺構なし 市内遺跡群14
66	亀久保2-16-1	(2011.7.15~19)	408.5	神社事務所新築						遺構なし 市内遺跡群14
67	亀久保2-12-11・12	(2011.8.1~8)	136.8	個人住宅			1			市内遺跡群14
68	亀久保2-12-2の一部	(2011.9.1)	136	個人住宅						遺構なし 市内遺跡群14
69	鶴ヶ岡2-159-1、160-10、28-4・11~13	(2011.12.6~9)	2,426	店舗						市内遺跡群14
70	亀久保2-12-13	(2012.3.21)2012.3.22	111	個人住宅			1			市内遺跡群14
71	亀久保2-12-2	(2012.8.27)	111.92	個人住宅						遺構なし 市内遺跡群15
72	亀久保2-12-16、12-15	(2012.10.11)	247.88	個人住宅					1	市内遺跡群15
73	亀久保2-17-14	(2014.7.8)	326.14	個人住宅						遺構なし 市内遺跡群20
74	亀久保2-975-1・34	(2014.11.27~12.4)	557	分譲住宅			1			市内遺跡群20
75	亀久保2-17-10の一部	(2015.6.8)	67	個人住宅						遺構なし 市内遺跡群22
76	鶴ヶ岡2-3-2	(2015.8.6)	263	分譲住宅						遺構なし 市内遺跡群22
77	亀久保2-9-24	(2016.3.18)	168	個人住宅						遺構なし 市内遺跡群22
78	亀久保2-17-10・11の各一部	(2018.2.5)	266.57	個人住宅						遺構なし 未報告

第75地点

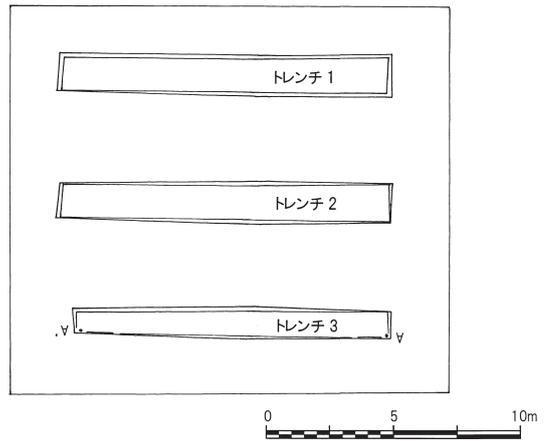


トレンチ 2

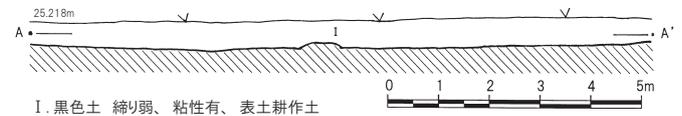


I. 表土耕作土 締り弱、粘性有、黒色土と10cm以下ロームブロックを多く含む

第76地点

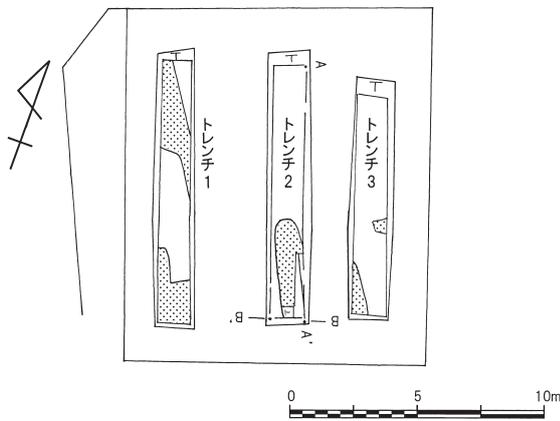


トレンチ 3

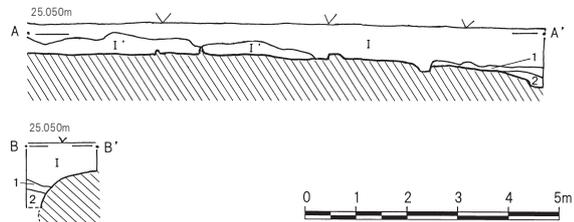


I. 黒色土 締り弱、粘性有、表土耕作土

第77地点



トレンチ 2



- I. 盛土 締り有、粘性有、ロームブロック・黒色土を斑に含む
- I'. 暗褐色土 締りやや強、粘性弱、ロームブロック混じり
- 1. 暗褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、1mm大のローム粒少量
- 2. 暗褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、1~3mmのローム粒やや多量

第53図 亀居遺跡第75~77地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、第75地点出土遺物(1/4)

第 11 章 鶴ヶ舞遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

鶴ヶ舞遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約 500～900m 程下った左岸に位置している。標高 21～23m で現谷底との比高差は 5m を測る。福岡江川の左岸は急傾斜を成し、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

周辺の遺跡は約 200m 西に亀居遺跡、約 150m 南に江川南遺跡、約 200m 南東に東久保遺跡がある。

1987 年の最初の調査から 2018 年 4 月現在、29 地点で試掘及び発掘調査が行われ、旧石器時代の石器、縄文時代の炉穴、落とし穴、平安時代の溝を検出し、平安時代の須恵器壺が出土している。

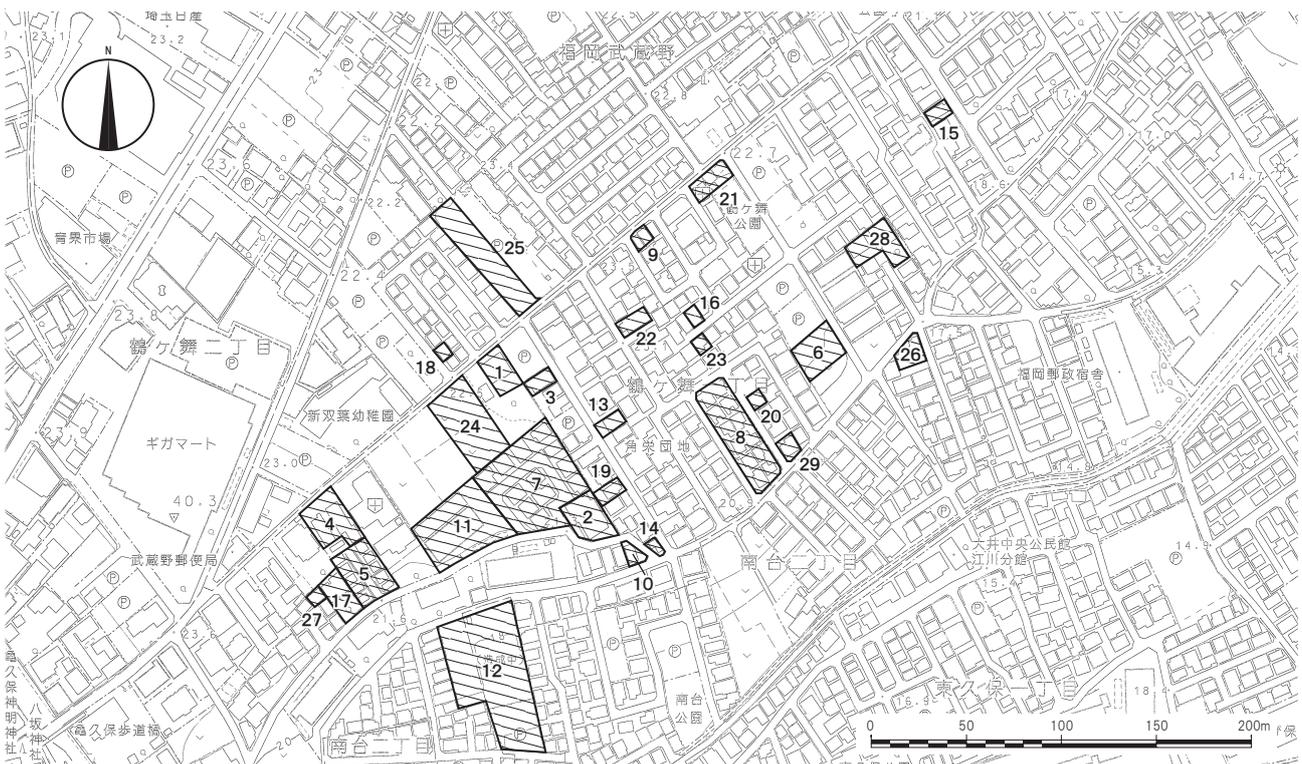
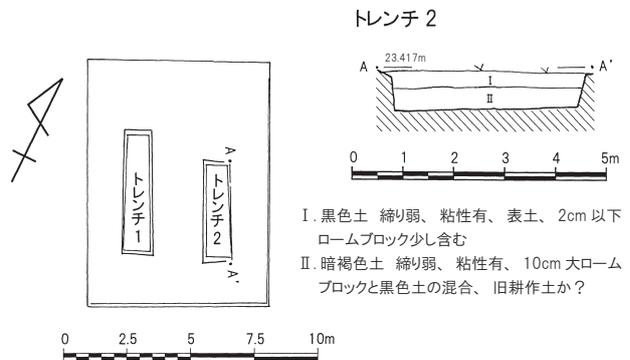
圃の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 6 月 29 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.1m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 75 cm である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

II 鶴ヶ舞遺跡第 23 地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 6 月 8 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範



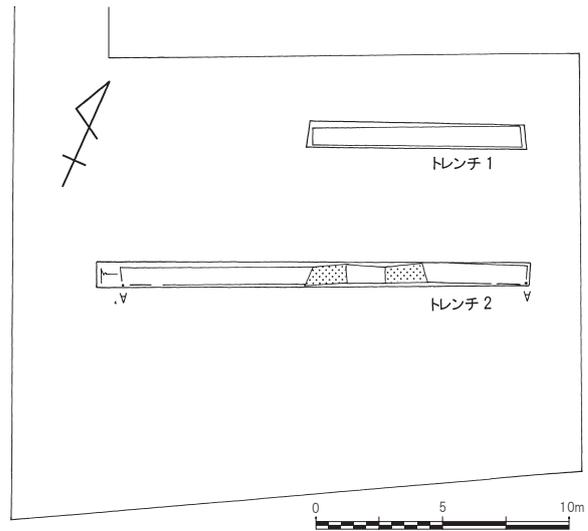
第 54 図 鶴ヶ舞遺跡の地形と調査区 (1/4,000)、第 23 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

Ⅲ 鶴ヶ舞遺跡第24地点

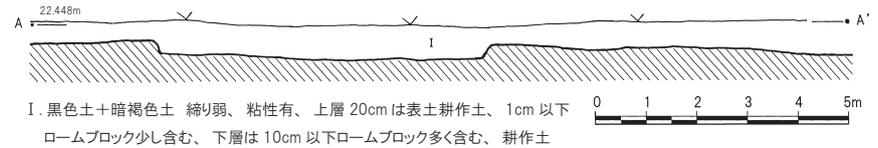
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年8月31日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60～70cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



トレンチ 2



第55図 鶴ヶ舞遺跡第24地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第35表 鶴ヶ舞遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	鶴ヶ舞67-3	(1986.1.28~29)	499	個人住宅	土坑1、縄文中期土器片	東部遺跡群VI
2	鶴ヶ舞1-65-6	(1987.4.16~30)	495	個人住宅	炉穴3、土坑2、平安時代溝1、旧石器、土器片、須恵器	東部遺跡群VIII
3	鶴ヶ舞1-69-1	(1994.7.10)	141	駐車場造成	遺構なし	町内遺跡群IV
4	鶴ヶ舞1-60-6・10	(1997.8.26~29)	318	共同住宅	近代溝6、井戸1	町内遺跡群VII
5	鶴ヶ舞1-61-3	(1997.11.4~6)	266	分譲住宅	近世溝2	町内遺跡群VII
6	鶴ヶ舞1-84	(2002.9.10~13)	474	個人住宅	遺構遺物なし	町内遺跡群XII
7	鶴ヶ舞1-65-1	(2003.5.29~6.14) 2003.6.23~7.3	2,030	分譲住宅	旧石器礫群、縄文土坑1	町内遺跡群XII
8	鶴ヶ舞1-69-46~51・61~66	(2005.7.11~8.11) 2005.8.24	1,087	分譲住宅	炉穴6、ビット3	調査会報告18集
9	鶴ヶ舞1-16-5	(2005.11.1)	104	共同住宅	ビット3、遺物なし	市内遺跡群2
10	鶴ヶ舞1-64-6	(2006.6.5)	96	個人住宅	根きり溝1、旧石器時代礫群1	市内遺跡群3
11	鶴ヶ舞1-65-2・6	(2006.9.21~10.5)	1,316	建物解体工事	遺構遺物なし	市内遺跡群3
12	鶴ヶ舞1-58-4	(2011.7.19~21)	97.7	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
13	鶴ヶ舞1-78-7	(2011.7.21)	115	個人住宅	遺構なし、土器片	市内遺跡群14
14	鶴ヶ舞1-79-7	(2011.9.22)	56.3	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
15	南台798-33	(2011.11.22)	100.3	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
16	鶴ヶ舞1-73-10	(2012.9.7)	63	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群15
17	鶴ヶ舞1-58-2	(2012.11.16) 2012.11.16	324.2	個人住宅	溝1、土器片、近世陶磁器	市内遺跡群15
18	福岡武蔵野1408-4(9-6)	(2013.1.21)	61	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群15
19	鶴ヶ舞1-79-25	(2013.4.10)	94.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
20	鶴ヶ舞1-69-70	(2013.5.13)	68.55	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
21	鶴ヶ舞1-73-27・51・52・54	(2013.10.23)	135.55	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
22	鶴ヶ舞1-69-35・36	(2014.12.4)	171	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群20
23	鶴ヶ舞1-73-19	(2015.6.29)	72	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群22
24	鶴ヶ舞1-67-3・4の一部	(2015.8.31)	499	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群22
25	福岡武蔵野1406-7・8・10・11	(2013.5.2)	1,124.99	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
26	鶴ヶ舞1-99-10~12	(2016.12.5)	252	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
27	鶴ヶ舞1-58-8	(2017.4.13)	54	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
28	鶴ヶ舞1-85-3・4・19・20・21・22	(2017.11.16~17)	497.81	分譲住宅	炉穴6、土坑1、ビット2、縄文土器	未報告
29	鶴ヶ舞1-69-103	(2017.11.17)	106.00	個人住宅	ビット1(時期不明)、遺物なし	未報告

第12章 松山遺跡の調査

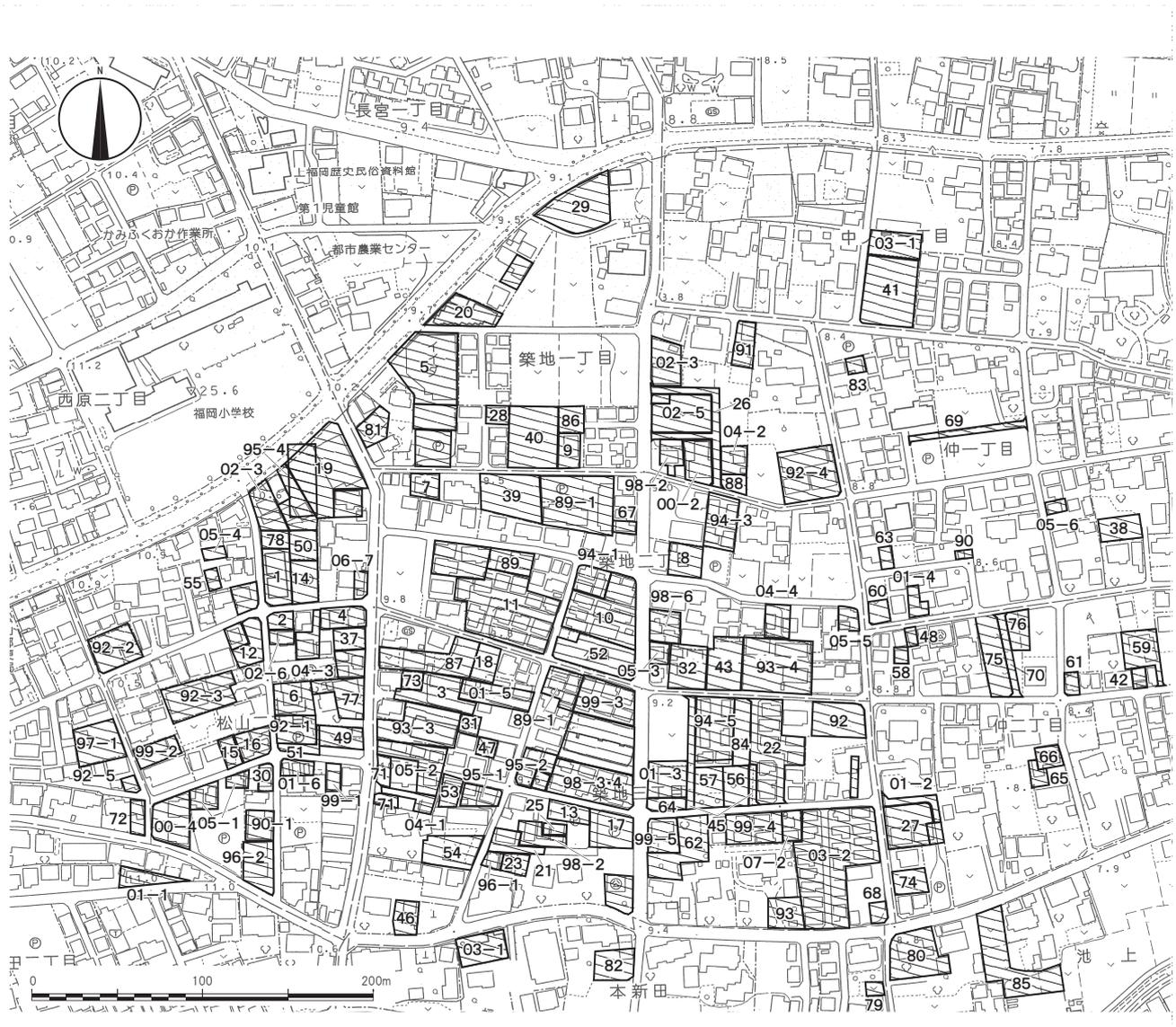
I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。また、

西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2018年4月現在、約100ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝、井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。



第56図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第36表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
04試(1)	築地3-1-16,32	(2004.4.22~23)	976	宅地造成	なし	埋(27)
04試(2)	築地1-3-37	(2004.4.26)	165	個人住宅	なし	埋(27)
04試(3)	松山2-6-11	(2004.6.16)	309	宅地造成	なし	埋(27)
04試(4)	築地2-5-14,25,27	(2004.8.5)	280	個人住宅	なし	埋(27)
04試(5)	築地3-4-12	(2004.9.6~8)	911	宅地造成	溝1	埋(27)
05試(1)	松山2-2-4の一部	(2005.4.6~7)	313	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05試(2)	築地3-1-32・34・43	(2005.4.19~21)	549	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05試(3)	築地2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
31次	築地3-1-69	2005.6.14~23(2005.6.9~13)	120	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内1
05試(8)	築地2-5-3	(2005.8.30~9.13)	567	宅地造成	平安時代住居跡1	市内1
32次	築地2-5-3の一部	(2005.8.30~9.7)2005.9.8~13	132	個人住宅	平安時代住居跡2	市内1
05試(5)	築地2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(4)	松山2-4-23	(2005.10.20~21)	161	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(6)	仲1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(7)	松山2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
37	松山2-6-10・13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
38	仲1-4-3・9・12・13・24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
39	築地2-3-10	(2007.1.10~20)	937	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
40	築地1-1-5	(2007.2.2~8)2007.2.21~3.9	1,047	宅地造成	奈良時代住居跡1、中世遺構検出	市内3
41	中ノ島1-2-5	(2007.2.7~9)2007.2.21~3.5	1,281	宅地造成	中世遺構遺物検出	市内3
42	仲2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
43	築地2-5-2	(2007.4.11~24)	668.13	分譲住宅	堀跡1、土坑1、旧石器ナイフ1点	市内4
44	築地3-2-10・14	(2008.6.9~11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
45	築地3-4-7の一部外	(2008.9.4~30)2008.10.1~23	390	道路	奈良平安時代住居跡2、掘立柱建物跡2、竪穴状遺構1、時期不明の溝10、土坑、ビット	市内6
46	築地3-1-33・35の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
47	築地3-1-52	(2009.5.11~12)	121	個人住宅	ビット	市内8
48	仲2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内8
49	松山2-6-1・14・22の一部	(2009.10.17~22)2009.10.27~11.18	449	宅地造成	平安時代住居跡1(住居内鍛冶炉検出)、土坑1、溝1、ビット1	市内8
50	松山2-5-3・17	(2009.11.27~12.1)	797	分譲住宅	溝1、ビット7	市内8
51	松山2-6-22・23・28の一部	(2010.5.10~13)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	市内10
52	築地2-2-1	(2010.8.26~9.3)	694	分譲住宅	溝1、落とし穴1、工事立会	市内10
53	築地3-1-11	(2010.9.10~21)	205	個人住宅	近代以降の溝3、アナグラ1、慎重工事	市内10
54	築地3-1-6・76~83	(2010.9.21~10.1)2010.10.4~11.5	539.51	宅地造成	奈良平安時代住居跡3確認、西側の住居は盛土保存、他2は本調査	市内9
55	松山2-4-24の一部	(2011.1.17)2011.1.18~31	226.37	個人住宅	奈良平安時代住居跡1、掘立柱建物跡1、本調査	市内10
56	築地3-4-7・8の一部	(2011.4.4~14)2011.4.11~15	482.53	共同住宅	奈良平安時代掘立柱建物跡2他、本調査(一部工事立会)	市内11
57	築地3-4-47	(2011.4.4~15)	241	分譲住宅	隣接する45地点から続くH34号住居跡と溝、遺物なし	市内14
58	仲2-2-31	(2011.6.6~8)2011.6.14	114.54	個人住宅	井戸1、溝1、ビット1、本調査	市内14
59	仲2-3-6・9	(2011.8.8~9)2011.8.10~11	559.7	個人住宅	土坑2、溝3、縄文土器、須恵器、本調査	市内14
60	仲1-1-15	(2012.3.26~27)	165.31	個人住宅	堀跡1、溝1、陶磁器、焙烙、工事立会	市内14
61	仲2-3-3	(2012.4.16~19)	113	個人住宅	溝1、土坑3、陶磁器	市内15
62	築地3-5-11・14・19	(2012.6.11~21)2012.7.23~8.1	842	分譲住宅	縄文時代住居跡1、奈良平安時代住居跡1、溝6、縄文土器、銭貨、他	市内12
63	仲1-1-55・56・57	(2012.6.5)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
64	築地3-4-9	(2012.6.7~15)	314	分譲住宅	溝4、近世の土坑、陶磁器	市内15
65	仲2-1-25・36	(2013.2.13~18)2013.2.19~3.21	630	物置	奈良平安時代住居跡2、掘立柱建物跡3、土坑6、溝6、須恵器、旧石器	市内15
66	仲2-1-53・54	(2013.2.19)	179	個人住宅		市内15
67	築地3-3-13	(2013.2.19)	91.97	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
68	築地3-5-1	(2013.3.7~8)	166	個人住宅	井戸1、土坑1、ビット4、須恵器、土師器等	市内15
69	仲1-51・53・55	(2013.9.10~11)2013.9.12~17	298	道路	縄文時代集石土坑1、溝1	市内18
70	仲2-2-39・41	(2013.4.11~16)2013.4.17~23	220.41	道路	奈良平安時代住居跡1、中世以降井戸1、集石土坑1、溝2、須恵器、土師器、土釜、陶磁器	市内18
71	築地3-1-16・32・34	(2013.4.30~5.1)	240	分譲住宅	ビット1、古銭、陶器片1	市内18
72	松山1-4-1	(2013.5.24)	198.86	個人住宅	遺構遺物なし	市内18
73	築地3-1-56	(2013.8.19)2013.8.20	165	個人住宅	平安時代住居跡1、須恵器	市内18
74	仲2-1-37	(2013.12.24~26)	280.24	分譲住宅	井戸1、集石土坑1、溝2、土坑1、陶磁器	市内18
75	仲2-2-2・4	(2014.1.14~20)2014.8.5~11	606	分譲住宅	平安時代住居跡1、溝3、須恵器、土師器	市内18
76	仲2-2-48	(2014.1.22~28)2014.9.26~10.2	120	個人住宅	土坑1、井戸1、溝1、土器	市内18
	仲2-2-37(6区画)	(2014.1.22~28)2014.11.12~17	120	個人住宅	奈良時代住居跡1(70地点と同一)、土師器	市内18
	仲2-2-37	(2014.1.22~28)	362	宅地造成	奈良時代住居跡1(70地点と同一)、井戸2、溝2、土坑3、土師器、須恵器、中世陶器	市内18
77	松山2-6-2・3・12の各一部	(2014.3.3~12)2014.3.13~27	493	個人住宅	平安時代住居跡1、土坑3、土師器、須恵器	市内18
78	松山2-5-5	(2013.5.22)	242	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
79	本新田395-1の一部	(2014.8.5)	153	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
80	池上372	(2015.3.12)	1,183.4	個人住宅	遺構なし、土器、陶磁器	市内20
81	築地1-1-12	(2015.3.23)	247.49	分譲住宅	溝1、遺物なし	市内20
82	本新田411の一部	(2015.7.30~31)	194	個人住宅	溝1、堀1、土器片	市内22
83	仲1-2-22	(2015.8.31)	98	分譲住宅	溝1、土器片	市内22
84	築地3-4-13	(2015.9.15~16)	455	宅地造成	平安時代住居跡1、井戸1、縄文土器片、陶磁器	市内22
85	池上362-1の一部、364・365・366の一部	(2015.10.1~19)2015.10.20~26	1,244.47	分譲住宅	奈良平安時代住居跡2、屋外の焼土跡1、中近世以降の溝5、須恵器、土師器、陶磁器、鉄製品、石製品	市内19
86	築地1-1-4	(2016.7.5・7)	294	分譲住宅	溝1、陶磁器	未報告
87	築地3-1-21・22の一部、39・40・41・84	(2016.9.14)	427	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
88	築地1-3-36	(2016.10.13)	120	個人住宅	土坑1、ビット2、溝1、遺物なし	未報告
89	築地2-1-11・16	(2017.3.3~6)	287.04	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
90	仲1-1-37の一部	(2017.10.12)	120	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
91	築地1-3-8の一部	(2017.10.24)	416	個人住宅	溝(近世以降)5、陶磁器	未報告
92	築地3-4-3	(2017.10.31)	621	分譲住宅	土坑(時期不明)2、ビット(時期不明)1、縄文土器	未報告
93	築地3-5-72	(2017.11.27~28)	571.97	共同住宅	古代住居跡2、堀1、溝1、近世以降土坑2、土師器、須恵器、陶磁器	未報告
94	築地3-5-4	(2018.3.23)	57.12	作業場	古代住居跡1、時期不明ビット1、土師器、陶磁器	未報告

* 採掘: 上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調: 上福岡市遺跡調査会報告書、教委: 上福岡市教育要覧、市内: ふじ野野市内遺跡群報告書



第57図 松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)

第37表 松山遺跡古代住居跡一覧表(単位cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉		カマド 規模(cm)	周溝	主軸方位	時 期	備 考	文 献
						カマドK	設置壁						
1	1978	第1次1号住居	完掘	正方形	390×380	K	東	110×75	○		国分前半		埋蔵文化財の調査Ⅰ
2	"	第1次2号住居	完掘	台形	360×320	K	東	120×85	○		国分前半		埋蔵文化財の調査Ⅰ
3	1979	第2次3号住居	2/3	(方形)	350× ×10	K	東		一部		国分後半		埋蔵文化財の調査Ⅱ
4	"	第3次4号住居	完掘	方形	530×475	K	北	200×100	○	N-14-E	国分後半		埋蔵文化財の調査Ⅱ
5	1991	第10次5号住居	完掘	長方形	230×350	K	北→東		○		9 C 2半期		埋蔵文化財の調査14
6	"	第10次6号住居	2/3	方形	340×300	K	東		○		9 C 2半期		埋蔵文化財の調査14
7	"	第11次7号住居	完掘	正方形	400×400		遺存状態悪い		○		8 C 4半期		埋蔵文化財の調査14
8	1992	第13次8号住居	3/4	(方形)	400×					N-10-E	8 C 3半期		埋蔵文化財の調査15
9	1993	第15次9号住居	完掘		A 440×350 B 420×310 C 260×300	K	東→北	A 210×210 B 210×210 C 80×65	○		9 C 1半期	鉄鉢型須恵器出土	埋蔵文化財の調査16
10	"	第16次10号住居	1/3	正方形	560×560	K	北	130×80	○		8 C 4半期		埋蔵文化財の調査16
11	"	第17次11号住居	完掘	方形	600×600	K	北		○	最大住居	7 C 4半期	黒色土師器出土	埋蔵文化財の調査16
12	"	第18次12号住居	完掘	方形	400×320	K	北		(○)		8 C 4半期		埋蔵文化財の調査16と市史
13	1994	第19次13号住居	完掘	長方形	450×300	K	北		○	N-5-E	9 C 1半期		松山遺跡第19次調査概要
14	"	第19次14号住居	完掘	長方形	450×500	K	東→北		○	N-5-E	9 C 1半期	土錘出土	松山遺跡第19次調査概要
15	"	第20次15号住居	完掘	長方形	370×470	K	北西	70×70	○		7 C 4半期		松山遺跡第20次の調査
16	1995	7年試掘(2)16号住居								N-20-W	6C		未報告
17	"	第21次17号住居	完掘	長方形	480×400	K	北		○		7 C 4半期		埋蔵文化財の調査19
18	1997	第22次18号住居	完掘	長方形	240×460	K	東	90×60	○	N-50-E	8 C 未		埋蔵文化財の調査20
	"	第22次1号掘立	部分	長方形	東西5間 南北3間						8 C 未~9 C 初		埋蔵文化財の調査20
	"	第22次2号掘立	部分	長方形	東西2間 南北2間						8 C 未~9 C 初		埋蔵文化財の調査20
	"	第22次3号掘立	部分	長方形	(東西2間)南北3間						8 C 未~9 C 初		埋蔵文化財の調査20
19	1998	第23次19号住居	4/5	長方形	260×290				○	N-30-W	8 C 後半	土錘6点出土	埋蔵文化財の調査21
20	1999	第25次20号住居									8 C 初頭	暗紋土師器	市史通史編
21	"	第25次21号住居									8 C 初頭		未報告
22	2000	第26次22号住居	完掘		360×	K	北		○		7 C 後半	14年度完掘、焼失住居	埋蔵文化財の調査23
23	"	第27次23号住居	完掘	台形	600×720	K	北		○		8 C 半ば		埋蔵文化財の調査23
24	2001	第28次24号住居	1/2		340×	K	北西		○		8 C 中葉		埋蔵文化財の調査24
25	2000	12年度試掘5	2/3				遺存状態悪い						埋蔵文化財の調査23
26	2002	第29次26号住居	完掘	長方形	420×360	K	北		○		7 C 後半		埋蔵文化財の調査25
27	2003	15年度試掘27号住居	一部		(盛土保存)							プランのみ確認	埋蔵文化財の調査26
28	"	15年度試掘28号住居	1/2		(盛土保存)							プランのみ確認	埋蔵文化財の調査26
29	"	第30次29号住居	完掘	長方形	360×420	K	東		○		9 C 前半		埋蔵文化財の調査26
30	2005	第31次30号住居	完掘	長方形	360×600	K	北		○			土錘出土	市内遺跡群1
31	"	第32次31号住居	完掘	長方形	380×330×	K	東		○	S-65-E	9 C 中葉		市内遺跡群1
32	"	第32次32号住居	1/2	長方形	東西4m×南北3m以上	K	東		○	S-85-E			市内遺跡群1
33	2006	40地点H33号住居	完掘	方形	455×420	K	北	98×154	○	N-5-E	8 C 後半		市内遺跡群3
34	2008	45地点H34号住居	完掘	方形	364×361	K	東	122×125	○	N-96-E			市内遺跡群6
35	2008	45・84地点H35号住居	1/2	方形	504×480				○			焼失住居	市内遺跡群6・22
36	2009	49地点H36号住居	完掘	方形	280×290	K	東	105×100	○	N-92-E	8 C 後半	鍛冶炉1	市内遺跡群7
37	2010	54地点H37号住居	完掘	方形	434×524	K	北	70×86	○	N-13-E	8 C 1四半期		市内遺跡群9
38	2010	54地点H38号住居	一部	方形	(440)×468	K	東	95	○	N-107-E	8 C 1四半期	プラン確認	市内遺跡群9
39	2010	54地点H39号住居	完掘	方形	336×459	K	北	79×101	○	N-4-E	8 C 1四半期		市内遺跡群9
40	2011	55地点H40号住居	3/4	(方形)	(300)×(320)	K	東	95×123	○	N-90-E	9 C 前半		市内遺跡群10
41	2012	62地点H41号住居	3/4	(方形)	410×(300)	K	北			N-18-E			市内遺跡群12
42	2013	65・66地点H42号住居		方形	460×440	K	東	110×106	○	N-62-E	9 C 前半		市内遺跡群15
43	2013	66地点H43A号住居		方形	470×470	—	—	—	—	N-66-E	9 C 中葉前後以降		市内遺跡群15
	2013	66地点H43B号住居		方形	700×700	K	東		○	N-66-E	9 C 中葉前後以降		市内遺跡群15
44	2013	70・76地点H44号住居		(長方形)	(420)×340	K	北	80×65	○		8 C 前半		市内遺跡群18
45	2013	73地点H45号住居		不明	(238×125)				○		8 C 中~後半		市内遺跡群18
46	2013	75地点H46号住居		不明	(320×145)				○		8 C 前半~中		市内遺跡群18
47	2013	77地点H47号住居		不明	410×(95)	K	北	156×135	○		8 C 後半~9 C 初		市内遺跡群18

II 松山遺跡第82地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年7月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年7月30～31日に試掘調査を実施した。

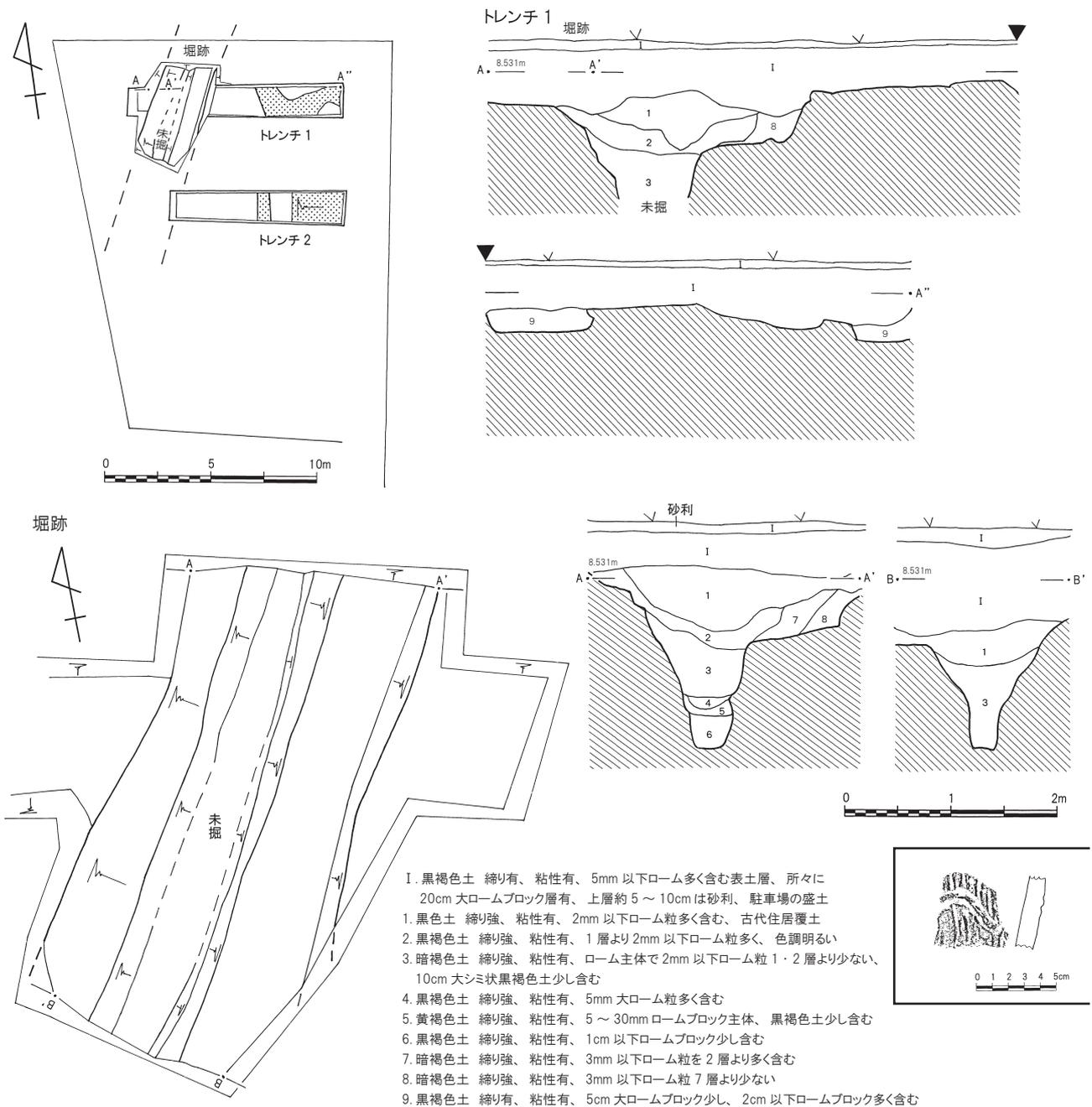
試掘調査は幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約40cmである。試掘の結果、堀

跡1本を確認した。中近世以降と考えられるが時期不明であるため、遺構の存在を確認する調査に留め、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①堀跡

堀跡はトレンチ1で確認した。走行方向を確認するため、一部調査区を確認したところ、ほぼ南北方向であることが判明した。規模は上幅220～245cm、下幅約25cm、深さ約160cmである。出土遺物はなく、時期は不明である。



第58図 松山遺跡第82地点遺構配置図(1/300)、堀跡(1/60)、出土遺物(1/4)

②出土遺物

トレンチ 1 表土中より縄文土器片 1 点が出土した。縦位の平行沈線後に 2 本の波状沈線を施す。中期か。

III 松山遺跡第 83 地点

(1) 調査の概要

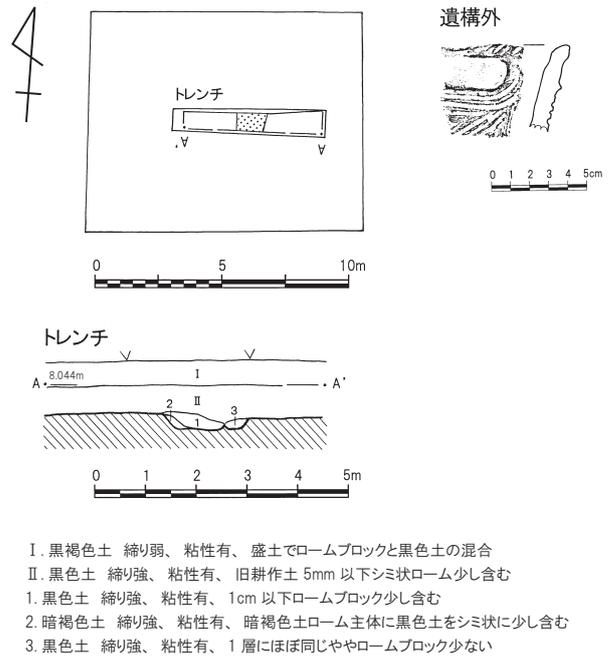
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 7 月 31 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 8 月 31 日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約 1 m のトレンチ 1 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約 1 m である。調査の結果、遺構は確認されなかった。遺構外から縄文土器片が 1 点出土した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

遺物は遺構外で発見された。縄文土器深鉢の口縁部である。隆帯と沈線で方形に区画、その下に沈線と押し引文、口縁部には刻みを施す。縄文時代中期。

第 83 地点



第 59 図 松山遺跡第 83 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、出土遺物 (1/4)

IV 松山遺跡第84地点

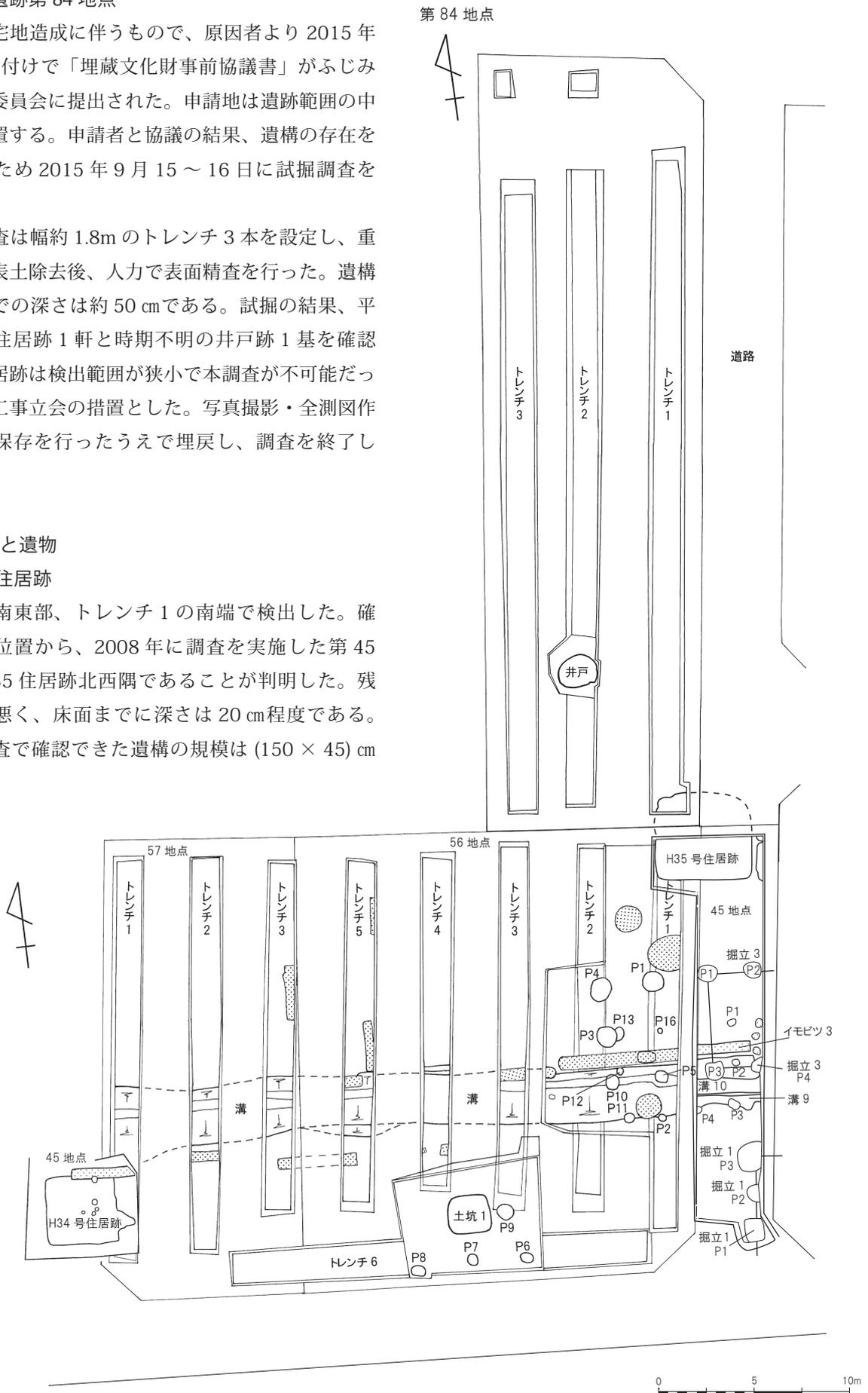
調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2015年8月27日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年9月15～16日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.8mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約50cmである。試掘の結果、平安時代の住居跡1軒と時期不明の井戸跡1基を確認した。住居跡は検出範囲が狭小で本調査が不可能だったため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H35号住居跡

調査区南東部、トレンチ1の南端で検出した。確認された位置から、2008年に調査を実施した第45地点のH35住居跡北西隅であることが判明した。残存状況が悪く、床面までに深さは20cm程度である。今回の調査で確認できた遺構の規模は(150×45)cm



第60図 松山遺跡第84地点遺構配置図(1/300)

で、周溝を伴う。周溝は上幅約30cm、下幅約10cm、深さ10cmである。柱穴、竈等は未検出である。掘方は地山ローム層を掘り下げた後、貼床を行う。住居に伴う出土遺物はない。

②井戸

井戸は調査区南側、トレンチ2で検出した。平面形態は円形を呈し、確認面径204×174cm、底径110×73cm、深さ173.6cmである。出土遺物はない。底部付近で炭化物を含む層を確認した。

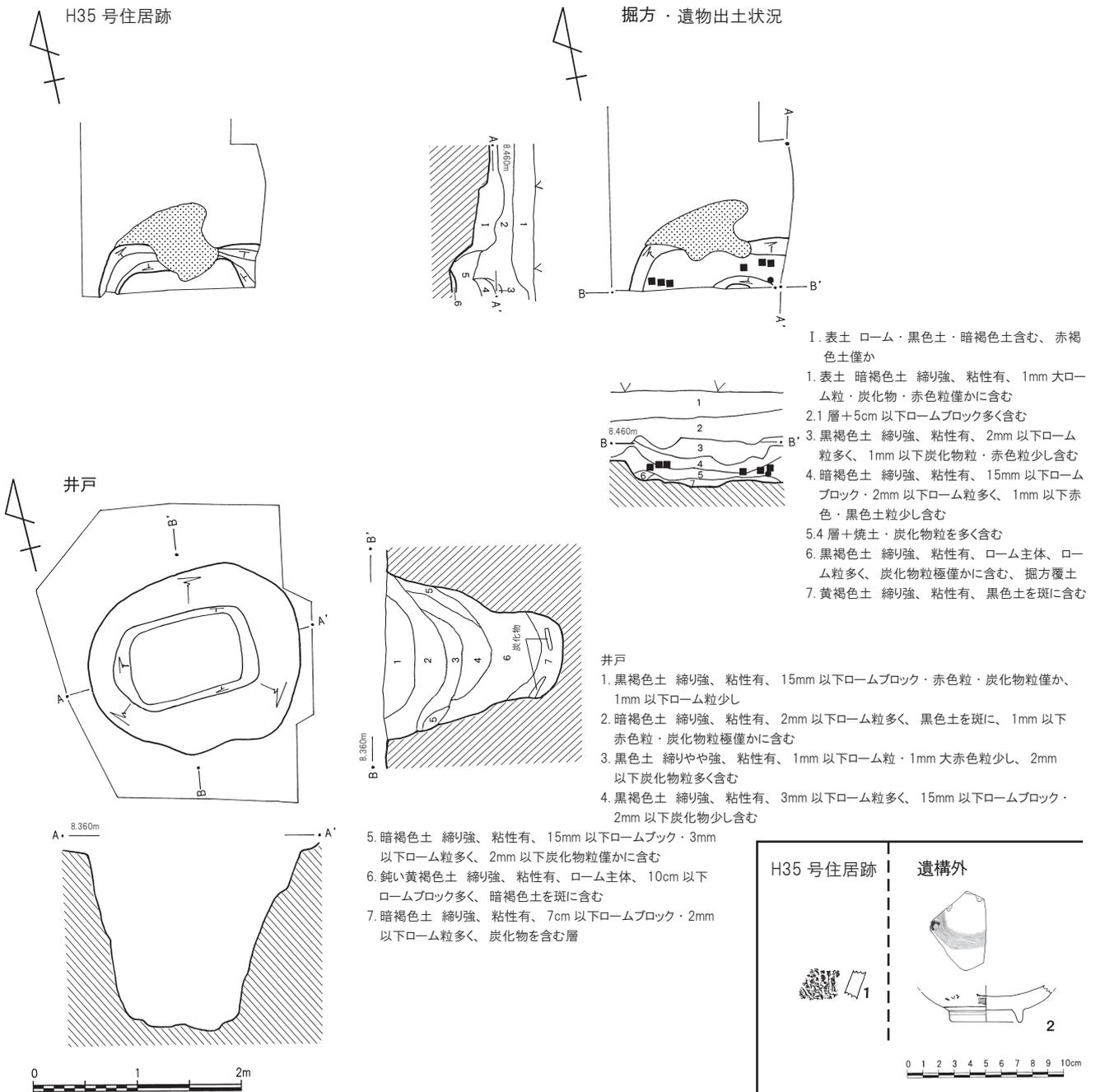
③出土遺物

縄文土器片1点と磁器片1点が出土した。1はH35号住居跡の覆土中から出土した縄文土器片であ

る。条痕文を施す。早期か。2は蛇の目釉剥ぎ磁器皿の底部破片である。底径(4.6)cm、染付で高台脇に一重圏線、高台部に二重圏線を施す。肥前産で18世紀後半以降のものと考えられる。

V 松山遺跡第85地点

調査は分譲住宅建設に伴い、2015年10月1日～19日に試掘調査、10月20日～26日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛した。



第61図 松山遺跡第84地点 H35号住居跡・掘方・井戸(1/60)、出土遺物(1/4)

第13章 江川東遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

江川東遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約700～1,000m程下った右岸に位置している。標高15～19mで現谷底との比高差は3mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、右岸は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な

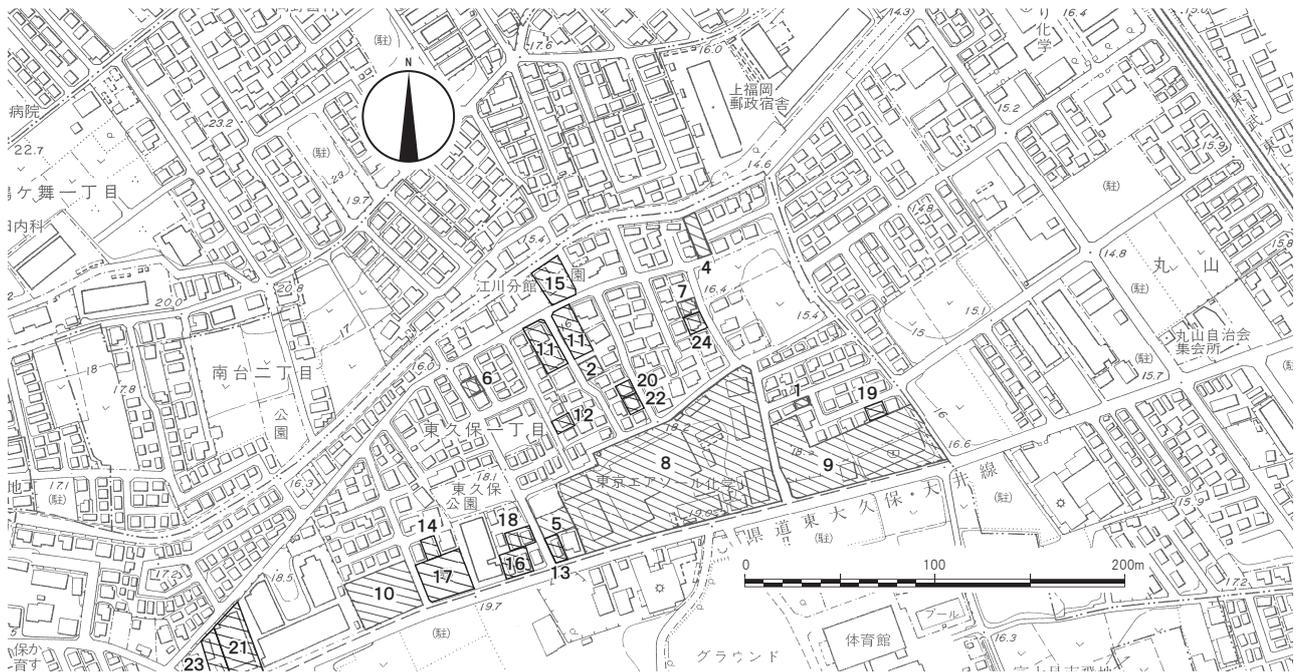
市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

周辺の遺跡は谷頭部付近に亀居遺跡、対岸台地上に鶴ヶ舞遺跡、南側に東久保遺跡がある。

本遺跡は旧大井町の地域で最も早く市街化された区域内にあり、現在は表面採取がほとんど不可能である

第38表 江川東遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保1-145-14	(1994.3.24～25)	52	個人住宅建設	溝状遺構、縄文土器・須恵器	町内遺跡群Ⅲ
2	大字東久保1-162-34	1995.1.20～2.6	191	個人住宅建設	土坑17、ピット18、フレイク・須恵器・陶磁器	町内遺跡群Ⅳ
3次						
4	東久保138-4他	(1996.1.24～29)	246	個人住宅建設	ピット3、溝2	町内遺跡群Ⅴ
5	東久保1-155-6	(1998.6.1～9)	164	土地分譲	ピット12	町内遺跡群Ⅶ
6	東久保1-168-7	(2001.7.17)	15(71)	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡群Ⅺ
7	東久保1-160-47	(2004.1.4)	88	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡群Ⅻ
8	東久保1-150他	(2004.3.25～4.7)	6,137	共同住宅	土坑1、溝、風倒木痕1	町内遺跡群Ⅻ
9	東久保1-6-19	(2004.4.9～5.10)、2004.5.11～24	464	保育園	ピット40、溝2、縄文土器	町内遺跡群Ⅻ、調査報告第14集 東久保の遺跡
10	東久保1-174-1・36	(2005.10.13～24)	267(881)	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市内2
11	東久保1-162-1・14	(2006.11.9～15)	200(674)	分譲住宅	遺構検出	市内3
12	東久保1-27-3	(2006.11.10)	6(72)	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
13	東久保1-155-4	(2006.8.11)	24(114)	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
14	東久保1-174-38	(2007.5.25～29)	30(67)	個人住宅	遺構遺物なし	市内4
15	東久保1-136-5	(2007.9.11～13)	91(344)	公民館分館	遺構遺物なし	市内4
16	東久保1-176-13～16	(2009.9.14～15)、2009.9.16～18	63(148)	個人住宅	縄文時代集石土坑1	市内8
17	東久保1-177-1	(2009.12.10～18)	156(556)	地下埋設物調査	遺構遺物なし	市内8
18	東久保1-176-9	(2011.11.28)	(72)	個人住宅	遺構遺物なし	市内14
19	東久保1-146-6	(2012.7.24)	(74.2)	個人住宅	時期不明ピット1、遺物なし	市内15
20	東久保1-160-29	(2013.7.30)	11(71.94)	建売住宅	遺構遺物なし	市内18
21	東久保1-180-1	(2013.11.21～22)	30.5(570.0)	宅地造成	遺構遺物なし	市内18
22	東久保1-160-30	(2014.9.30～10.1)	11.0(72.44)	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
23	東久保1-180-11	(2014.10.10)	29.4(180)	個人住宅	遺構なし、土器片	市内20
24	東久保1-32-12	(2015.11.27)	6(91.92)	個人住宅	遺構遺物なし	市内22



第62図 江川東遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

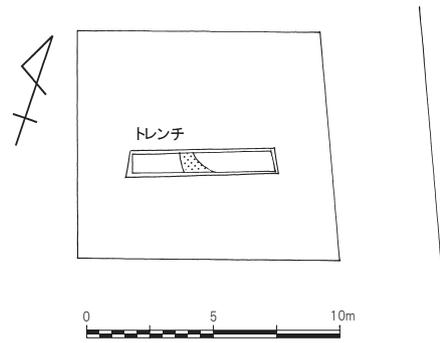
が、一部残された畑地には須恵器が散布する。第 2 地点の調査では、近世の土坑・ピットを検出している。2018 年 4 月現在 23 地点で試掘及び発掘調査を行っている。

II 江川東遺跡第 24 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 9 月 18 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 11 月 27 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1 m のトレンチ 1 本を設定し、人力による表土除去、表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 35 ～ 40 cm であった。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第 63 図 江川東遺跡第 24 地点調査区域図 (1/300)

第14章 東久保遺跡の調査

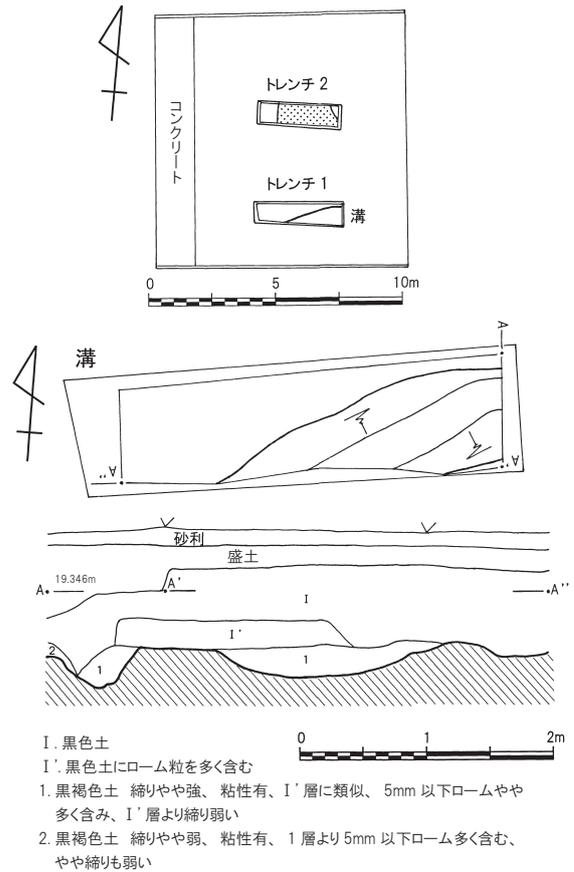
I 遺跡の立地と環境

東久保遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～1,000m程下った右岸に位置している。標高17～20mで現谷底との比高差は3～4mを測る。福岡江川の左岸の南面は急傾斜を成す。本遺跡をのせる右岸の台地は県道東久保・大井線を境に南北および西側に緩やかに傾斜する。遺跡の南側縁辺には用水路が流れており、用水路以前にも流水があったものと考えられる。

遺跡周辺は急激な市街化によって工場や住宅、市立亀久保小学校が建ち、区画整理事業が実施され今後更に開発が予想される。

周辺の遺跡は、本遺跡と福岡江川の間には平安時代の遺物を出土する江川東遺跡が位置する。西側約50mに江川南遺跡、南側に隣接して亀久保堀跡遺跡が位置する。本遺跡の調査は1976年以来2018年4月現在、75地点で試掘調査および発掘調査を行っている。これまでの調査で、旧石器時代礫群、縄文時代の落とし穴・土坑・集石土坑など、中近世は溝や柵列が確認されている。

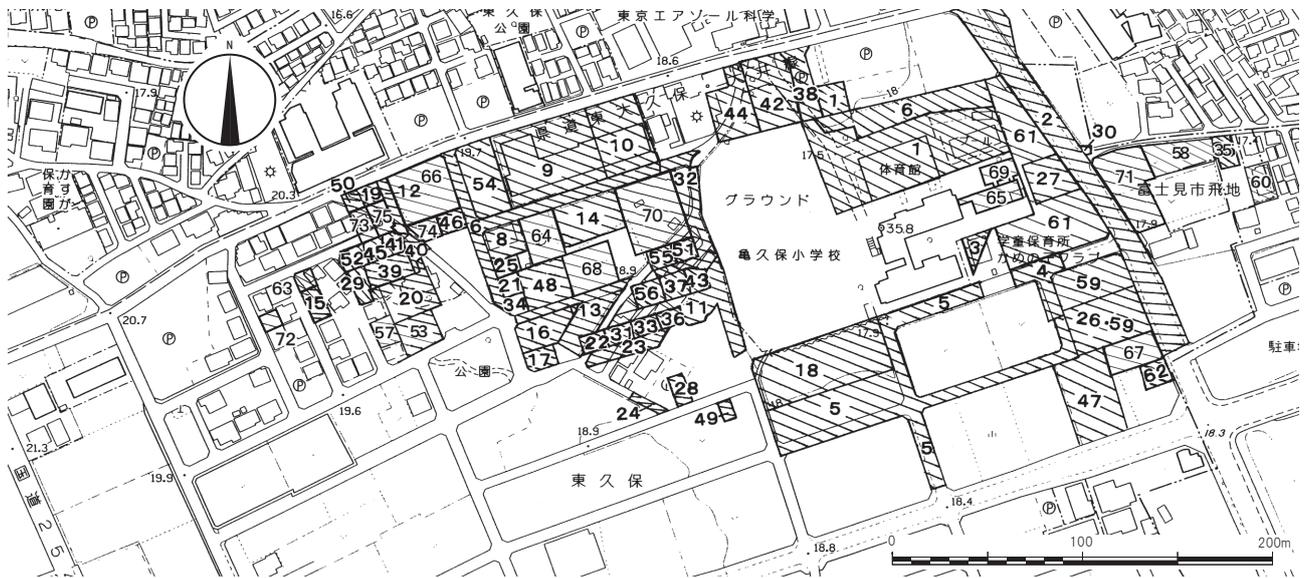
範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年7月2日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約85cmであった。



II 東久保遺跡第72地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月16日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡



第64図 東久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)、第72地点遺構配置図 (1/300)、溝 (1/60)

調査の結果、時期不明の溝1条を検出したが遺物は 測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終
 出土しなかったため、遺構としていない。写真撮影・全 了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第39表 東久保遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	亀久保字東久保285-1他	(1976.6.29~7.27)	10,000	亀久保小学校	縄文時代集石土坑6、土坑3、井戸2、溝2、縄文土器・石器	大井町文化財報告書第7集東久保遺跡
2	亀久保293-1 他	1994.12.19~1995.3.23(1995.5.18~22)	2,472	区画整理道路	中近世の溝5、ピット4、土坑2、縄文土器片	調14集
		(1996.11.15)	25	水道管理設	溝1	
3	亀久保284-1	(1996.5.20~29)	270	学童保育所	溝2、柵列1、遺物なし	町VI
4	亀久保364-1	(1996.6.7~10)1996.9.2~4	320	区画整理道路	旧石器礫群1	町VI・調14集
5	亀久保366	1996.11.22~1997.3.5	3,314	区画整理道路	土坑3、中世の堀跡1、溝2、ピット1、土器・石器	調14集
6	亀久保271-1	〈A区〉1997.1.20~2.13 〈B区〉1997.2.24~3.19 〈C区〉1997.7.24~7.25〈D区〉1997.8.6	2,309	区画整理道路	縄文時代落とし穴2、集石土坑1、土坑1、ピット5、溝8、縄文土器・石器	調14集
7	(亀久保堀跡遺跡第1地点に変更)					調14集
8	東久保18街区12画地	(1997.7.29~8.2)	305	個人住宅	縄文時代土坑2、ピット2	町VII
9	東久保279,280	(1997.8.18~28)1998.3.1~5.18	2,117	共同住宅	縄文時代集石土坑5、土坑13、ピット7、近世以降の溝3、旧石器時代石器、縄文時代土器・石器	町VII・調14集
10	東久保19街区	(1997.9.2~10.1)	1,067	分譲住宅	縄文時代集石土坑1、近世以降の溝1、縄文土器片	町VII
11	東久保	1998.7.13~8.6、1999.3.11~12	588	区画整理道路	中世以降の柵列1、ピット3、溝1、縄文土器・石器	調14集
12	東久保	1999.1.19~1.21	282	区画整理道路	縄文時代集石土坑1、ピット10、近世以降の溝2	調14集
13	東久保381-5他	1999.5.19~20	360	区画整理道路	遺構遺物なし	調査14集
		1999.11.2	162	個人住宅		町IX
14	東久保18街区3画地	(1999.6.29~7.16)1999.7.19~29	823	共同住宅	溝2、柵列1、縄文土器片、瓦質陶器片	町IX・調14集
15	東久保5街区14~16画地	(1999.8.2)	178	個人住宅	遺構遺物なし	町IX
16	東久保15街区1~5・32画地	(1999.10.1~6)	334	個人住宅	遺構遺物なし	町IX
17	東久保381-5	(1999.6.14~15)	168	個人住宅	遺構遺物なし	町IX
18	東久保27街区2画地	(1999.11.30~12.15)	14,989	小学校グラウンド	柵列	町IX
19	東久保3街区9・10画地	(1999.12.20~21)	108	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町IX
20	東久保4街区9画地	(2000.2.28~3.3)	478	個人住宅	遺構遺物なし	町IX
21	東久保18街区14画地	(2000.3.23~28)	114	個人住宅	遺構遺物なし	町IX
22	東久保15街区28画地	(2000.3.22~23)	150	個人住宅	遺構遺物なし	町IX
23	東久保	2000.3.13~16、2000.3.27~4.6	280	区画整理道路	縄文時代土坑1、焼土跡1	調14集
24	東久保14街区	2000.1.19	390	区画整理道路	遺構遺物なし	調14集
25	東久保18街区13画地	(2000.4.13~14)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町X
26	東久保31街区9画地	(2000.4.14)	1,107	砂利敷駐車場	溝、ピット、縄文土器片他	町X
27	東久保26街区	2000.5.17~6.8	560	区画整理調整池	縄文時代ピット15、近世土坑1、柵列1、溝2	調14集
28	東久保14街区8画地	(2000.6.29~7.4)	130	個人住宅	遺構遺物なし	町X
29	東久保4街区18・20画地	(2000.6.30~7.4)	218	個人住宅	溝2	町X
30	東久保294番2	2000.7.4	48	区画整理道路	溝状遺構、遺物なし	調14集
31	東久保15街区26画地	(2000.6.7)	126	個人住宅	遺構遺物なし	町X
32	東久保277・381番地他	2000.7.12~8.4 2001.7.16~11.30	265 590	区画整理道路	旧石器時代石器製作跡2、縄文時代土坑2、ピット12、時期不明の溝・柵列各1、ナイフ形石器他	調14集
33	東久保15街区24画地	(2000.8.2~3)	128	個人住宅	遺構遺物なし	町X
34	東久保18街区15画地	(2000.8.29~30)	110	個人住宅	ピット4	町X
35	東久保23街区3・4画地	(2000.12.7~9)	139	個人住宅	溝1、ピット1	町X
36	東久保15街区21・22画地	(2001.1.19~25)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町X
37	東久保15街区13・33画地	(2000.12.11)	149	個人住宅	遺構遺物なし	町X
38	東久保284-1、285-1	2000.12.13~15	501	区画整理道路	縄文時代ピット1、遺物なし	調14集
39	東久保4街区8・9画地	(2001.3.22~27)	317	個人住宅	縄文時代落とし穴	町X
40	東久保270-3・4	2001.3.23・2001.6.1	128	区画整理道路	遺構遺物無し	調14集
41	東久保4街区6・7画地	(2001.5.28~29)	112	個人住宅	近世以降の溝1、遺物なし	町XI
42	東久保19街区10画地	(2001.4.18~21)	864	駐車場	近世以降の溝1、遺物なし	町XI
43	東久保15街区14・15画地	(2001.5.22~25)	142	個人住宅	遺構遺物なし	町XI
44	東久保19街区9・11・12画地	(2001.5.10~6.29)	757	倉庫	縄文時代落とし穴1、風倒木跡、ピット5、溝2、縄文土器・石器他	町XI
45	亀久保258-21	(2001.6.1)	100	個人住宅	遺構遺物なし	町XI
46	東久保17街区3・4画地	(2001.6.4~6)	135	個人住宅	溝1、縄文土器片2、磁器片1	町XI
47	東久保31街区6・13画地	(2001.10.11~26)	1,203	店舗	縄文時代落とし穴1、溝1	町XI
48	東久保18街区9・10画地	(2001.12.12~25)	518	分譲住宅	遺構遺物なし	町XI
49	東久保13街区7画地	(2002.2.12~13)	100	分譲住宅	遺構遺物なし	町XI
50	東久保3街区22画地	(2002.9.24)	102	個人住宅	遺構遺物なし	町XII
51	東久保18街区11画地	(2002.12.3)	155	個人住宅	遺構遺物なし	町XII
52	東久保4街区3画地	(2003.2.6~7)	64	個人住宅	溝、井戸	町XII
53	東久保4街区10画地	(2003.5.7~22)	408	共同住宅	ピット1	町XII
54	亀久保字東久保272(19街区1画地)	(2003.5.9~22)	798	共同住宅	溝3、ピット4、落とし穴1	町XII
55	亀久保字東久保488(18街区7画地)	(2003.6.9~12)	165	個人住宅	遺構遺物なし	町XII
56	亀久保字東久保15街区12画地	(2003.7.31~8.1)	165	個人住宅	遺構遺物なし	町XII
57	亀久保258-26(4街区14画地)	(2003.9.29~10.1)	133	個人住宅	遺構遺物なし	町XII
58	ふじみ野2-27-2	(2004.4.13~14)	558	分譲住宅	溝2	町XII
59	ふじみ野2-25-7~9	(2004.6.29)2004.7.12~23	1,804	店舗	土坑4、ピット9、溝2	町XII・調14集
60	ふじみ野2-26-16	(2004.7.22~24)	337	個人住宅	ピット1	町XII
61	東久保26街区	2004.9.29~11.26	2,376	区画整理公園緑地	縄文時代土坑7、ピット9、溝6、(調査区内の一部は第27地点で調査済)	調14集
62	ふじみ野2-2-5-16	(2004.10.12~15)	220	宅地造成	溝3	町XII
63	ふじみ野2-5-10-12	(2006.2.1)	105	個人住宅	遺構遺物なし	市2
64	ふじみ野2-18-6の一部	(2006.10.12~20)2006.10.24~26	437	共同住宅	近世の柵列1、溝4	市3
65	ふじみ野2-22-2、5~7	(2008.1.18~28)	260	小学校増築	遺構遺物なし	市4
66	ふじみ野2-19-4、19-5	(2008.5.22~6.11)	862	分譲住宅	溝3	市6
67	ふじみ野2-25-10・11	(2009.11.9)	492	個人住宅	遺構遺物なし	市8
68	ふじみ野2-18-3	(2010.11.22~26)2010.11.29~12.8	791	分譲住宅	縄文時代集石1、近世以降溝跡2、柵列1、本調査	市9
69	ふじみ野2-22-2・3・5の一部・6・7	(2011.3.28)	17,276.3	小学校増築	遺構遺物なし	市10
70	ふじみ野2-18-8・9・10	(2013.1.16~24)	1,156	共同住宅	遺構遺物なし	市15
71	ふじみ野2-27-1・9	(2013.6.17~19)	998	店舗	溝1、遺物なし	市18
72	ふじみ野2-6-7	(2015.7.2)	100	個人住宅	溝1、遺物なし	市22
73	ふじみ野2-3-14	(2017.6.19)	62.35	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
74	ふじみ野2-19-2・3	(2017.8.2)	239	個人住宅	ピット、遺物なし	未報告
75	ふじみ野2-13-24	(2017.12.18)	96.87	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告

*町:大井町町内遺跡群、調査:大井町遺跡調査会報告、市:ふじみ野市内遺跡群